川島遺跡（第２次）ほか発掘調査報告

川島遺跡　東久保北浦遺跡　魚見下起遺跡

～三重県松阪市川島町・東久保町・魚見町所在～

２００４（平成16）年３月

三重県埋蔵文化財センター

序

川島遺跡・東久保北浦遺跡・魚見下起遺跡は松阪市川島町・東久保町・魚見町に所在しています。

今回報告いたします川島遺跡・東久保北浦遺跡・魚見下起遺跡は、櫛田川の下流右岸に位置し、平成13年度県営ほ場整備事業および平成13年度東黒部早馬瀬線道路整備事業に伴って調査を行ったものです。川島遺跡の発掘調査は平成12年度に続いて２度目になります。以前の調査では、奈良時代や平安時代の遺構のほか、主に中世の遺構や遺物が確認されています。今回の調査でも中世の溝などが確認され、この時期の遺物も数多く出土しました。残念ながら今回は、中世に当地に存在したとされる宏徳寺に関連すると思われる遺構などは確認できていませんが、２年間にわたってのこの地域での発掘調査の成果は、この地域の歴史を考えていく上で大切な資料になると考えます。

しかし、一方でこのような遺跡が記録保存という形でしか残せないことは、誠に残念というほかありません。これまでに得られた成果をどのように活用していくかが、わたくしどもの今後の重要な課題であると考えております。

調査にあたっては、地元の方々をはじめ、松阪市教育委員会、三重県農林水産商工部農業基盤整備課および県土整備部道路整備課、松阪地方県民局農林商工部、機殿下地区土地改良区などの関係諸機関から多大なご協力と暖かいご配慮を頂きました。文末になりましたが、心より厚く御礼申し上げます。

2004年３月

三重県埋蔵文化財センター

所　長　　吉　水　康　夫

例　　言

1　本書は、三重県松阪市川島町・東久保町・魚見町に所在する川島遺跡・東久保北浦遺跡・魚見下起遺跡の発掘調査にかかる報告書である。なお、川島遺跡については平成12年度調査に引き続き第２次調査となる。

2　本遺跡の調査は平成13年度県営ほ場整備事業（機殿下地区）・平成13年度東黒部早馬瀬線道路整備事業に伴い、三重県教育委員会が三重県農林水産商工部および県土整備部から経費の執行委任を受けて実施した。

3　平成13年度調査および整理は次の体制により実施した。

調査主体　　三重県教育委員会

調査担当　　三重県埋蔵文化財センター　調査第一課

主事　　柴山　圭子

技術補助員　　豊田　祥三

技術補助員　　山岡　奈美恵

研修員　　新庄　孝敏

土工担当　　（財）三重県農林水産支援センター

調査期間　　平成１３年７月２日～平成１４年３月４日

調査面積　　４，１００㎡

4　調査にあたっては、地元の方々をはじめ、三重県農林水産商工部農業基盤整備課、三重県県土整備部道路整備課、松阪地方県民局農林商工部、機殿下土地改良区、松阪市教育委員会からの協力を得た。

5　報告書作成にあたっては、青木哲哉氏（立命館大学）・伊藤裕偉氏・小濵　学氏（斎宮歴史博物館）・小林俊之氏（美杉村教育委員会）から有益な御教示を得た。

6　当報告書の作成業務は、三重県埋蔵文化財センター調査第一課および資料普及グループが行った。また、本文の執筆・写真撮影・全体の編集は柴山が行った。

「Ⅴ　自然科学分析」は、（株）パリノサーヴェイの分析報告による。

7　本書の遺構図面は、日本測地系による国土調査法（旧国土座標）の第Ⅵ座標系を基準とする座標北を用いた。

8　挿図と写真図版の遺物番号は、実測図の番号と対応している。なお、写真図版は縮尺不同である。

9　本報告書での用語は、以下のとおり統一した。

わん……「椀」「碗」があるが、「椀」を用いた。

つき……「杯」「坏」があるが、「杯」を用いた。

10　本報告書での川島遺跡の遺構番号は第１次調査からの通番となっている。今回の調査は遺構番号201から付している。東久保北浦遺跡および魚見下起遺跡についてはいずれも遺構番号１から付した。また、番号の頭には、見た目の性格によって以下の略記号を付けた。

ＳＤ：溝　　ＳＲ：流路　　ＳＢ：掘立柱建物　　ＳＫ：土坑

ＳＥ：井戸　　ＳＺ：落ち込み、不明遺構など　　ｐｉｔ：ピット、柱穴

11　当発掘調査の記録および出土遺物は、三重県埋蔵文化財センターで保管している。

本文目次

Ⅰ　前　言……1
Ⅱ　位置と歴史的環境……4
Ⅲ　調査の成果～層位と遺構～……8
　1　川島遺跡
　（1）門前Ⅰ地区……8
　（2）門前Ⅱ地区……8
　（3）門前Ⅲ地区……8
　（4）門前Ⅳ地区……15
　（5）門前Ⅴ地区……17
　（6）門前Ⅶ地区……17
　（7）塩角Ⅳ地区……17
　（8）奥垣内Ⅴ地区……27
　（9）奥垣内Ⅵ地区……27
　(10) 道場Ⅲ地区……27
　(11) 道場Ⅳ地区……50
　2　東久保北浦遺跡……50
　3　魚見下起遺跡……50

Ⅳ　調査の成果～出土遺物～……54
　1　川島遺跡
　（1）門前Ⅰ地区出土の遺物……54
　（2）門前Ⅱ地区出土の遺物……54
　（3）門前Ⅲ地区出土の遺物……55
　（4）門前Ⅳ地区出土の遺物……55
　（5）門前Ⅴ地区出土の遺物……55
　（6）門前Ⅶ地区出土の遺物……56
　（7）奥垣内Ⅴ地区出土の遺物……57
　（8）奥垣内Ⅵ地区出土の遺物……58
　2　魚見下起遺跡……58

Ⅴ　自然科学分析　出土須恵器中の火葬骨……（パリノサーヴェイ株式会社）……80

Ⅵ　結　語……82

挿図目次

第１図　遺跡位置図……5
第２図　調査区位置図①……6
第３図　調査区位置図②……7
第４図　門前Ⅰ地区遺構平面図①……9
第５図　門前Ⅰ地区遺構平面図②　……10
第６図　門前Ⅰ地区遺構平面図③　……11
第７図　門前Ⅰ地区土層断面図①　……12
第８図　門前Ⅰ地区土層断面図②　……13
第９図　ＳＥ237平面図, 土層断面図　……14
第10図　ＳＥ241平面図, 土層断面図　……15
第11図　ＳＤ243遺物出土状況図……16
第12図　門前Ⅱ地区遺構平面図①　……18
第13図　門前Ⅱ地区遺構平面図②　……19
第14図　門前Ⅱ地区土層断面図①　……20
第15図　門前Ⅱ地区土層断面図②　……21
第16図　門前Ⅲ地区平面図, 土層断面図　……22
第17図　門前ⅣＡ地区遺構平面図　……23
第18図　門前ⅣＡ地区土層断面図　……24
第19図　門前ⅣＢ地区遺構平面図　……25
第20図　門前ⅣＢ地区土層断面図　……26
第21図　ＳＫ258遺物出土状況図……27
第22図　門前Ⅴ地区遺構平面図　……28
第23図　門前Ⅴ地区土層断面図　……29
第24図　門前Ⅶ地区遺構平面図　……30
第25図　門前Ⅶ地区土層断面図　……31
第26図　塩角Ⅳ地区遺構平面図①　……32
第27図　塩角Ⅳ地区遺構平面図②　……33
第28図　塩角Ⅳ地区土層断面図①　……34
第29図　塩角Ⅳ地区土層断面図②　……35
第30図　奥垣内Ⅴ地区遺構平面図①　……36
第31図　奥垣内Ⅴ地区遺構平面図②　……37
第32図　奥垣内Ⅴ地区土層断面図　……38
第33図　ＳＤ279遺物出土状況図……39
第34図　奥垣内Ⅵ地区遺構平面図　……40
第35図　奥垣内Ⅵ地区土層断面図　……41
第36図　道場Ⅲ地区平面図,土層断面図　……42
第37図　道場Ⅳ地区平面図,土層断面図　……43
第38図　魚見下起遺跡Ⅰ地区遺構平面図　……44
第39図　魚見下起遺跡Ⅰ地区土層断面図　……45
第40図　魚見下起遺跡Ⅱ地区遺構平面図　……46
第41図　魚見下起遺跡Ⅱ地区土層断面図　……47
第42図　東久保北浦遺跡遺構平面図　……48
第43図　東久保北浦遺跡土層断面図　……49
第44図　門前Ⅰ地区出土遺物実測図　……59
第45図　門前Ⅰ・Ⅱ地区出土遺物実測図　……60
第46図　門前Ⅲ・Ⅳ地区出土遺物実測図　……61
第47図　門前Ⅳ・Ⅴ地区出土遺物実測図　……62
第48図　門前Ⅴ地区出土遺物実測図　……63
第49図　門前Ⅴ・Ⅶ地区出土遺物実測図　……64
第50図　門前Ⅶ地区出土遺物実測図　……65
第51図　奥垣内Ⅴ地区出土遺物実測図　……66
第52図　奥垣内Ⅴ地区出土遺物実測図　……67
第53図　奥垣内Ⅴ・Ⅵ地区出土遺物実測図　……68
第54図　魚見下起遺跡出土遺物実測図　……69

表目次

第１表　川島遺跡遺構一覧表①……51
第２表　川島遺跡遺構一覧表②……52
第３表　川島遺跡遺構一覧表③……53
第４表　魚見下起遺跡遺構一覧表……53
第５表　東久保北浦遺跡遺構一覧表……53
第６表　川島遺跡出土遺物観察表①……70
第７表　川島遺跡出土遺物観察表②……71
第８表　川島遺跡出土遺物観察表③……72
第９表　川島遺跡出土遺物観察表④……73
第10表　川島遺跡出土遺物観察表⑤　……74
第11表　川島遺跡出土遺物観察表⑥　……75
第12表　川島遺跡出土遺物観察表⑦　……76
第13表　川島遺跡出土遺物観察表⑧　……77
第14表　川島遺跡出土遺物観察表⑨　……78
第15表　魚見下起遺跡出土遺物観察表　……79
第16表　門前Ｉ地区の出土人骨同定結果　……82
第17表　陶器供膳具産地別集計表　……83

写真目次

図版１　門前Ｉ地区調査前風景・全景……85
図版２　門前Ｉ地区南側全景・ＳＥ241　……86
図版３　ＳＥ237……87
図版４　門前Ⅱ地区調査前風景・全景……88
図版５　門前Ⅲ地区調査前風景・全景……89
図版６　門前Ⅲ地区ｄ３　ｐｉｔ１出土状況
　・門前ⅣＡ地区全景……90
図版７　門前ⅣＢ地区全景
　・門前Ⅴ地区調査前風景……91
図版８　門前Ⅴ地区全景
　・門前Ⅶ地区調査前風景……92
図版９　門前Ⅶ地区全景・北側全景……93
図版10　塩角Ⅳ地区調査前風景・全景……94
図版11　塩角Ⅳ地区南側全景・西側全景　……95
図版12　奥垣内Ⅴ地区調査前風景・全景　……96
図版13　ＳＤ279出土状況
　・奥垣内Ⅵ地区調査前風景……97
図版14　奥垣内Ⅵ地区全景　……98
図版15　魚見下起遺跡Ｉ地区調査前風景
　・全景　……99
図版16　魚見下起遺跡Ⅱ地区調査前風景
　・全景……100
図版17　出土遺物①……101
図版18　出土遺物②……102
図版19　出土遺物③……103
図版20　出土遺物④……104
図版21　出土遺物⑤……105
図版22　出土遺物⑥……106
図版23　出土遺物⑦……107
図版24　出土遺物⑧……108
図版25　出土遺物⑨……109
図版26　出土遺物⑩……110
図版27　出土遺物⑪……111
図版28　出土遺物⑫……112

Ⅰ　前　　言

1　調査の契機

今回の発掘調査は、平成13年度県営ほ場整備事業（機殿下地区）および平成13年度東黒部早馬瀬線道路整備事業に伴い実施した。川島遺跡は松阪市遺跡番号834、東久保北浦遺跡は835、魚見下起遺跡は遺跡番号837の周知の埋蔵文化財包蔵地である。川島遺跡では、平成12年度に県営ほ場整備事業に伴い発掘調査が行われ、室町時代の掘立柱建物や井戸などが検出されている。

また、今回の調査に先立ち平成12年度に範囲確認調査を実施した。その結果、事業予定地の25,800㎡については遺構の存在が確認された。

これを受けて、県農林水産部、県道路整備部と文化財保護の協議を重ねてきた。その結果、遺跡が破壊される4,100㎡について本調査を実施することになった。

2　調査の経過

（1）調査経過概要

調査区の名称は、川島遺跡内の10ヶ所については『川島遺跡群（第1次）発掘調査報告』に準じて、字名とローマ数字とで表わした。各地区の詳しい名称は後述する。調査期間は平成13年７月２日～平成14年３月４日である。詳細については「調査日誌（抄）」を参照されたい。

なお、８ヵ月にわたり調査にご協力いただいた作業員の方々のご芳名をここに記し、感謝の意を表する。

北野ふみ子、小島芳郎、鈴木啓二、津谷　勇、
中川一美、中川公子、中川幸子、中川たか子、
中川二夫、中川凱子、中川初枝、中川　満、
中川美代子、溝田常青、溝田平蔵、横井　武

（五十音順、敬称略）

（2）調査日誌（抄）

６月11日　現場確認、協議。土地改良区・松阪農林・工事業者・農林水産支援センター・埋蔵文化財センターの５者。

６月27日　ハウス設置。重機搬入。

７月２日　門前Ⅲ地区の表土掘削開始。

７月４日　門前Ⅳ地区の県道を挟んで東側の地区を優先してほしい旨、改良区から申し入れがあり、今日から表土掘削を開始する。検出面が非常にわかりにくい。

７月５日　本日、作業員投入。門前Ⅲ地区の人力掘削を行う。ピットからロクロ土師器や山茶椀などが出土。何度か検出を試みるが遺構の輪郭がはっきりしない。
門前Ⅳ地区東の表土掘削引き続き行う。

７月10日　平面の観察で竪穴住居と判断していたＳＨ202が、掘削を進めていく途中でそうではないことが判明したため、ＳＤ202と改称。

７月19日　門前Ⅳ地区の全景写真撮影を東西２方向から行う。

７月23日　門前Ⅲ地区の清掃、写真撮影。

７月24日　８人の応援を得て、Ⅲ・Ⅳ地区の調査区実測および土層断面実測。

７月26日　門前Ⅳ地区の引渡し。
Ⅴ地区の表土掘削を開始する。

７月27日　門前Ⅲ地区の引渡し。
Ⅴ地区の表土掘削続き。

８月１日　猛暑！作業進まず。
門前Ⅴ地区作業員投入。

８月３日　Ⅴ地区、清掃・写真撮影。東西２方向から行う。作業員本日より長期休暇に入るため、プレハブ周辺草刈および道具の片付け。

８月６日　Ⅴ地区を平板で実測（1/100）。
実測終了後、４ヶ所で下層確認調査を行う。いずれも砂層が高く堆積し、途中湧水のため、それ以上の確認はできなかった。調査終了。

８月７日　Ⅴ地区引渡し。

８月17日　門前Ⅱ地区の表土掘削を開始する。

８月20日　台風11号接近中。台風対策を行う。

８月21日　台風11号、三重県上陸。現場中止。

８月27日　一週間ぶりに水が引き、Ⅱ地区の表土掘削を再開する。
９月５日　土層実測。
Ｖ地区で検出した流路の続きと数条の溝のみ検出。遺物量少ない。
９月６日　Ｖ地区の清掃・写真撮影。
９月７日　立命館大学　青木氏来訪。降雨の中、土層観察をしていただく。Ⅱ地区の北側が後背湿地、小地区ｂ30周辺の礫混じり埋土の部分が旧河道、南側は微高地であると考えられる旨、御教示いただく。
９月10日　台風15号の影響で大雨。現場中止。
９月17日　一週間排水作業などに費やされ、やっと現場復旧。
９月18日　Ⅱ地区の平板実測（１/100)。
９月21日　門前Ⅱ地区引渡し。
９月25日　東久保北浦遺跡の表土掘削開始。遺物少量。
９月27日　清掃・写真撮影。土層断面実測。
10月２日　昨日の雨で埋まってしまった遺構の清掃後、平板実測（１/100)。強風の中の実測で体力消耗。
10月３日　川島遺跡門前Ｉ地区の表土掘削開始。
南端に安定した検出面。ピット確認。
10月４日　東久保北浦遺跡引渡し。
門前Ｉ地区の表土掘削続き。調査区中央あたりは後背湿地か。北側で遺物量増加。再度安定した検出面が現れる。須恵器壺出土。中に動物の骨片らしきもの確認。
10月10日　台風並みの大雨。現場作業中止。
10月15日　現場復旧。遺構検出・掘削。
10月24日　ＳＫ237が石組井戸になることが判明。
ＳＤ243内から山茶椀・南伊勢系の土師器皿など完形の遺物が多数出土。
ＳＥ241は素掘りの井戸。
10月26日　Ｉ地区の清掃・写真撮影。
個別の遺構実測。
11月１日　５人の応援を得て、Ｉ地区の遺構実測・土層断面実測（１/20)。
門前Ⅳ地区の県道を挟んで西側の表土掘削開始。
11月６日　門前Ｉ地区、ＳＫ237・ＳＥ241の断ち割りと実測。ＳＥ241の底部付近でこぶし大くらいの石および鍋・羽釜・山茶椀など多数確認。
11月７日　門前Ⅵ地区は、表土の掘削のみで工事ができるということで、協議の上、表土掘削の立会い。問題がないようなので写真撮影後県農林水産商工部に引き渡す。
11月８日　門前Ⅳ地区遺構検出・掘削。
青木氏来訪。本日より２日間の日程で門前Ｉ地区の土層観察をしていただく。
11月13日　門前Ｉ地区の引渡し。今後の日程協議。
門前Ⅳ地区遺構掘削続き。
11月15日　清掃・全景写真撮影。
11月19日　Ⅳ地区の遺構平面実測（１/20)。
11月20日　Ⅳ地区土層断面実測。
塩角Ⅳ地区表土掘削開始。
11月22日　門前Ⅳ地区引渡し。
塩角Ⅳ地区表土掘削続き。明確な遺構確認できず。旧耕作土、旧床土が何層にも重なる。
12月５日　塩角Ⅳ地区の清掃・全景写真撮影。
12月７日　遺構実測（１/20・１/50・１/100)。
土層実測。
12月11日　塩角Ⅳ地区引渡し。
奥垣内Ⅴ地区表土掘削開始。
12月18日　Ⅴ地区の遺構検出・掘削。ＳＤ279から土師器鍋・羽釜など多数出土。
12月20日　清掃・全景写真撮影。ＳＤ279遺物取上げ、掘削。
12月28日　奥垣内Ⅴ地区引渡し。
平成13年の仕事納め。
１月７日　奥垣内Ⅵ地区表土掘削開始。
１月９日　清掃・調査区全景写真撮影。
１月10日　Ⅵ地区遺構平面実測（１/20/・１/50)。
道場Ⅳ地区の立会い。
１月11日　魚見下起遺跡協議。
１月17日　道場Ⅲ地区の立会い。
Ⅳ地区の平板実測・土層断面実測。
１月18日　道場Ⅳ地区引渡し。

１月24日　道場Ⅲ地区引渡し。
　　魚見下越遺跡Ⅰ地区、表土掘削開始。
１月30日　清掃・写真撮影。
２月１日　遺構平面実測（１/50）。
　　川島遺跡門前Ⅶ地区の表土掘削開始。
　　調査区全体が現水田面からの盛土である。近世の瓦片・土器片などが出土。
２月５日　遺構検出・掘削。
２月７日　ＳＫ298から土師器の壺が出土。壺の中から土師器の皿がほぼ１個体分出てくる。
　　清掃・写真撮影。
２月18日　魚見下起遺跡Ⅱ地区の表土掘削開始。
２月19日　遺構検出・掘削。
２月20日　調査区清掃・写真撮影。
２月21日　作業員本日で全作業終了。
　　遺構平面実測（１/50）。
２月25日　現場事務所片付け。道具撤収。

３　調査区名

川島遺跡における各調査区の名称は、川島遺跡群（第１次）発掘調査報告に準じて付した。調査区ごとに字名を冠し、同じ字で複数の調査区が存在する場合はローマ数字（Ⅰ・Ⅱ…）を付した。なお、第１次調査と同様の字の付く調査区は、通番でローマ数字を付した。

本報告の川島遺跡調査区は全12地区である。詳細は以下の通りである。

門前（Ⅰ～Ⅶ）地区
奥垣内（Ⅴ・Ⅵ）地区
塩角Ⅳ地区
道場（Ⅲ・Ⅳ）地区

また、魚見下起遺跡の２地区についてもローマ数字を使用して、Ⅰ地区・Ⅱ地区とした。東久保北浦遺跡については１調査区である。

４　調査の方法

調査区の現況は水田や畑地である。掘削は表土については重機で行った。それ以外は人力による掘削である。

今回の調査区は、東西・南北に細長いものがほとんどであることから、４m四方の小地区は調査区に沿って設定した。調査区が屈曲する場所についても同様に設定したため、４m四方の方眼が重複しているところもある。距離の長いほうに数字、短いほうにアルファベットを与え、各北西の杭を小地区の名称とした。設定は、国土座標とは無関係であり、任意である。

調査区の平面図は遺構密度により１/100（平板実測）、１/50、１/20で、土層断面図は１/20で作成した。また、出土遺物を伴う主な遺構については、原則的に１/10で作成した。

５　文化財保護法等にかかる諸通知

文化財保護法（以下、「法」）等にかかる諸通知は、以下により行っている。

・法に基づく三重県文化財保護条例第48条第１項
（県教育長宛）
平成12年５月26日付農基第275号
・遺失物法にかかる文化財発見・認定通知
（松阪市警察署長宛）
平成13年２月１日付教生第229-15号（県教育長通知）

Ⅱ　位置と歴史的環境

川島遺跡(１)・東久保北浦遺跡(２)・魚見下起遺跡(３)は、三重県松阪市川島町・東久保町・魚見町に所在する。松阪市東部の櫛田川下流域右岸の沖積平野に位置している。

ここでは櫛田川下流域とその周辺で、今回の調査に関連する主な遺跡について概述する。詳細な歴史的環境については『川島遺跡群（第１次）発掘調査報告』[①]に記載されているのでそれを参照されたい。

古墳時代には櫛田川の左岸と右岸との２つの地域に南勢地方でも比較的大きな古墳地帯が形成されている。

左岸の前期古墳としては、流域からはやや西方に位置する久保古墳(13)や茶臼山古墳(14)、坊山１号墳(15)などが挙げられる。特に茶臼山古墳は、明治年間の地籍図によると周濠が推定できる径55mの大円墳であったとされている。坊山１号墳は裾部から出土した円筒埴輪棺から、この時期のものと考えられている[②]。

左岸流域のこの時期の遺跡としては、瀬干遺跡[③](16)、琵琶垣内遺跡[④](９)が挙げられる。瀬干遺跡では、前期前葉の方形周溝墓が６基確認されている。また、琵琶垣内遺跡では竪穴住居が２棟検出されている。

一方右岸では、古轡通りＢ遺跡(17)がある。豪族祭祀に関わると見られる掘立柱建物と井戸が検出されている[⑤]。

この櫛田川流域では、近年当該時期の遺跡が見つかり始めており、今後も増加が見込まれる。

古代では、祓川東岸に形成される斎宮跡(５)がある。昭和45年度より継続的に発掘調査が行われており方格地割や古道、掘立柱建物群や様々な遺構が検出されている。

左岸には堀町遺跡(10)がある。大量の土器や木製品のほかに、祭祀的色合いの強い斎串も見つかっている。

右岸には、土師器焼成坑がたくさん見つかっている北野遺跡(６)がある。この付近は、全国的に見ても土師器焼成遺構が多く見つかっている場所で土器作りを行っていた有爾郷に比定される地域である。

中世に入ると、多くの遺跡が見られるようになる。海岸部には製塩関連の遺跡である、西黒部遺跡群内の池ノ上遺跡や小狐遺跡が知られる[⑥]。また櫛田地区内遺跡群では、南東隅土坑を伴う鎌倉時代の掘立柱建物や室町時代の土壙墓が検出されており、茶釜や鍋が多数出土している[⑦]。櫛田川右岸では、古川遺跡(39)で建物跡や石組井戸が４基見つかっている[⑧]。また、中の坊遺跡(26)からは室町時代の土塁と区画溝が確認されている[⑨]。このほか横地高畑遺跡(40)からも建物跡が見つかっている[⑩]。また、櫛田川中流と下流を分ける丘陵上には神山城跡(41)が存在する。その山麓には山添遺跡[⑪](４)があり、掘立柱建物や石組みの遺構などが確認されている。

〔註・参考文献〕

① 小濵　学・小林俊之　『川島遺跡群（第１次）発掘調査報告』　（三重県埋蔵文化財センター　2002年）

② 『松阪市史』第二巻史料篇　考古　（松阪市史編纂委員会　1978年）

③ 宇河雅之　「瀬干遺跡」　（『瀬干遺跡・綾垣内遺跡・柳辻遺跡・大蓮寺遺跡・北ノ垣内遺跡』　三重県埋蔵文化財センター　1996年）
　原田恵理子　『瀬干遺跡（第２次）発掘調査報告』（三重県埋蔵文化財センター　2000年）

④ 野原宏司　『閑浄寺遺跡発掘調査現地説明会資料』（三重県教育委員会　1987年）

⑤ 奥野　実・田上　稔・坂倉一光　『古轡通りＢ遺跡・古轡通り古墳群発掘調査報告』　（三重県埋蔵文化財センター　2000年）

⑥ 増田安生・新名　強　「中世伊勢の製塩に関する一考察～松阪市西黒部製塩関連遺跡群の調査成果を中心に～」　（『研究紀要』第９号　三重県埋蔵文化財センター　2000年）

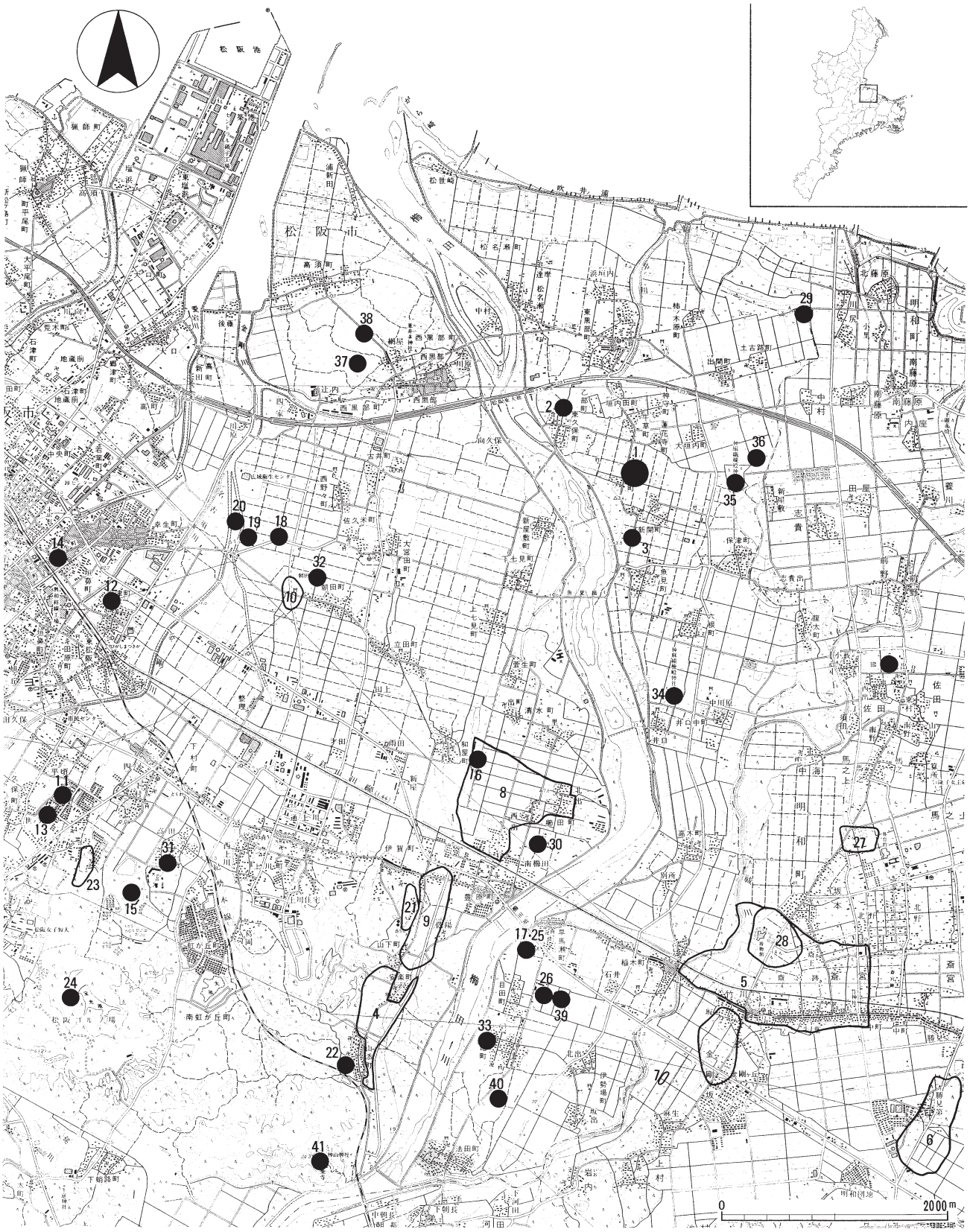
⑦ 宇河雅之　「北ノ垣内遺跡」　（『瀬干遺跡・綾垣内遺跡・柳辻遺跡・大蓮寺遺跡・北ノ垣内遺跡』　三重県埋蔵文化財センター　1996年）

⑧ 伊藤裕之　『古川遺跡・山口遺跡発掘調査報告』（三重県埋蔵文化財センター　1996年）

⑨ 伊藤裕之　『中の坊遺跡発掘調査報告』　（三重県埋蔵文化財センター　1997年）

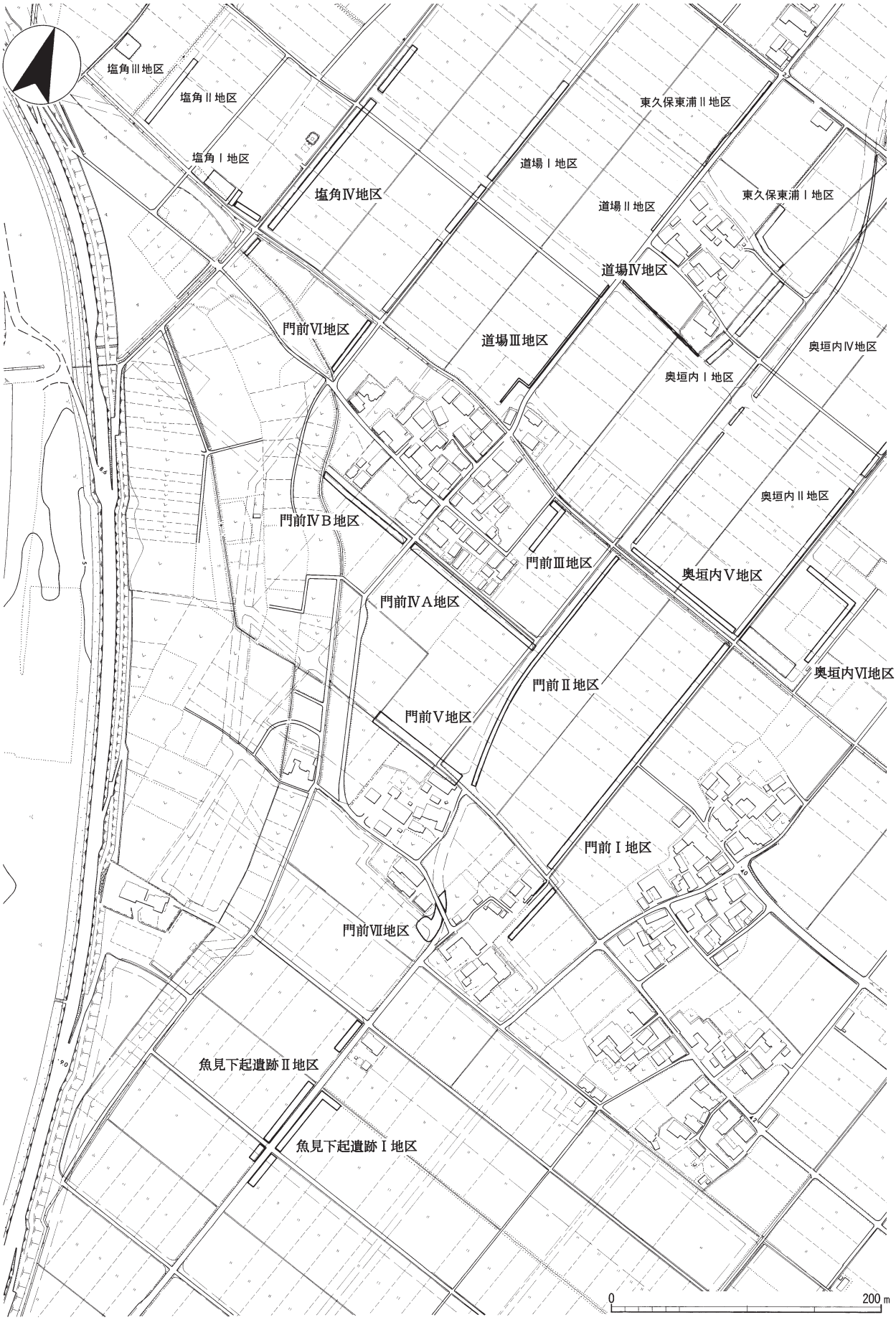
⑩ 中川　明　『横地高畑遺跡発掘調査報告』　（三重県埋蔵文化財センター　1998年）

⑪ 新田　洋　『山添遺跡発掘調査報告』　（三重県教育委員会　1979年）
　坂倉一光　『山添遺跡（第2次）・里中遺跡ほか』（三重県埋蔵文化財センター　1997年）
　柴山圭子・小濵　学　『山添遺跡（第3次）発掘調査報告』　（三重県埋蔵文化財センター　2003年）



番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名
1	川島遺跡群	7	寺垣内遺跡	13	久保古墳	19	丸山古墳	25	古曽通り古墳群	31	貴田寺廃寺	37	池ノ上遺跡
2	東久保北浦遺跡	8	櫛田地区内遺跡群	14	茶臼山古墳	20	糠塚古墳	26	中の坊遺跡	32	朝田寺	38	小狐遺跡
3	魚見下起遺跡	9	琵琶垣内遺跡	15	坊山1号墳	21	天王山古墳群	27	坂本古墳群	33	横地西ノ垣内遺跡	39	古川遺跡
4	山添遺跡	10	堀町遺跡	16	瀬干遺跡	22	山添古墳群	28	塚本古墳群	34	神麻績機殿神社	40	横地高畑遺跡
5	斎宮跡	11	草山遺跡	17	古曽通りB遺跡	23	権現山古墳群	29	南山遺跡	35	神服織機殿神社	41	神山城跡
6	北野遺跡	12	涌早崎遺跡	18	大塚山古墳	24	西野々広古墳群	30	大雷寺廃寺	36	服部遺跡		

第１図　遺跡位置図（１：50,000）　　国土地理院『松阪港』『松阪』『明野』（１：25,000）より



第２図　調査区位置図①（１：4,000）　　明朝：平成13年度調査区　ゴシック：平成12年度調査区

第３図　調査区位置図②（１：4,000）

Ⅲ　調査の成果～層位と遺構～

１　川島遺跡

調査区は、櫛田川右岸の沖積平野上に位置する。以下に、各地区ごとに基本層序と主な遺構について概述する。他の遺構の詳細については遺構一覧表を参照されたい。

（１）門前Ⅰ地区

ａ　基本層序

調査区の現況は水田で、標高約3.0mのところに位置する。層序は、第１層が表土で黄灰色シルト、第２層が浅黄色シルト、第３層が橙色シルト、第４層はにぶい黄褐色砂質土である。この第４層上面で中世の遺構を検出したが、調査区を通して安定せず、にぶい黄褐色シルトや明褐色シルト、褐色シルトなどに変化していく。また、調査区中央部には旧河道が通る。

ｂ　遺構

調査区は南北に長く、途中で途切れるが長さ約230m×幅約２mである。遺構は北部と南部にまとまり、中央部分は旧河道であると思われる。遺構は13世紀前半頃と15世紀後半頃のほぼ２時期に大別することができそうである。以下に、主な遺構の概要を述べる。詳細については遺構一覧表を参照されたい。

井戸ＳＥ237（第９図）　調査区北部のｃ７グリッド付近で検出した遺構である。西半分が調査区外であるため全体の規模・深さは不明であるが、出土した石組みの平面形は方形に見える。長さ約15cm程度の小ぶりな長楕円の石が整然と組んである状況が観察できたが、調査区が狭く、完掘することや半裁して石組みの状況など図化・記録することはできなかった。埋土中からは陶器椀などが出土しており、13世紀前半頃のものと思われる。

井戸ＳＥ241（第10図）　調査区北部のｃ10グリッド付近で検出した遺構である。西半分が調査区外であるため、全体の規模は不明である。調査区の関係から完掘はできなかったが、土層の観察を可能な深さまで行った結果、標高約2.0mの部分から南伊勢系土師器の鍋や羽釜などが出土した。同じ所からこぶし大程度の石も観察でき、その状態が組んであるようにも見えることから、今回掘削した部分が掘り方であり、中心が調査区の西側にある石組みの井戸である可能性も考えられる。15世紀後半頃のものであると思われる。

溝ＳＤ243（第11図）　調査区北部のｃ10グリッド付近で検出した遺構である。ほぼ東西方向の溝で、ＳＤ240に切られる。幅などは不明であるが、深さは深いところで約40cm程度である。埋土内からは土師器皿や小皿、山茶椀などがまとまって出土しており、13世紀前半頃のものと思われる。

（２）門前Ⅱ地区

ａ　基本層序

調査区の現況は水田で、標高約3.0mのところに位置する。層序は調査区の南半部と北半部とで大きく違う。南半部は色調などの違いはあるが、基本的に砂や礫の堆積層の上にシルト層がかぶっている状態である。それに対して、北半部はシルトの堆積層で、旧耕作土と旧床土との互層になっており、常に湿っている。

これらのことから、南部に自然堤防が存在し、北部が後背湿地になっていると考えられる。

ｂ　遺構

調査区は南北に長く、長さ約190m、幅約2.5mで調査区南部は東に湾曲する。全体的に遺構密度が低く、特筆するものはない。

（３）門前Ⅲ地区

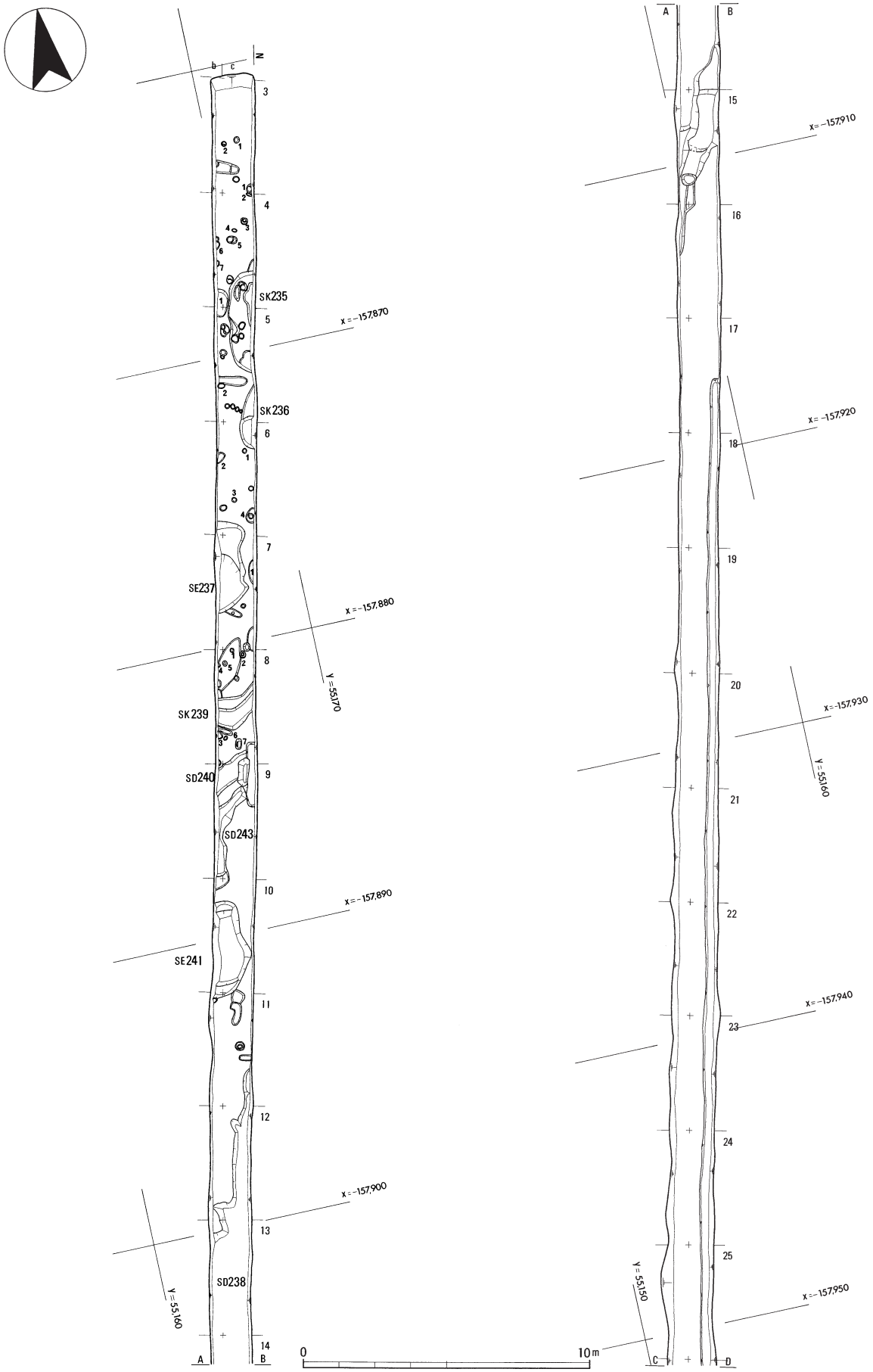
ａ　基本層序

現況は水田で、標高約2.8mのところに位置する。遺構はにぶい黄橙色砂質シルト上で検出した。

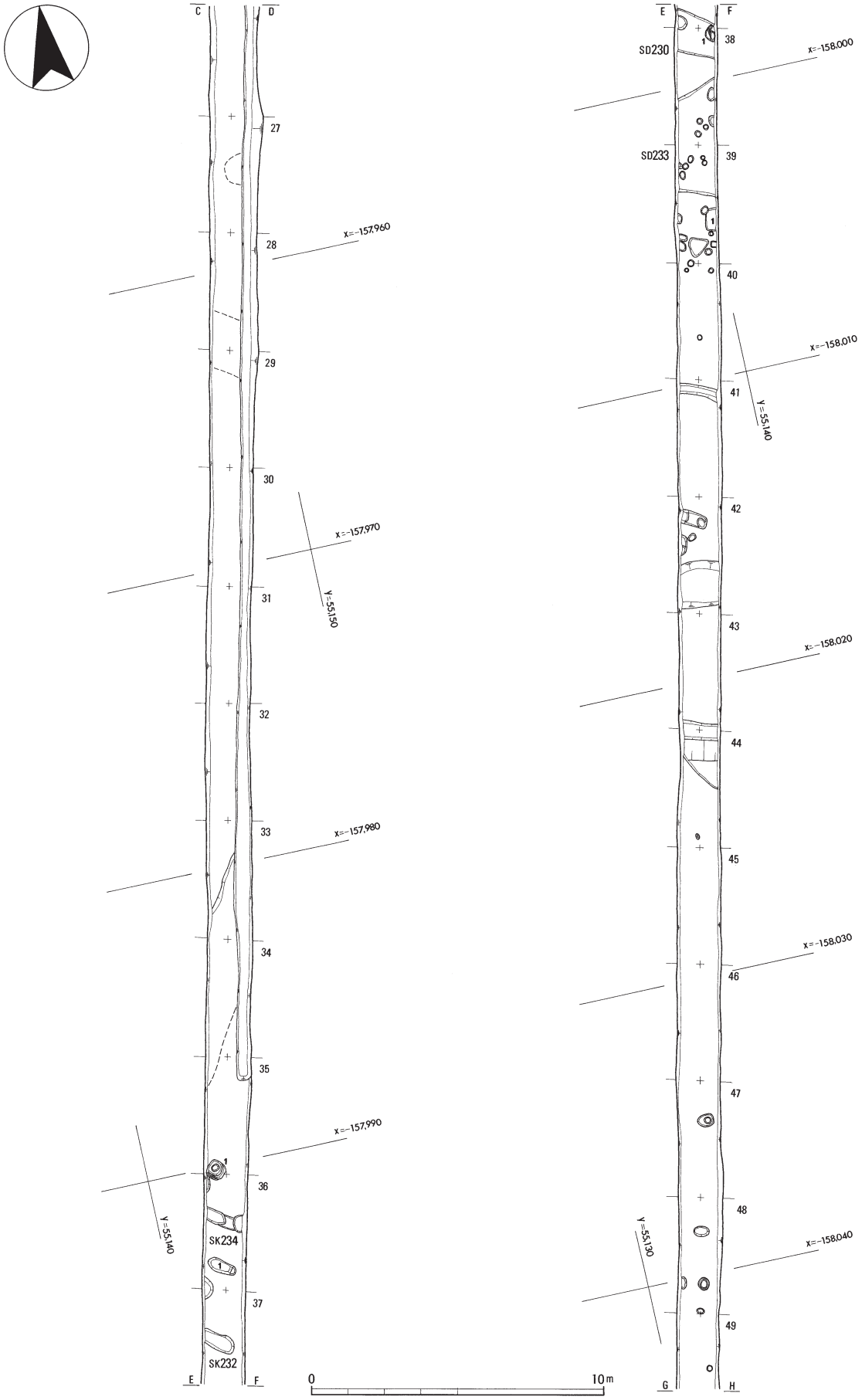
ｂ　遺構

調査区は逆Ｌ字形で、南北が約50m、東西が約13m、幅1.5mである。溝やｐｉｔを検出した。

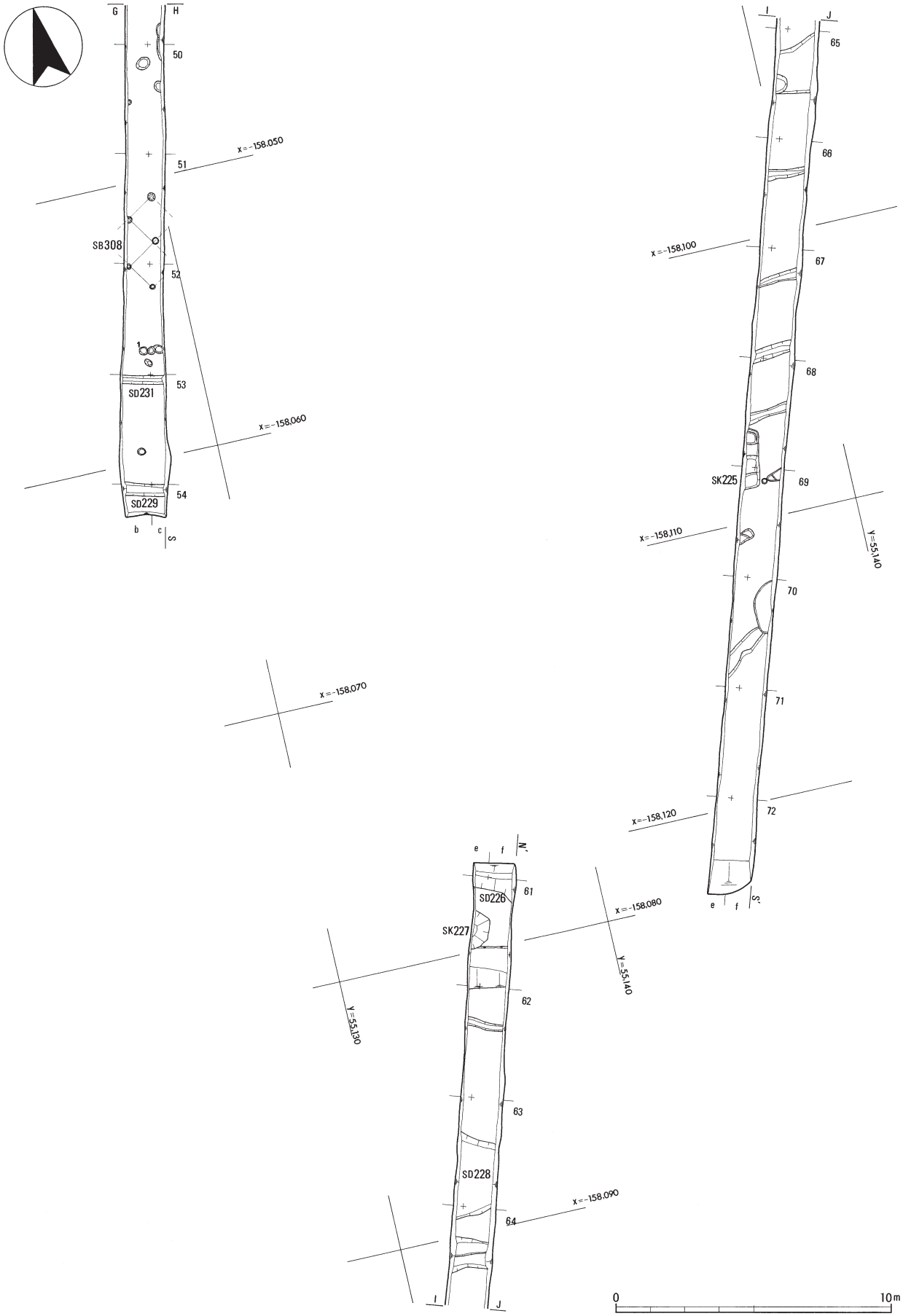
溝ＳＤ202　調査区中央部のｄ８グリッド付近で検出した遺構である。調査区南西から北東へ延びる溝で、深さは約20～30cm程度である。埋土中からは



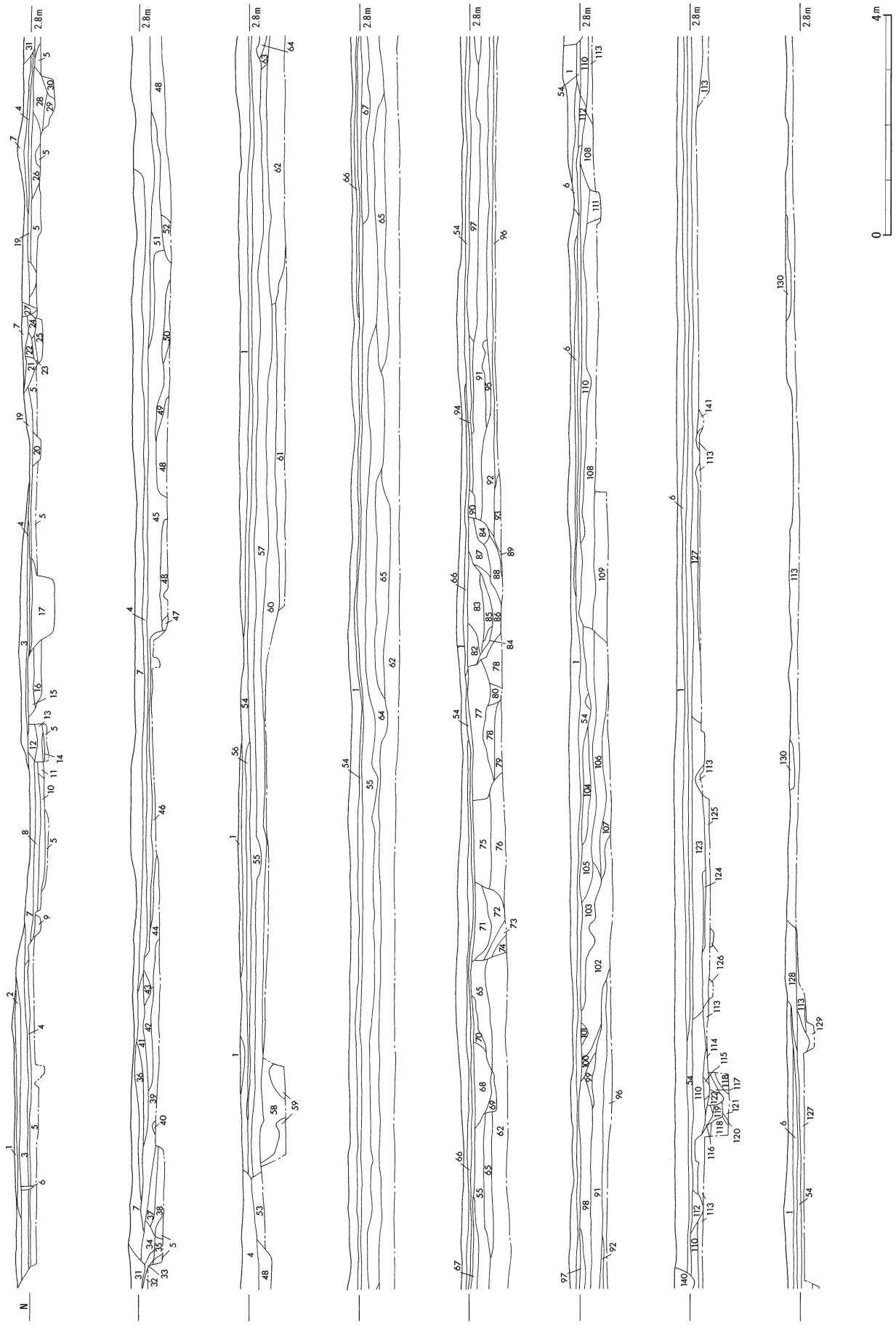
第４図　門前Ｉ地区　遺構平面図①（1：200）



第５図　門前Ｉ地区　遺構平面図②（１：200）

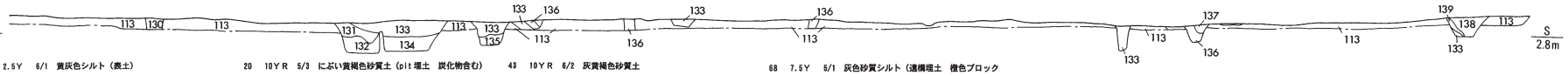


第６図　門前Ｉ地区　遺構平面図③（１：200）

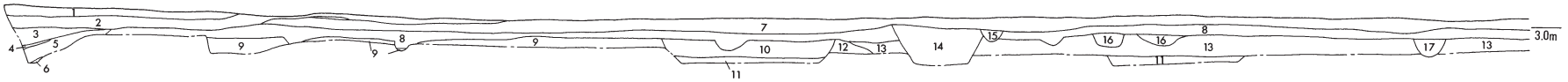


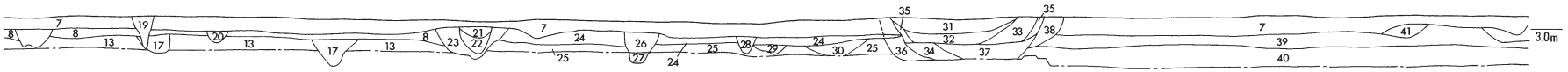
第７図　門前Ｉ地区　土層断面図①（1：100）

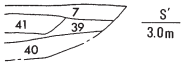
第８図　門前Ⅰ地区　土層断面図②（1：100）



1　2.5Y　6/1　黄灰色シルト（表土）
2　2.5Y　6/2　灰黄色シルト
3　2.5Y　7/3　浅黄色シルト
4　7.5YR　6/8　橙色シルト
5　10YR　5/4　にぶい黄褐色砂質土（鉄分多く含む）
6　N　4/0　灰色シルト
7　2.5Y　7/1　灰白色砂質土に10YR　5/6　黄橙色土ブロック含む
8　N　5/0　灰色砂質シルトに2.5Y　6/4　にぶい黄色ブロック含む（ＳＫ235埋土　炭化物含む）
9　5Y　7/2　灰白色砂質土に5Y　6/1　灰色ブロック含む（pit埋土）
10　5Y　6/1　灰色砂質シルト（ＳＫ235埋土　炭化物含む）
11　10Y　5/1　灰色砂質シルト（炭化物含む）
12　10YR　5/1　褐灰色砂質シルト（ＳＫ235内pit埋土　炭化物含む）
13　10YR　6/1　褐灰色砂質シルト（ＳＫ235内pit埋土　12よりしまる　炭化物含む）
14　10YR　6/1　褐灰色砂質シルト（ＳＫ235内pit埋土　13より砂質強い　炭化物含む）
15　10YR　4/1　褐灰色砂質土（ＳＫ236埋土　砂粒粗い　小石混じる）
16　10YR　5/3　にぶい黄褐色砂質土（ＳＫ236埋土　小石・炭化物含む）
17　10YR　5/2　灰黄褐色砂質土（ＳＫ236埋土　炭化物含む）
18　2.5Y　6/2　灰黄色砂質土（粒細かい　よくしまる）
19　10YR　6/4　にぶい黄橙色砂質土（鉄分多く含む）
20　10YR　5/3　にぶい黄褐色砂質土（pit埋土　炭化物含む）
21　5YR　5/2　灰褐色砂質シルト（pit埋土　炭化物含む）
22　5Y　6/1　灰色砂質シルト（pit埋土　よくしまる　鉄分多く含む）
23　2.5Y　6/6　明黄褐色砂質土（pit埋土　粒細かい）
24　7.5Y　5/1　灰色砂質シルト（pit埋土　鉄分含む）
25　10Y　5/1　灰色砂質土（pit埋土　中砂）
26　7.5YR　4/2　灰褐色砂質シルト（ＳＤ239埋土　炭化物含む）
27　10Y　6/1　灰色シルト
28　7.5YR　5/3　にぶい褐色砂質土（ＳＤ239埋土　炭化物含むよくしまる）
29　10YR　5/4　にぶい黄褐色砂質土（ＳＤ239埋土　炭化物含むよくしまる）
30　10YR　6/4　にぶい黄橙色砂質土（ＳＤ239埋土　砂質強い）
31　N　6/0　灰色シルト（鉄分少量含む）
32　10YR　4/4　褐色砂質シルト（ＳＤ埋土　鉄分含む）
33　10YR　6/2　灰黄褐色砂質シルト（ＳＤ243埋土　鉄分多く含む）
34　10YR　6/1　褐灰色シルト（ＳＤ240埋土　炭化物含む）
35　10YR　5/2　灰黄褐色砂質土（ＳＤ243埋土）
36　10YR　6/8　明黄褐色砂質シルト
37　10YR　5/4　にぶい黄褐色シルト（ＳＤ埋土　炭化物含む）
38　10YR　7/4　にぶい黄橙色砂質土（ＳＤ埋土　鉄分多く含む）
39　2.5Y　6/3　にぶい黄色砂質シルト（鉄分含む）
40　N　6/0　灰色砂（小石混じる）
41　2.5Y　3/2　黒褐色砂質シルト（炭化物含む）
42　10YR　6/4　にぶい黄橙色砂質シルト（炭化物含む）
43　10YR　6/2　灰黄褐色砂質土
44　10YR　5/3　にぶい黄褐色砂質シルト（検出面）
45　7.5YR　5/8　明褐色土（ＳＤ238埋土　砂・灰色シルト混じる）
46　7.5YR　7/1　明褐灰色砂質土（南ほど粗砂）
47　7.5YR　4/4　褐色砂質土（ＳＤ238埋土）
48　5Y　5/1　灰色粘質土（ＳＤ238埋土　砂・小石・褐色土ブロック混じる）
49　5Y　5/1　灰色砂（ＳＤ238埋土　鉄分含む）
50　2.5Y　5/1　灰色砂（ＳＤ238埋土　鉄分含む）
51　N　4/0　灰色砂（ＳＤ238埋土　鉄分含む）
52　51より粗砂（ＳＤ238埋土）
53　5YR　4/4　にぶい赤褐色シルト（灰色ブロック混じる）
54　7.5YR　6/8　橙色シルト
55　2.5Y　6/1　黄灰色砂質シルト（鉄分多く含む）
56　10YR　7/3　にぶい黄橙色砂質シルト
57　2.5Y　5/2　暗灰黄色砂質シルト（鉄分多く含む）
58　10YR　5/6　黄褐色シルト（ＳＤ242埋土　鉄分少量含む）
59　10YR　4/4　褐色シルト（ＳＤ242埋土）
60　10YR　6/3　にぶい黄橙色砂質シルト（検出面）
61　中砂
62　10YR　4/3　にぶい黄褐色シルト（検出面）
63　5Y　5/2　灰オリーブ砂（褐色土ブロック混じる）
64　10YR　5/2　灰黄褐色砂質シルト（55よりシルト強い）
65　10YR　4/3　にぶい黄褐色シルト
66　5Y　6/1　灰色シルト
67　5Y　5/1　灰色シルト（鉄分多く含む）
68　7.5Y　5/1　灰色砂質シルト（遺構埋土　橙色ブロック混じる）
69　7.5Y　5/1　灰色粘質土（遺構埋土）
70　N　6/0　灰色シルト（遺構埋土　橙色ブロック混じる）
71　10YR　6/1　褐灰色砂質シルト（遺構埋土　鉄分含む）
72　10YR　6/1　褐灰色シルト（遺構埋土　鉄分含む）
73　10YR　4/6　褐色砂質シルト（遺構埋土　鉄分含む）
74　10YR　6/1　褐灰色粘質土（遺構埋土）
75　2.5Y　5/2　暗灰黄色砂質シルト（よくしまる）
76　10YR　4/2　灰黄褐色砂質シルト（粒粗い）
77　10YR　5/2　灰黄褐色砂質シルト（粒粗い）
78　10YR　4/1　褐灰色砂質シルト（シルト強い）
79　10YR　6/1　褐灰色粘質土
80　78より砂質強い
81　5Y　5/2　灰オリーブ色砂質シルト（砂質強い）
82　5Y　5/1　灰色シルト（ＳＤ埋土）
83　5Y　5/1　灰色砂質土（ＳＤ埋土　小石・鉄分含む）
84　7.5YR　3/4　暗褐色砂質土（ＳＤ埋土）
85　中砂
86　2.5Y　6/2　灰黄褐色シルト（ＳＤ埋土）
87　2.5Y　5/1　黄灰色砂質土（ＳＤ埋土　粒粗い）
88　2.5Y　5/1　黄灰色砂（ＳＤ埋土　粘質土混じる）
89　2.5Y　5/1　黄灰色粘質土（ＳＤ埋土）
90　2.5Y　6/1　黄灰色砂質シルト（ＳＤ埋土）
91　2.5Y　6/2　灰黄色砂質シルト（しまる）
92　2.5Y　5/2　暗灰黄色シルト
93　2.5Y　6/3　にぶい黄色シルト（鉄分含む）
94　5Y　5/2　灰オリーブ色シルト
95　5Y　5/1　灰色砂質シルト
96　5Y　4/1　灰色砂質シルト（砂質強い　粒粗い）
97　5Y　6/3　オリーブ黄色砂質シルト（鉄分含む）
98　91より砂質強い
99　2.5Y　7/2　灰黄色砂質シルト
100　10YR　5/3　にぶい黄褐色シルト（砂混じる）
101　10YR　5/1　褐灰色砂質土
102　7.5YR　3/4　暗褐色砂（小石混じる）
103　7.5YR　5/1　褐灰色砂質シルト（遺構埋土）
104　10YR　4/2　灰黄褐色砂質シルト（遺構埋土）
105　10YR　5/1　褐灰色砂（遺構埋土）
106　10YR　5/1　褐灰色粘質土（遺構埋土　砂混じる）
107　10YR　6/6　明黄褐色砂質シルト（遺構埋土　鉄分多く含む）
108　10YR　5/6　黄褐色シルト（検出面　鉄分多く含む）
109　10YR　6/1　褐灰色砂質シルト
110　10Y　5/1　灰色砂質シルト（鉄分多く含む）
111　10YR　6/2　灰黄褐色砂質シルト（pit埋土　鉄分多く含む）
112　N　6/0　灰色砂質シルト（橙色ブロック混じる　鉄分含む）
113　10YR　5/4　にぶい黄褐色シルト（検出面　鉄分含む）
114　10YR　7/6　明黄褐色砂質シルト（ＳＤ230埋土　鉄分含む）
115　10YR　7/4　にぶい黄橙色砂質シルト（ＳＤ230埋土　鉄分含む）
116　10YR　5/2　灰黄褐色砂質土（pit埋土　鉄分含む）
117　10YR　5/6　黄褐色砂質シルト（pit埋土）
118　10YR　5/4　にぶい黄褐色シルト
119　10YR　7/4　にぶい黄橙色シルト（pit埋土）
120　10YR　7/6　明黄褐色シルト
121　10YR　6/2　灰黄褐色砂質シルト
122　10YR　7/2　にぶい黄橙色砂質シルト（pit埋土　鉄分含む）
123　2.5Y　5/1　黄灰色砂質シルト（黄橙色ブロック混じる鉄分含む）
124　7.5YR　6/6　橙色砂質シルト（ＳＤ233埋土　鉄分含む）
125　10YR　4/6　褐色シルト（ＳＤ233埋土　鉄分含む）
126　5YR　5/8　明赤褐色土（pit埋土　鉄分多く含む）
127　10YR　7/6　明黄褐色シルト（鉄分非常に多い）
128　2.5Y　7/1　灰白色シルト（炭化物含む）
129　10YR　6/6　明黄褐色シルト（炭化物含む）
130　10YR　6/3　にぶい黄橙色シルト（鉄分含む）
131　10YR　7/2　にぶい黄橙色砂質シルト（pit埋土）
132　10YR　6/6　明黄褐色砂質シルト（pit埋土　小石混じる）
133　10YR　5/1　褐灰色シルト（pit埋土）
134　10YR　6/4　にぶい黄橙色砂質シルト（遺構埋土）
135　10YR　6/2　灰黄褐色砂質シルト（pit埋土）
136　10YR　4/1　褐灰色砂質シルト（ＳＤ231埋土　炭化物含む）
137　10YR　5/3　にぶい黄褐色砂質シルト（ＳＤ231埋土）
138　10YR　6/1　褐灰色シルト（ＳＤ229埋土　炭化物・鉄分含む）
139　10YR　6/1　褐灰色砂質土（ＳＤ229埋土）
140　5B　6/1　青灰色シルト
141　10YR　5/8　黄褐色砂質シルト（ＳＤ埋土）

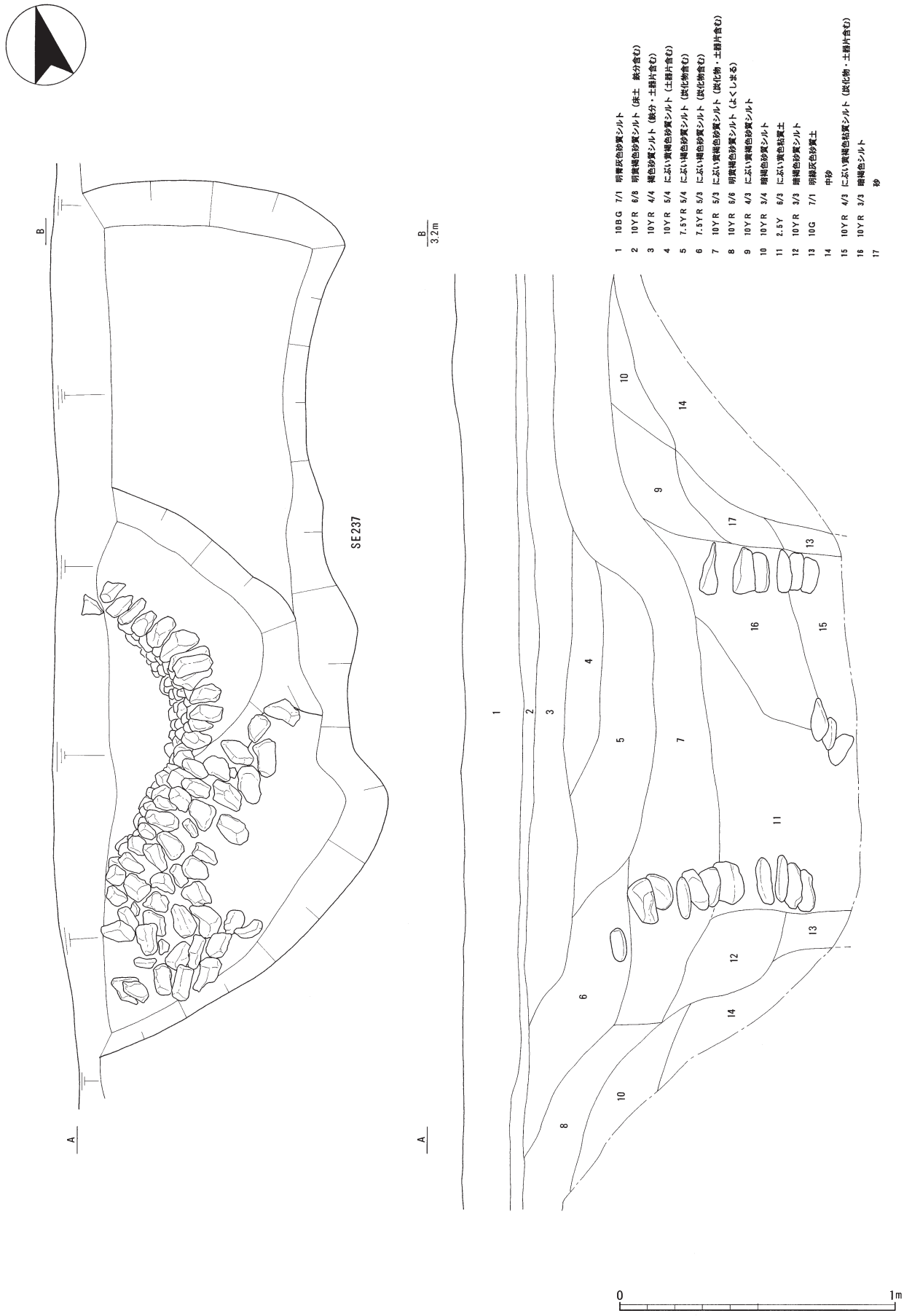






1　10YR　7/4　にぶい黄橙色シルト（鉄分含む）
2　10YR　5/1　褐灰色砂質シルト
3　10YR　6/1　褐灰色シルト（ＳＤ226埋土　土器片含む）
4　10YR　7/6　明黄褐色シルト（ＳＤ226埋土　砂混じる）
5　中砂（ＳＤ226埋土）
6　10YR　5/6　黄褐色砂質シルト（ＳＤ226埋土　砂混じる）
7　7.5YR　7/6　橙色砂質土（鉄分多く含む）
8　7.5YR　6/6　橙色砂質土（鉄分含む）
9　10YR　6/4　にぶい黄橙色シルト（検出面）
10　5Y　7/1　灰白色シルト（鉄分含む）
11　5Y　7/2　灰白色シルト（鉄分含む）
12　7.5YR　4/4　褐色シルト（灰白色ブロック混じる）
13　7.5YR　5/6　明褐色シルト（検出面）
14　10YR　6/6　明黄褐色砂質シルト
15　10YR　7/4　にぶい黄橙色砂質土（砂多く含む）
16　10YR　5/4　にぶい黄褐色砂質シルト
17　10YR　4/6　褐色砂質シルト（砂多く含む）
18　7.5YR　5/6　明褐色砂質シルト（砂含む）
19　2.5Y　7/4　浅黄色シルト
20　2.5Y　5/6　黄褐色シルト
21　7.5Y　7/3　浅黄色シルト
22　2.5Y　4/6　オリーブ褐色砂質シルト
23　2.5Y　5/4　黄褐色シルト
24　10YR　5/8　黄褐色砂質シルト
25　10YR　4/6　褐色シルト（検出面）
26　7.5YR　5/6　明褐色砂質シルト
27　5YR　4/4　にぶい赤褐色砂質シルト
28　2.5Y　8/4　淡黄色シルト（赤褐色粒混じる）
29　5YR　4/3　にぶい赤褐色シルト
30　5Y　7/4　浅黄色シルト（赤褐色粒混じる）
31　5YR　5/4　にぶい赤褐色シルト（土器片含む）
32　7.5YR　5/2　灰褐色シルト（灰白色ブロック混じる）
33　5Y　7/2　灰白色シルト
34　5Y　7/4　浅黄色シルト（灰白色ブロック混じる）
35　7.5YR　6/6　橙色砂質土
36　10YR　6/6　明黄褐色シルト
37　5B　7/1　明青灰色砂質土
38　10YR　5/6　黄褐色砂質シルト（鉄分含む）
39　10YR　5/4　にぶい黄褐色砂質土
40　中砂
41　固くしまった中砂（粒粗い）

0　4m



第９図　門前Ｉ地区　ＳＥ237　平面図，土層断面図（1：20）

古式土師器壺の口縁部（73）が出土している。

ｐｉｔ１（図版６）　調査区北部のｄ３グリッドで検出した遺構である。底からロクロ土師器の椀や陶器椀がまとまって出土した。

（４）門前Ⅳ地区

ａ　基本層序

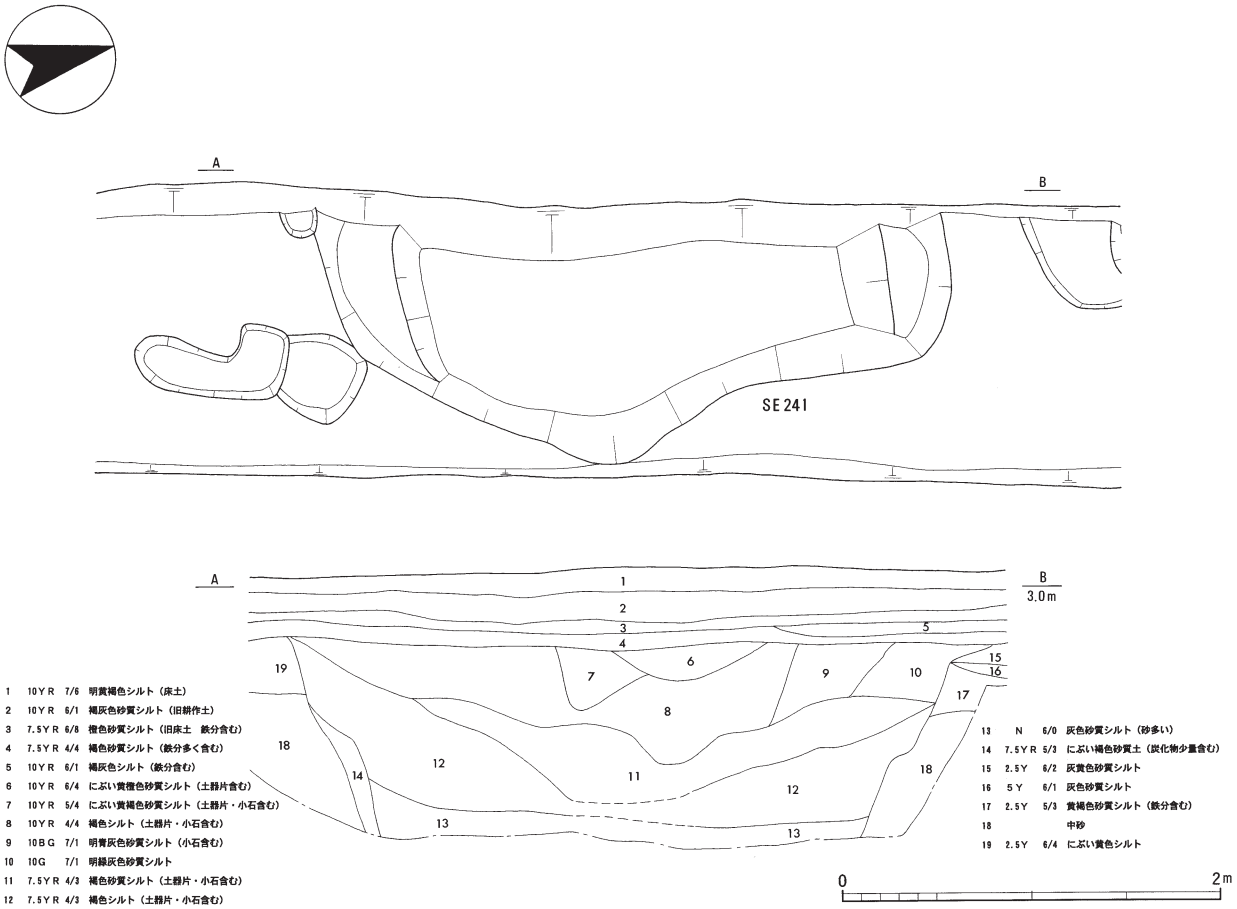
現況は水田で、標高約3.0mのところに位置する。県道を挟んで東と西に調査区があり、併せて延長200mになる。便宜上東側の調査区をⅣＡ地区、西側の調査区をⅣＢ地区とした。ⅣＡ地区の層序は、第１層が耕作土で褐灰色土、第２層が床土で明褐色土、第３層が灰褐色シルト、第４層が褐灰色シルトである。この第４層上面で中世の遺構を検出した。またⅣＢ地区の層序は、第１層がオリーブ黄色シルト、第２層が黄褐色砂質シルト、第３層が明黄褐色砂質シルトである。この第３層上面で中世の遺構を検出したが、調査区の西部上面は削平されており、第２層が確認できなかった。東部分の遺構は第２層上面から切りこんでいることから、この層上面が本来の中世の面である可能性が高い。

ｂ　遺構

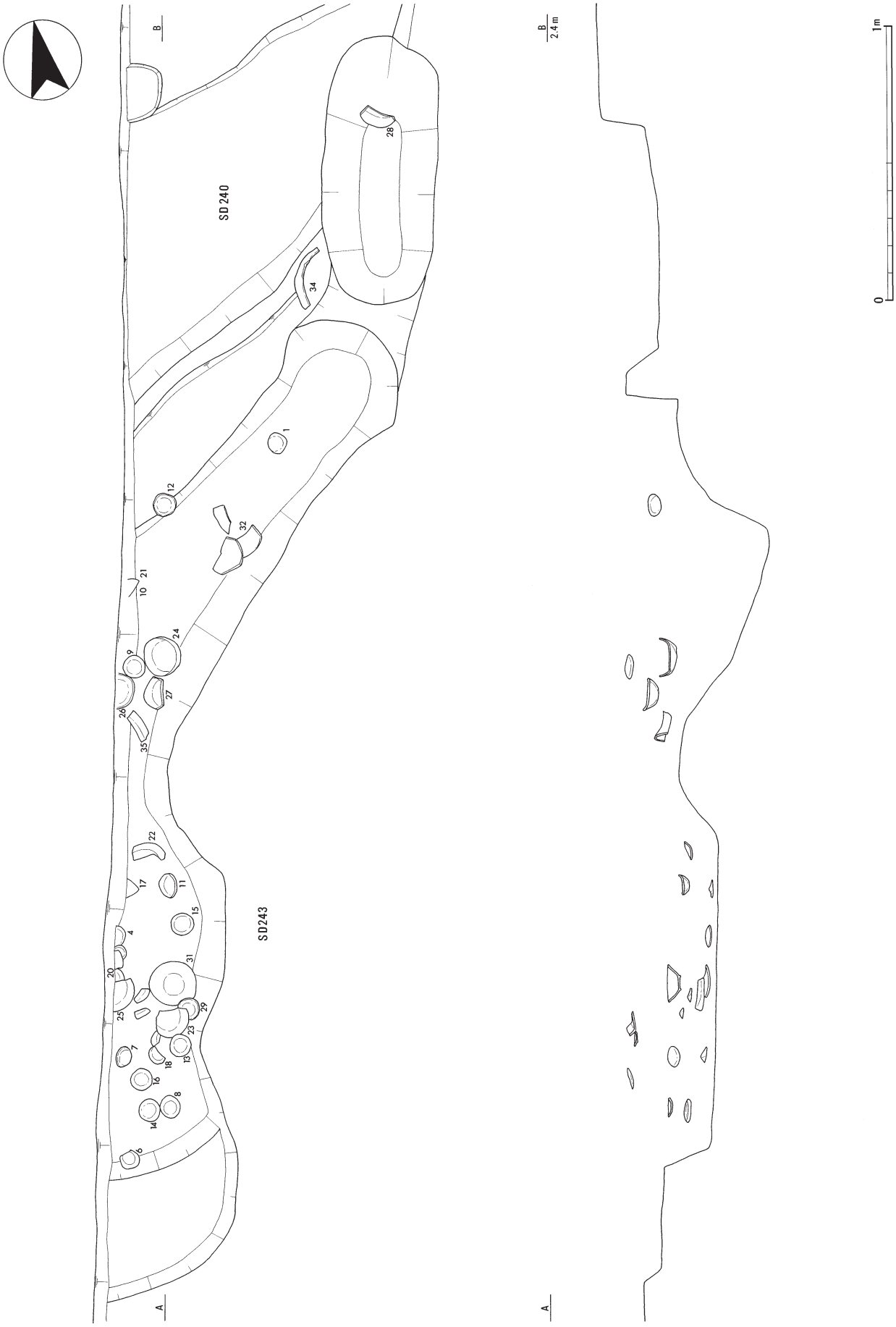
ⅣＡ地区とⅣＢ地区、あわせて東西約200mの調査を行った。検出した遺構は両地区とも溝が中心であるが、ⅣＡ地区の方は出土遺物の量が非常に少なく、遺構もはっきりしない。

土坑ＳＫ258（第21図）　ⅣＢ地区西部のｇ４グリッドで検出した遺構である。検出面からの深さは約1.2m程で、底部から南伊勢系の鍋が２個体（101・102）出土している。101は煤が付着していない未使用のものであった。埋土中からは石も木も出ていないが、形状から素掘りの井戸である可能性が考えられる。15世紀後半頃のものと思われる。

溝ＳＤ266・267　ⅣＢ地区西部のｇ７グリッド付近で検出した遺構である。調査時には別の遺構として掘削してしまったが、出土遺物や埋土の様子から、同一遺構であると考える。溝の南部が調査区外にあるため規模は不明であるが、掘削できた場所で、検出面からの深さは約0.5～0.6mである。埋土中からは陶器の椀（104～109）や壺（111）が出土している。



第10図　門前Ｉ地区　ＳＥ241　平面図，土層断面図（１：40）



第11図　門前Ⅰ地区　ＳＤ243　遺物出土状況図（1：20）

（5）門前Ⅴ地区

a　基本層序

現況は水田で、標高約3.2mのところに位置する。層序は第１層が黄灰色土で約20cmほど堆積する。その下は、調査区東部については第２層が黄褐色土や黄橙色土、第３層が褐灰色土やにぶい赤褐色土、第４層に概ね砂層が確認できる。それに対して、調査区西部では、第２層以下砂層・砂礫層となる。砂礫層には中世から近世にかけての遺物が散見できる。門前Ⅱ地区の南部で確認できた自然堤防がこの地区の西部に続くものと思われる。

b　遺構

旧河道ＳＲ215　調査区ほぼ中央部のｂ９グリッド付近で検出した遺構である。調査区を横断し、軸が北東～南西方向を向く。幅は約17mである。検出面から約20cm程掘り下げたが、出土遺物も少なく周りが脆弱であったため完掘しなかった。埋土は砂や礫の互層になっており、水の流れが伺える。陶器椀や鉢、土師器の皿や椀などが出土している。

溝ＳＤ217　調査区東部のｂ19グリッド付近で検出した東西方向の溝である。大部分が調査区外にあるため規模は不明である。埋土中からは土師器の皿や椀、陶器の椀・鉢などの破片が数多く出土している。

（6）門前Ⅶ地区

a　基本層序

現況は畑地である。調査区は、県道を挟んで北部と南部に分かれ、標高約4.6～4.8mのところに位置する。周囲の水田から約0.8～1.2mほど高く、盛土を行った上に現在の耕作土が乗っている状況である。盛土内からは中世の遺物を中心に近世のものも少量含むことから、近世の早い段階に盛土を行ったと考えられる。

b　遺構

南北いずれの調査区も、盛土上に中近世の遺構が存在する。検出面の様子が場所によって違うため、検出は非常に困難であった。北の調査区では、円形ないしは楕円形に約10cmほど掘りくぼめたところに集石が見られた。これらの集石は根石（栗石）[①]と考えられることから、礎石を持つ建物の存在が想定できる。

土坑ＳＫ297　南の調査区の北部、ｄ８グリッドで検出した遺構である。平面は楕円形で、長軸約1.6m×短軸約1.3m、深さは検出面から約0.4mである。埋土中からは土師器の皿や陶器の灯明皿などが出土している。近世の遺構である。

土坑ＳＫ298　南の調査区の南部、ｅ10グリッドで検出した遺構である。平面は長楕円形で長軸約3.2m×短軸約2.0m、検出面からの深さは約0.6mである。底から土師器壺が出土したが、その中には土師器の小皿片が入っていた。近世の遺構である。

（7）塩角Ⅳ地区

a　基本層序

現況は水田で、標高約2.4mのところに位置する。調査区は西部・北部・中央部・南部の４つに分かれている。

西部の層序は、第１層が灰オリーブ色砂質シルト、第２層が旧耕作土で褐灰色砂質シルト、第３層が旧床土で明黄褐色砂質シルト、第４層が灰色砂質シルト、第５層がにぶい黄色シルト、以下下層を確認すると黄灰色シルト、灰褐色砂質シルト、青灰色粘質土、暗青灰色粘質土と続く。

南部の層序は第１層が黄褐色砂質シルト、第２層が灰オリーブ色砂質シルト、第３層が暗オリーブ色砂質シルト、第４層がオリーブ黄色粘質土、第５層がにぶい黄色シルト、以下にぶい黄色砂質シルト、青灰色砂質シルト、青灰色シルト、暗青灰色粘質土となる。

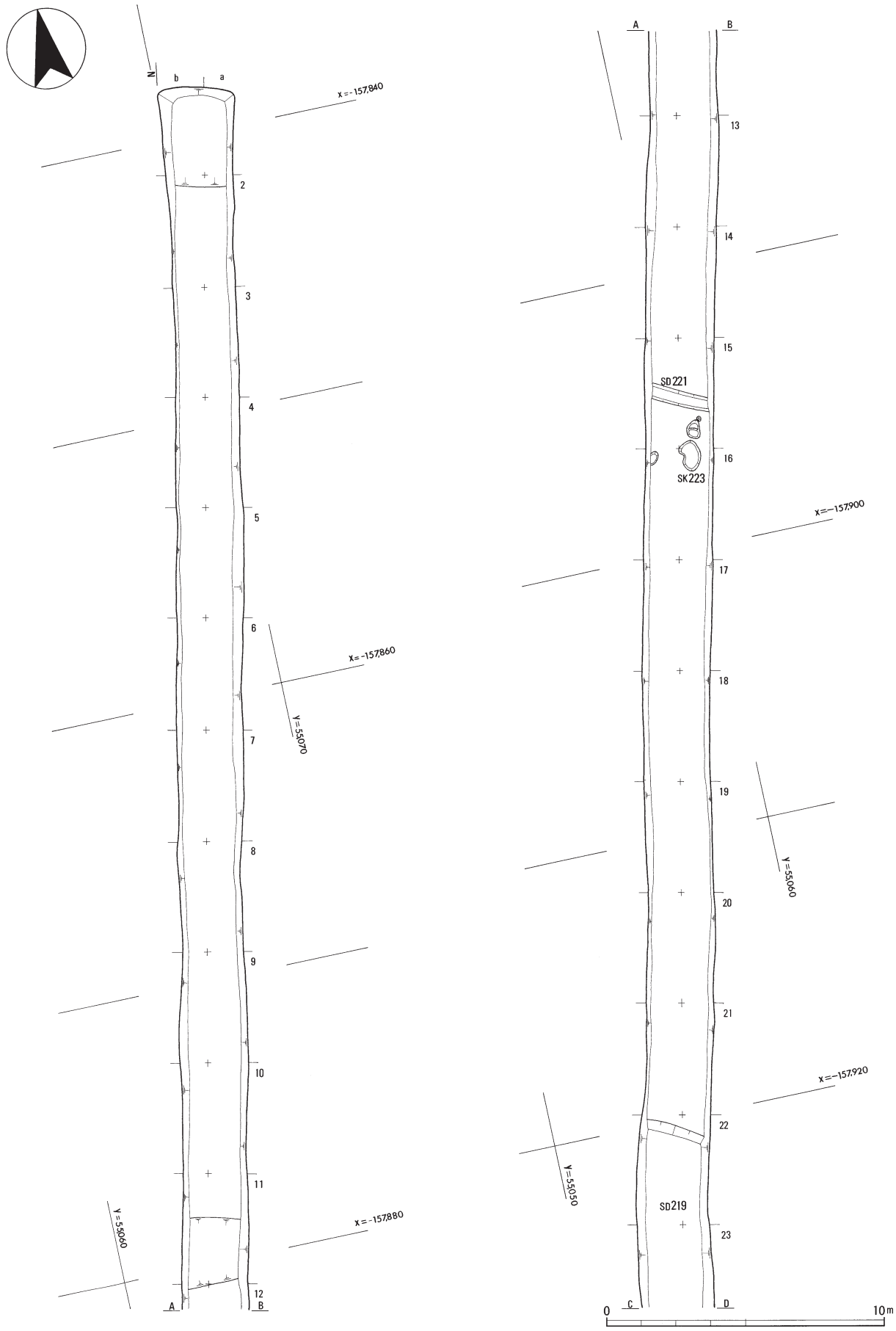
中央部の層序は、上から約60cmほどまで旧耕作土と旧床土が交互に堆積している。以下、褐色砂質シルト、灰白色粘質土、青灰色粘質土となり、その下標高約0.6mほどで砂層が確認できた。

北部の層序は第1層が旧耕作土で灰色砂質シルト、第２層が旧床土で黄橙色砂質シルト、第３層が褐色砂質シルトである。以下、耕作土と床土が交互に堆積し、その下標高約1.2mで砂層が確認できる。

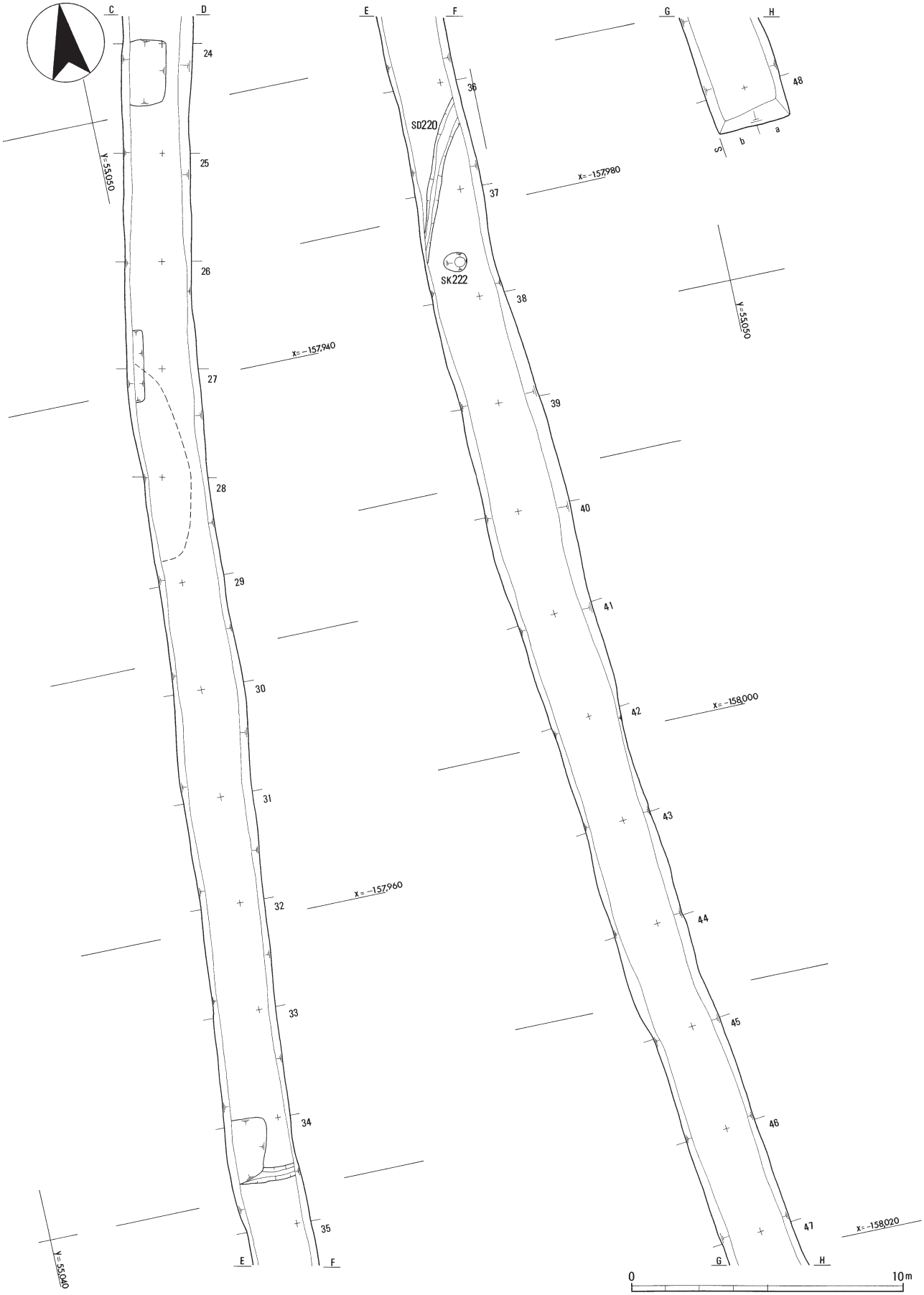
以上をまとめると、砂層が北部ほど標高の高いところで確認でき、その上には耕作土と床土が交互に堆積することが言える。

b　遺構

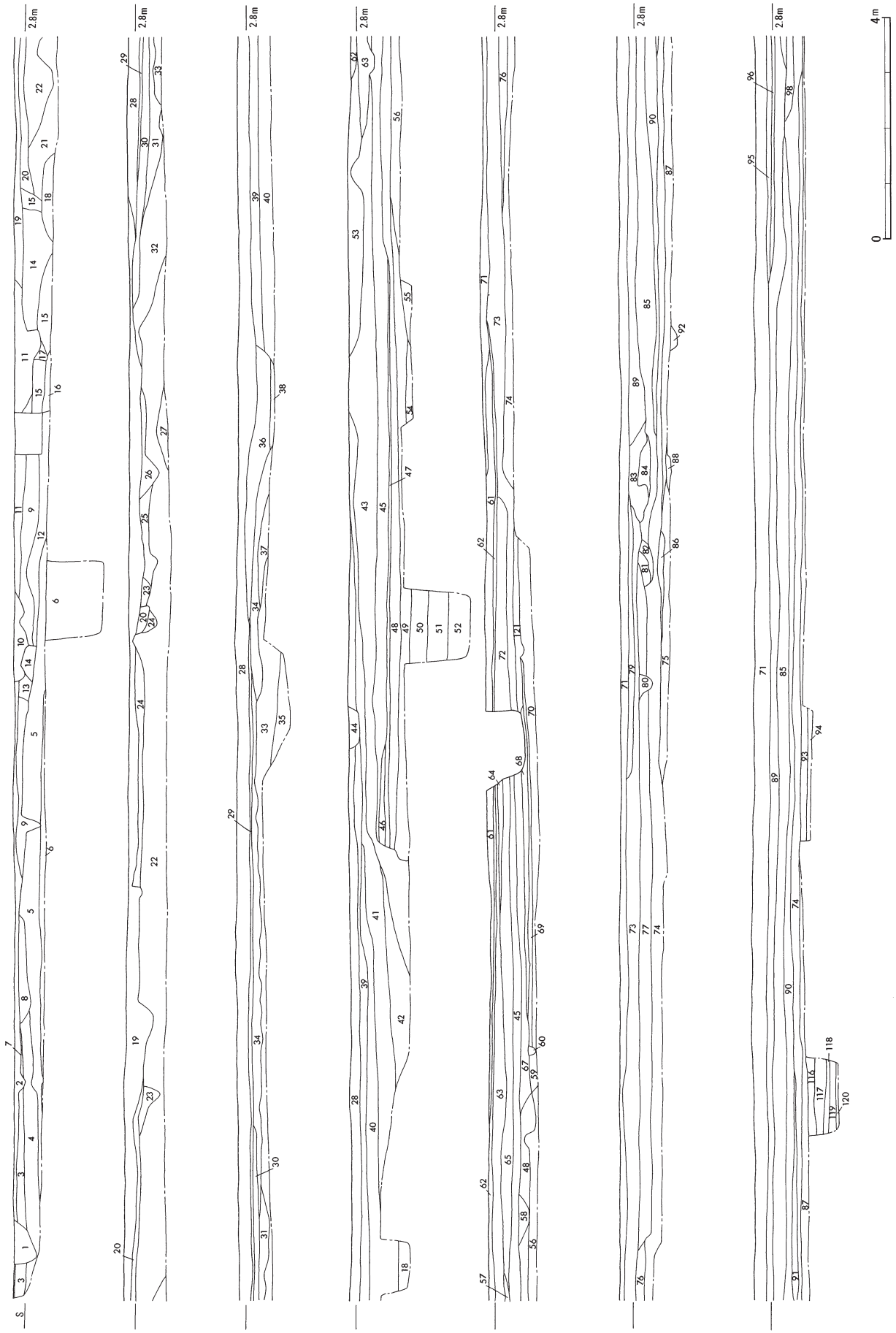
調査区は逆「ト」の字形で、南北に長く延びる。



第12図　門前Ⅱ地区　遺構平面図①（1：200）

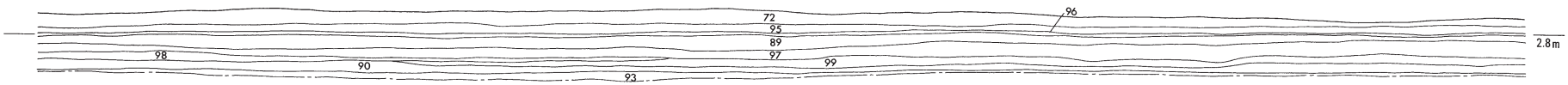


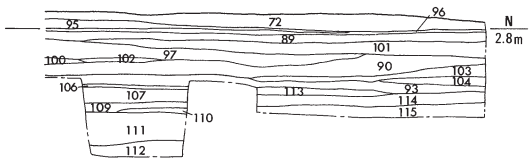
第13図　門前Ⅱ地区　遺構平面図②（1：200）



第14図　門前Ⅱ地区　土層断面図①（1：100）

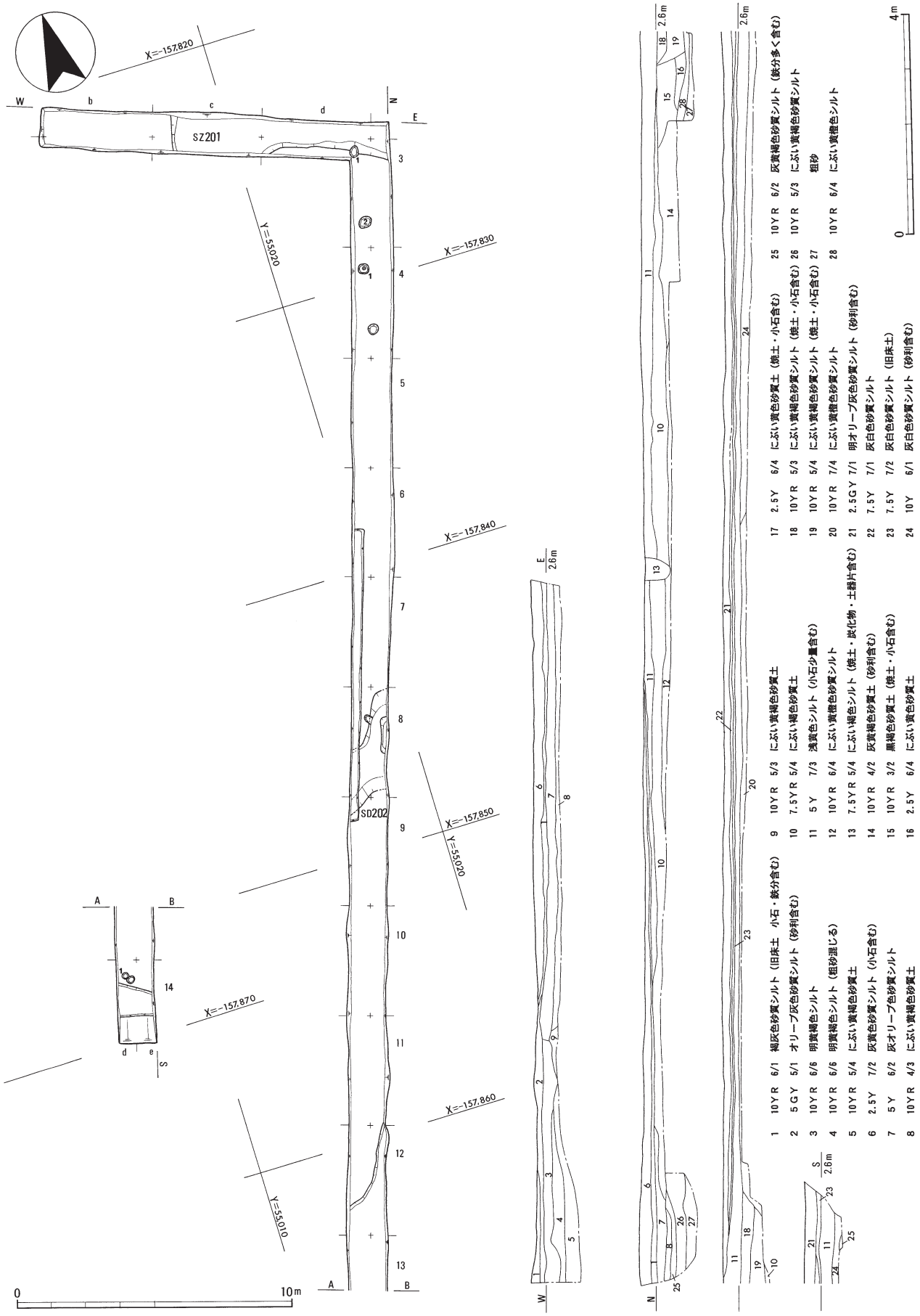
第15図　門前Ⅱ地区　土層断面図②（1：100）



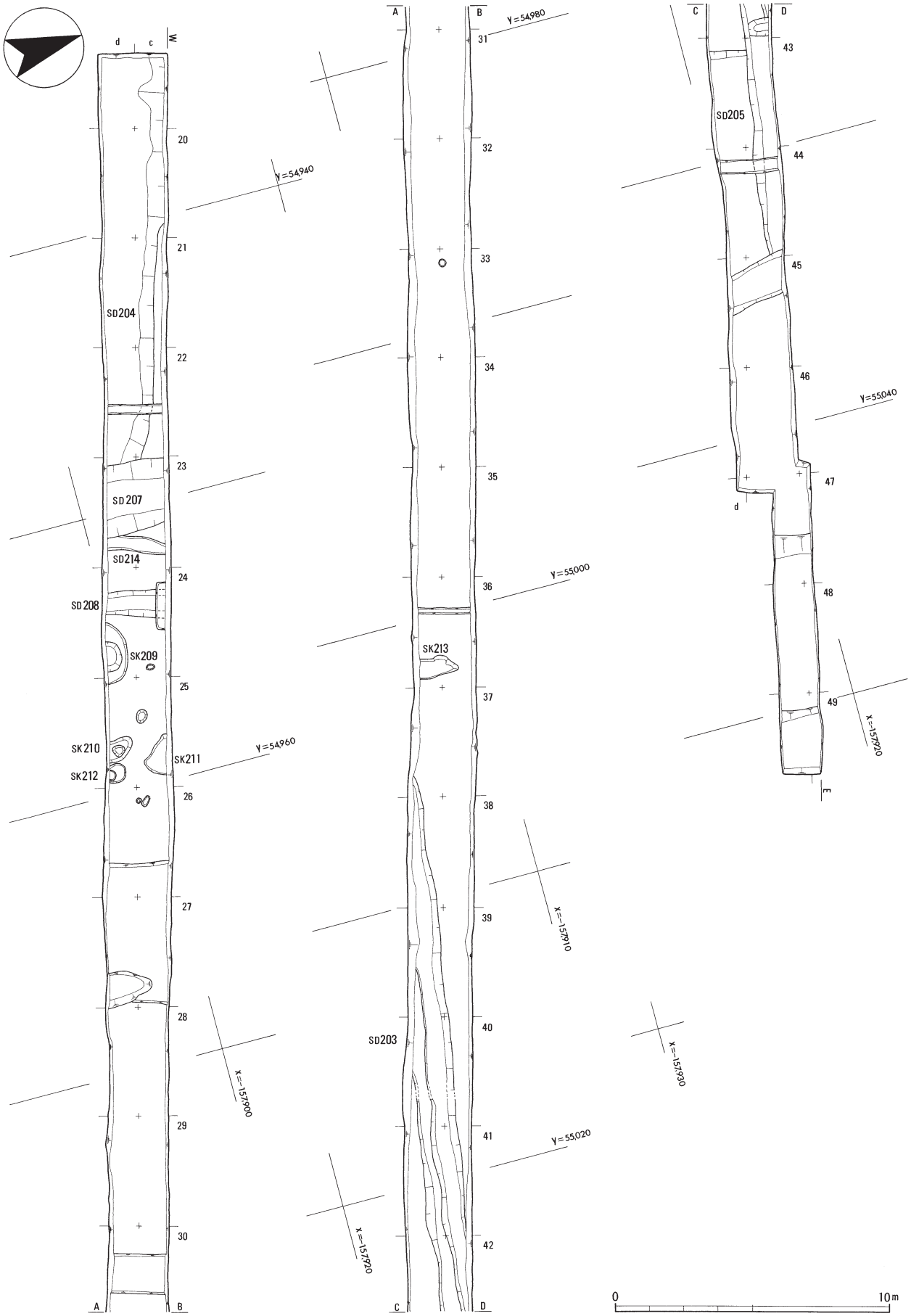


1	10ＹＲ	6/2	灰黄褐色砂（礫多く含む）
2	2.5Ｙ	5/1	黄灰色土
3	10ＹＲ	5/3	にぶい黄褐色砂質シルト（礫含む）
4	10ＹＲ	5/6	黄褐色中砂
5	10ＹＲ	6/4	にぶい黄橙色粗砂（小石含む）
6	2.5Ｙ	5/2	暗灰黄色細砂
7	10ＹＲ	4/2	灰黄褐色粗砂（礫含む）
8	10ＹＲ	6/4	にぶい黄橙色粗砂（礫含む）
9	10ＹＲ	5/6	黄褐色粗砂（礫含む）
10	2.5Ｙ	6/1	黄灰色シルト
11	10ＹＲ	8/6	黄橙色シルト質粗砂（礫含む）
12	10ＹＲ	5/6	黄褐色粗砂
13	2.5Ｙ	6/3	にぶい黄色シルト（小石多く含む）
14	7.5ＹＲ	5/6	明褐色粗砂
15	10ＹＲ	7/1	灰白色砂質シルト（礫含む）
16	2.5Ｙ	5/2	暗灰黄色細砂
17	2.5Ｙ	4/2	暗灰黄色シルト（粗砂混じる）
18	2.5Ｙ	5/4	黄褐色粗砂（礫含む）
19	2.5Ｙ	7/2	灰黄色シルト（礫多く含む）
20	10ＹＲ	7/6	明黄褐色砂質シルト（礫含む）
21	2.5Ｙ	4/6	オリーブ褐色中砂（小石含む）
22	2.5Ｙ	5/2	暗灰黄色粗砂
23	10ＹＲ	4/2	灰黄褐色砂質シルト
24	10ＹＲ	6/1	褐灰色粗砂（礫含む）
25	2.5Ｙ	6/4	にぶい黄褐色粗砂
26	５Ｙ	5/2	灰オリーブ礫
27	2.5Ｙ	5/6	黄褐色中砂
28	５Ｙ	6/1	灰色砂質シルト（礫含む）
29	10ＹＲ	5/4	にぶい黄褐色シルト（鉄分含む）
30	2.5Ｙ	7/4	浅黄橙色砂質シルト
31	2.5Ｙ	5/3	黄褐色砂質シルト（小石含む）
32	7.5Ｙ	7/2	灰白色粗砂（小石含む）
33	2.5Ｙ	6/3	にぶい黄色粗砂（小石多く含む）
34	2.5Ｙ	6/4	にぶい黄色砂質シルト（小石含む）
34'	2.5Ｙ	5/4	黄灰色粗砂（礫多く含む）
35	7.5Ｙ	6/1	灰色中砂（粗砂混じる）
36	2.5Ｙ	6/4	にぶい黄色シルト（鉄分多く含む）
37	2.5ＧＹ	6/1	オリーブ灰色砂質シルト（粗砂混じる）
38	2.5ＧＹ	5/1	オリーブ灰色粗砂
39	10ＹＲ	7/6	明黄褐色シルト（小石含む）
40	2.5Ｙ	6/3	にぶい黄色シルト（小石含む）
41	10ＹＲ	7/4	にぶい黄橙色シルト
42	2.5Ｙ	5/3	黄褐色中砂（小石含む）
43	2.5Ｙ	6/1	黄灰色粗砂（礫多く含む）
44	Ｎ	6/0	灰色砂質シルト（礫含む）
45	7.5Ｙ	5/1	灰色砂質シルト（鉄分含む）
46	2.5Ｙ	7/4	浅黄色砂質シルト（礫含む）
47	2.5Ｙ	7/8	黄色砂質シルト（旧床土　小石含む）
48	10ＹＲ	5/4	にぶい黄褐色砂質シルト
49	10ＹＲ	7/6	明黄褐色シルト（礫少し含む）
50	10ＹＲ	7/4	にぶい黄橙色シルト（粘性強い）
51	Ｎ	6/0	灰色粘質土
52	Ｎ	5/0	灰色シルト（木片含む）
53	2.5Ｙ	7/2	灰黄色砂質シルト（礫含む）
54	５ＧＹ	6/1	オリーブ灰色粘質土
55	2.5Ｙ	7/4	浅黄色シルト（小石含む）
56	10ＹＲ	8/6	黄橙色シルト（炭化物含む）
57	10ＹＲ	6/2	灰黄褐色砂質土（礫含む）
58	10ＹＲ	7/2	にぶい黄橙色砂質土
59	10ＹＲ	7/2	にぶい黄橙色砂質シルト（礫含む）
60	10ＹＲ	6/1	褐灰色砂質シルト
61	５Ｙ	6/1	灰色砂質シルト（礫含む）
62	５Ｙ	6/1	灰色砂質シルト
63	５Ｙ	7/1	灰白色砂質シルト（鉄分含む）
64	５Ｙ	7/2	灰白色砂質シルト
65	7.5Ｙ	6/1	灰色砂質シルト（鉄分・礫含む）
66	10Ｙ	7/1	灰白色砂質土（45と同層　小石含む）
67	2.5Ｙ	7/1	灰白色砂質シルト（炭化物含む）
68	10ＹＲ	6/4	にぶい黄橙色砂質シルト
69	10ＹＲ	7/6	明黄褐色シルト
70	2.5Ｙ	7/4	浅黄色シルト
71	2.5ＧＹ	6/1	オリーブ灰色砂質シルト
72	５Ｙ	6/3	オリーブ黄色砂質シルト
73	2.5Ｙ	7/1	灰白色砂質シルト（炭化物含む）
74	５Ｙ	6/1	灰色シルト
75	５Ｙ	5/3	灰オリーブ色シルト（旧床土）
76	10ＹＲ	6/3	にぶい黄橙色砂質シルト（小石含む）
77	2.5Ｙ	7/3	浅黄色砂質土
78	10ＹＲ	7/8	黄橙色砂質シルト（旧床土）
79	10ＹＲ	7/4	にぶい黄橙色砂質シルト
80	7.5Ｙ	5/2	灰オリーブ色砂質シルト（炭化物含む）
81	５Ｙ	7/1	灰白色砂質シルト（礫含む）
82	10ＹＲ	6/4	にぶい黄橙色砂質シルト（礫含む）
83	10ＹＲ	7/2	にぶい黄橙色砂質シルト（礫含む）
84	10ＹＲ	6/3	にぶい黄橙色砂質シルト（礫含む）
85	2.5Ｙ	6/3	にぶい黄色砂質シルト
86	2.5Ｙ	6/2	灰黄色砂質シルト
87	５Ｙ	6/6	オリーブ色シルト（旧床土）
88	2.5Ｙ	5/2	暗灰黄色砂質シルト
89	５ＧＹ	6/1	オリーブ灰色砂質シルト
90	2.5Ｙ	7/2	灰黄色砂質シルト
91	2.5Ｙ	5/2	暗灰黄色砂質シルト
92	10ＹＲ	5/1	褐灰色シルト（ＳＤ埋土）
93	５Ｙ	6/4	オリーブ黄色砂質シルト（旧床土）
94	５Ｙ	5/2	灰オリーブ色シルト
95	10ＹＲ	8/1	灰白色砂質シルト
96	10ＹＲ	8/8	黄橙色砂質シルト
97	2.5Ｙ	7/2	灰黄色砂質シルト
98	2.5Ｙ	5/1	黄灰色砂質シルト（礫含む）
99	2.5Ｙ	7/1	灰白色シルト
100	2.5Ｙ	6/1	黄灰色砂質シルト
101	2.5Ｙ	7/4	浅黄色砂質シルト
102	2.5Ｙ	7/1	灰白色砂質シルト
103	５Ｙ	8/3	淡黄色シルト
104	５Ｙ	7/2	灰白色粘土
105	５Ｙ	7/1	灰白色シルト
106	10ＹＲ	7/8	黄褐色シルト
107	2.5Ｙ	5/1	黄灰色砂質シルト
108	2.5Ｙ	6/3	にぶい黄色シルト
109	５Ｙ	6/1	灰色粘土（礫少量含む）
110	５Ｙ	6/1	灰色粘土
111	10Ｙ	6/1	灰色粘土（小石含む）
112	Ｎ	6/0	灰色砂質シルト（小石含む）
113	５Ｙ	8/2	灰白色粘土
114	５Ｙ	8/1	灰白色粘土
115	５Ｙ	8/4	淡黄色粘土
116	2.5Ｙ	7/2	灰黄色シルト
117	2.5Ｙ	7/3	浅黄色シルト
118	2.5Ｙ	7/3	浅黄色シルト（旧床土？）
119	2.5Ｙ	6/3	にぶい黄色シルト
120	５ＧＹ	6/1	オリーブ灰色シルト質中砂
121	2.5Ｙ	6/1	黄灰色砂質シルト

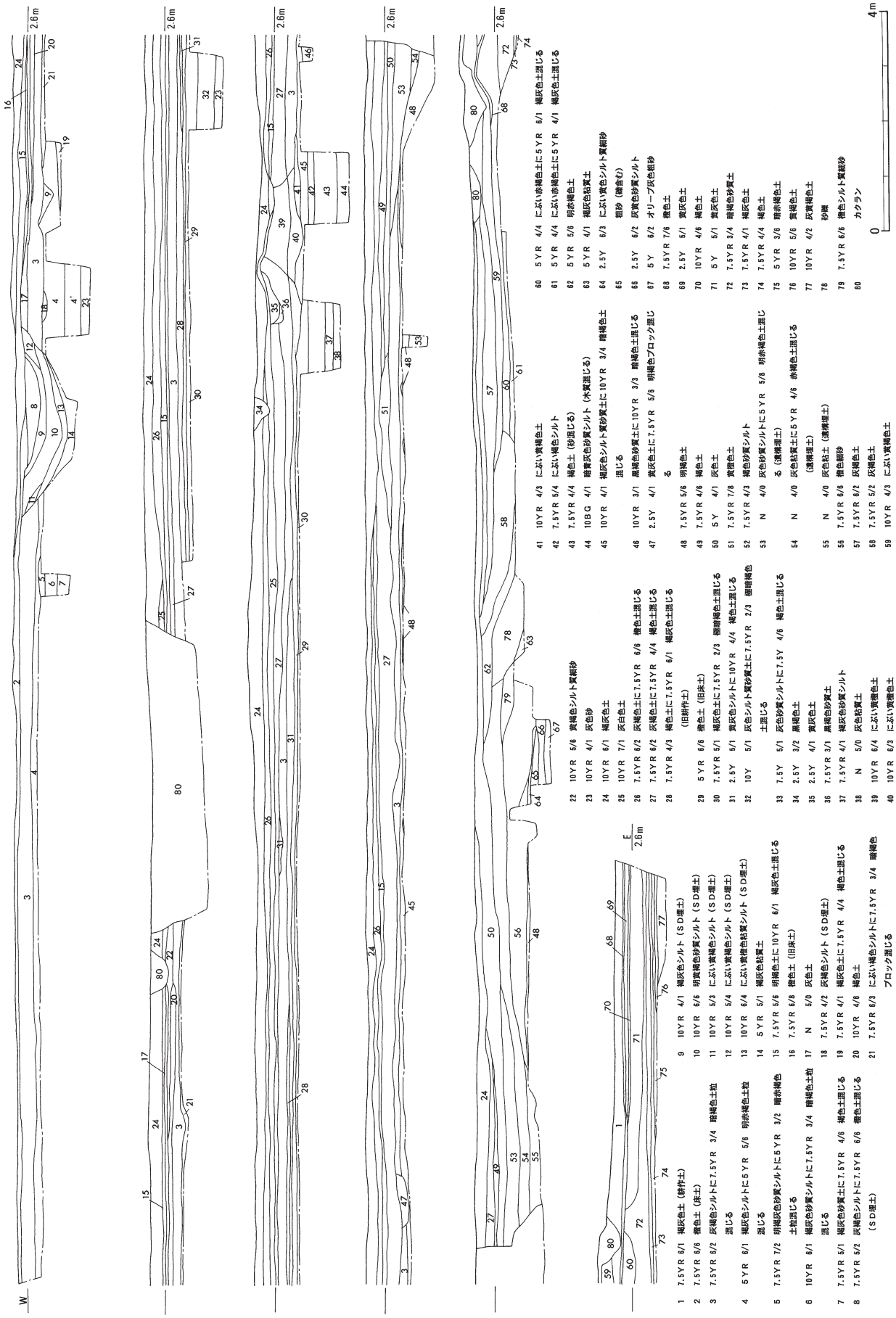
0　4m



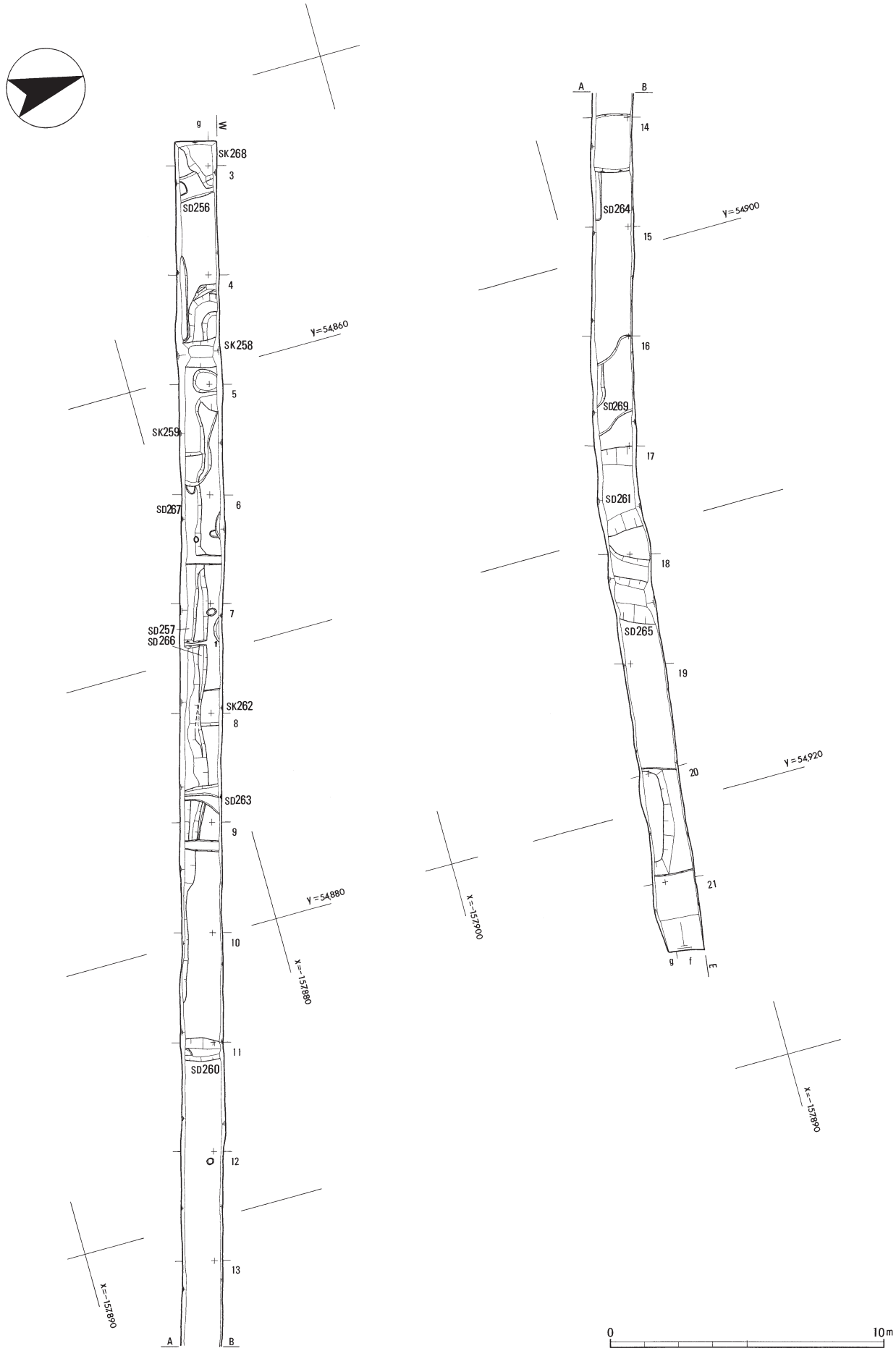
第16図　門前Ⅲ地区　遺構平面図（1：200），土層断面図（1：100）



第17図　門前ⅣＡ地区　遺構平面図（1：200）

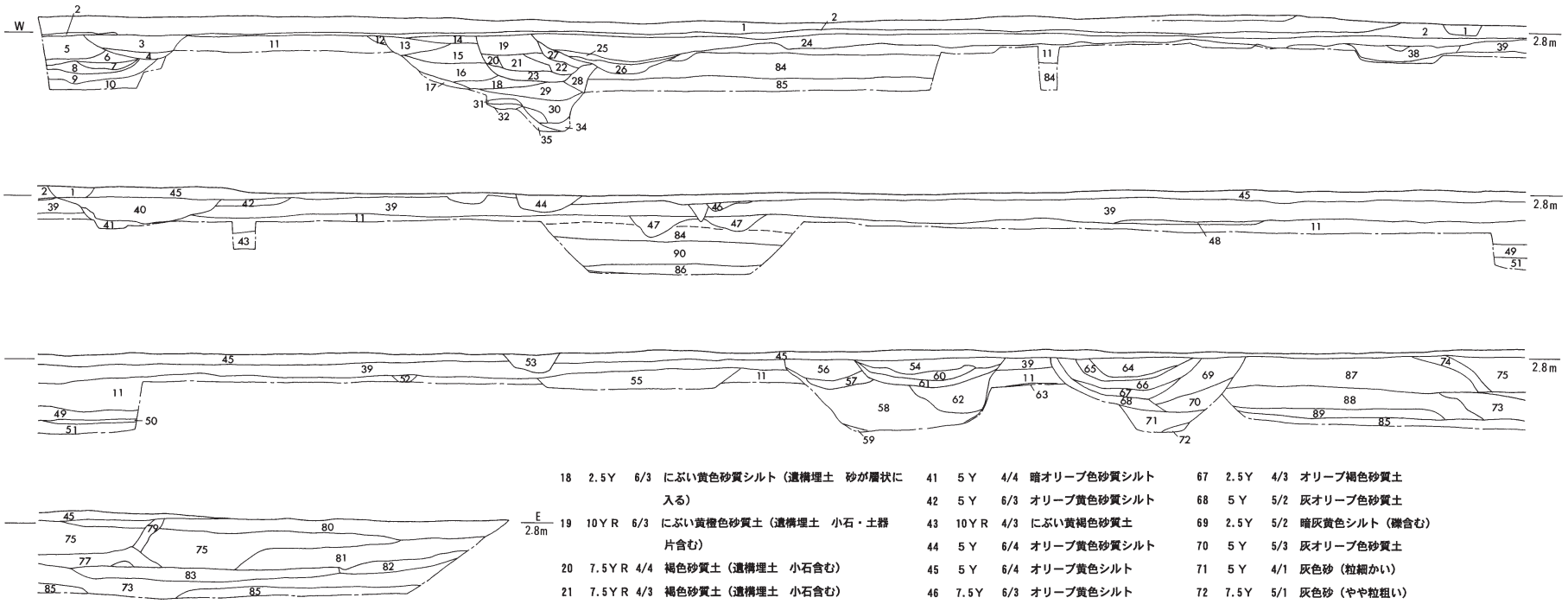


第18図　門前Ⅳ A 地区　土層断面図（1：100）



第19図　門前ⅣＢ地区　遺構平面図（1：200）

第20図　門前ⅣＢ地区　土層断面図（1：100）



1	7.5ＹＲ	7/6	橙色シルト（客土）
2	7.5ＹＲ	5/1	褐灰色砂質シルト（旧耕作土）
3	2.5Ｙ	6/4	にぶい黄色砂質シルト（土師器片含む）
4	7.5ＹＲ	3/4	暗褐色砂質土（砂多く含む）
5	7.5ＹＲ	5/4	にぶい褐色砂質シルト
6	7.5ＹＲ	5/3	にぶい褐色砂質シルト（炭化物・砂含む）
7	10ＹＲ	6/1	褐灰色砂質シルト
8	10ＹＲ	5/2	灰黄褐色シルト（土器片含む）
9	10ＹＲ	3/4	暗褐色シルト
10	10ＹＲ	3/3	暗褐色砂質シルト
11	10ＹＲ	6/6	明黄褐色砂質シルト（検出面）
12	10ＹＲ	5/4	にぶい黄褐色砂質シルト（遺構埋土）
13	10ＹＲ	5/3	にぶい黄褐色砂質シルト（遺構埋土）
14	10ＹＲ	7/4	にぶい黄橙色砂質シルト（遺構埋土　小石含む）
15	10ＹＲ	4/4	褐色砂質シルト（遺構埋土　土器片・小石含む）
16	10ＹＲ	6/4	にぶい黄橙色砂質シルト（遺構埋土　砂が層状に入る）
17	7.5ＹＲ	6/1	褐灰色砂質シルト（遺構埋土）
18	2.5Ｙ	6/3	にぶい黄色砂質シルト（遺構埋土　砂が層状に入る）
19	10ＹＲ	6/3	にぶい黄橙色砂質土（遺構埋土　小石・土器片含む）
20	7.5ＹＲ	4/4	褐色砂質土（遺構埋土　小石含む）
21	7.5ＹＲ	4/3	褐色砂質土（遺構埋土　小石含む）
22	2.5Ｙ	6/1	黄灰色砂質シルト（遺構埋土　小石・鉄分含む）
23	2.5Ｙ	5/1	黄灰色砂質シルト（遺構埋土　鉄分含む）
24	10ＹＲ	6/2	灰黄褐色砂質シルト（遺構埋土　炭化物含む）
25	7.5ＹＲ	3/3	暗褐色砂質シルト（遺構埋土）
26	2.5Ｙ	6/2	灰黄色砂質シルト（遺構埋土　炭化物含む）
27	10ＹＲ	5/4	にぶい黄褐色砂質土（遺構埋土）
28	10ＹＲ	4/2	灰黄褐色シルト（遺構埋土）
29	5Ｙ	5/1	灰色シルト（小石含む）
30	5Ｙ	6/2	灰オリーブ色シルト（遺構埋土　砂が層状に入る）
31	7.5ＹＲ	5/3	にぶい褐色砂質シルト（砂多く含む）
32	2.5Ｙ	5/2	暗灰黄色砂
33	5Ｙ	5/2	灰オリーブ色シルト混じり砂
34	2.5Ｙ	5/3	黄褐色砂（粒細かい）
35	10ＹＲ	4/3	にぶい黄褐色粗砂
36	2.5Ｙ	4/4	オリーブ褐色砂質シルト
37	7.5Ｙ	5/2	灰オリーブ色砂質シルト（ＳＤ埋土）
38	2.5Ｙ	5/4	黄褐色砂質シルト
39	2.5Ｙ	5/3	黄褐色砂質シルト
40	5Ｙ	5/3	灰オリーブ色砂質シルト
41	5Ｙ	4/4	暗オリーブ色砂質シルト
42	5Ｙ	6/3	オリーブ黄色砂質シルト
43	10ＹＲ	4/3	にぶい黄褐色砂質土
44	5Ｙ	6/4	オリーブ黄色砂質シルト
45	5Ｙ	6/4	オリーブ黄色シルト
46	7.5Ｙ	6/3	オリーブ黄色シルト
47	2.5Ｙ	5/4	黄褐色シルト
48	10ＹＲ	4/3	にぶい黄褐色砂質土
49			不明
50	5Ｙ	4/2	灰オリーブ色砂質土
51	2.5Ｙ	4/3	オリーブ褐色シルト
52	5Ｙ	4/4	暗オリーブ色シルト
53	5Ｙ	5/2	灰オリーブ色シルト
54	2.5Ｙ	6/1	黄灰色砂質シルト
55	2.5Ｙ	5/3	黄褐色砂質シルト
56	7.5Ｙ	5/2	灰オリーブ色砂質土
57	5Ｙ	4/2	灰オリーブ色シルト
58	5Ｙ	4/1	灰色シルト
59	10Ｙ	5/1	灰色砂（粒粗い）
60	10Ｙ	4/1	灰色シルト（炭化木材含む）
61	5Ｙ	6/2	灰オリーブ色砂質土
62	7.5Ｙ	4/2	灰オリーブ色シルト
63	10ＹＲ	4/2	灰黄色土
64	5Ｙ	6/2	灰オリーブ色シルト
65	2.5Ｙ	5/3	黄褐色シルト
66	5Ｙ	5/3	灰オリーブ色シルト
67	2.5Ｙ	4/3	オリーブ褐色砂質土
68	5Ｙ	5/2	灰オリーブ色砂質土
69	2.5Ｙ	5/2	暗灰黄色シルト（礫含む）
70	5Ｙ	5/3	灰オリーブ色砂質土
71	5Ｙ	4/1	灰色砂（粒細かい）
72	7.5Ｙ	5/1	灰色砂（やや粒粗い）
73	2.5Ｙ	6/3	にぶい黄色砂質土
74	7.5Ｙ	6/2	灰オリーブ色シルト
75	2.5Ｙ	4/4	オリーブ褐色シルト
76	2.5Ｙ	6/4	にぶい黄色シルト
77	10ＹＲ	4/3	にぶい黄褐色シルト
78	5Ｙ	4/3	暗オリーブ色シルト
79	2.5Ｙ	5/2	暗灰黄色砂質シルト
80	2.5Ｙ	6/4	にぶい黄色砂質シルト
81	2.5Ｙ	4/3	オリーブ褐色砂質シルト
82	5Ｙ	5/2	灰オリーブ色シルト
83	10Ｙ	6/1	灰色砂質シルト（砂・鉄分・土器片含む）
84	5ＹＲ	3/2	暗赤褐色砂質シルト（小石・土器片含む）
85	5Ｂ	6/1	青灰色砂質土
86	5ＹＲ	3/3	暗赤褐色砂質シルト
87	10ＹＲ	3/3	暗褐色砂質シルト
88	10ＹＲ	5/4	にぶい黄褐色砂質シルト（小石・土器片含む）
89	7.5ＹＲ	3/4	暗褐色砂質シルト（小石含む）
90	5ＹＲ	4/3	にぶい赤褐色砂質シルト

0　4m

間に水路や農道が存在するため、細切れに４つに分けて調査を行った。西側調査区と一番南の調査区では遺構は確認できなかった。またその他でも遺構密度は少なく、調査区中央部ではほとんど検出できていない。

（８）奥垣内Ⅴ地区

ａ　基本層序

現況は水田で、標高約2.8～3.0mのところに位置する。層序は第１層が灰色土、第２層が黄褐色砂質シルト、その下が砂層になる。第２層上面で中世の遺構を検出した。

ｂ　遺構

調査区は東西方向に長く、延長約92mである。調査区全体に遺構は広がっており、ほとんどが中世の溝である。

溝ＳＤ277　調査区中央部の南端、ｂ７グリッド付近で検出した遺構である。北端の溝の肩部分のみの掘削であるため、規模は不明である。埋土からは南伊勢系土師器皿や陶器皿、椀などが出土している。13世紀前半頃の遺構であると考える。

溝ＳＤ279（第33図）　調査区東部のｂ26グリッド付近で検出した遺構である。大部分が調査区外にあるため規模は不明である。掘削できた部分の、検出面からの深さは約1.1mである。埋土は、上の層は固くしまったシルト層であったが、底近くになって砂質土に変わる。この砂質土内から南伊勢系の土師器鍋や羽釜が投棄されたような状態で多量に出土した。平成12年度調査で検出された、ＳＤ58の続きである可能性が考えられる。15世紀後半頃の遺構であろう。

（９）奥垣内Ⅵ地区

ａ　基本層序

現況は水田で、標高は約3.0～3.2mのところに位置する。調査区は、東西約48m、南北約58mのＬ字の形をしている。層序は、第１層がにぶい黄褐色土、第２層がオリーブ褐色砂質シルトで、以下砂層が堆積する。南に行くほど砂の層が標高の高いところで見られる。

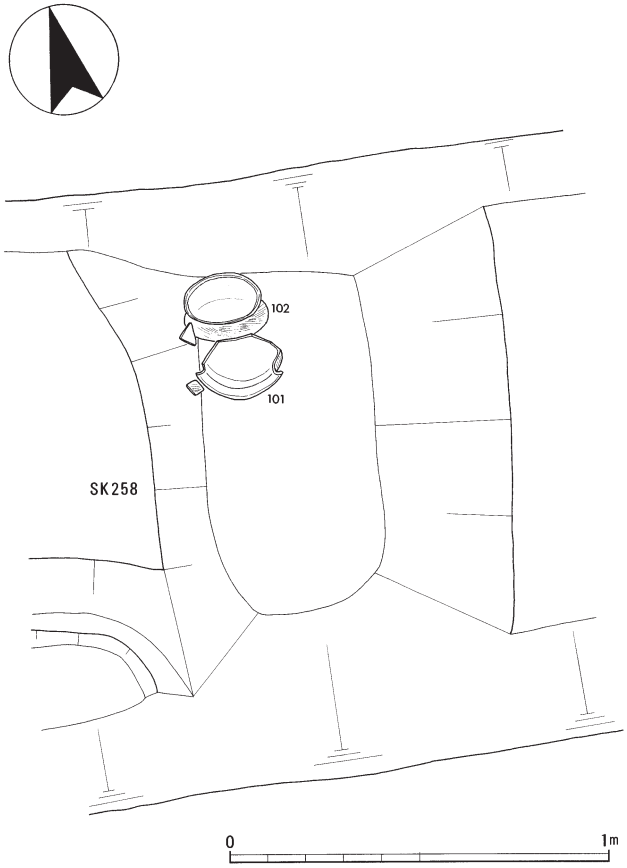
ｂ　遺構

遺構は東西調査区の中央部分と南北調査区の中央部分に集中し、それ以外は薄い状態である。出土遺物から見ると、中世前半の遺構が中心である。

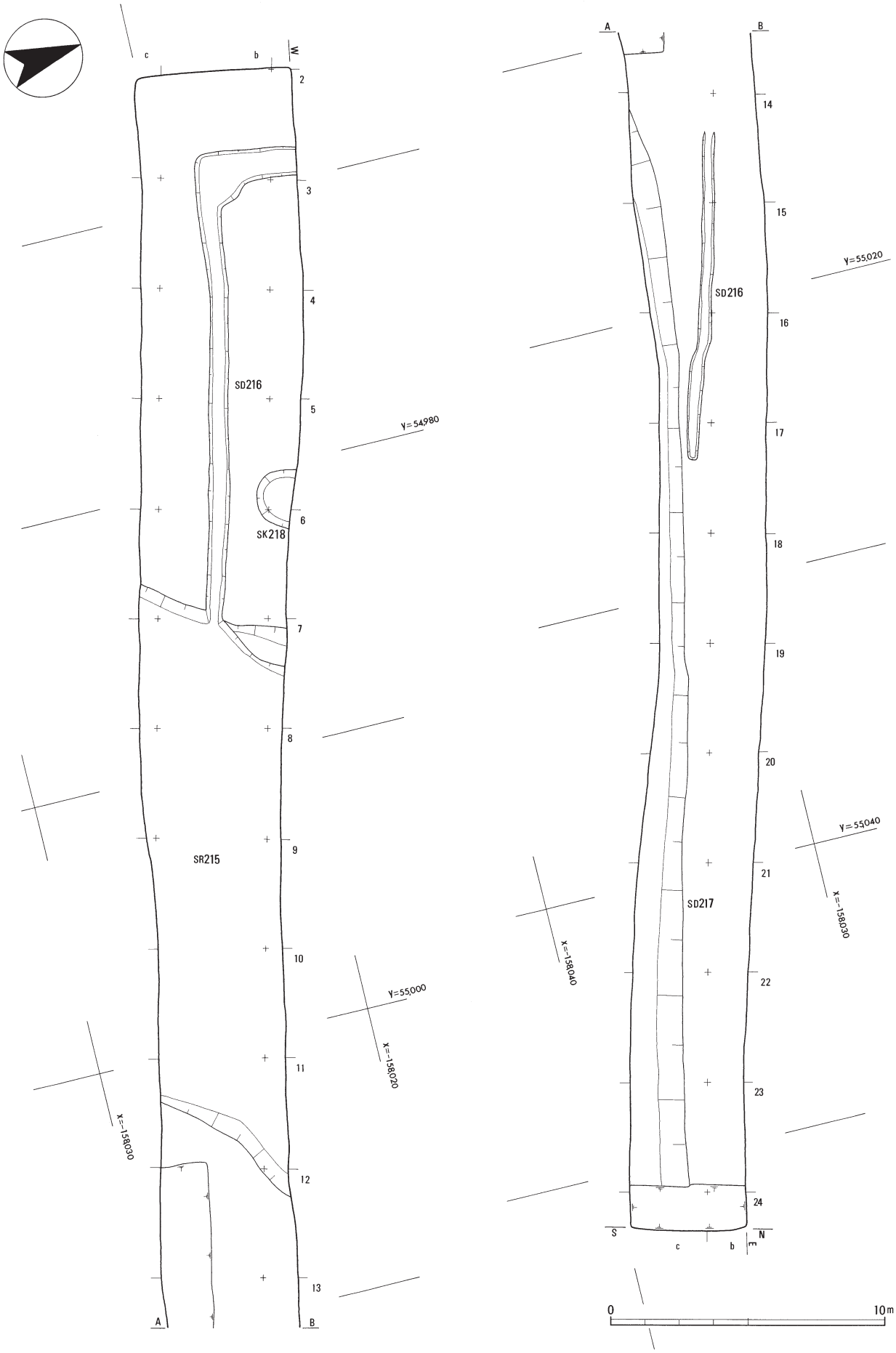
溝ＳＤ285　東西方向の調査区の西部、ｅ２グリッド付近で検出した遺構である。ほぼ南北方向に延びるもので、幅約0.6m、検出面からの深さは深いところで約0.2mである。遺構埋土からは南伊勢系の土師器皿や鍋、陶器の椀などが出土している。13世紀前半頃のものと考える。

（10）道場Ⅲ地区

調査区が、県道とビニルハウスの間の限られた狭いスペースであり、また車道脇で調査に危険を伴うため、短時間での調査を余儀なくされていた。従って、本調査区および後述の道場Ⅳ地区については、立会調査を行った。土層断面も柱状図での記録となったため、連続した層序の観察はできていない。また、工事で破壊される深さまでの調査であったので、他の調査区のように砂の層が出現する高さを確認できなかった。

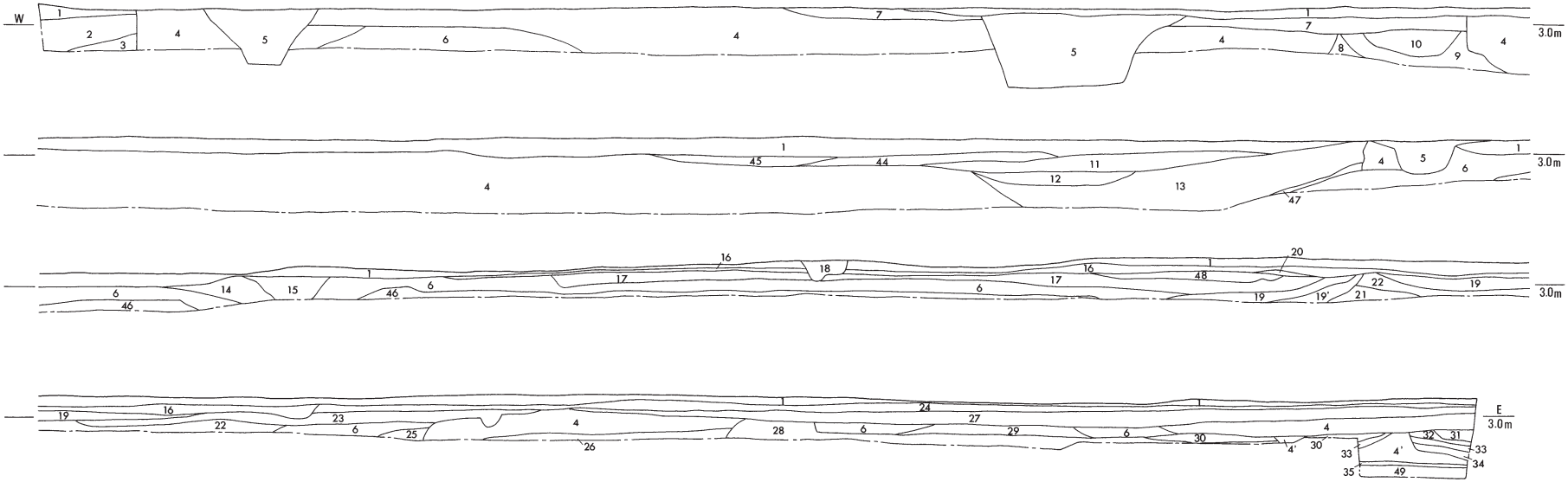


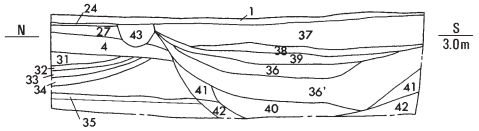
第21図　門前ⅣＢ地区　ＳＫ258　遺物出土状況図（1：20）



第22図　門前Ⅴ地区　遺構平面図（1：200）

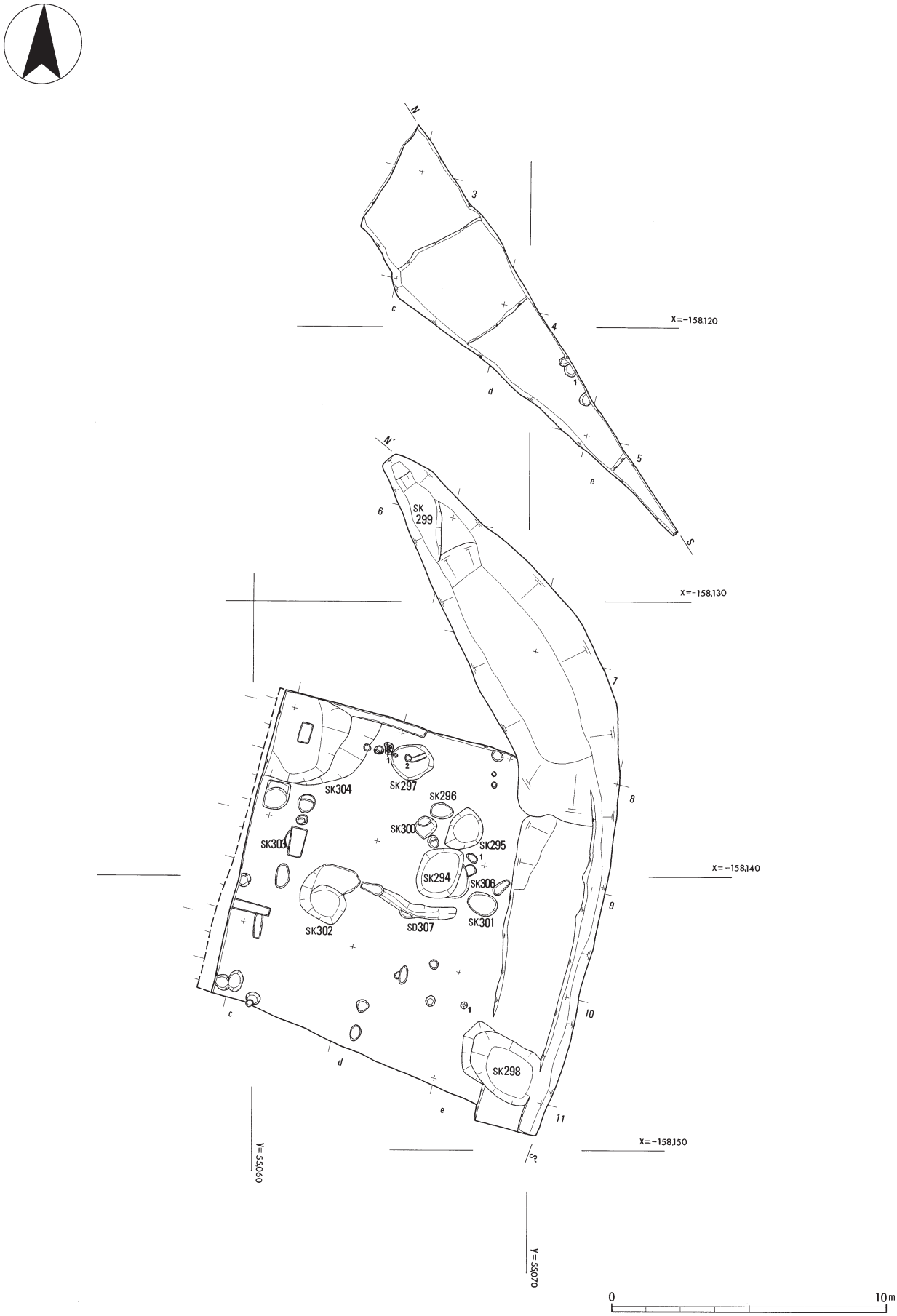
第23図　門前V地区　土層断面図（1：100）





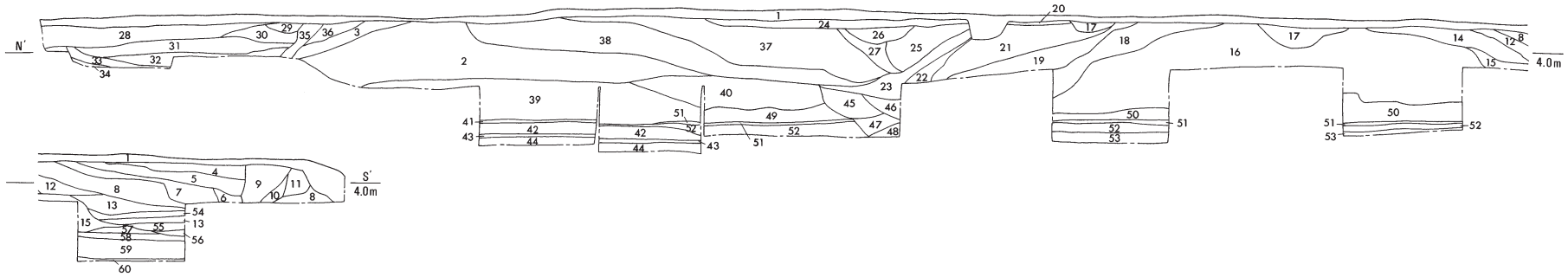
1　2.5Y　5/1　黄灰色土
2　7.5YR　7/1　明褐灰色砂
3　10YR　5/2　灰黄褐色砂質シルト
4　砂礫（礫多い）
4'　砂礫（砂多い）
5　10YR　6/4　にぶい黄橙色粘質シルト（小石含む）
6　砂（川原砂　小石含む）
7　10YR　7/6　明黄褐色土
8　7.5YR　5/6　明褐色砂質土
9　10YR　4/1　褐灰色砂質土に7.5YR　6/8　橙色土混じる（小石含む）
10　7.5YR　4/2　灰褐色砂質土に7.5YR　6/8　橙色土混じる（小石含む）
11　2.5Y　4/1　黄灰色砂質土
12　10YR　5/6　黄褐色細砂
13　10YR　3/2　黒褐色細砂
14　10YR　6/8　明黄褐色砂質シルト
15　10YR　4/4　褐色土
16　7.5YR　7/8　黄橙色土
17　10YR　3/3　暗褐色砂質土
18　10YR　4/1　褐灰色土（カクラン）
19　10YR　3/4　暗褐色砂質土（炭化物含む）
19'　10YR　3/4　暗褐色砂
20　7.5YR　4/4　褐色土（炭化物含む）
21　2.5Y　4/2　暗灰黄色砂質土
22　10YR　4/3　にぶい黄褐色土
23　5YR　4/4　にぶい赤褐色土（小石含む）
24　7.5YR　3/4　暗褐色砂質土（土師器片含む）
25　7.5YR　4/6　褐色砂質土（小石含む）
26　10YR　5/8　黄褐色土（小石含む）
27　10YR　6/1　褐灰色土（土師器片含む）
28　7.5YR　4/3　褐色土
29　7.5YR　5/8　明褐色砂質土
30　7.5YR　4/2　灰褐色砂質土
31　10YR　4/4　褐色シルト（小石含む）
32　10YR　6/6　明黄褐色砂質シルト（砂多い）
33　7.5YR　5/4　にぶい褐色砂質シルト
34　N　5/0　灰色砂
35　2.5YR　4/6　赤褐色砂礫
36　細砂（SD217埋土）
36'　極細砂（SD217埋土）
37　7.5YR　5/6　明褐色土（SD217埋土　小石含む）
38　7.5YR　5/3　にぶい褐色土（SD217埋土　砂混じる）
39　7.5YR　4/6　褐色砂質土（SD217埋土　砂多く混じる）
40　N　3/0　暗灰色粘土（SD217埋土）
41　7.5YR　3/3　暗褐色砂質土（SD217埋土　礫含む）
42　砂（SD217埋土）
43　2.5Y　4/1　黄灰色粘質土（炭化物含む）
44　中砂
45　砂礫（礫少量含む）
46　砂（川原砂）
47　2.5Y　4/1　黄灰色砂質土
48　砂（土器片・小石含む）
49　砂礫

0　4m

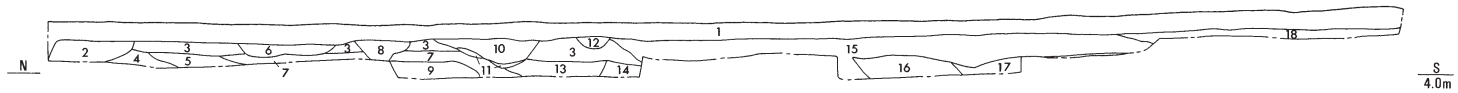


第24図　門前Ⅶ地区　遺構平面図（1：200）

第25図　門前Ⅶ地区　土層断面図（1：100）

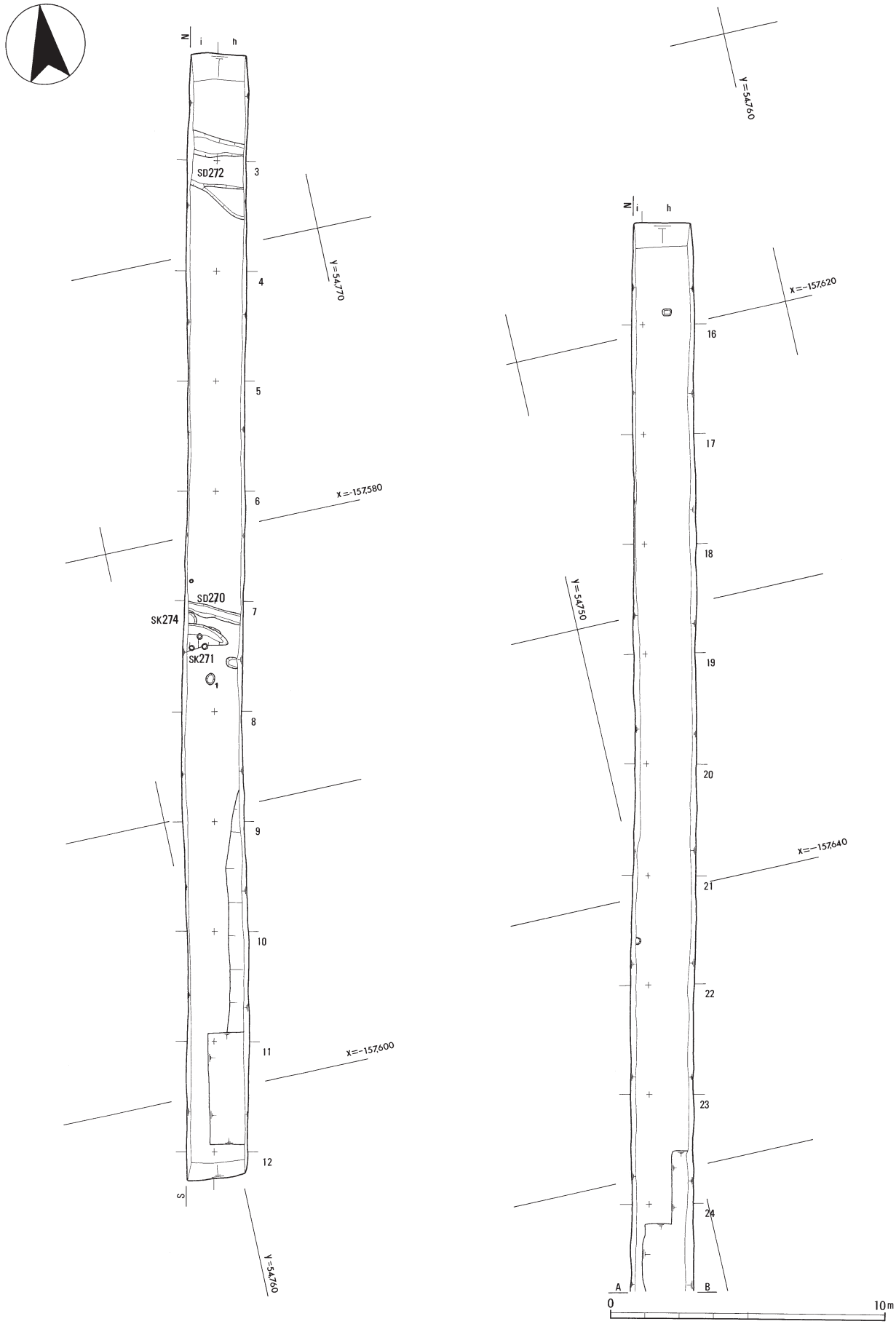


1	10ＹＲ	3/3	暗褐色土（耕作土）
2	10ＹＲ	5/6	黄褐色土（小石含む）
3	10ＹＲ	5/4	にぶい黄褐色土（粒細かい　固くしまる）
4	2.5Ｙ	5/4	黄褐色土（固くしまる）
5	５Ｙ	5/2	灰オリーブ色砂質シルト
6	10Ｙ	5/1	灰色砂質シルト
7	2.5Ｙ	4/6	オリーブ褐色砂質シルト（炭化物含む）
8	10ＹＲ	6/6	明黄褐色土（小石含む）
9	５Ｙ	4/3	暗オリーブ色土（カクラン）
10	10Ｇ	6/1	緑灰色砂質シルト
11	7.5Ｙ	5/2	灰オリーブ色砂質シルト
12	５Ｙ	5/3	灰オリーブ色土（炭粒・小石混じる）
13	５ＢＧ	6/1	青灰色砂質シルト
14	2.5Ｙ	4/6	オリーブ褐色砂質シルト（炭粒混じる）
15	５Ｙ	4/2	灰オリーブ色砂質シルト
16	2.5Ｙ	5/2	暗灰黄色砂質土（粒粗い　小石含む）
17	2.5Ｙ	3/3	暗オリーブ褐色砂質シルト（固くしまる）
18	10ＹＲ	4/1	褐灰色土（固くしまる）
19	10ＹＲ	4/2	灰黄褐色砂質シルト（粒細かい）
20	10ＹＲ	6/1	褐灰色土（固くしまる）
21	7.5Ｙ	4/1	灰色砂
22	５Ｙ	3/2	オリーブ黒色砂質シルト（固くしまる）
23	５Ｙ	5/2	灰オリーブ色砂質シルト（粒細かい）
24	2.5Ｙ	5/2	暗灰黄色土（粒粗い　小石含む）
25	2.5Ｙ	3/2	黒褐色砂質シルト（中砂含む　固くしまる）
26	2.5Ｙ	5/3	黄褐色砂質シルト（小石含む　固くしまる）
27	2.5Ｙ	4/2	暗灰黄色土（小石含む　粒粗い）
28	2.5Ｙ	4/4	オリーブ褐色土（小石含む　粒粗い）
29	10ＹＲ	6/4	にぶい黄橙色砂質シルト（小石含む　固くしまる）
30	10ＹＲ	4/4	褐色土（小石含む　固くしまる）
31	10ＹＲ	3/1	黒褐色土（石・瓦片・土器片含む）
32	2.5Ｙ	4/3	オリーブ褐色土（石含む）
33	10ＹＲ	5/4	にぶい黄褐色土
34	10ＹＲ	2/2	黒褐色砂質土（粒粗い）
35	2.5Ｙ	4/6	オリーブ褐色土（小石含む　固くしまる）
36	2.5Ｙ	4/6	オリーブ褐色土（粒細かい）
37	2.5Ｙ	4/3	オリーブ褐色砂質土（粒粗い　しまらない）
38	10ＹＲ	5/8	黄褐色土（粒粗い）
39	10ＹＲ	4/6	褐色砂質シルト（固くしまる）
40	2.5Ｙ	4/2	暗灰黄色砂質土（固くしまる）
41	５ＢＧ	5/1	青灰色シルト
42	５Ｂ	6/1	青灰色砂質シルト（旧耕作土　炭粒混じる）
43	7.5ＹＲ	5/6	明褐色砂質シルト（旧床土）
44	10Ｙ	6/1	灰色砂質シルト（砂多い）
45	2.5Ｙ	4/4	オリーブ褐色砂質シルト（粒粗い）
46	2.5ＧＹ	5/1	オリーブ灰色シルト（炭粒・褐色粒混じる）
47	５ＧＹ	6/1	オリーブ灰色シルト（炭粒混じる）
48	Ｎ	5/0	灰色シルト
49	2.5Ｙ	4/3	オリーブ褐色砂質シルト
50	2.5Ｙ	6/4	にぶい黄色シルト（小石含む　炭粒混じる）
51	10Ｙ	7/2	灰白色シルト（鉄分含む）
52	５Ｂ	4/1	暗青灰色シルト
53	10ＢＧ	4/1	暗青灰色シルト
54			13に7.5ＹＲ　3/1　黒褐色土混じる（瓦片含む　炭粒混じる）
55	10Ｙ	5/1	灰色砂質シルト（鉄分含む）
56	10Ｙ	6/1	灰色砂質シルト（鉄分含む）
57	５Ｂ	6/1	青灰色砂質シルト（鉄分含む）
58	５ＰＢ	3/1	暗青灰色砂質シルト（粒粗い　炭粒混じる）
59	５Ｂ	5/1	青灰色シルト（鉄分多く含む）
60	10Ｇ	6/1	緑灰色シルト（鉄分含む）

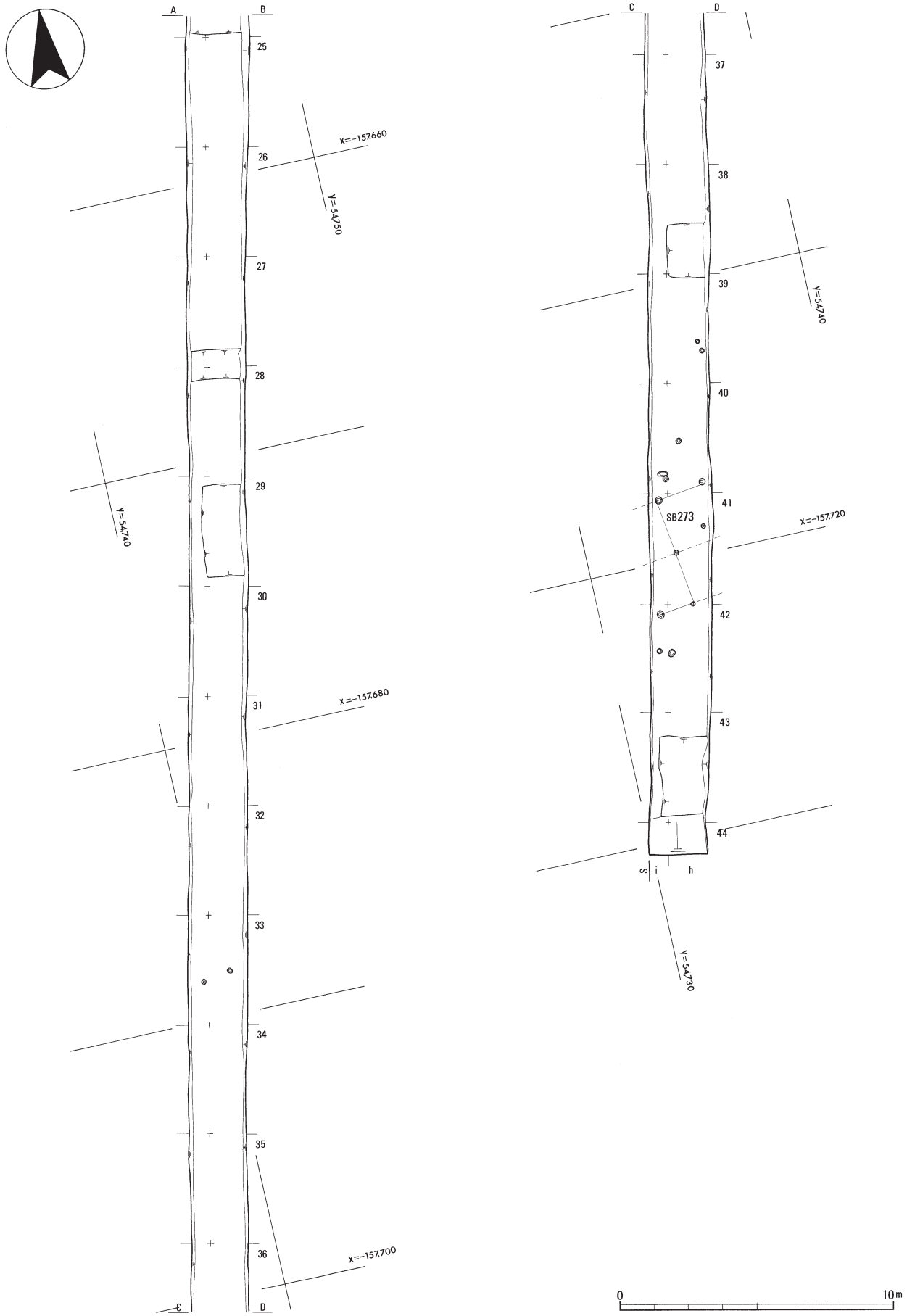


1	10ＹＲ	4/2	灰黄褐色土（耕作土）
2	7.5ＹＲ	4/3	褐色土（小石含む）
3	10ＹＲ	5/4	にぶい黄褐色土（小石含む）
4	2.5Ｙ	5/3	黄褐色土（粒粗い）
5	2.5Ｙ	4/3	オリーブ褐色土（小石・砂含む）
6	7.5ＹＲ	5/4	にぶい褐色土（小石・砂含む）
7	2.5Ｙ	4/6	オリーブ褐色土（土器片・瓦片含む）
8	2.5Ｙ	5/4	黄褐色土
9	10ＹＲ	4/3	にぶい黄褐色土（小石・砂・炭化物含む）
10	2.5Ｙ	6/4	にぶい黄色土（土器片・小石含む）
11	10ＹＲ	5/3	にぶい黄褐色砂質土
12	2.5Ｙ	4/2	暗灰黄色土
13	10ＹＲ	5/2	灰黄褐色砂質土（小石含む）
14	10ＹＲ	3/3	暗褐色土（砂・炭化物含む）
15	2.5Ｙ	5/6	黄褐色砂質土
16	10ＹＲ	2/1	黒色土（小石・黒粒含む）
17	10ＹＲ	4/6	褐色土（砂・黒粒含む）
18	2.5Ｙ	5/6	黄褐色土

0　4m

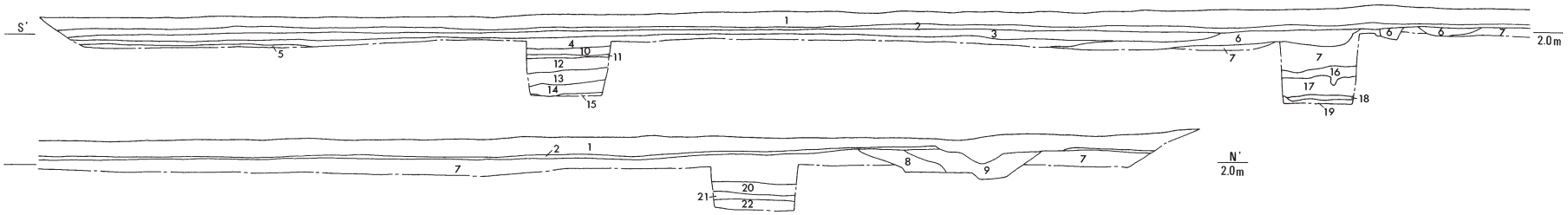


第26図　塩角Ⅳ地区　遺構平面図①（1：200）

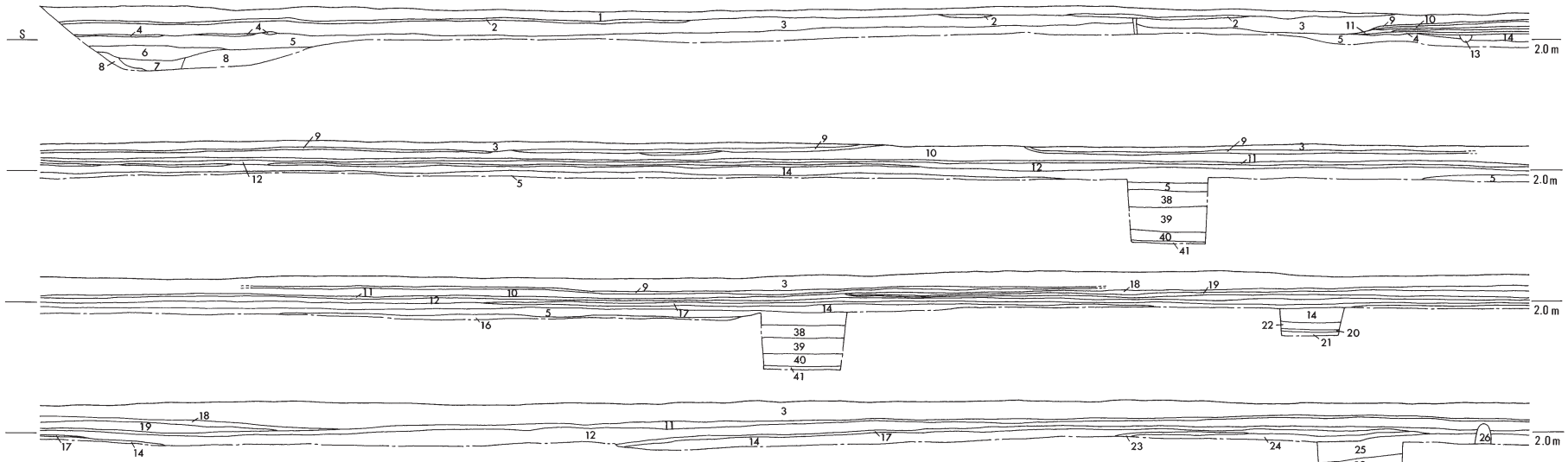


第27図　塩角Ⅳ地区　遺構平面図②（1：200）

第28図　塩角Ⅳ地区　土層断面図①（1：100）



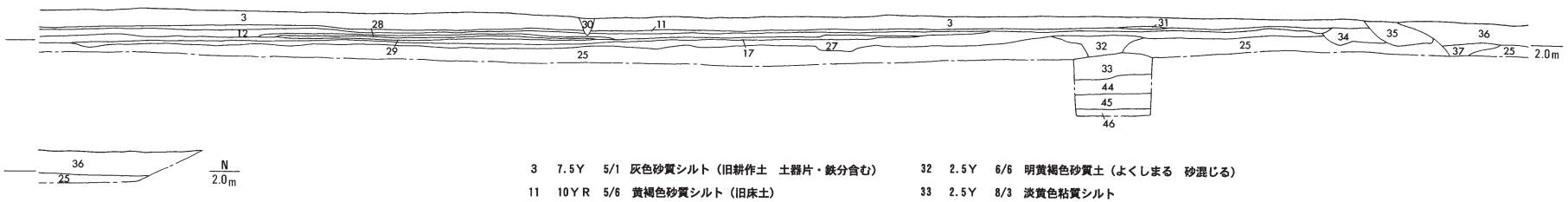
1	10Y	6/1	灰色砂質シルト（旧耕作土）
2	10YR	7/8	黄橙色砂質シルト（旧床土）
3	7.5Y	6/1	灰色砂質シルト（旧床土　炭化物含む）
4	10YR	5/4	にぶい黄褐色砂質シルト（砂質強い）
5	2.5Y	6/2	灰黄色砂質シルト（シルト強い）
6	5Y	6/1	灰色砂質シルト（鉄分含む）
7	10YR	4/6	褐色砂質シルト（鉄分多く含む）
8	10YR	6/3	にぶい黄橙色砂質土（よくしまる）
9	10YR	6/2	灰黄褐色砂質土（よくしまる）
10	10YR	5/2	灰黄褐色砂質シルト
11	10YR	5/8	黄褐色シルト
12	10YR	6/2	灰黄褐色土（鉄分含む　砂混じる）
13	10YR	4/3	にぶい黄褐色砂質シルト
14	N	6/0	灰色砂
15			褐色砂
16	2.5Y	4/2	暗灰黄色砂（砂質シルトブロック混じる）
17	2.5Y	4/4	オリーブ褐色シルト
18	5Y	4/4	暗オリーブ色シルト
19	2.5Y	5/3	黄褐色砂
20	10YR	5/3	にぶい黄褐色砂質シルト
21	7.5YR	4/2	灰褐色砂質土
22			中砂（川原砂）



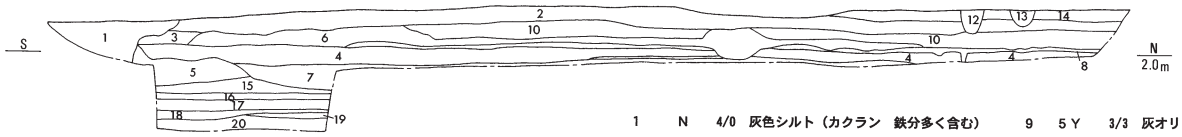
1	5Y	5/1	灰色シルト
2	2.5Y	6/8	明黄褐色砂質シルト（旧床土）
3	7.5Y	5/1	灰色砂質シルト（旧耕作土　土器片・鉄分含む）
4	10YR	6/8	明黄褐色砂質シルト（旧床土）
5	10YR	6/4	にぶい黄橙色砂質土（鉄分多く含む）
6	10YR	5/4	にぶい黄褐色砂質シルト（鉄分含む）
7	10YR	5/2	灰黄褐色砂質シルト（鉄分・砂含む）
8	2.5Y	7/2	灰黄色粘質土（鉄分含む）
9	10YR	6/6	明黄褐色砂質シルト（旧床土）
10	10YR	5/2	灰黄褐色砂質シルト（旧耕作土）
11	10YR	5/6	黄褐色砂質シルト（旧床土）
12	10YR	6/2	灰黄褐色砂質シルト（旧耕作土）
13	5Y	4/1	灰色砂質シルト
14	5Y	5/2	灰オリーブ色砂質シルト
15	7.5YR	4/4	褐色砂質シルト
16	7.5Y	5/1	灰色砂質シルト（シルト強い）
17	2.5Y	6/8	明黄褐色シルト（旧床土）
18	2.5Y	7/8	黄色砂質シルト（旧床土）
19	2.5Y	6/2	灰黄色砂質シルト（旧耕作土）
20	7.5YR	6/8	橙色砂質シルト（旧床土　鉄分含む）
21	5Y	7/1	灰色砂質シルト（旧耕作土　鉄分含む）
22	N	6/0	灰色シルト（鉄分含む）
23	7.5YR	5/6	明褐色砂質シルト（旧床土　鉄分含む）
24	10Y	6/1	灰色シルト（旧耕作土　鉄分含む）
25	2.5Y	7/4	浅黄色砂質シルト（鉄分含む）
26	5BG	7/1	明青灰色シルト（カクラン？）
27	10Y	7/2	灰白色砂質シルト
28	2.5Y	7/8	黄色砂質シルト（旧床土）
29	7.5Y	6/1	灰色砂質シルト（旧耕作土　鉄分含む）
30	10BG	5/1	青灰色土（カクラン）
31	2.5Y	7/8	黄色砂質シルト（旧床土）
32	2.5Y	6/6	明黄褐色砂質土（よくしまる　砂混じる）
33	2.5Y	8/3	淡黄色粘質シルト
34	10YR	5/4	にぶい黄褐色砂質土（よくしまる）
35	5Y	7/1	灰白色シルト
36	5Y	5/1	灰白色シルト（炭化物含む）
37	5Y	7/2	灰白色砂質シルト（黄褐色ブロック混じる）
38	2.5Y	6/2	灰黄色シルト（鉄分含む）
39	5Y	6/2	灰オリーブ色砂質シルト
40	5B	6/1	青灰色粘質土
41	5B	5/1	青灰色粘質土
42	10YR	6/6	明黄褐色砂質シルト（砂多い）
43	5BG	6/1	青灰色砂質土（鉄分含む）

0　4m

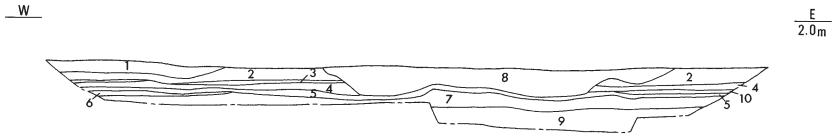
第29図　塩角Ⅳ地区　土層断面図②（1：100）



3	7.5Y	5/1	灰色砂質シルト（旧耕作土　土器片・鉄分含む）	32	2.5Y	6/6	明黄褐色砂質土（よくしまる　砂混じる）
11	10YR	5/6	黄褐色砂質シルト（旧床土）	33	2.5Y	8/3	淡黄色粘質シルト
12	10YR	6/2	灰黄褐色砂質シルト（旧耕作土）	34	10YR	5/4	にぶい黄褐色砂質土（よくしまる）
17	2.5Y	6/8	明黄褐色シルト（旧床土）	35	5Y	7/1	灰白色シルト
25	2.5Y	7/4	浅黄色砂質シルト（鉄分含む）	36	5Y	5/1	灰白色シルト（炭化物含む）
27	10Y	7/2	灰白色砂質シルト	37	5Y	7/2	灰白色砂質シルト（黄褐色ブロック混じる）
28	2.5Y	7/8	黄色砂質シルト（旧床土）	44			にぶい黄褐色砂質シルト
29	7.5Y	6/1	灰色砂質シルト（旧耕作土　鉄分含む）	45			褐色シルト（砂混じる）
30	10BG	5/1	青灰色土（カクラン）	46			砂
31	2.5Y	7/8	黄色砂質シルト（旧床土）				

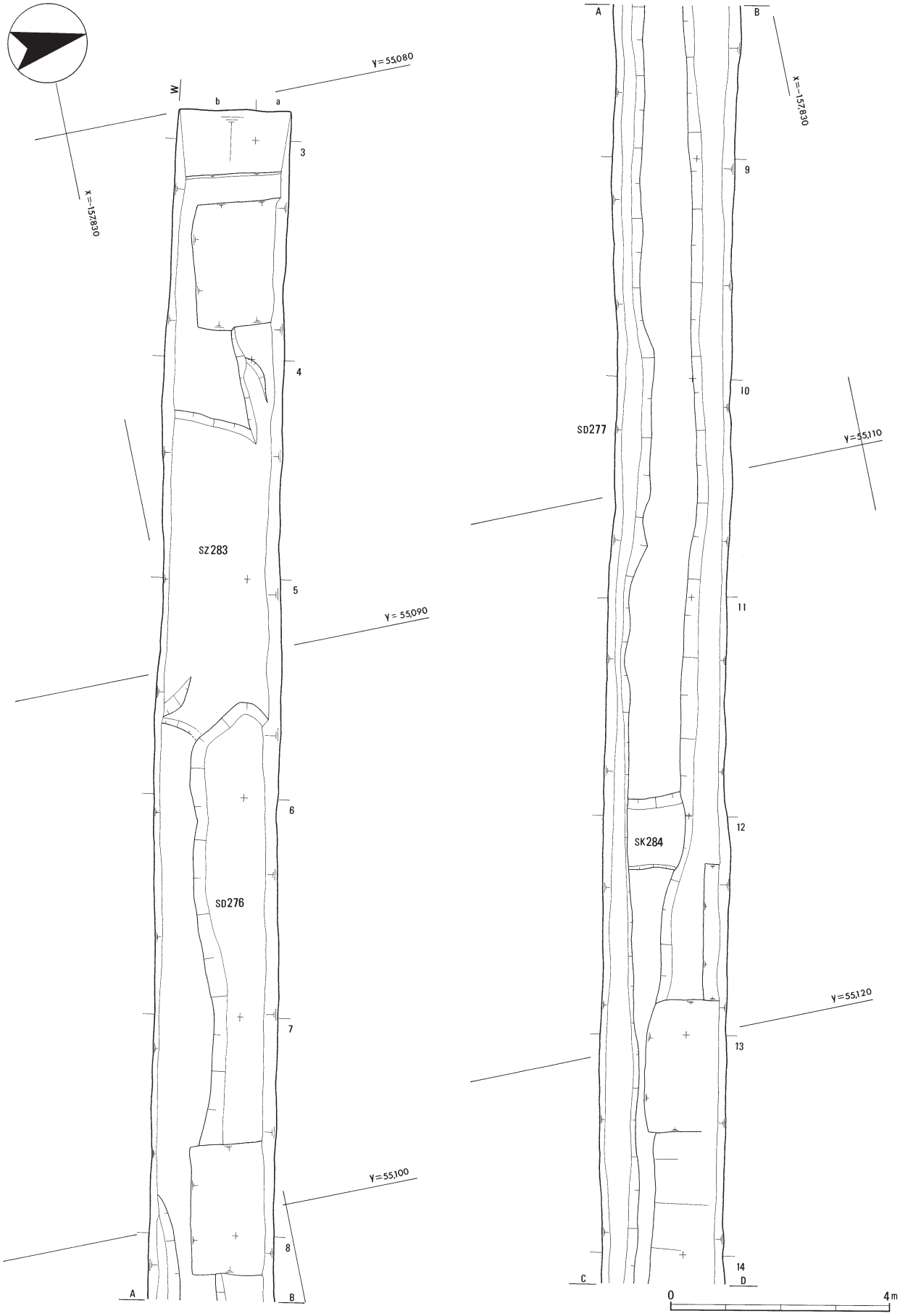


1	N	4/0	灰色シルト（カクラン　鉄分多く含む）	9	5Y	3/3	灰オリーブ色砂質シルト（礫少量含む）	17	10BG	5/1	青灰色砂質シルト
2	2.5Y	5/3	黄褐色砂質シルト（鉄分・礫含む）	10	5Y	4/2	灰オリーブ色砂質土（鉄分・小石含む）	18	2.5Y	5/2	暗灰黄色シルト
3	2.5Y	5/2	暗灰黄色砂質シルト（鉄分少量含む）	11	2.5Y	6/2	灰黄色粘質土	19	5B	6/1	青灰色シルト（粘質強い）
4	5Y	6/3	オリーブ黄色粘質土	12	7.5Y	4/1	灰色シルト（鉄分少量含む）	20	10BG	4/1	暗青灰色粘質土
5	7.5Y	6/1	灰色粘質土	13	7.5Y	5/1	灰色シルト（鉄分含む）				
6	5Y	5/2	灰オリーブ色砂質シルト	14	7.5Y	5/2	灰オリーブ色シルト				
7	5Y	6/2	灰オリーブ色粘質土	15	2.5Y	6/4	にぶい黄色砂質シルト				
8	5Y	4/4	暗オリーブ色砂質シルト	16	2.5Y	5/4	黄褐色砂質土				

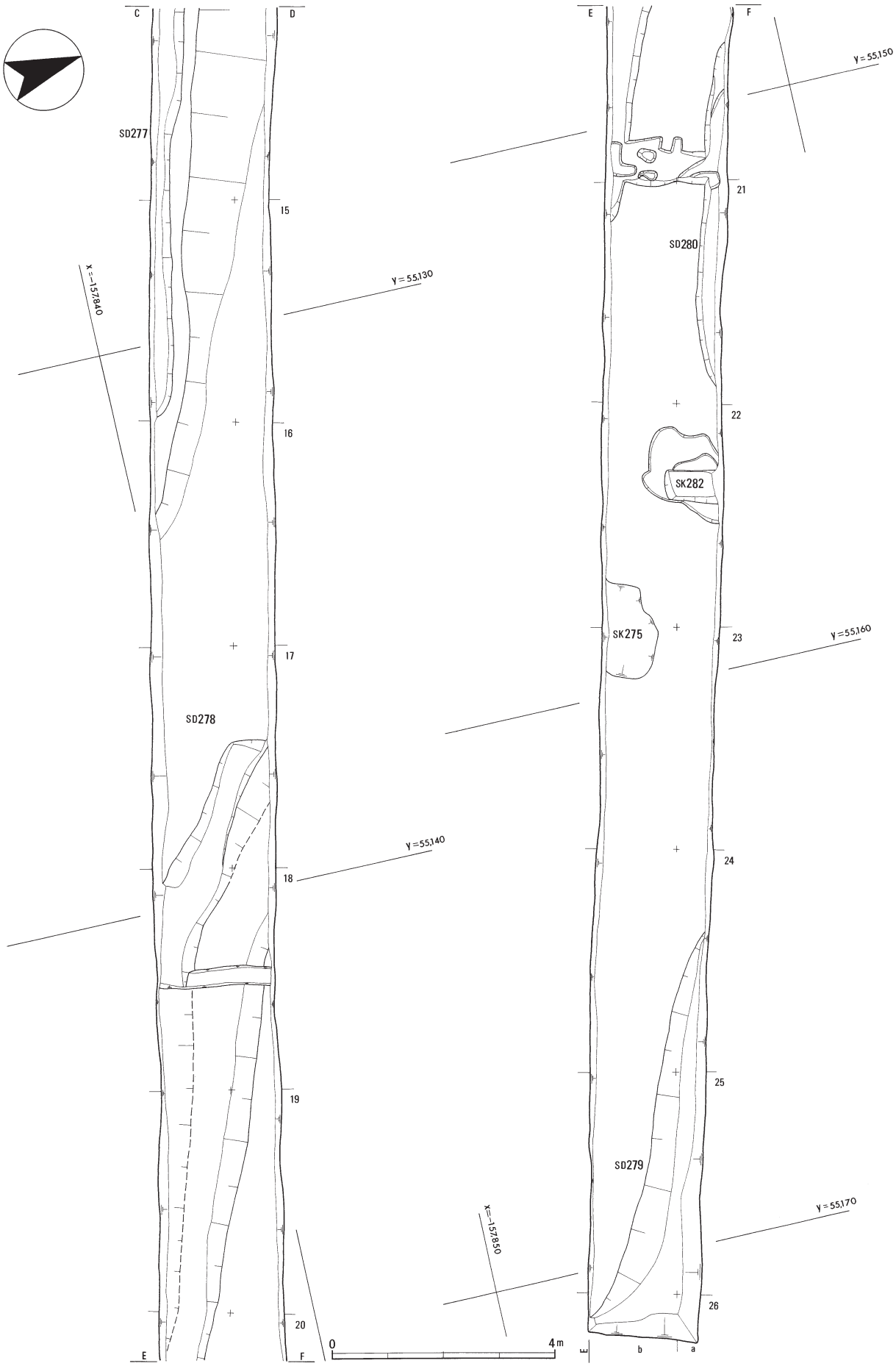


1	2.5Y	6/1	黄灰色砂質シルト	6	2.5Y	6/2	灰黄色砂質シルト（鉄分含む）
2	7.5Y	6/2	灰オリーブ色砂質シルト	7	5Y	5/1	灰色砂質シルト（検出面　鉄分含む）
3	10YR	6/6	明黄褐色砂質シルト（旧床土　鉄分含む）	8	5BG	4/1	暗青灰色土（カクラン）
4	10YR	5/1	褐灰色砂質シルト（旧耕作土　鉄分含む）	9	2.5Y	6/3	にぶい黄色シルト（鉄分含む）
5	10YR	6/8	明黄褐色砂質シルト（旧床土　鉄分含む）	10	10YR	5/6	黄褐色砂質シルト（鉄分含む）

0　4m

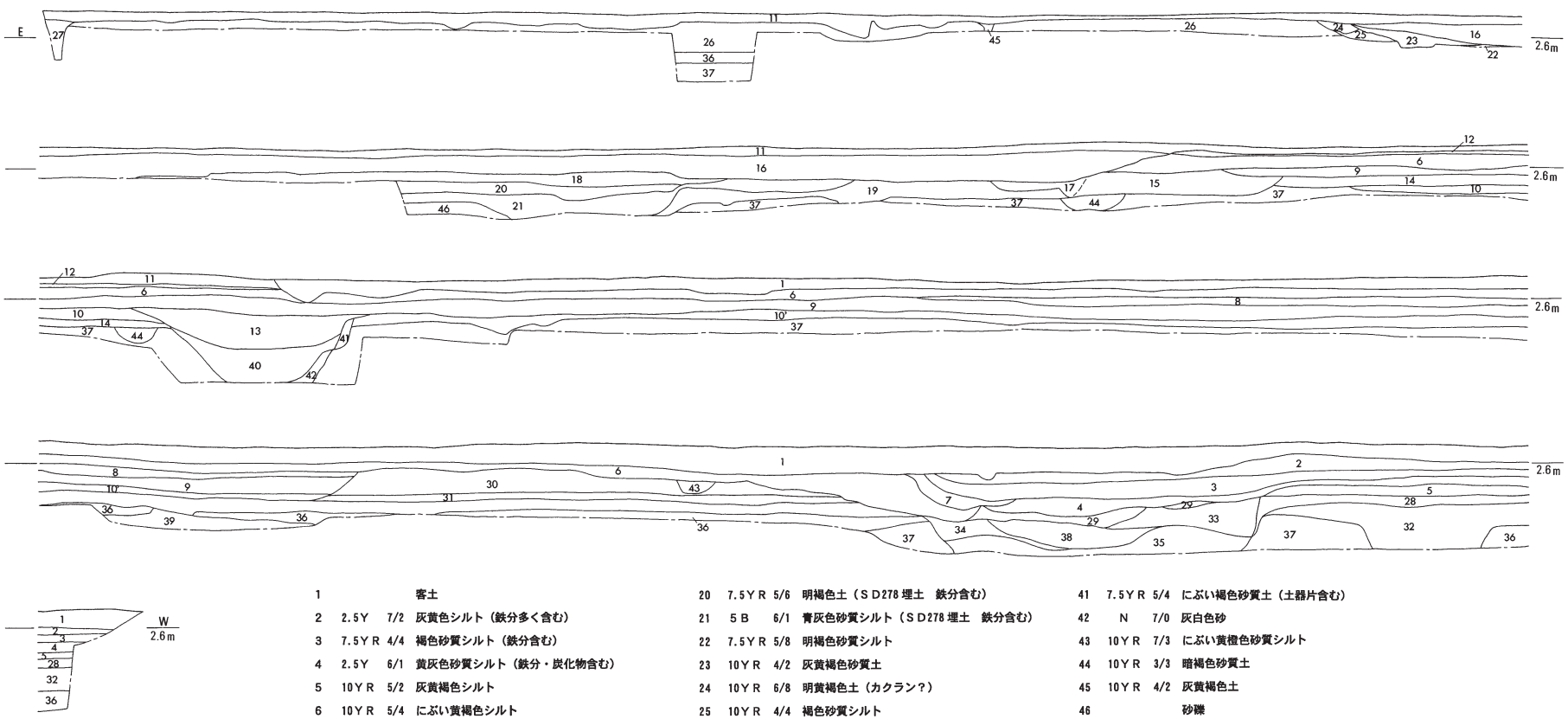


第30図　奥垣内Ⅴ地区　遺構平面図①（1：100）

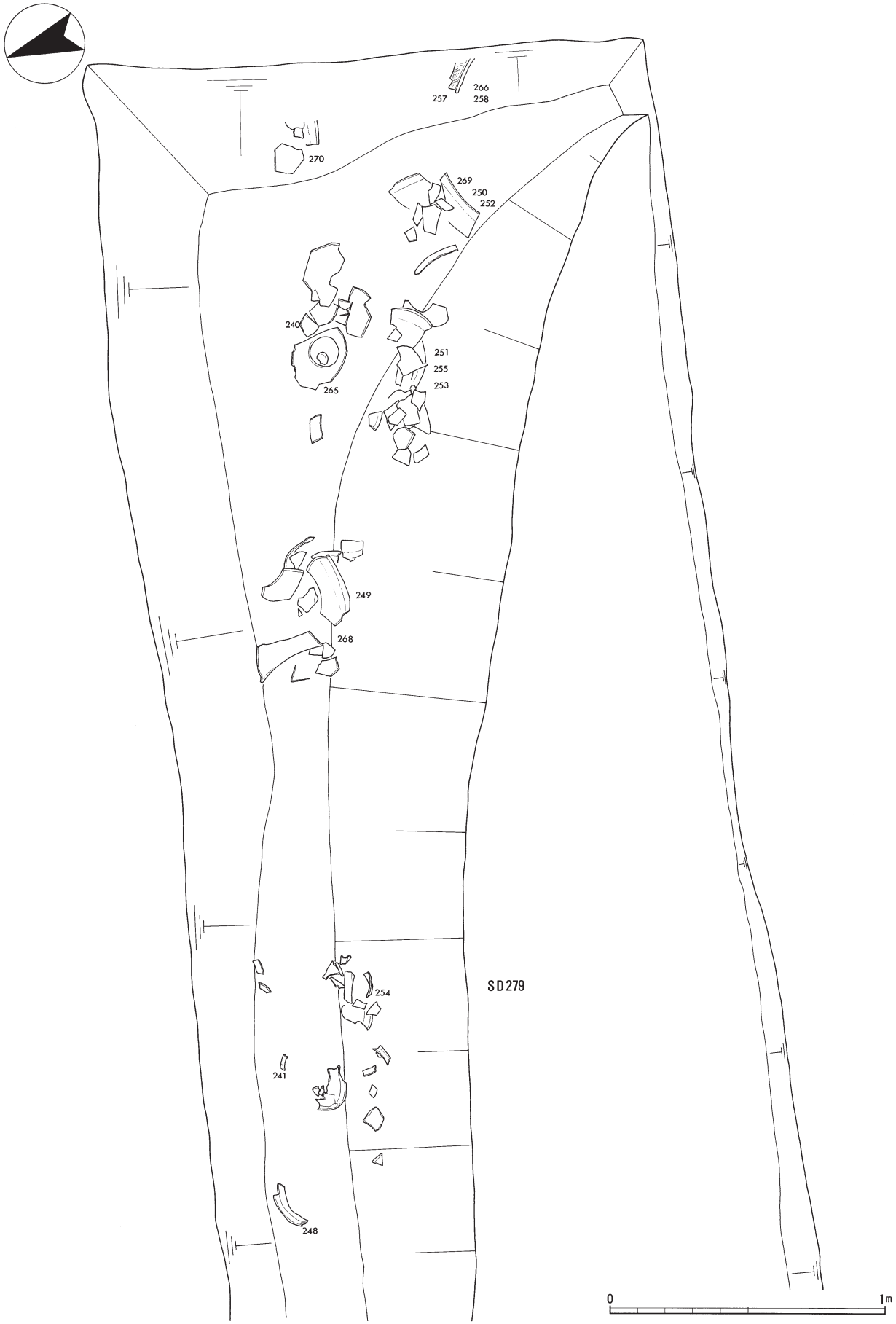


第31図　奥垣内Ⅴ地区　遺構平面図②（1：100）

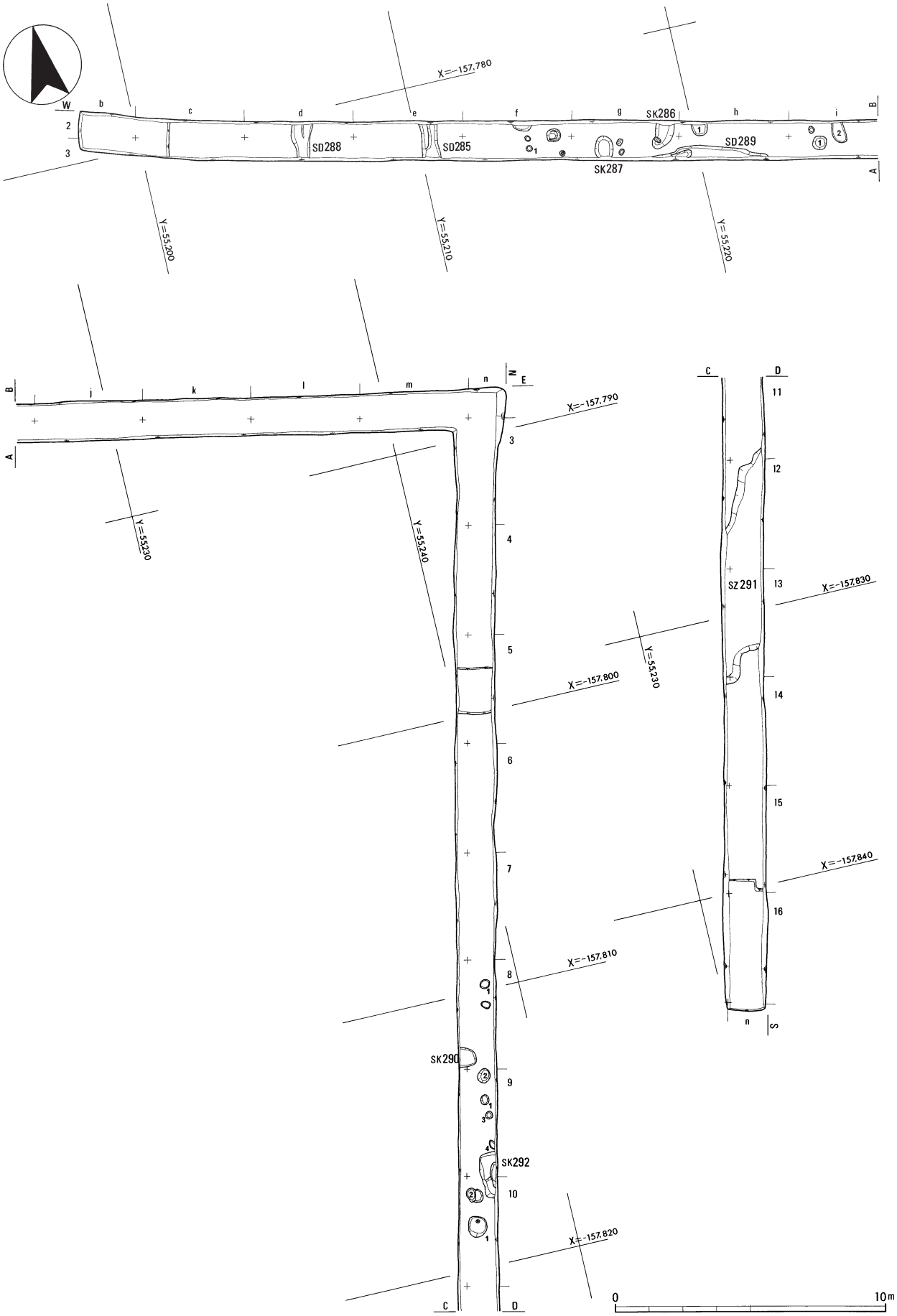
第32図　奥垣内Ⅴ地区　土層断面図（1：100）



1			客土
2	2.5Y	7/2	灰黄色シルト（鉄分多く含む）
3	7.5YR	4/4	褐色砂質シルト（鉄分含む）
4	2.5Y	6/1	黄灰色砂質シルト（鉄分・炭化物含む）
5	10YR	5/2	灰黄褐色シルト
6	10YR	5/4	にぶい黄褐色シルト
7	7.5YR	4/3	褐色砂質シルト
8	10YR	5/3	にぶい黄褐色砂質シルト（SD277埋土　鉄分・土器片含む）
9	2.5Y	5/3	黄褐色砂質シルト（SD277埋土　土器片含む）
10	10YR	4/2	灰黄褐色砂質土（SD277埋土）
10'	7.5YR	4/3	褐色砂質土
11	5Y	6/1	灰色土（旧耕作土）
12	7.5YR	6/8	橙色土（旧床土）
13	10YR	4/3	にぶい黄褐色砂質シルト（SE埋土）
14	2.5Y	4/2	暗灰黄色砂質土
15	7.5YR	4/3	褐色砂質シルト
16	10YR	6/1	褐灰色土（SD278埋土　鉄分・土器片含む）
17	7.5YR	4/3	褐色砂質土（SD278埋土　鉄分含む）
18	10YR	6/8	明黄褐色シルト（SD278埋土）
19	10Y	6/1	灰色砂質土（鉄分含む）
20	7.5YR	5/6	明褐色土（SD278埋土　鉄分含む）
21	5B	6/1	青灰色砂質シルト（SD278埋土　鉄分含む）
22	7.5YR	5/8	明褐色砂質シルト
23	10YR	4/2	灰黄褐色砂質土
24	10YR	6/8	明黄褐色土（カクラン？）
25	10YR	4/4	褐色砂質シルト
26	10YR	5/6	黄褐色砂質シルト（検出面）
27	10YR	3/4	暗褐色砂質シルト（SD279埋土）
28	5Y	7/2	灰白色シルト
29	5B	6/1	青灰色砂質シルト（鉄分含む）
30	2.5Y	5/3	黄褐色砂質シルト
31	10YR	4/3	にぶい黄褐色砂質シルト（砂多く混じる）
32	10YR	6/4	にぶい黄褐色砂質シルト（砂混じる）
33	10YR	5/2	灰黄褐色砂質シルト（鉄分含む）
34	5Y	5/2	灰オリーブ色砂質シルト（鉄分含む）
35	5B	4/1	暗青灰色シルト
36			細砂
37			中砂
38			粘土ブロック混じり中砂
39	7.5YR	3/4	暗褐色砂
40	5YR	3/4	暗赤褐色砂質シルト
41	7.5YR	5/4	にぶい褐色砂質土（土器片含む）
42	N	7/0	灰白色砂
43	10YR	7/3	にぶい黄橙色砂質シルト
44	10YR	3/3	暗褐色砂質土
45	10YR	4/2	灰黄褐色土
46			砂礫

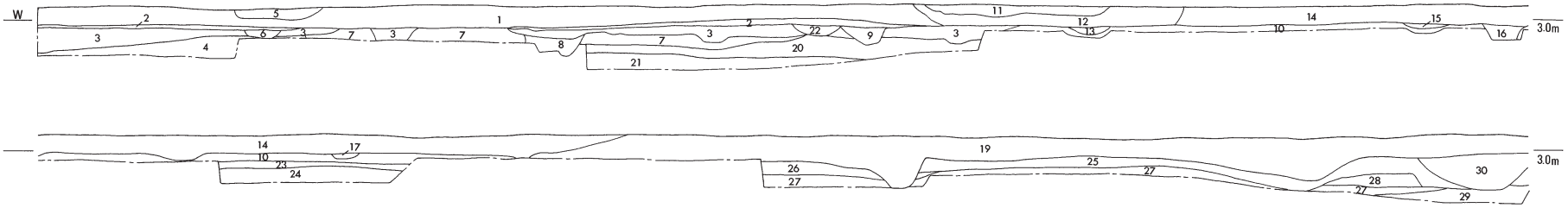


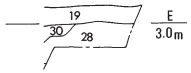
第33図　奥垣内Ⅴ地区　ＳＤ279　遺物出土状況図（1：20）



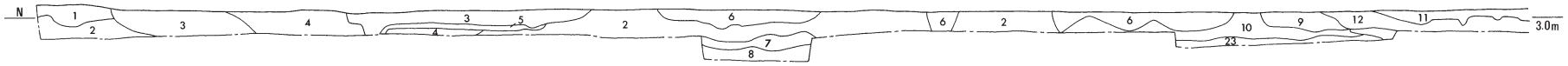
第34図　奥垣内Ⅵ地区　遺構平面図（1：200）

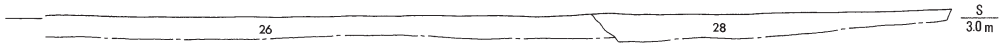
第35図　奥垣内Ⅵ地区　土層断面図（1：100）





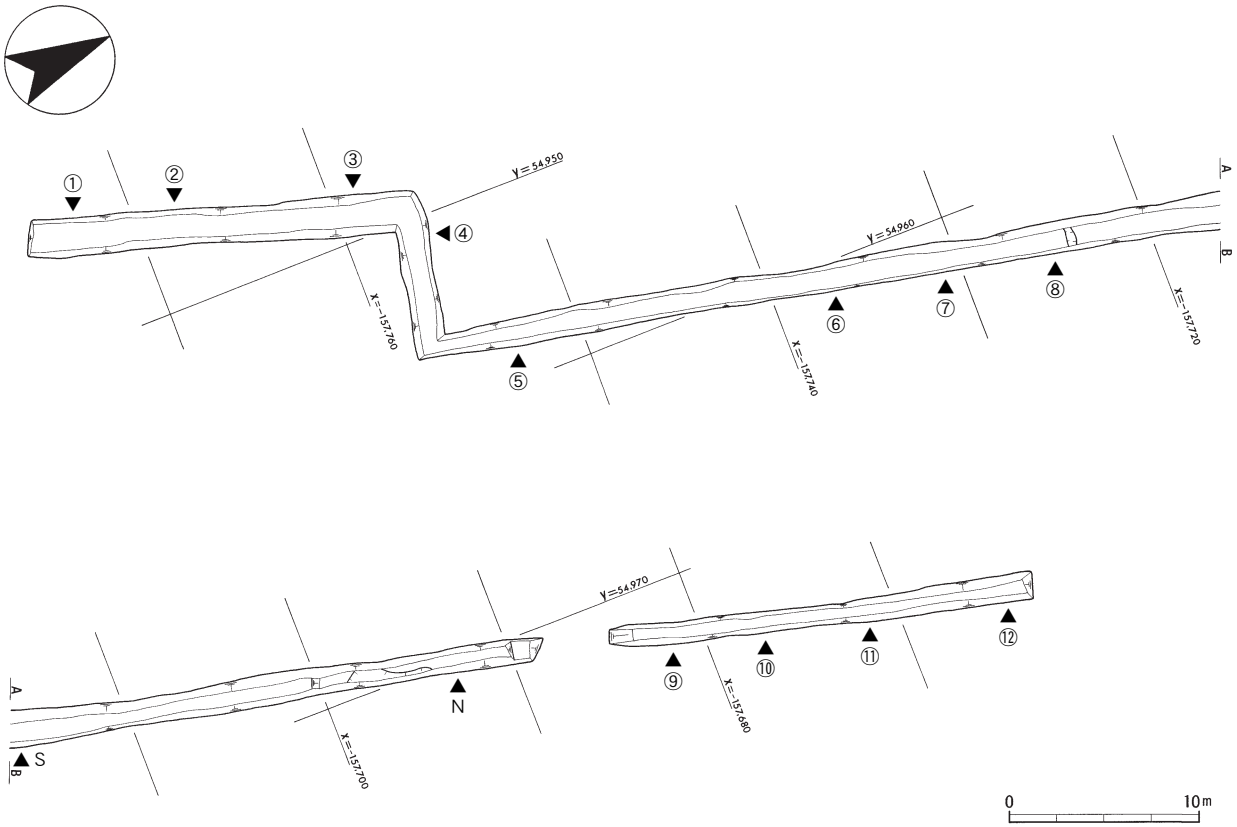
1　10ＹＲ　4/3　にぶい黄褐色土（小石・土器片含む）
2　5Ｙ　5/1　灰色シルト（鉄分含む）
3　2.5Ｙ　4/4　オリーブ褐色砂質シルト（検出面　礫・土器片含む）
4　10ＹＲ　3/4　暗褐色砂礫
5　10ＹＲ　4/4　褐色シルト
6　2.5Ｙ　4/4　オリーブ褐色砂質シルト（礫・土器片含む）
7　2.5Ｙ　6/1　黄灰色砂礫（検出面）
8　2.5Ｙ　5/4　黄褐色砂質シルト（ＳＤ288埋土　礫含む）
9　2.5Ｙ　4/3　オリーブ褐色砂質シルト（ＳＤ285埋土）
10　2.5Ｙ　4/2　暗灰黄色砂質シルト（検出面　鉄分含む）
11　2.5Ｙ　4/2　暗灰黄色土
12　7.5Ｙ　5/1　灰色シルト（礫含む）
13　2.5Ｙ　6/3　にぶい黄色シルト（鉄分含む）
14　10ＹＲ　4/4　褐色シルト（小石・土器片含む）
15　10ＹＲ　5/4　にぶい黄褐色砂質シルト（礫多く含む）
16　2.5Ｙ　4/6　オリーブ褐色砂質シルト
17　10ＹＲ　5/3　にぶい黄褐色砂質シルト（礫多く含む）
18　10ＹＲ　4/3　にぶい黄褐色砂質シルト（礫多く含む）
19　黄褐色砂質シルト（礫含む）
20　2.5Ｙ　5/1　黄灰色中砂（礫含む）
21　2.5Ｙ　4/3　オリーブ褐色中砂（礫含む）
22　2.5Ｙ　4/1　黄灰色シルト（小石・土器片含む）
23　10ＹＲ　4/2　灰黄褐色砂質土（礫含む）
24　10ＹＲ　3/1　黒褐色砂質土（礫含む）
25　10ＹＲ　4/4　褐色砂質土（礫多く含む）
26　10ＹＲ　5/6　黄褐色砂質土
27　砂（よくしまる）
28　砂礫
29　10ＹＲ　5/1　褐灰色砂
30　2.5Ｙ　4/4　オリーブ褐色砂質シルト（礫・土器片含む）

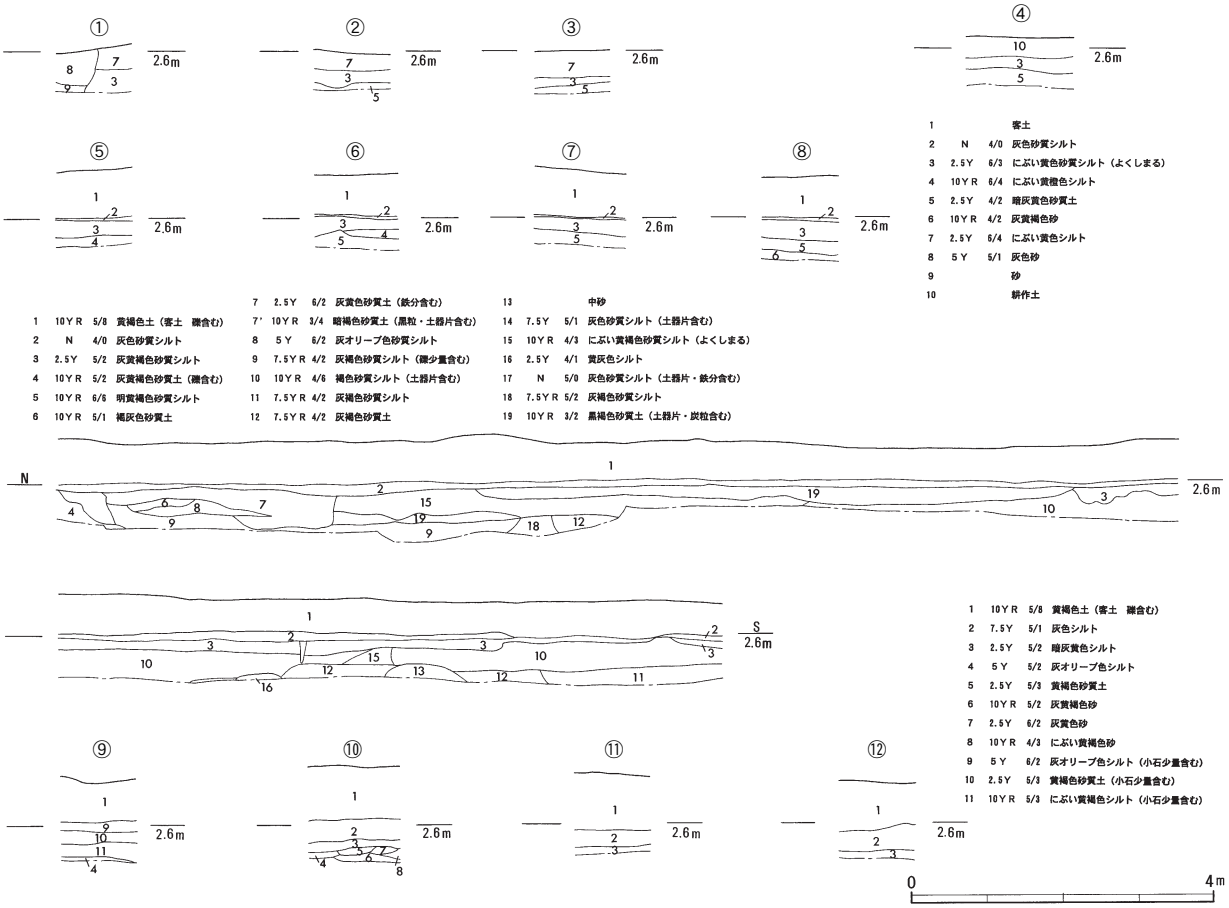




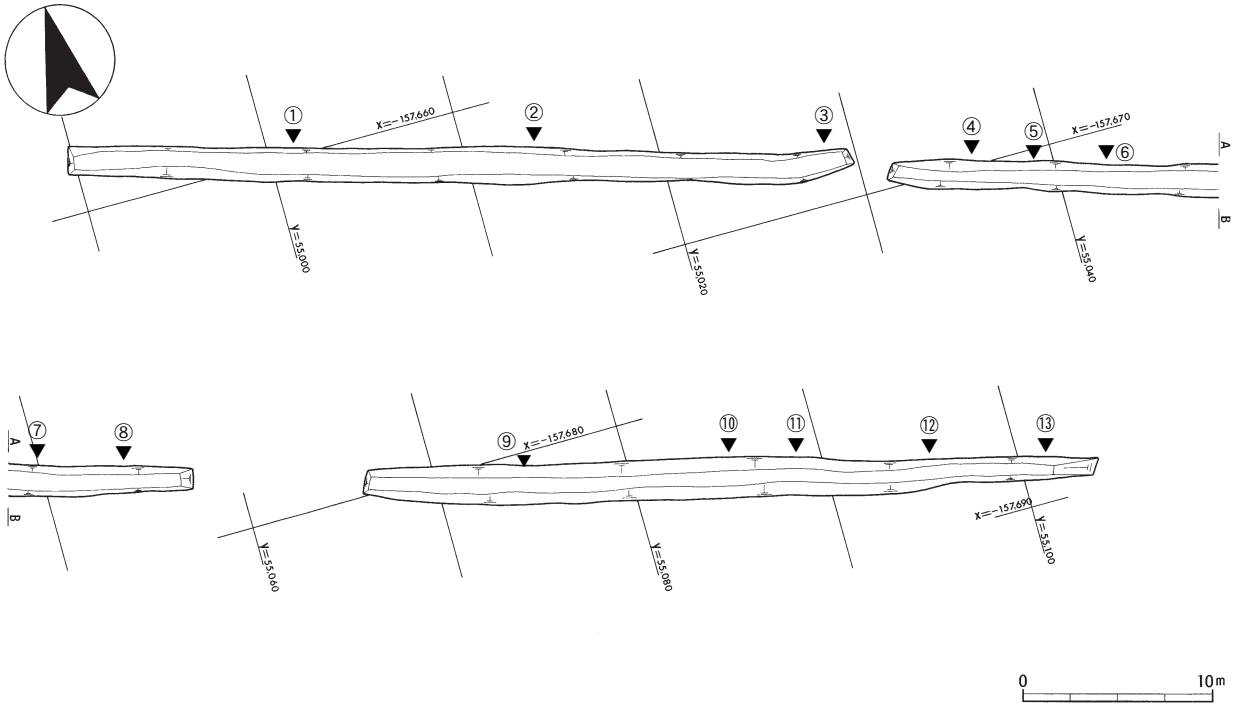
1　10ＹＲ　5/6　黄褐色砂質シルト（礫含む　北壁19）
2　砂礫
3　5Ｙ　5/2　灰オリーブ色砂質シルト（礫含む）
4　2.5Ｙ　4/6　オリーブ褐色砂（礫含む）
5　7.5ＹＲ　3/2　黒褐色砂質シルト
6　5Ｙ　5/3　灰オリーブ色シルト
7　10ＹＲ　6/2　灰黄褐色砂礫（礫多く含む）
8　2.5Ｙ　4/2　暗灰黄色砂
9　10ＹＲ　5/3　にぶい黄褐色砂
10　10ＹＲ　4/3　にぶい黄褐色砂（礫含む）
11　2.5Ｙ　4/3　オリーブ褐色シルト（礫少量含む）
12　2.5Ｙ　6/2　灰黄色砂質土
13　10ＹＲ　4/2　灰黄褐色シルト（pit埋土）
14　2.5Ｙ　5/4　黄褐色シルト（ＳＫ埋土）
15　10ＹＲ　6/4　にぶい黄橙色シルト
16　10ＹＲ　4/2　灰黄褐色砂質シルト
17　5Ｙ　4/4　暗オリーブ色砂
18　2.5Ｙ　5/3　黄褐色砂質シルト
19　2.5ＹＲ　5/3　にぶい赤褐色砂
20　2.5Ｙ　5/4　黄褐色細砂
21　2.5Ｙ　4/2　暗灰黄色砂
22　10ＹＲ　5/4　にぶい黄褐色砂
23　2.5Ｙ　4/4　オリーブ褐色粗砂
24　10ＹＲ　4/4　褐色砂質土
25　10ＹＲ　4/6　褐色砂
26　10ＹＲ　5/2　灰黄褐色砂（礫含む）
27　2.5Ｙ　5/3　黄褐色砂（礫含む）
28　5Ｙ　4/2　灰オリーブ色土（カクラン　礫含む）

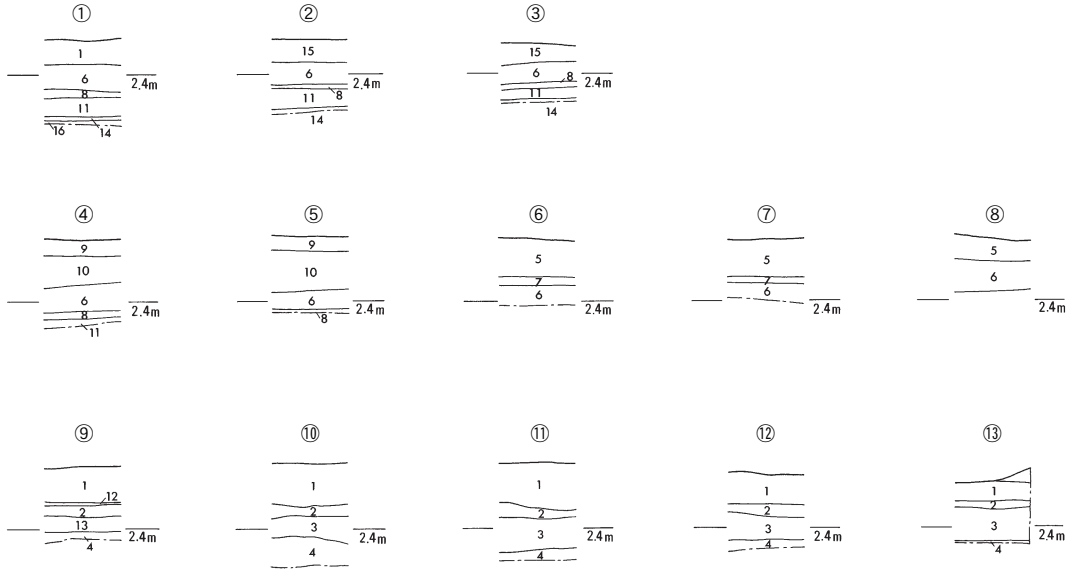
0　4m





第36図　道場Ⅲ地区　遺構平面図（1：400），土層断面図（1：100）

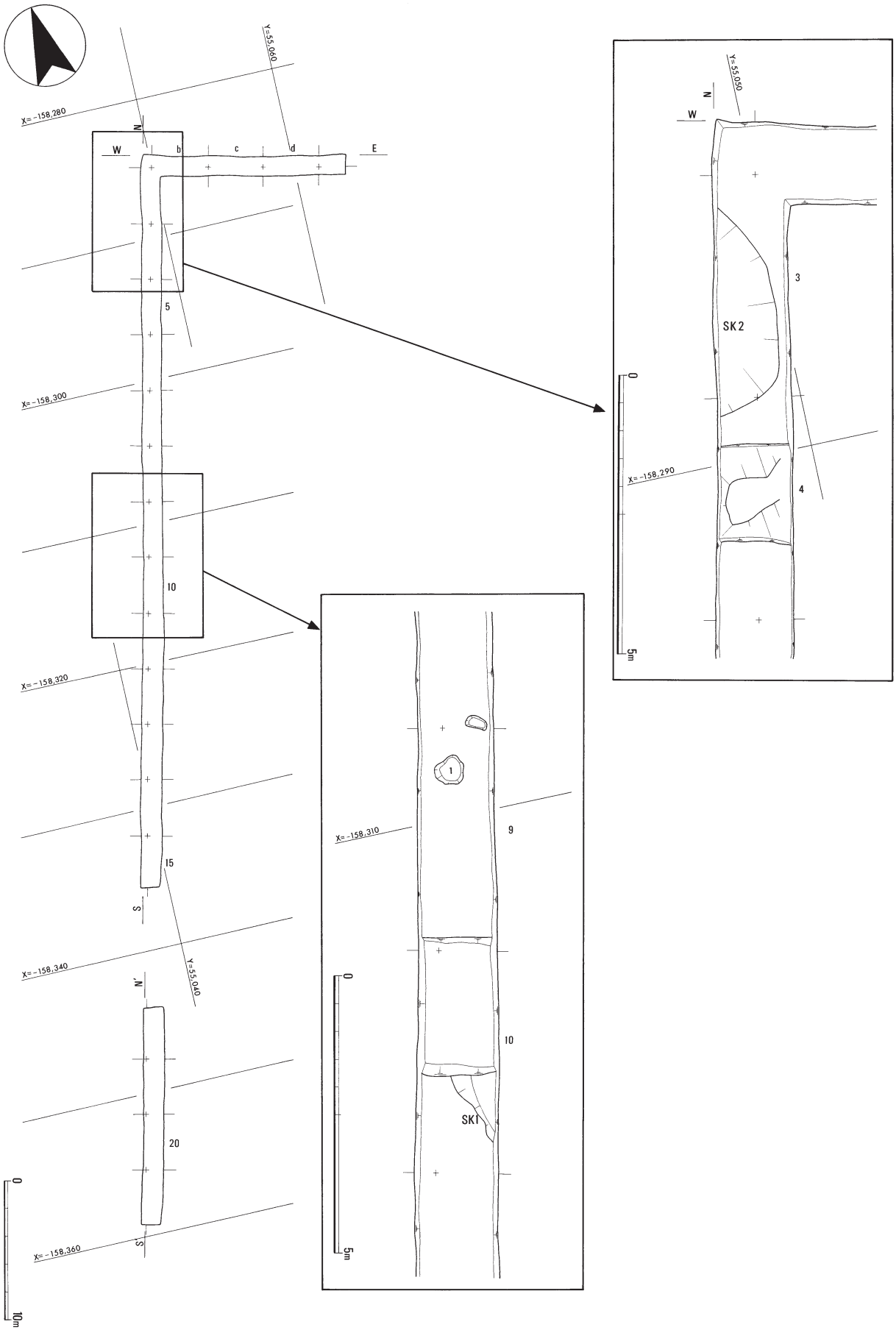




1	5Y	5/2	灰オリーブ色土（礫含む）	9			客土
2	2.5Y	5/2	暗灰黄色シルト	10			客土（砕石）
3	10YR	4/3	にぶい黄褐色シルト	11	5Y	5/1	灰色シルト（旧耕作土）
4	2.5Y	4/3	オリーブ褐色砂質シルト	12	5B	2/1	青黒色シルト
5	10YR	4/2	灰黄褐色シルト	13	2.5Y	6/4	にぶい黄色シルト
6	2.5Y	4/2	暗灰黄色砂質シルト（旧耕作土）	14	2.5Y	6/8	明黄褐色シルト（旧床土）
7	5Y	4/1	灰色シルト（炭化物含む）	15	7.5Y	2/1	黒色砂質シルト
8	10YR	6/8	明黄褐色砂質シルト（旧床土）	16	10YR	5/1	褐灰色シルト（旧耕作土）

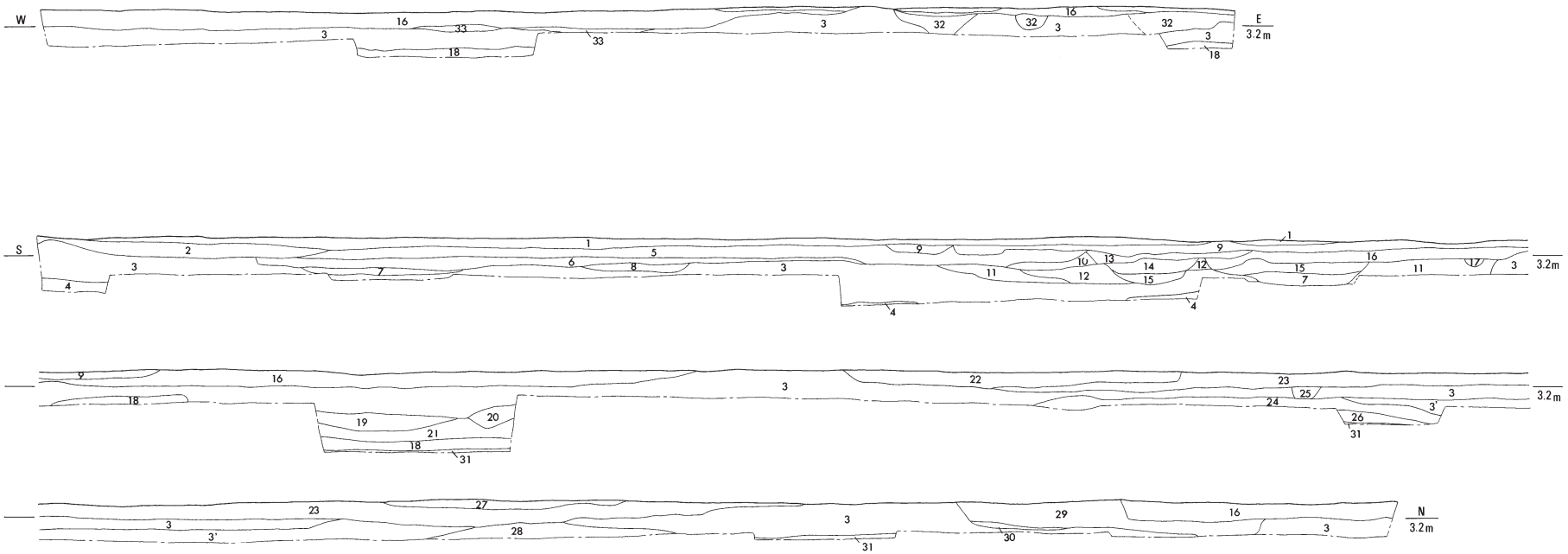
0 4m

第37図　道場Ⅳ地区　遺構平面図（1：400），土層断面図（1：100）



第38図　魚見下起遺跡Ⅰ地区　遺構平面図（1：400,　1：100）

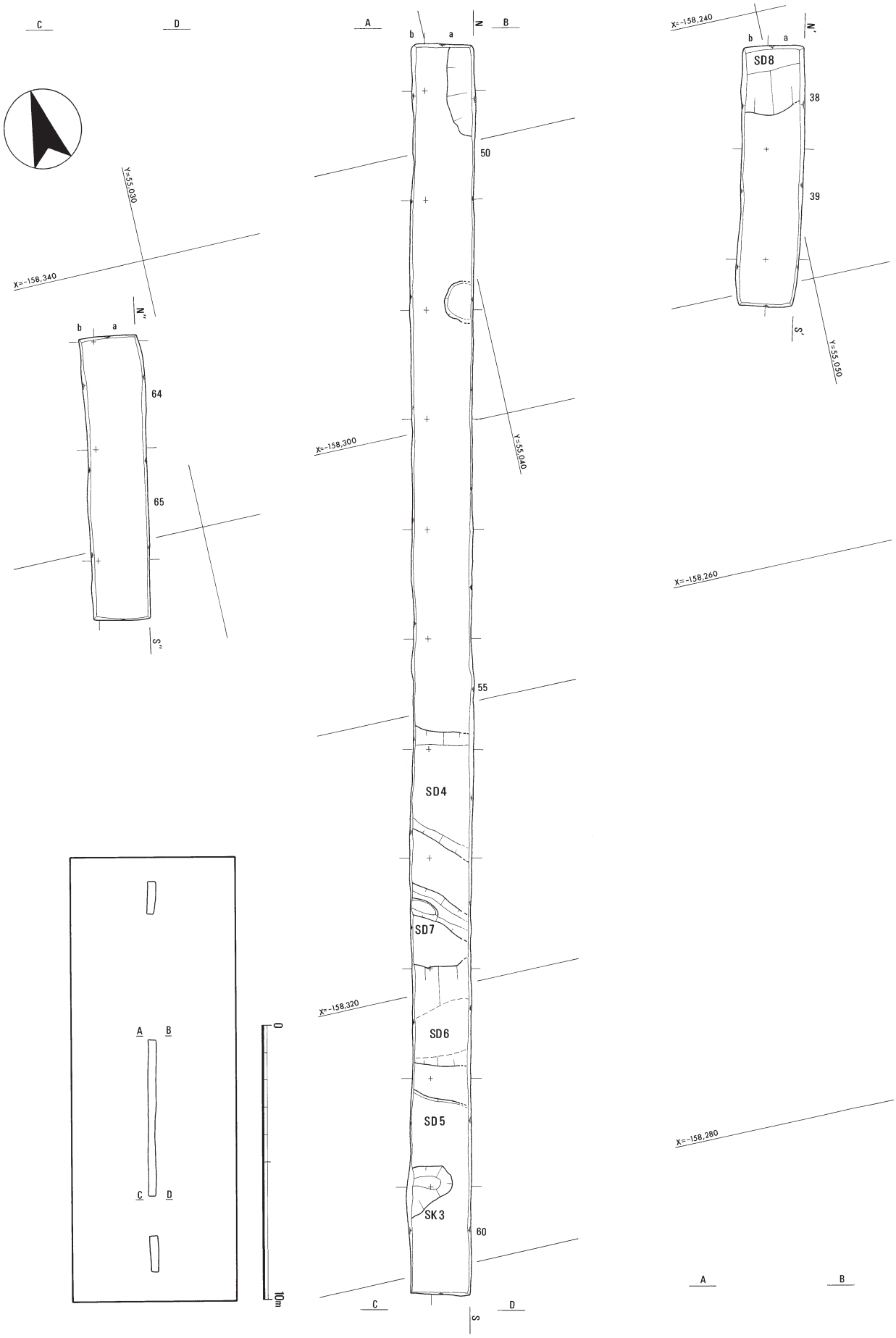
第39図　魚見下起遺跡Ⅰ地区　土層断面図（1：80）



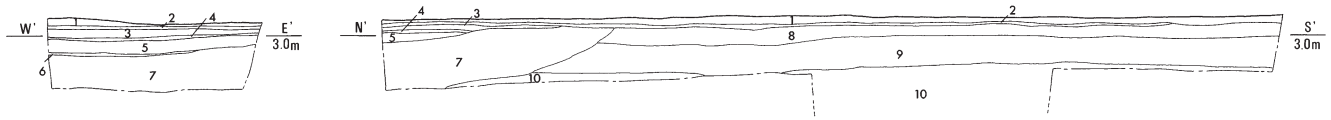
1	5B	4/1	暗青灰色砂質シルト（鉄分含む）
2	10YR	4/3	にぶい黄褐色砂質シルト（砂含む）
3	2.5Y	5/4	黄褐色砂質シルト（検出面）
3'	7.5YR	4/3	褐色砂質シルト（土器片含む）
4	2.5Y	5/2	暗灰黄色砂質土
5	10YR	5/2	灰黄褐色砂質シルト（小石含む）
6	N	5/0	灰色砂質シルト（鉄分含む）
7	5Y	6/2	灰オリーブ色砂質シルト（鉄分含む）
8	10YR	5/4	にぶい黄褐色砂質シルト
9	10YR	5/1	褐灰色砂質シルト（小石多く含む）
10	10YR	6/4	黄橙色砂質シルト
11	2.5Y	5/4	黄褐色砂質シルト（砂質強い　砂含む）
12	2.5Y	5/4	黄褐色砂質シルト（灰色土ブロック含む）
13	2.5Y	6/2	灰黄色砂質シルト
14	5B	5/1	青灰色砂質シルト（鉄分含む）
15	2.5Y	5/3	黄褐色砂質シルト（鉄分・礫含む）
16	2.5Y	5/1	黄灰色砂質土（鉄分含む）
17	7.5YR	4/1	褐灰色砂質シルト
18			砂礫
19	10YR	5/3	にぶい黄褐色シルト（礫含む）
20	10YR	5/2	灰黄褐色砂質土
21	10Y	6/1	灰色砂質シルト（礫含む）
22	2.5Y	4/3	オリーブ褐色砂質シルト（礫含む）
23	2.5Y	6/4	にぶい黄色砂質シルト
24	2.5Y	6/2	灰黄色砂質シルト
25	10YR	4/3	にぶい黄褐色砂質シルト
26	10YR	6/1	褐灰色砂質シルト
27	5B	4/1	暗青灰色土（耕作土）
28	10YR	4/3	にぶい黄褐色砂質土
29	7.5YR	4/6	褐色砂質土（ＳＫ２埋土　炭化物非常に多く含む）
30	7.5YR	4/4	褐色砂質土
31	7.5YR	4/3	褐色砂
32	10YR	4/6	褐色砂質土（炭化物含む）
33	7.5YR	5/1	褐灰色土

1	2.5Y	6/1	黄灰色シルト
2	10YR	5/4	にぶい黄褐色砂質シルト（小石・土器片含む）
3			砂礫
3'			砂礫（砂多い）
4			中砂
5	10YR	4/4	褐色砂質土
6	10BG	5/1	青灰色シルト

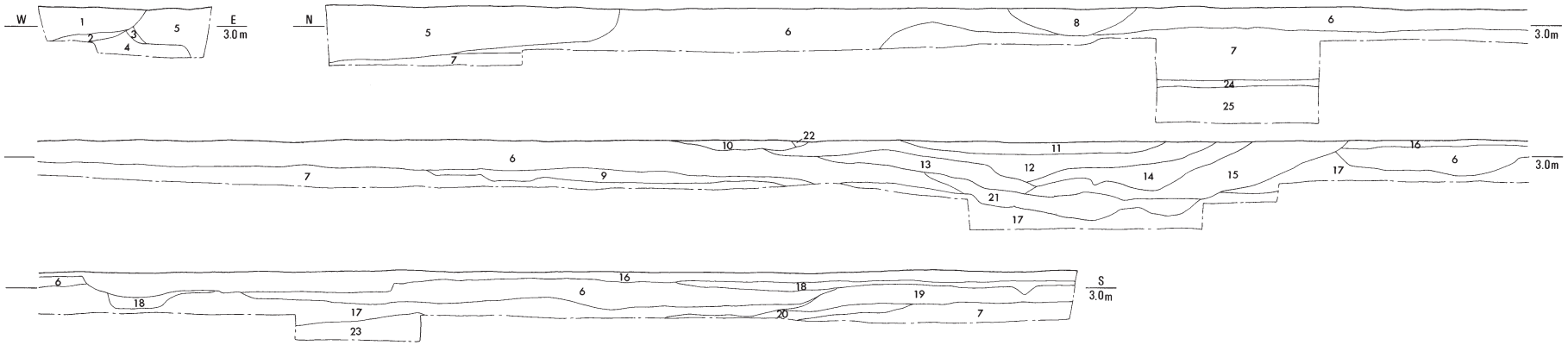
0　4m



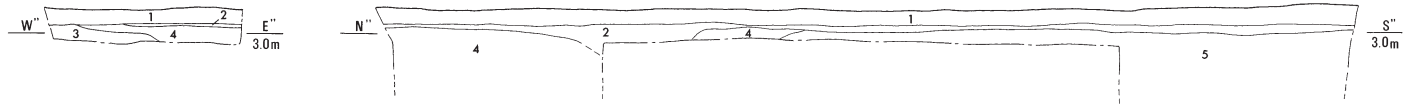
第40図　魚見下起遺跡Ⅱ地区　遺構平面図（1：200）



1	2.5Y	5/1	黄灰色土（旧耕作土）
2	7.5YR	5/6	明褐色土（旧床土）
3	10YR	5/1	褐灰色土（旧耕作土）
4	7.5YR	6/8	橙色砂質シルト（旧床土）
5	10YR	5/2	灰黄褐色砂質シルト（鉄分含む）
6	7.5YR	4/6	褐色土（旧床土）
7	7.5YR	4/1	褐灰色砂質土（礫多く含む）
8	5Y	5/1	灰色砂質シルト
9	10YR	5/4	にぶい黄褐色砂質土（固くしまる　炭粒混じる）
10			砂（粒粗い　小石含む）



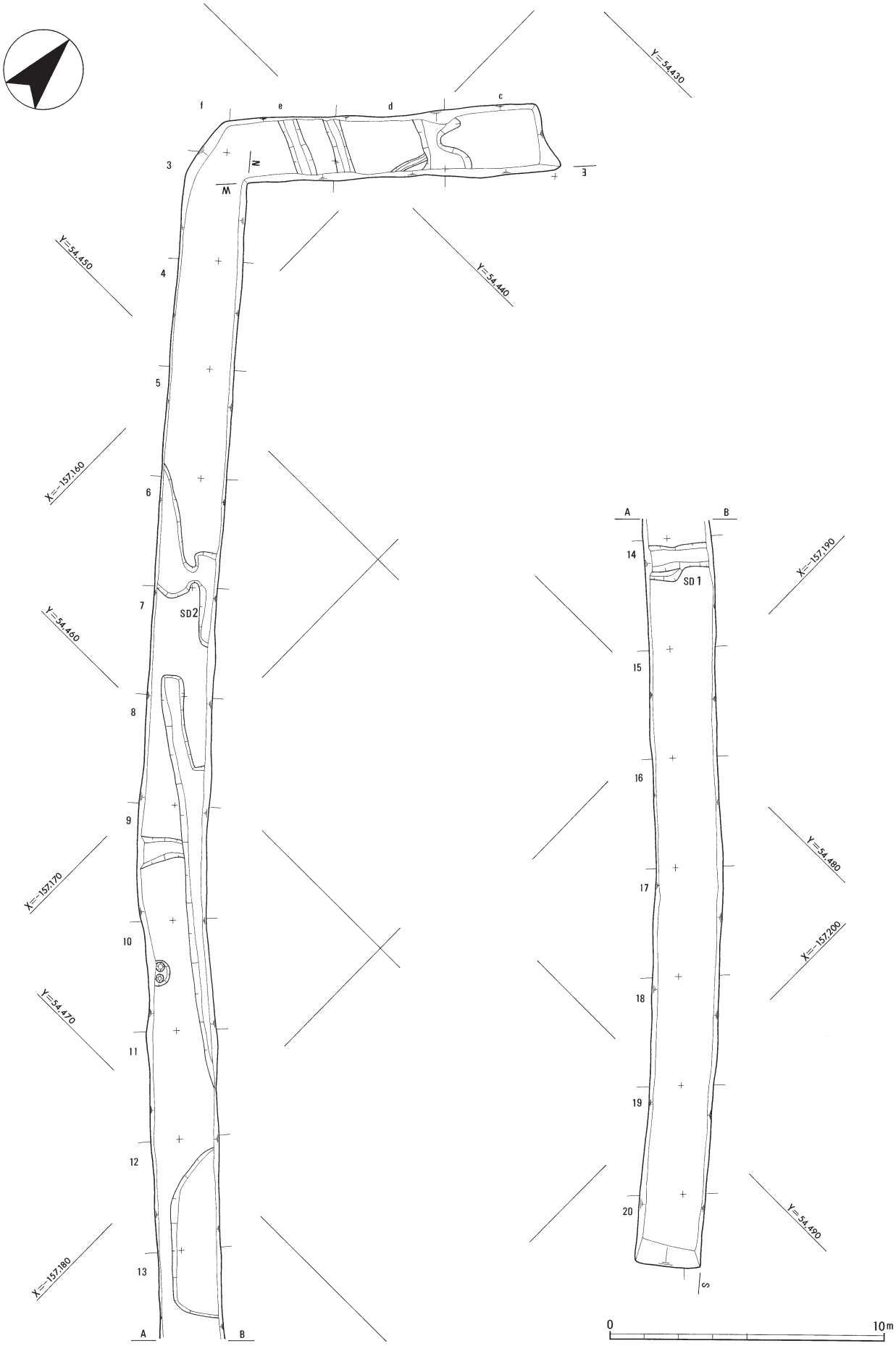
1	N	5/0	灰色土（鉄分・炭化物含む）
2	2.5Y	6/1	黄灰色砂質土（鉄分含む）
3	5Y	6/2	灰オリーブ色砂質シルト（鉄分含む）
4	5Y	6/2	灰オリーブ色砂質シルト（礫・鉄分含む）
5	5Y	5/3	灰オリーブ色砂質シルト（炭化物・土器片含む）
6	10YR	4/4	褐色砂質シルト（礫含む）
7			砂礫
8	2.5Y	6/2	灰黄褐色砂質シルト（小石含む）
9			中砂
10			砂
11	2.5Y	5/4	黄褐色土（炭粒含む）
12	2.5Y	4/4	オリーブ褐色砂質シルト
13	10YR	5/4	にぶい黄褐色砂質土（固くしまる　炭粒含む）
14	10YR	5/3	にぶい黄褐色シルト（小石含む）
15	2.5Y	4/3	オリーブ褐色砂質シルト（礫多く含む）
16	5B	6/1	青灰色砂質シルト
17	10YR	5/4	にぶい黄褐色砂質土
18	5Y	5/4	オリーブ色砂質シルト（鉄分多く含む）
19	7.5YR	5/4	にぶい褐色砂質シルト（礫含む）
20	10YR	3/4	暗褐色砂質土
21	2.5Y	4/2	暗灰黄色シルト
22	2.5Y	7/2	灰黄色砂質シルト
23	2.5Y	4/6	オリーブ褐色細砂
24			砂（礫含む）
25			中砂（礫含む）



1	2.5Y	5/1	黄灰色土（旧耕作土　鉄分含む）
2	10YR	5/6	黄褐色砂質シルト（旧床土）
3	2.5Y	4/1	黄灰色砂質土（よくしまる　鉄分含む）
4			中砂
5			砂礫

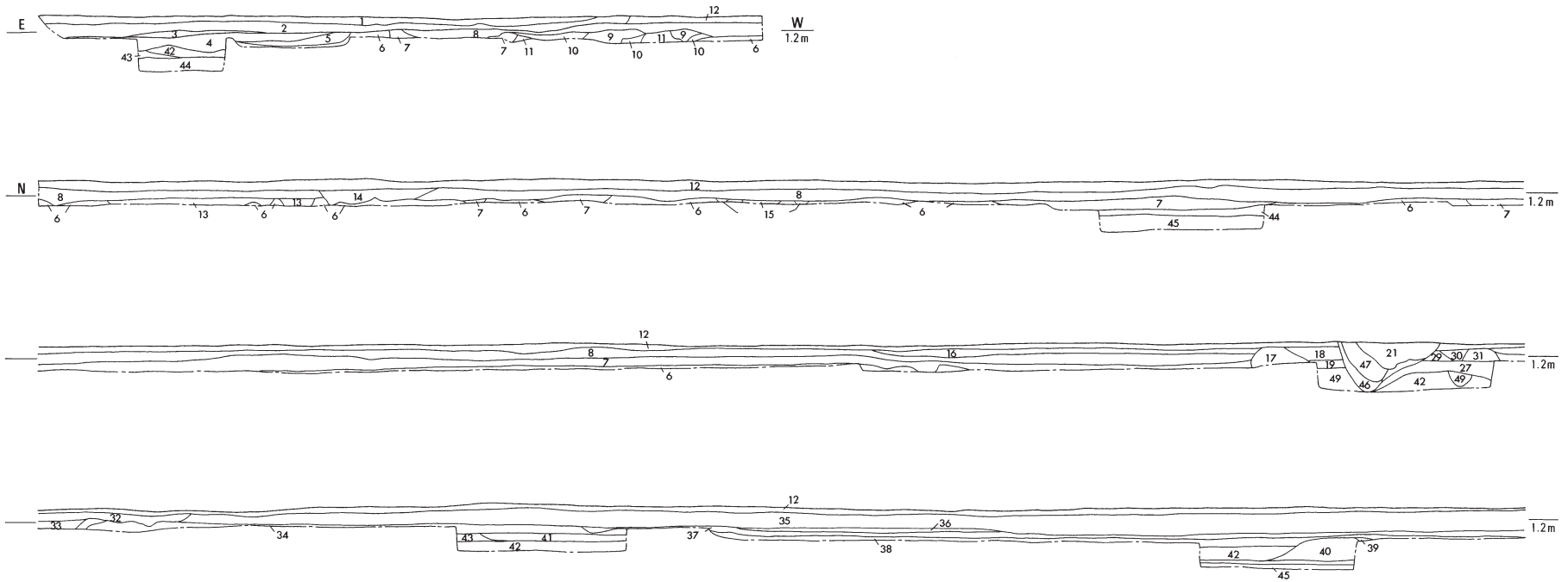
0　4m

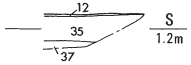
第41図　魚見下起遺跡Ⅱ地区　土層断面図（1：80）



第42図　東久保北浦遺跡　遺構平面図（1：200）

第43図　東久保北浦遺跡　土層断面図（1：100）





1	7.5YR	5/6	明褐色砂質土
2	10YR	4/6	褐色砂質土（よくしまる）
3	10YR	5/8	黄褐色砂質土
4	2.5Y	5/1	黄灰色シルト（小石含む）
5	7.5YR	4/2	灰褐褐色シルト（鉄分含む）
6	N	8/0	灰白色砂（小石含む）
7	10YR	5/2	灰黄褐色砂質土
8	10YR	5/1	褐灰色シルト
9	5Y	4/1	灰色砂質土
10	10YR	4/2	灰黄褐色砂質土
11	2.5Y	5/2	暗灰黄色砂
12	7.5Y	4/1	灰色シルト（鉄分含む）
13	10YR	3/2	黒褐色シルト
14	2.5Y	4/3	オリーブ褐色砂質土（小石含む）
15	2.5Y	5/3	黄褐色砂質土
16	2.5Y	4/1	黄灰色シルト（鉄分含む）
17	5YR	4/3	にぶい赤褐色砂
18	10YR	5/4	にぶい黄褐色砂質土
19	5YR	4/3	にぶい赤褐色砂（粒細かい）
20	10YR	3/2	黒褐色砂
21	10Y	4/1	灰色シルト（砂含む）
22	2.5Y	6/3	にぶい黄色砂質土
23	2.5Y	5/1	黄灰色砂質土
24	7.5Y	6/1	灰色シルト
25	2.5Y	6/2	灰黄色砂質シルト
26	N	4/0	灰色砂質シルト
27			砂礫（砂多い）
28	2.5Y	7/3	浅黄色砂質土
29	N	6/0	灰色砂質シルト（鉄分含む）
30	2.5Y	5/2	暗灰黄色砂質シルト（鉄分含む）
31	2.5Y	4/4	オリーブ褐色砂質土（鉄分含む）
32	2.5Y	6/4	にぶい黄色砂質土（鉄分含む）
33	5Y	6/2	灰オリーブ色砂質土（鉄分含む）
34	10YR	5/4	にぶい黄褐色砂質土（鉄分含む）
35			32より砂質強い（炭粒混じる）
36	10YR	4/2	灰黄褐色砂質シルト
37	10YR	6/8	明黄褐色シルト
38	2.5Y	6/1	黄灰色シルト質砂質土（砂多い）
39	2.5Y	6/2	灰黄色シルト
40			砂礫
41	10YR	4/2	灰褐色砂質土
42			中砂
43			しまった砂
44			粗砂
45			砂（礫含む）
46			灰色礫混じり砂
47			灰黄色シルト
48			黒灰色砂
49			赤褐色砂

0　4m

ａ　基本層序

現況はビニルハウス栽培の畑地で、もとは水田である。標高約3.2mのところに位置する。層序は第１層が客土、第２層が灰色砂質シルト、第３層が暗灰黄色シルトである。平成12年度に行われた同じ道場地区での調査[②]では、上層と下層の２つの遺構面を確認しているが、今回の第３層が上層検出面にあたるであろう。

（11）道場Ⅳ地区

調査区が、農道とビニルハウスの間の限られた狭いスペースでの調査のため、道場Ⅲ地区と同様に立会調査を行った。

ａ　基本層序

現況はビニルハウス栽培の畑地で、もとは水田である。標高約3.2mのところに位置する。層序は第１層が灰黄褐色シルトなど、第２層が灰色シルト、第３層が暗灰黄色砂質シルトである。

２　東久保北浦遺跡

ａ　基本層序

現況は水田であり、標高約1.4mのところに位置する。層序は第１層が灰色シルト、第２層が褐灰色シルト、第３層が灰黄褐色砂質土で、その下に基本的に標高0.9～1.2mで砂層が確認できる。遺構は第３層上面で検出できると考えられる。

ｂ　遺構

調査区はＬ字型で長い方が約72m、幅は約2.5mである。遺構密度が少なく出土遺物も少量である。

３　魚見下起遺跡

県道を挟んで東と西に調査区があり、東側をⅠ地区、西側をⅡ地区とした。

ａ　基本層序

現況は水田であり、標高約3.2～3.4mのところに位置する。Ⅰ地区のほうが少し高いが、砂層の出現を見ると、両地区とも標高約3.0m前後で確認できる。調査区をとおして砂層に微妙な凹凸が見られる。

ｂ　遺構

Ⅰ地区は逆Ｌ字形で長さ約80m、幅約1.5mの調査区である。遺構密度が少なく、北部と中央部でのみ遺構を検出した。Ⅱ地区は間に農道などを挟んで細切れに３つの調査区に分かれる。

土坑ＳＫ３　Ⅱ地区の真ん中の調査区の南端、ｂ59付近で検出した遺構である。西端が調査区外にあるため全体の規模は不明である。埋土からは、南伊勢系の土師器皿や鍋が出土している。16世紀後半頃の遺構であると思われる。

溝ＳＤ８　Ⅱ地区の北の調査区の北端部で検出した遺構である。大部分が調査区外にあるため、規模は不明である。溝としたが土坑である可能性もある。埋土から南伊勢系土師器の小形鍋や鍋が出土している。16世紀後半頃のものと考える。

〔註・参考文献〕

① 河北秀実・園田純子　「地搗きの復元と史的検討」（『Mie histry vol.11』　三重歴史文化研究会　2000年）
② 小濵　学・小林俊之　『川島遺跡群（第１次）発掘調査報告』　（三重県埋蔵文化財センター　2002年）

遺構番号	調査時	調査区	小地区	性格	時期	規模(m)	備考
SZ201	SZ201	門前Ⅲ	d2・d3	落ち込み	中世？	深さ 0．1	
SD202	SD202	門前Ⅲ	d8・e8	溝		幅 1．8　深さ 0．2～0．3	
SD203	SD203	門前ⅣA	c・d37～c・d44	溝	中世後半	幅 1．4　深さ 0．1，0．6	
SD204	SD204	門前ⅣA	c・d19～c・d23	溝	中世後半	幅 不明　深さ 0．4～0．5	
SD205	SD205	門前ⅣA	c・d43～c・d44	溝	中世	幅 不明　深さ 0．17	東端不明
SD206	SD206	門前ⅣA	c46・d46	溝	中世後半	幅 1．3　深さ 0．2	
SD207	SD207	門前ⅣA	c23・d23	溝	中世	幅 2．5　深さ 0．3	
SD208	SD208	門前ⅣA	c24・d24	溝	中世	幅 1．0　深さ 0．15	
SK209	SK209	門前ⅣA	d24・d25	土坑		径 2．2？　深さ 0．1，0．2	落ち込みか？
SK210	SK210	門前ⅣA	d25	土坑	中世？	短軸 0．8　深さ 0．2，0．3	落ち込みか？
SK211	SK211	門前ⅣA	c25	土坑	中世	径 1．5？　深さ 0．1	落ち込みか？
SK212	SK212	門前ⅣA	d25	土坑		径 0．7？　深さ 0．1，0．3	遺物なし　落ち込みか？
SK213	SK213	門前ⅣA	c36・d36	土坑	中世？	短軸 0．7？　深さ 0．1	
SZ214	SZ214	門前ⅣA	c23・d23		中世？	幅 0．7　深さ 0．05	土師器片　SDか？
SR215	SR215	門前Ⅴ	c6～a12	旧河道	中世以降	幅 17．0　深さ 0．2以上	
SD216	SD216	門前Ⅴ	a・b2～b17	溝	中世後半	幅 1．0　深さ 0．3	
SD217	SD217	門前Ⅴ	b15～b24	溝	16世紀後半頃	幅 不明　深さ 0．4	
SK218	SK218	門前Ⅴ	a・b5～a・b6	土坑	中世	径 2．3　深さ 0．4	
SD219	SD219	門前Ⅱ	a・b22	溝	中世	幅 9．5　深さ 0．3	
SD220	SD220	門前Ⅱ	a・b36	溝	中世？	幅 0．4　深さ 0．2	
SD221	SD221	門前Ⅱ	a・b15	溝	中世前半	幅 0．5　深さ 0．1	
SK222	SK222	門前Ⅱ	a・b37	撹乱			
SK223	SK223	門前Ⅱ	a・b16	土坑	中世？	長軸 1．1×短軸 0．8　深さ 0．2	
	SD224	門前Ⅱ					抹消
SK225	SK225	門前Ⅰ	e68～e・f69	土坑	中世？	径（2．0）　深さ 0．7(最深部)	
SD226	SD226	門前Ⅰ	e・f60～e・f61	溝	中世後半	幅 不明　深さ 0．5	
SK227	SK227	門前Ⅰ	e61・f61	土坑	中世	径（1．6）　深さ 0．3	
SD228	SD228	門前Ⅰ	e・f63～e・f64	溝	中世？	幅 2．8　深さ 0．3	
SD229	SD229	門前Ⅰ	b54・c54	溝	中世後半	幅 0．45　深さ 0．2	
SD230	SD230	門前Ⅰ	b・c37～b・c38	溝	16世紀初頭	幅 1．3　深さ 0．1	
SD231	SD231	門前Ⅰ	b53・c53	溝	13世紀後半以降	幅 0．3　深さ 0．2	
SK232	SK232	門前Ⅰ	b37・c37	土坑	13世紀後半以降	短軸 0．6　深さ 0．2	
SD233	SD233	門前Ⅰ	b・c38～b・c39	溝	中世	幅 3．4　深さ 0．1	
SK234	SK234	門前Ⅰ	b36・c36	土坑	13世紀後半以降	短軸 0．4　深さ 0．1～0．2	
SK235	SK235	門前Ⅰ	c4・c5	土坑	12世紀後半～13世紀前半	長軸 3．5×短軸（0．8）　深さ 0．2	
SK236	SK236	門前Ⅰ	c5・c6	土坑	13世紀後半以降	長軸 2．2×短軸（0．5）　深さ 0．3	
SE237	SK237	門前Ⅰ	b・c6～b・c7	石組井戸	13世紀前半		
SD238	SD238	門前Ⅰ	c11～c15	溝	13世紀前半	幅 4．5　深さ 0．1～0．2	
SD239	SK239	門前Ⅰ	b8・c8	溝？	15世紀	幅 1．2　深さ 0．3	
SD240	SD240	門前Ⅰ	b・c8～b・c9	溝	13世紀前半	幅 0．7　深さ 0．2	

第１表　川島遺跡　遺構一覧表①

遺構番号	調査時	調査区	地区	性格	時期	規模(m)	備考
SE241	SE241	門前Ⅰ	b･c10～b･c11	井戸	15世紀後半	長軸 3．4×短軸（1．4）　深さ 0．9	
SD242	SD242	門前Ⅰ	c14～c16	溝	中世前半	幅 不明　　深さ 0．3～0．4	SD238に切られる。
SD243	SD243	門前Ⅰ	b･c9～b･c10	溝	13世紀前半	幅 不明　　深さ 0．4	SD240に切られる。
SD244	SD244	門前Ⅰ	b･c43～b･c44	溝	中世後半	幅 1．3　　深さ 0．2～0．3	
255	255				抹消		
SD256	SD256	門前ⅣB	g3	溝	中世後半	幅 0．9　　深さ 0．1	
SD257	SD257	門前ⅣB	g4、g6～g9	溝	中世	幅 不明　　深さ 0．6以上	SD266を切る。
SK258	SK258	門前ⅣB	g4	土坑？	15世紀後半		SK259を切る？
SK259	SK259	門前ⅣB	g4	土坑	13世紀後半以降		
SD260	SD260	門前ⅣB	g11	溝	中世前半	幅 0．8　　深さ 0．1	
SD261	SD261	門前ⅣB	g17	溝	中世後半以降	幅 3．1　　深さ 0．1	
SK262	SK262	門前ⅣB	g7･g8	土坑	中世前半	幅 不明　　深さ 0．1	
SD263	SD263	門前ⅣB	g8	溝	中世前半	幅 0．6　　深さ 0．1	
SD264	SD264	門前ⅣB	g14	溝	中世	幅 不明　　深さ 0．05	
SD265	SD265	門前ⅣB	g18	溝	中世	幅 2．4　　深さ 0．2，0．65	
SD266	SD266	門前ⅣB	g6～g8	溝	12世紀後半～13世紀前半		SD257に切られる。or同一か？
SD267	SD267	門前ⅣB	g5･g6	溝	12世紀後半～13世紀前半	幅 不明　　深さ 0．5～0．6	SD257，SD266を切る。
SK268	SK268	門前ⅣB	g2･g3	土坑	中世	深さ 0．5	
SD269	SD269	門前ⅣB	g16	溝	中世前半	幅 2．0　　深さ 0．1	
SD270	SD270	塩角Ⅳ	i7	溝	中世前半	幅 0．4　　深さ 0．16	
SK271	SK271	塩角Ⅳ	i7	土坑	中世前半	短軸 1．0　深さ 0．12	
SD272	SD272	塩角Ⅳ	i2･i3	溝		幅 2．4　　深さ 0．1～0．2	遺物なし
SB273	SB273	塩角Ⅳ	i40～i42	掘立柱建物	中世	（2間）×（2間）	
SK274	SK274	塩角Ⅳ	i7	土坑	中世前半	径 0．8　　深さ 0．13	SK271に切られる。
SK275	SK275	奥垣内Ⅴ	b22･b23	撹乱			
SD276	SD276	奥垣内Ⅴ	a5～	溝	中世前半	幅 不明　　深さ 0．3～0．4	SD278と途中で合流する。
SD277	SD277	奥垣内Ⅴ	b7～	溝	13世紀前半頃	幅 不明　　深さ 0．4～0．5	SD278に切られる。
SD278	SD278	奥垣内Ⅴ	b15～b21	溝	13世紀前半頃	幅 不明　　深さ 0．16～0．3	SD276と途中で合流する。
SD279	SD279	奥垣内Ⅴ	a24～b26	溝	16世紀後半頃	幅 不明	
SD280	SD280	奥垣内Ⅴ	a20･a21	溝	中世	幅 不明　　深さ 0．13	
SK281	SK281	奥垣内Ⅴ	b20	撹乱			
SK282	SK282	奥垣内Ⅴ	b22	土坑	中世	径 1．3　　深さ 0．34(最深部)	
SZ283	SZ283	奥垣内Ⅴ	b3～b5		15世紀	幅 5．8　　深さ 0．12	SD276に切られる。
SK284	SK284	奥垣内Ⅴ	b12	土坑	中世前半	幅 1．3　　深さ 0．1	
SD285	SD285	奥垣内Ⅵ	e2･e3	溝	13世紀前半	幅 0．6　　深さ 0．12～0．2	
SK286	SK286	奥垣内Ⅵ	g2･g3	土坑	13世紀後半以降	短軸 0．6　深さ 0．08	
SK287	SK287	奥垣内Ⅵ	g2･g3	土坑	13世紀後半以降	短軸 0．66　深さ 0．2	
SD288	SD288	奥垣内Ⅵ	d2･d3	溝	13世紀後半以降	幅 0．7　　深さ 0．14	
SD289	SD289	奥垣内Ⅵ	h3	溝	13世紀後半以降	幅 不明　　深さ 0．07	
SK290	SK290	奥垣内Ⅵ	n8	土坑	13世紀後半以降	短軸 0．7　深さ 0．1	

第２表　川島遺跡　遺構一覧表②

遺構番号	調査時	調査区	地区	性格	時期	規模(m)	備考
SZ291	SZ291	奥垣内Ⅵ	n12	流路？	中世	幅 3.0　深さ 0.1	
SK292	SK292	奥垣内Ⅵ	n9・n10	土坑	中世後半	径 1.7　深さ 0.46(最深部)	SK293を含む。
	SK293						抹消
SK294	SK294	門前Ⅶ	d9	土坑	中世以降	短軸 1.5×長軸 1.8　深さ 0.3	
SK295	SK295	門前Ⅶ	d8	土坑	近世	短軸 1.2×長軸 1.6　深さ 0.5	
SK296	SK296	門前Ⅶ	d8	土坑	中世以降	短軸 0.6×長軸 0.8　深さ 0.1	
SK297	SK297	門前Ⅶ	d8	土坑	近世	短軸 1.3×長軸 1.6　深さ 0.4	
SK298	SK298	門前Ⅶ	e10	土坑	近世	短軸 2.0×長軸 3.2　深さ 0.6	
SK299	SK299	門前Ⅶ	c6	土坑	近世	深さ 0.3	
SK300	SK300	門前Ⅶ	d8	土坑	中世以降	径 0.8　深さ 0.1, 0.3	
SK301	SK301	門前Ⅶ	e9	土坑	中世以降	短軸 0.8×長軸 1.1　深さ 0.1	
SK302	SK302	門前Ⅶ	c9	土坑	近世	短軸 1.8×長軸 2.2 深さ 0.05, 0.2	
SK303	SK303	門前Ⅶ	c9	土坑	近世	径 0.7　深さ 0.3	
SK304	SK304	門前Ⅶ	b8・c8	土坑	近世	深さ 0.4	
SK305	SK305	門前Ⅶ	c3	土坑	中世以降		集石
SK306	SK306	門前Ⅶ	d9	土坑	中世以降	深さ 0.17	SK294に切られる。
SD307	SD307	門前Ⅶ	d9	溝	中世以降	幅 0.5　深さ 0.1	
SB308	SB308	門前Ⅰ	b50・c50ほか	掘立柱建物	中世か？	(2間)×(2間)	遺物ほとんど無し

第３表　川島遺跡　遺構一覧表③

遺構番号	調査時	調査区	小地区	性格	時期	規模(m)	備考
SK1	SK1	魚見Ⅰ	b10	土坑	16世紀後半頃	深さ 約0.5	
SK2	SK2	魚見Ⅰ	b3	土坑	中世後半		
SK3	SK3	魚見Ⅱ	b59・60	土坑	16世紀後半頃		
SD4	SD4	魚見Ⅱ	b56	溝	16世紀後半頃		
SD5	SD5	魚見Ⅱ	b59	溝	中世	幅 4.0　深さ 0.1	
SD6	SD6	魚見Ⅱ	b58	溝	16世紀後半頃	幅 5.0　深さ ～0.3	
SD7	SD7	魚見Ⅱ	b57	溝	16世紀	幅 1.0　深さ 0.1	
SD8	SD8	魚見Ⅱ	b38	溝	16世紀後半頃		

第４表　魚見下起遺跡　遺構一覧表

遺構番号	調査時	調査区	小地区	性格	時期	規模(m)	備考
SD1	SD1		e・f14	溝		幅 1.0　深さ 0.2	
SD2	SD2		e・f7	溝		幅 1.0　深さ 0.1	

第５表　東久保北浦遺跡　遺構一覧表

Ⅳ　調査の成果～出土遺物～

１　川島遺跡

今回の調査によって出土した遺物は整理箱にして約110箱である。時期的には中世のものが中心であるが、地区によっては近世の遺物も出ている。

以下各調査区ごとの出土遺物について記述する。個々の遺物の詳細については、遺物観察表を参照されたい。

（１）門前Ⅰ地区出土の遺物（１～68）

溝ＳＤ243出土遺物（１～35）　１～19は南伊勢系土師器小皿、20～28は土師器皿である。小皿についてはいずれも口径約７～8cm、皿については約13～14cm程度である。伊藤裕偉氏による南伊勢系皿の編年[①]（以下、「伊藤編年」と呼称）のⅡａ期に相当する。

29・30は陶器小皿、31・32は陶器椀である。29～31の底部外面には「⋈」の墨書がある。いずれも知多産のものと考えられ、藤澤良祐氏による編年[②]（以下、「藤澤編年」と呼称）の６型式に相当するものである。

33は常滑産の陶器片口鉢である。

34・35は南伊勢系土師器の鍋である。34の外面には煤が付着している。伊藤裕偉氏による南伊勢系鍋の編年[③]（以下、「伊藤鍋編年」と呼称）の第１段階ａ～ｂに相当するものであろう。

土坑ＳＫ237出土遺物（36～39）　36・37は陶器小皿、38は陶器椀である。38はよく使いこまれており、内面がツルツルしている。いずれも渥美産であると思われ、藤澤編年の６型式に併行する。

39は土錘である。

溝ＳＤ240出土遺物（40）　40は陶器小皿である。底部外面に墨書がある。

溝ＳＤ238出土遺物（41）　41は陶器椀である。高台部にモミガラ痕が見られる。知多産のもので、藤澤編年の５～６型式に相当すると思われる。

溝ＳＤ242出土遺物（42）　42は陶器椀である。藤澤編年の６型式に相当する。

土坑ＳＫ235出土遺物（43・44）　43は陶器椀、44は土師器甕である。43は知多産のもので藤澤編年の５型式併行に相当すると思われる。44の内外面には炭化物が付着している。

井戸ＳＥ241出土遺物（45～47）　45は陶器小皿である。底部外面に「⋈」の墨書が、内面には重ね焼痕が見られる。

46・47は南伊勢系土師器の鍋である。いずれも外面に煤が付着している。46は第３段階ｂ、47は第４段階ａに相当する。

ｐｉｔ出土遺物（48～52）　48は陶器椀、49は陶器皿である。いずれも知多産のものである。

50～52は南伊勢系土師器の皿である。51と52は同じｐｉｔから出土している。50は伊藤編年のＢ系統Ⅱａ期、51・52はＢ系統のⅣａ期に相当するであろう。

土坑ＳＫ239出土遺物（53～59）　53・54は南伊勢系土師器の鍋、55～58は羽釜である。53は鍋Ａ、54は鍋Ｂ$_1$で第４段階のｂに相当する。55は小形の羽釜で、短く内傾する口縁部を持ち鍔は短い。56～58は口縁部が内弯し、いわゆる姥口形を呈するものである。

59は瀬戸産の陶器の鉢で、藤澤古瀬戸編年[④]の古瀬戸後Ⅱ期頃のものと考える。

包含層ほか出土遺物（60～68）　60・61は南伊勢系土師器の小皿、62・63は皿である。62・63はＢ系統のⅡａ～Ⅲｂに相当する。

64は陶器小椀、65～67は陶器椀である。65の底部内面には重ね焼き痕が見られる。67の底部外面には「⋈」の墨書がある。

68は須恵器の壺である。表土掘削中に出土したものであるが、中に骨が詰まっていた（骨の同定は「Ⅴ　自然科学分析」参照）。

（２）門前Ⅱ地区出土の遺物（69～72）

ｐｉｔ出土遺物（69）　69は12世紀後半頃の土師器の甕である。口縁部が「く」の字状に外反し、端部を折り返す。

表土掘削ほか出土遺物（70～72）　70は土師器高杯

の脚部である。外面に赤色顔料を施している。古墳時代後期頃のものであろう。

71・72は土師器の椀である。同様のものが松阪市の鴻ノ木遺跡[5]で確認されている。口縁部外面が剥離しており、これは鴻ノ木遺跡の例でも同様である。

（３）門前Ⅲ地区出土の遺物（73～91）

溝ＳＤ202出土遺物（73）　73は土師器の壺で、古墳時代前期頃のものと思われる。

ｐｉｔ出土遺物（74～88）　74～79は同じｐｉｔから出土している。74・75・76は土師器皿、77・78は土師器椀である。79は陶器椀で、藤澤編年の３型式に併行するかと思われる。

74～76は伊藤編年のＡ系統の小皿で、Ｉ期に相当する。

80～86は同じｐｉｔ内出土である。80・81はロクロ土師器の小皿である。82は知多産の陶器椀で４型式に相当する。83は猿投産の陶器椀であると思われる。84は土師器椀、85は土錘、86は土師器甕である。

87・88は同じｐｉｔから出土している。87はＩ期の小皿、88はフイゴの羽口である。

包含層ほか出土遺物（89～91）　89は陶器の小椀で、高台はない形である。底部外面に「○」の墨書が見られる。

90は陶器甕で渥美産と思われる。平底を呈し、外面には平行タタキ目を施す。

91はやや大型の土錘である。

（４）門前Ⅳ地区出土の遺物（92～124）

土坑ＳＫ262出土遺物（92）　92はロクロ土師器の小皿である。12世紀後半頃のものと思われる。

溝ＳＤ204出土遺物（93）　93は土師器皿である。伊藤編年のＢ系統Ⅲｂ期に相当する。

溝ＳＤ260出土遺物（94）　94は土師器の杯である。口縁部に強いヨコナデを施したため、底部から口縁部にかけてのところに稜を持つ。平安時代中～後期頃のものと思われる。

溝ＳＤ256出土遺物（95・96）　95は陶器の折縁深皿の口縁部、96は陶器の椀形鉢の高台部である。

95は古瀬戸後Ｉ期のものと思われる。

溝ＳＤ206出土遺物（97）　97は南伊勢系土師器の鍋である。伊藤鍋編年の鍋Ｃに相当する。

溝ＳＤ265出土遺物（98・99）　98は瀬戸の折縁中皿の口縁部である。古瀬戸後Ｉ期のものと思われる。小片であったため、本来の大きさよりも小さく図示しているかもしれない。

99は常滑の練鉢の口縁部である。

溝ＳＤ203出土遺物（100）　100は南伊勢系土師器の羽釜で、口径が約22cmと小形のものである。

土坑ＳＫ258出土遺物（101・102）　101・102は南伊勢系土師器の鍋Ａに相当するものである。101は煤が付着しておらず未使用のものと思われる。また102は外面の煤が五徳の使用を示唆する形で付着しており、おもしろい（図版20）。素地の状況から15世紀前半頃のものであると思われる。

溝ＳＤ266出土遺物（103～111）　103は南伊勢系土師器の甕である。Ｉ期に相当する時期のものであろう。

104は陶器の小椀、105～109は陶器椀である。全体的によく使いこまれている痕跡が見られる。いずれも藤澤編年の４型式に相当すると思われる。

110は土錘、111は陶器の壺である。111は底部に砂粒の圧痕が見られる。渥美産のものであろう。

包含層ほか出土遺物（112～124）　112は須恵器杯蓋である。古墳時代後期のものである。

114は土師器の甕で７世紀代のものと思われる。

115は青磁の椀の高台部、116は陶器壺、117は知多産の陶器の皿である。115の外面は鎬蓮弁文と考えられる。

118・119は南伊勢系土師器の小皿、120～122は皿である。伊藤編年のⅢｂ～Ⅳａ期に相当する。

123は土錘である。

124は土師器椀である。71と同様のもので、口縁部外面が剥離している。

（５）門前Ⅴ地区出土の遺物（125～193）

溝ＳＤ216出土遺物（125～135）　125は瀬戸産の陶器の平椀、126・127は知多産の陶器椀である。

128～130は南伊勢系土師器の皿で、Ｂ系統Ⅳａ期に相当する。

131・132は土師器椀の高台部である。口縁は71

や72のようなものとなる。

133は瀬戸産陶器の練鉢である。古瀬戸後Ⅰ～Ⅱ期のものと考えられる。

134・135は南伊勢系土師器の鍋Ａである。

溝ＳＤ217出土遺物（136～181）　136は常滑産の陶器の練鉢、138は無頸壺、139～142は甕である。139は外面に煤、内面に炭化物が付着している。140～142は常滑産のものであろう。

143～147は南伊勢系土師器の皿である。143～145はＢ系統Ⅳｂ期に相当するものであり、146・147はＤ系統のものであろう。

148～151は南伊勢系の土師器椀、152は陶器丸椀である。

153～159は陶器椀である。いずれも藤澤編年の５型式～６型式に相当すると思われる。他の遺物との関係から混入遺物であると考える。

160・161は茶釜蓋である。底部は欠損しているが、おそらく底部内面につまみがつくと思われる。

162は加工円盤である。常滑の甕の体部を利用していると思われる。

163は南伊勢系土師器の小形の羽釜、164～175は鍋、176～178は茶釜、179～181は壺である。164は鍋Ａ、165～168は鍋Ｃ、169～175は鍋Ｂで、第４段階ｄ～ｅに相当する。179～181は口縁部の形態は茶釜と同じであるが、それよりも大形であるためここでは壺とした。

土坑ＳＫ218出土遺物（182・183）　182は瀬戸産の陶器平椀、183は陶器椀である。他の出土遺物から、183は混入遺物であると考える。

旧河道ＳＲ215出土遺物（184～191）　184は瀬戸産陶器の擂鉢である。古瀬戸後Ⅳ期（新）のものである。

185・186は陶器椀である。藤澤編年の５型式に相当する。

187は土師器椀で、口縁部外面が剥離する。124などと同様のものである。

188は18世紀頃の磁器椀で、肥前・波佐見系のものと思われる[6]。189も同じく18世紀頃の陶器椀で、瀬戸美濃系のものである。底部外面に墨書が見られる。

190・191は近世の南伊勢系土師器の小皿である。190は内面に墨書が見られる。

包含層ほか出土遺物（192・193）　192は須恵器壺の口縁部である。古墳時代後期頃のものであろう。

193は平瓦片であるが、砥石に転用されているようである。

（６）門前Ⅶ地区出土の遺物（194～239）

土坑ＳＫ297出土遺物（194～198）　194・195は土師器皿である。いずれも油煙が付着しており、灯明皿として使用されたものであろう。かなり赤い胎土で、他の出土遺物とも考え合わせると、近世のものであると思われる。

196は陶器の灯明受皿である。口縁部には油煙が付着している。灰釉が施されており、油溝が半月形を呈す。信楽産であると思われる。

197は陶器皿、198は磁器椀である。

包含層など出土遺物（199）　199は天目茶椀である。瀬戸の大窯期のものであろう。

土坑ＳＫ305出土遺物（200）　200は陶器の鉢である。

土坑ＳＫ304出土遺物（201～209）　201は土師器小皿、202は天目茶椀の高台部、203は陶器の灯明受皿である。203は灰釉が施されており、油溝が半月形を呈す。信楽産と思われる。

204は磁器皿である。

205は瓦質の焙烙である。久居市以北でよく見られ、南勢での出土は珍しい[7]。

207は銭貨（寛永通寶）である。

208は瀬戸産の陶器擂鉢、209は常滑産の陶器鉢である。

いずれも18世紀代のものと思われる。

土坑ＳＫ299出土遺物（210～215）　210は陶器椀で、瀬戸美濃産のものである。津市に所在する雲出島貫遺跡でも同様のものが出土している[8]。

211は磁器椀、212は陶器大皿、213は陶器土瓶、214は土師器の焙烙、215は陶器（炻器）である。コンロや七厘のようなものであると思われる。211は瀬戸美濃産、213は信楽産であろう。

土坑ＳＫ295出土遺物（216～219）　216は陶器灯明皿、217・218は灯明受皿である。いずれも鉄釉が施されている。216は見込み部分に環状痕が見ら

れる。217・218の油溝は切立状である。いずれも瀬戸美濃産であると思われる。

219は銭貨（寛永通寶）である。

いずれも18世紀～19世紀代のものと思われる。

土坑ＳＫ298出土遺物（220～231）　220～222は土師器小皿である。222の口縁部に油煙が確認できることから灯明皿であると思われる。

223は陶器の灯明受皿である。鉄釉が施されており、油溝は切立状を呈す。瀬戸美濃産である。

224は陶器の蓋である。煤が付着している。

225は陶器椀、226は陶器鍋である。

227は陶器の擂鉢である。瀬戸産のものである。

228は陶器の筒状花器ではないかと思われるが、徳利の可能性もある。

229は磁器の小形壺であると思われる。口縁は円形であるが、器形は六角柱のように体部にそれぞれ面を持つ。肥前・波佐見系であろう。

230は五輪塔片で風輪である。

231は南伊勢系土師器の壺である。中には土師器皿片が入れられていた。

土坑ＳＫ302出土遺物（232～239）　232は丸瓦片である。凸面部分にスタンプが施されている。

233は磁器で仏飯器である。瀬戸美濃産のものであろう。

234・235は磁器の皿である。底部内面に同様の型押文様が見られる。瀬戸美濃産のものであると思われる。

236・237は磁器の椀、238は蓋である。内面には「成化年製」の文字が確認できる。237は肥前・波佐見系、それ以外は瀬戸美濃産であると考える。

239は平瓦片である。後端面の部分に232と同型のスタンプが押されている。

（７）奥垣内Ⅴ地区出土の遺物（240～294・296・298）

溝ＳＤ279出土遺物（240～272）　240は南伊勢系土師器の小皿、241・242は皿、243は椀の高台部である。伊藤編年による241・242はＣ系統に相当する。

244・245は天目茶椀で、大窯期のものである。

246～249は南伊勢系土師器の鍋Ａ、250～258は鍋Ｂである。いずれも伊藤鍋編年の第４段階ｃ～ｄにおさまるものと思われる。

259～261は陶器鉢である。259は常滑産の練鉢で、内面に十文字のヘラ記号が施されている。260・261は瀬戸産の擂鉢で内外面に鉄泥が施される。大窯Ⅱ期に相当する。

262は石製の硯である。

263・264は加工円盤である。いずれも常滑産の甕の体部を転用したものである。

265・266は南伊勢系土師器の茶釜、267～270は鍋Ｃ、271・272は羽釜である。

溝ＳＤ277出土遺物（273～287）　273は南伊勢系土師器の小皿、274～277は皿である。いずれもⅡｂ期に相当するものと思われる。

278は南伊勢系土師器の鍋である。第１段階ａに相当する。

279は陶器小皿、280～286は陶器の椀である。285は底部外面に「⋈」の墨書が見られる。286の底部外面にも墨書が見られる。藤澤編年の５～７型式にあたるであろう。

287は土師器壺の口縁部で、古墳時代前期のものであろう。他の出土遺物から、混入遺物であると考える。

溝ＳＤ278出土遺物（288～291）　288は陶器小椀、289・290は椀である。290の底部外面には「⋈」の墨書が見られる。藤澤編年の５～７型式に相当すると思われる。

291は南伊勢系土師器の鍋である。第４段階ｃに相当する。ＳＤ278は12世紀後半～13世紀前半頃の遺構であると考えており、291はこの時期に合わない。遺構掘削時に、それとは気付かず新しい遺構も一緒に掘削したのかもしれない。

溝ＳＤ276出土遺物（292～294）　292は土師器の高杯である。脚部外面に櫛描文と刺突文が施されている。古墳時代前期のものと思われる。混入遺物であろう。

293は灰釉陶器の皿、294は陶器の椀である。294は知多産であると思われ、藤澤編年の第６型式に相当するものであろう。内面には炭化物が付着している。

表土掘削ほか出土遺物（296・298）　296は陶器の

椀である。渥美産であると思われる。内面に炭化物が付着している。

298はロクロ土師器の皿である。

（８）奥垣内Ⅵ地区出土の遺物（295・297・299～304）

表土掘削ほか出土遺物（295・297）　295は陶器皿、297は白磁の椀である。297の底部内面に重ね焼痕が見られる。

溝ＳＤ285出土遺物（299～303）　299は南伊勢系土師器小皿、300は皿、303は鍋である。303は第１段階ａ～ｂに相当する。

301は陶器小皿、302は陶器椀である。いずれも知多産で藤澤編年の第５～６型式に相当する。

ＳＺ291出土遺物（304）　304は常滑産の陶器甕である。

２　魚見下起遺跡

土坑ＳＫ３出土遺物（１～６）　１～４は南伊勢系土師器の皿である。Ⅳｃ期に相当する。

５は土師器の蓋、６は鍋である。６は第４段階ｅに相当する。

溝ＳＤ７出土遺物（７）　７は陶器皿である。底部内面にトチン痕が確認できる。瀬戸産のものであろう。

ｐｉｔ出土遺物（８）　８は南伊勢系土師器の鍋である。器高が低く、焙烙に近い器形になってきている。伊藤鍋編年の第４段階ｅに相当する。

包含層ほか出土遺物（９・10）　９は陶器の水滴、10は天目茶椀である。いずれも鉄釉が施されている。瀬戸産のものであろう。

土坑ＳＫ８出土遺物（11～14）　11は南伊勢系土師器の鍋Ａ、12・14は鍋Ｃ、13は鍋Ｂである。これらは第４段階ｄ～ｅに相当する。

土坑ＳＫ１出土遺物（15）　15は南伊勢系土師器の鍋Ｃである。

溝ＳＤ４出土遺物（16）　16は南伊勢系土師器の鍋Ａである。

土坑ＳＫ２出土遺物（17）　17は南伊勢系土師器の壺である。

〔註・参考文献〕

①　以下、南伊勢系の土師器皿については、
　伊藤裕偉　『岩出地区内遺跡群発掘調査報告』　（三重県埋蔵文化財センター　1996年）
　伊藤裕偉　『多気遺跡群発掘調査報告』　（三重県埋蔵文化財センター　1993年）
による。

②　以下、陶器椀については、
　藤澤良祐　「山茶碗研究の現状と課題」　（『研究紀要』第３号　三重県埋蔵文化財センター　1994年）
による。なお、本文中では「山茶椀」を「陶器椀」、「山皿」を「陶器小皿」とする。

③　以下、南伊勢系の鍋については、
　伊藤裕偉　「伊勢の中世煮沸用土器から東海を見る」（『鍋と甕そのデザイン』　第４回東海考古学フォーラム　1996年）
　伊藤裕偉　「中世南伊勢系の土師器に関する一試論」（『Mie histry』 vol.1　三重歴史文化研究会　1990年）
による。

④　以下、古瀬戸については、
　『研究紀要』第５輯（財団法人　瀬戸市埋蔵文化財センター　1997年）
　藤澤良祐　「瀬戸・美濃大窯編年の再検討」　（『研究紀要』第10輯　財団法人　瀬戸市埋蔵文化財センター　2002年）
による。

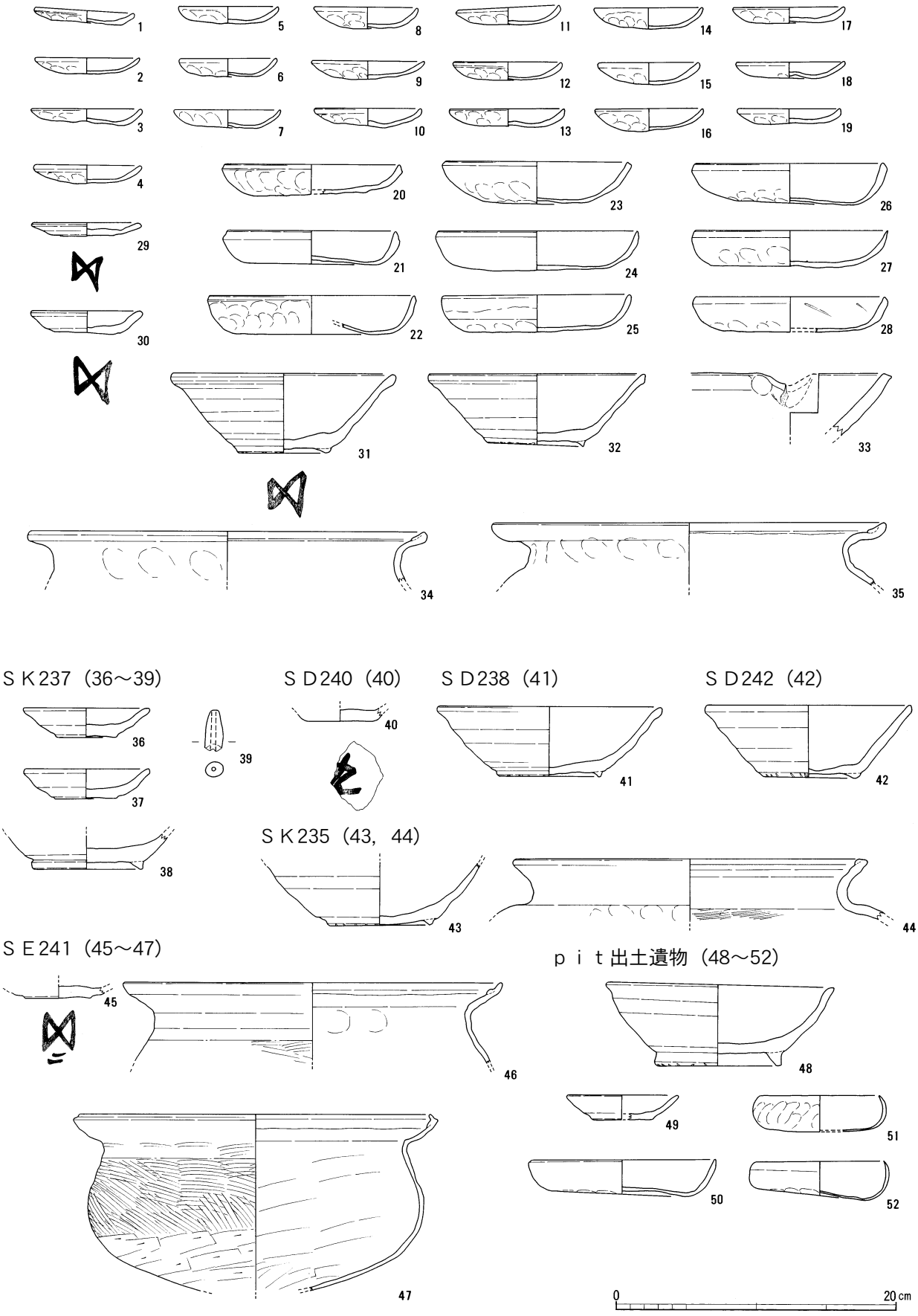
⑤　森川常厚ほか　『鴻ノ木遺跡（上層編）』　（三重県埋蔵文化財センター　1998年）

⑥　近世の出土遺物については、
　井汲隆夫ほか　『内藤町遺跡』第Ⅱ分冊〈遺物編〉（新宿区内藤町遺跡調査会　1992年）
を主に参照した。

⑦　伊藤裕偉氏の御教示による。

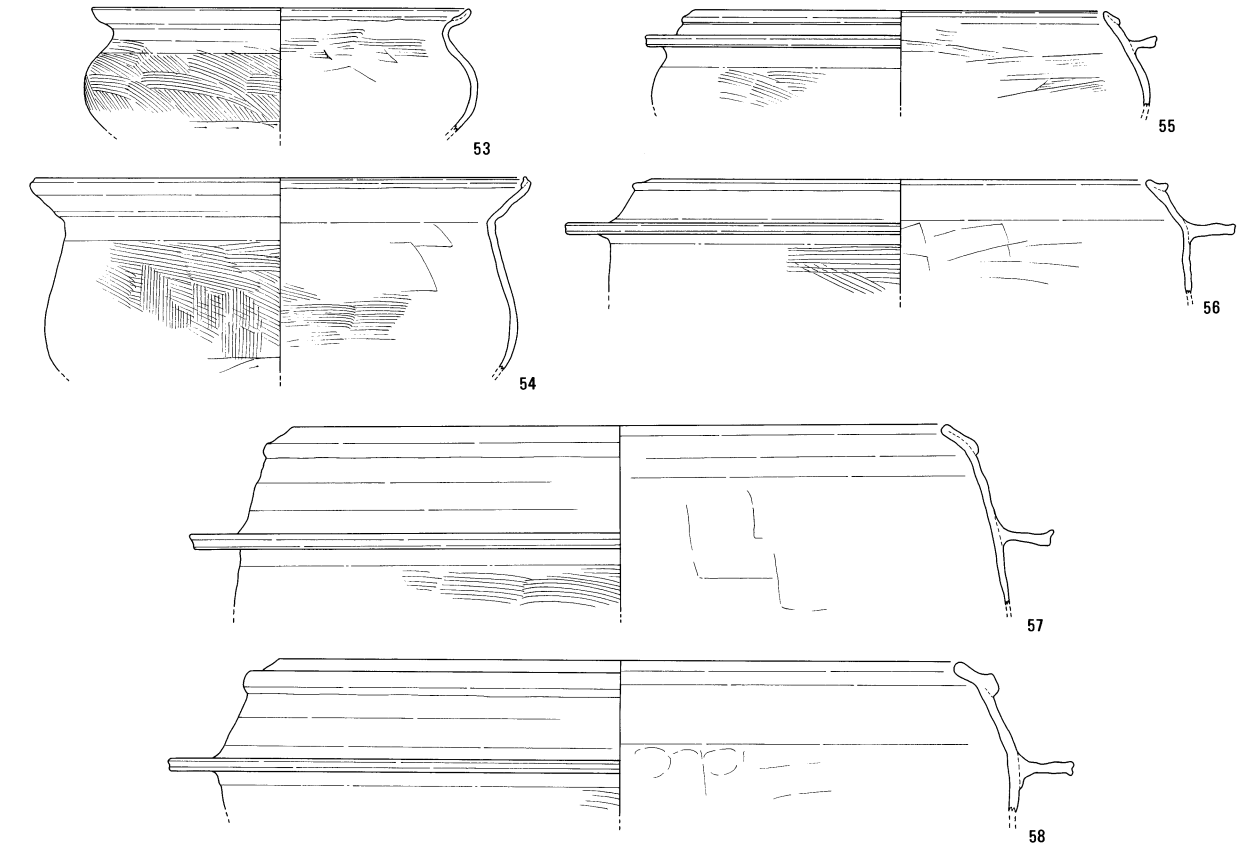
⑧　伊藤裕偉　『嶋抜Ⅱ』　（三重県埋蔵文化財センター　2000年）

門町Ⅰ地区　ＳＤ243（１～35）

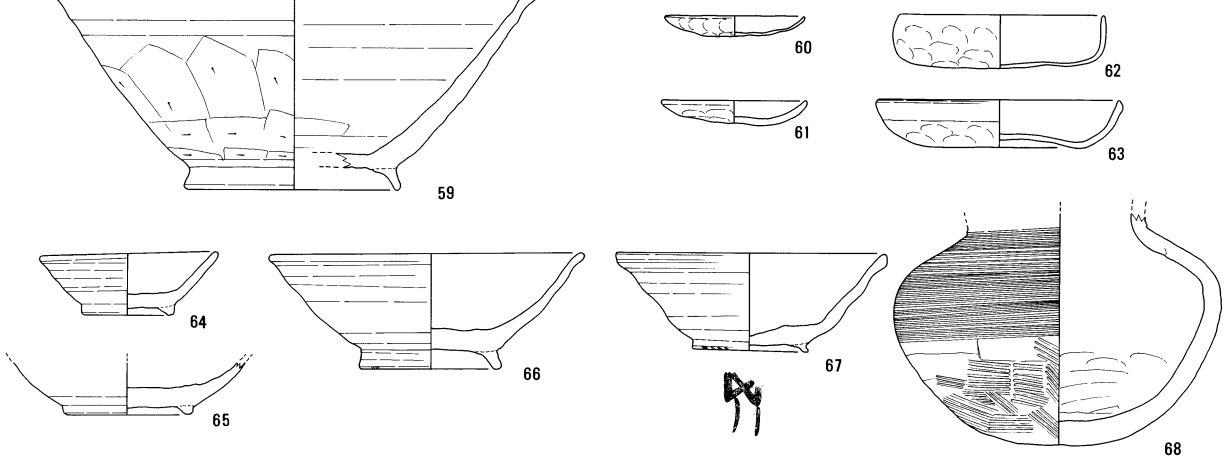


第44図　門前Ⅰ地区　出土遺物実測図（１：４）

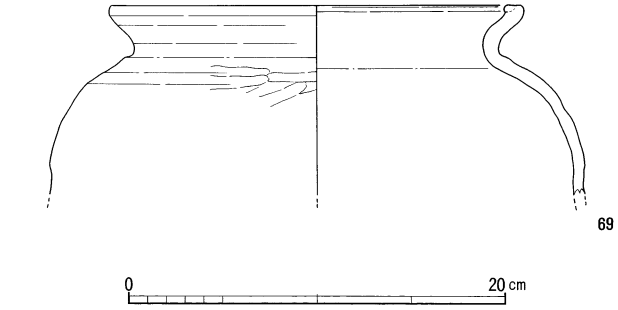
門前Ⅰ地区　ＳＫ239（53～59）



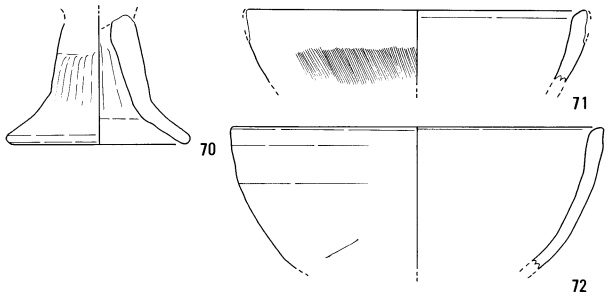
包含層ほか出土遺物（60～68）



門前Ⅱ地区　ｐｉｔ出土遺物（69）

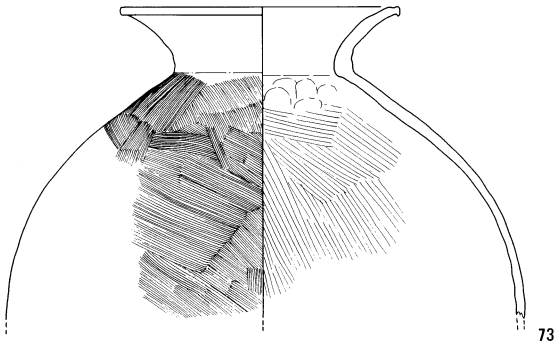


門前Ⅱ地区　表土掘削ほか出土遺物（70～72）

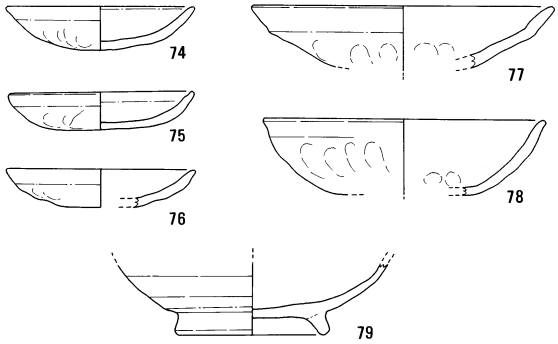


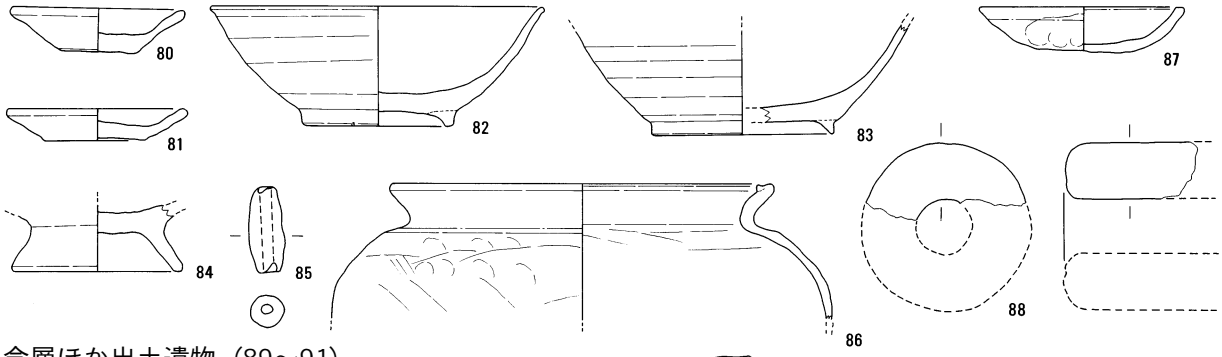
第45図　門前Ⅰ・Ⅱ地区　出土遺物実測図（１：４）

門前Ⅲ地区　ＳＤ202（73）

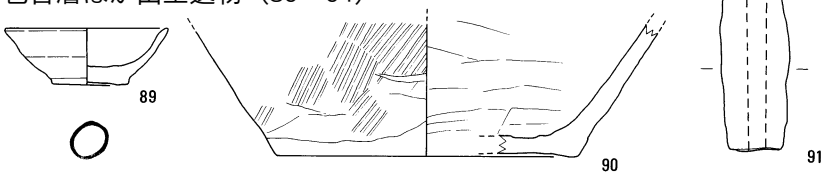


ｐｉｔ出土遺物（74～88）

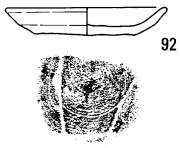




包含層ほか出土遺物（89～91）

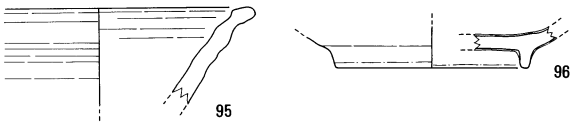


門前Ⅳ地区　ＳＫ262（92）

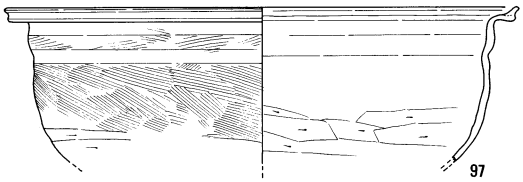


門前Ⅳ地区　ＳＤ204（93）　ＳＤ260（94）

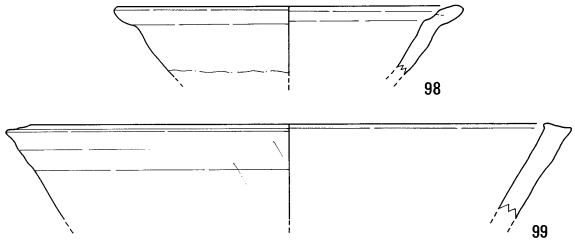
ＳＤ256（95，96）



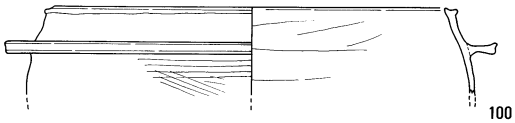
門前Ⅳ地区　ＳＤ206（97）



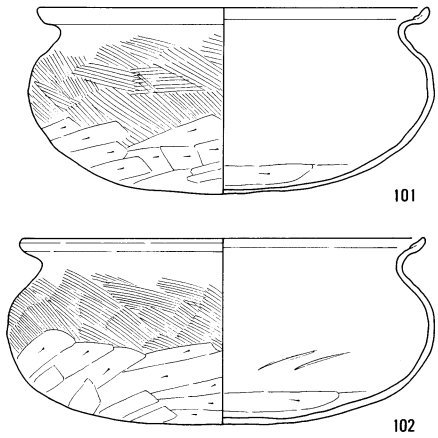
ＳＤ265（98，99）



ＳＤ203（100）



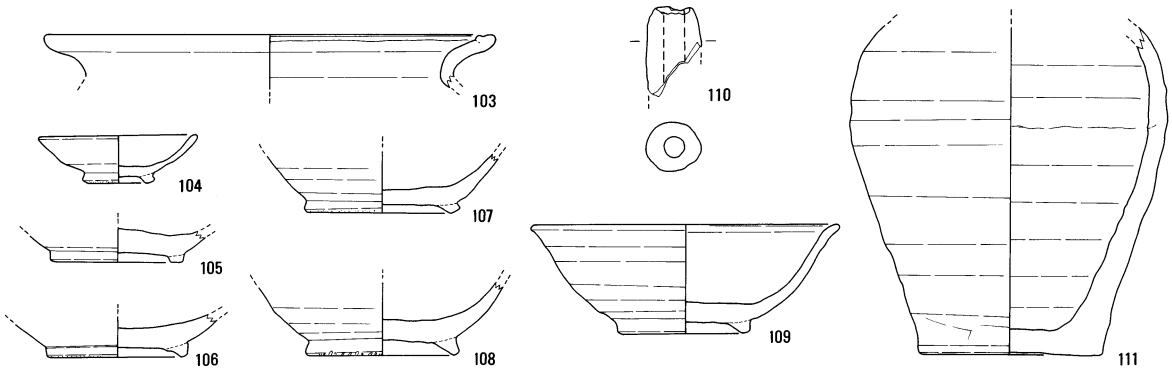
ＳＫ258（101，102）



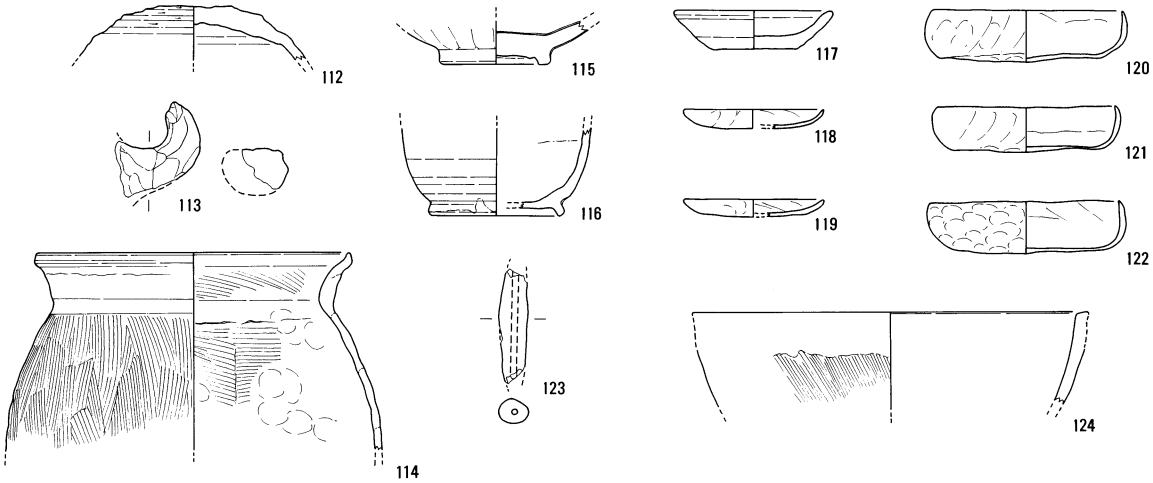
0　20cm

第46図　門前Ⅲ・Ⅳ地区　出土遺物実測図（1：4）

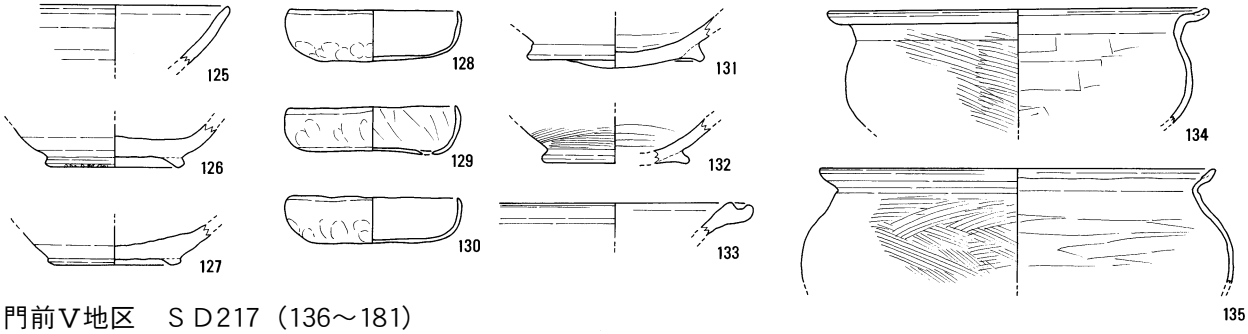
門前Ⅳ地区　ＳＤ266（103～111）



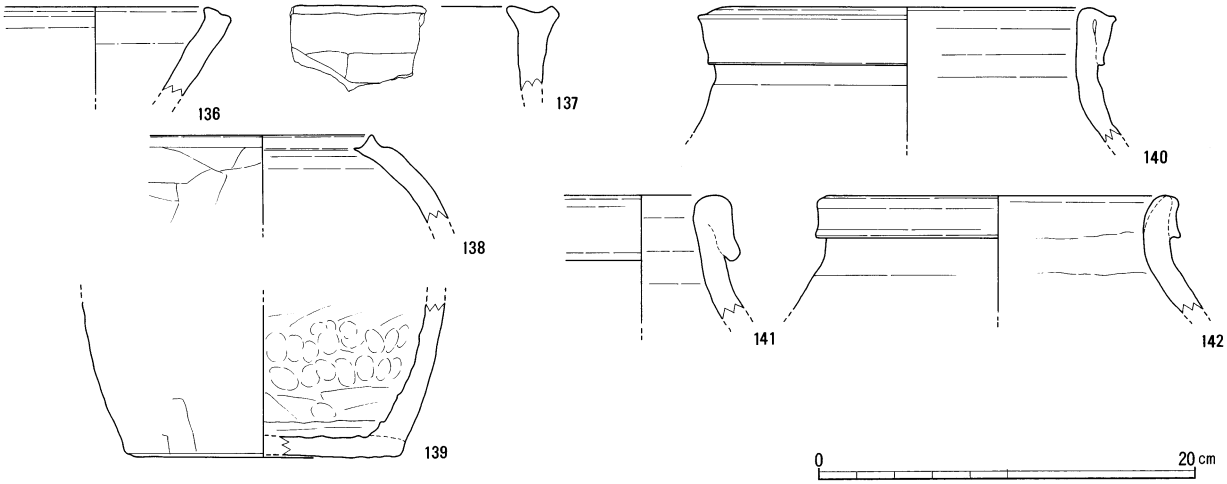
包含層ほか出土遺物（112～124）



門前Ⅴ地区　ＳＤ216（125～135）

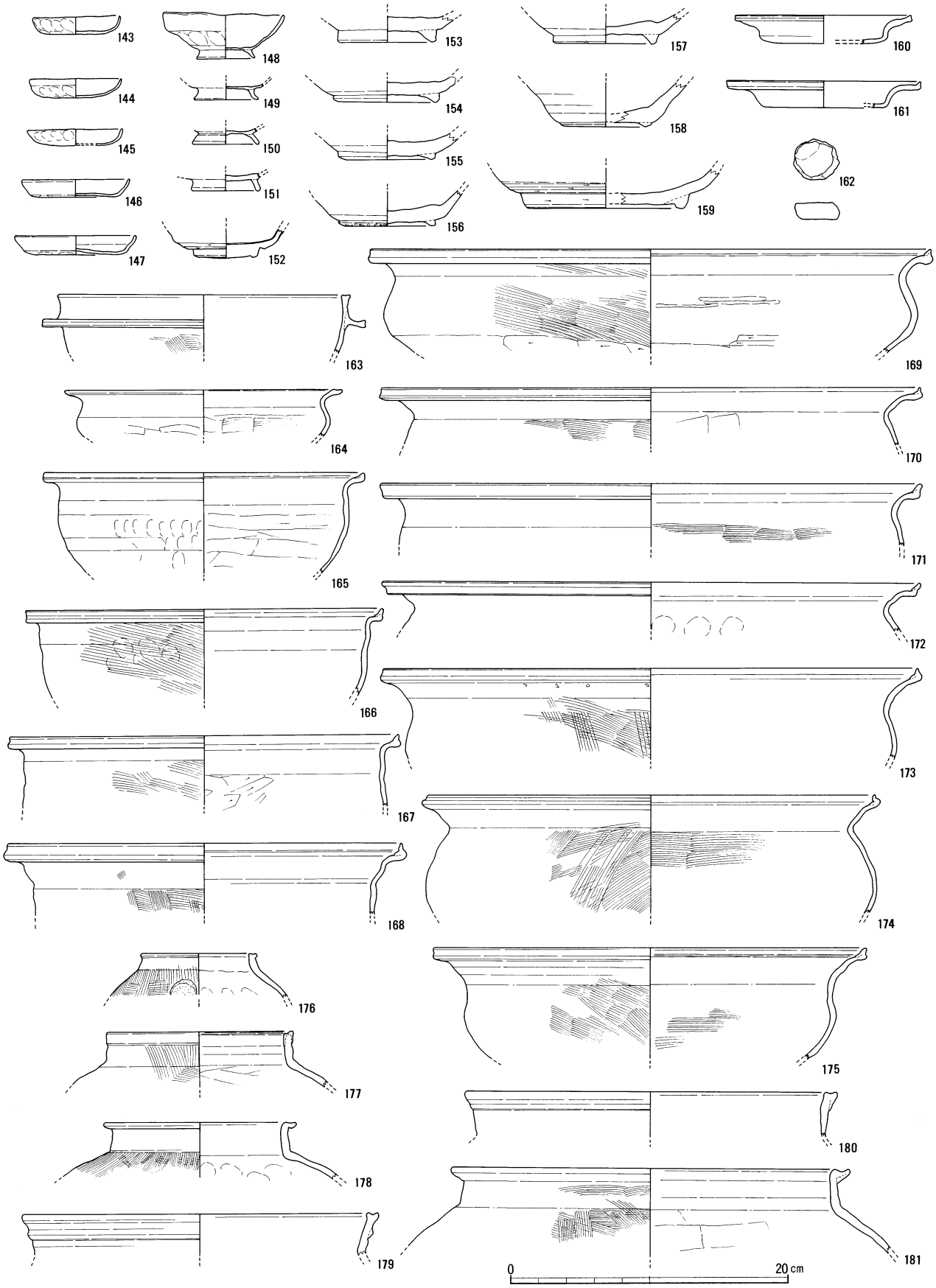


門前Ⅴ地区　ＳＤ217（136～181）



第47図　門前Ⅳ・Ⅴ地区　出土遺物実測図（１：４）

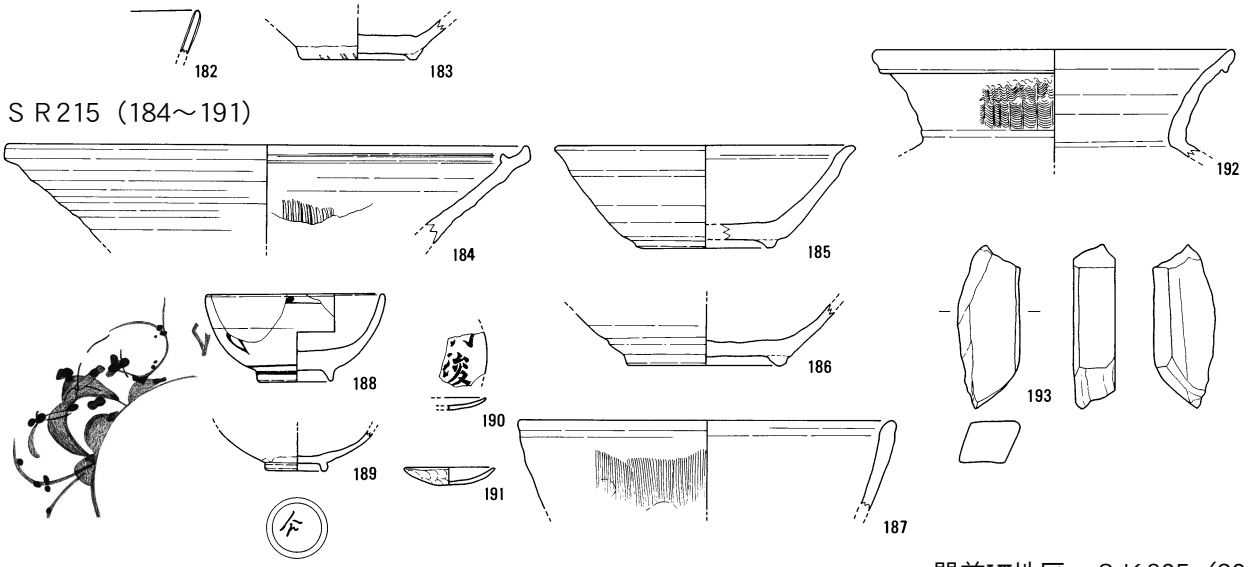
門前Ⅴ地区　ＳＤ217（136～181）



第48図　門前Ⅴ地区　出土遺物実測図（1：4）

門前Ⅴ地区　ＳＫ218（182，183）

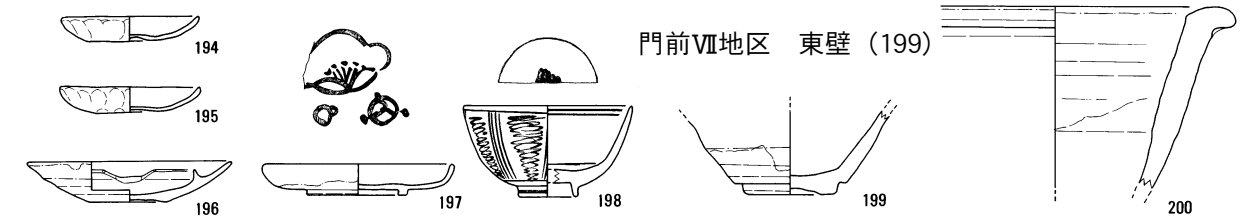
包含層ほか出土遺物（192，193）



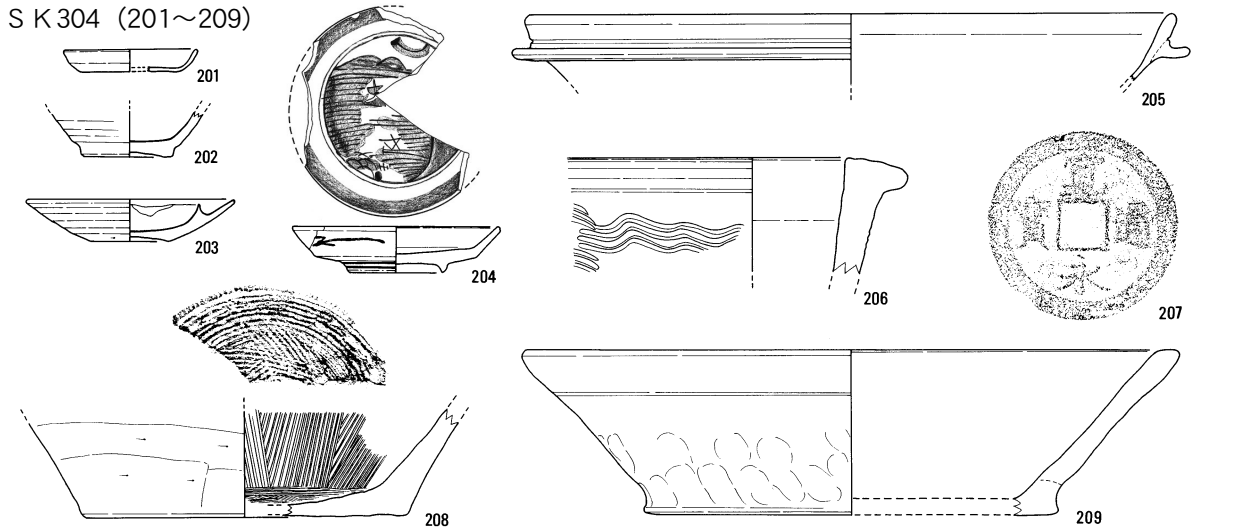
門前Ⅶ地区　ＳＫ297（194～198）

門前Ⅶ地区　東壁（199）

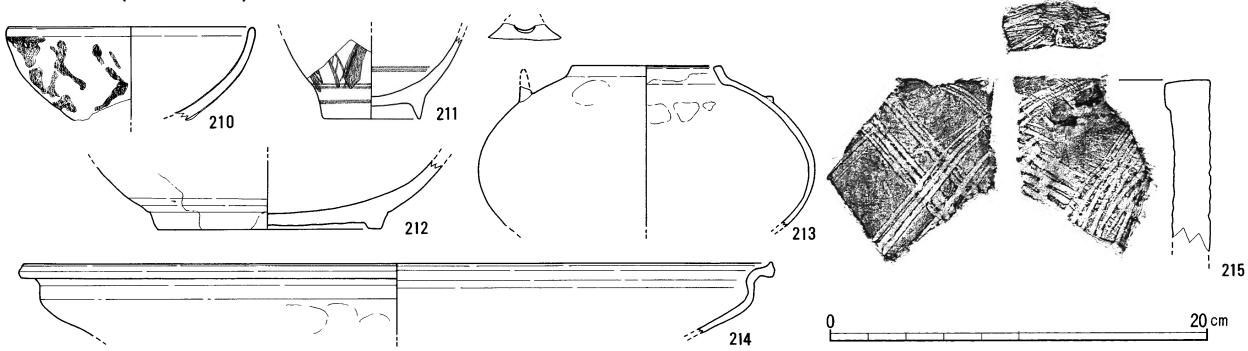
門前Ⅶ地区　ＳＫ305（200）



ＳＫ304（201～209）

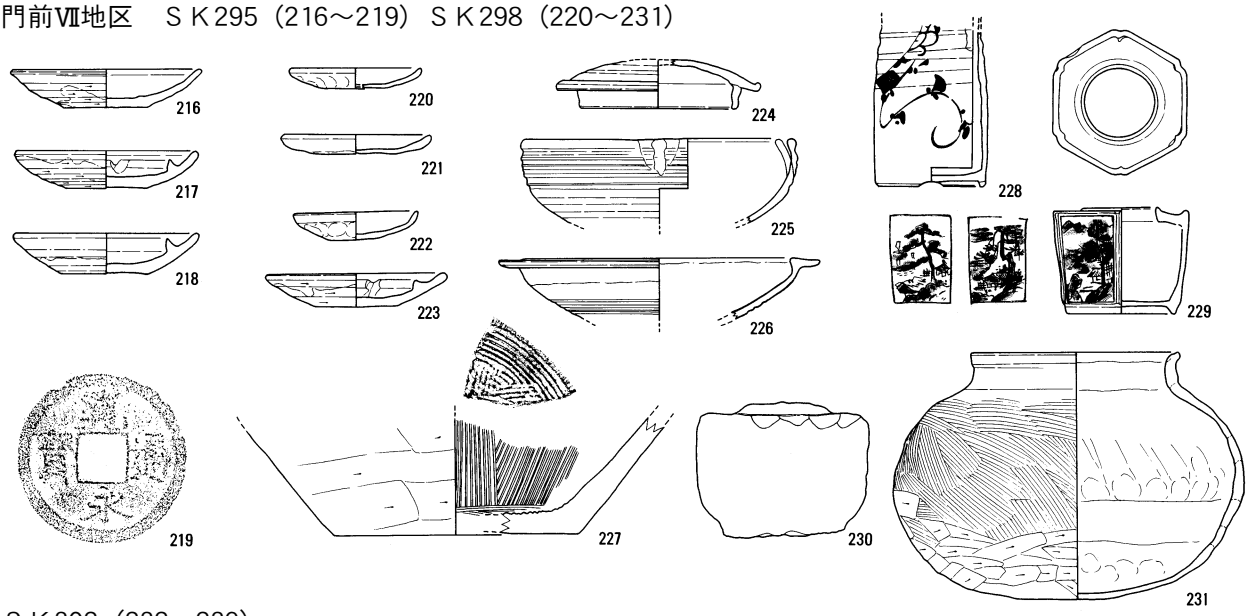


ＳＫ299（210～215）

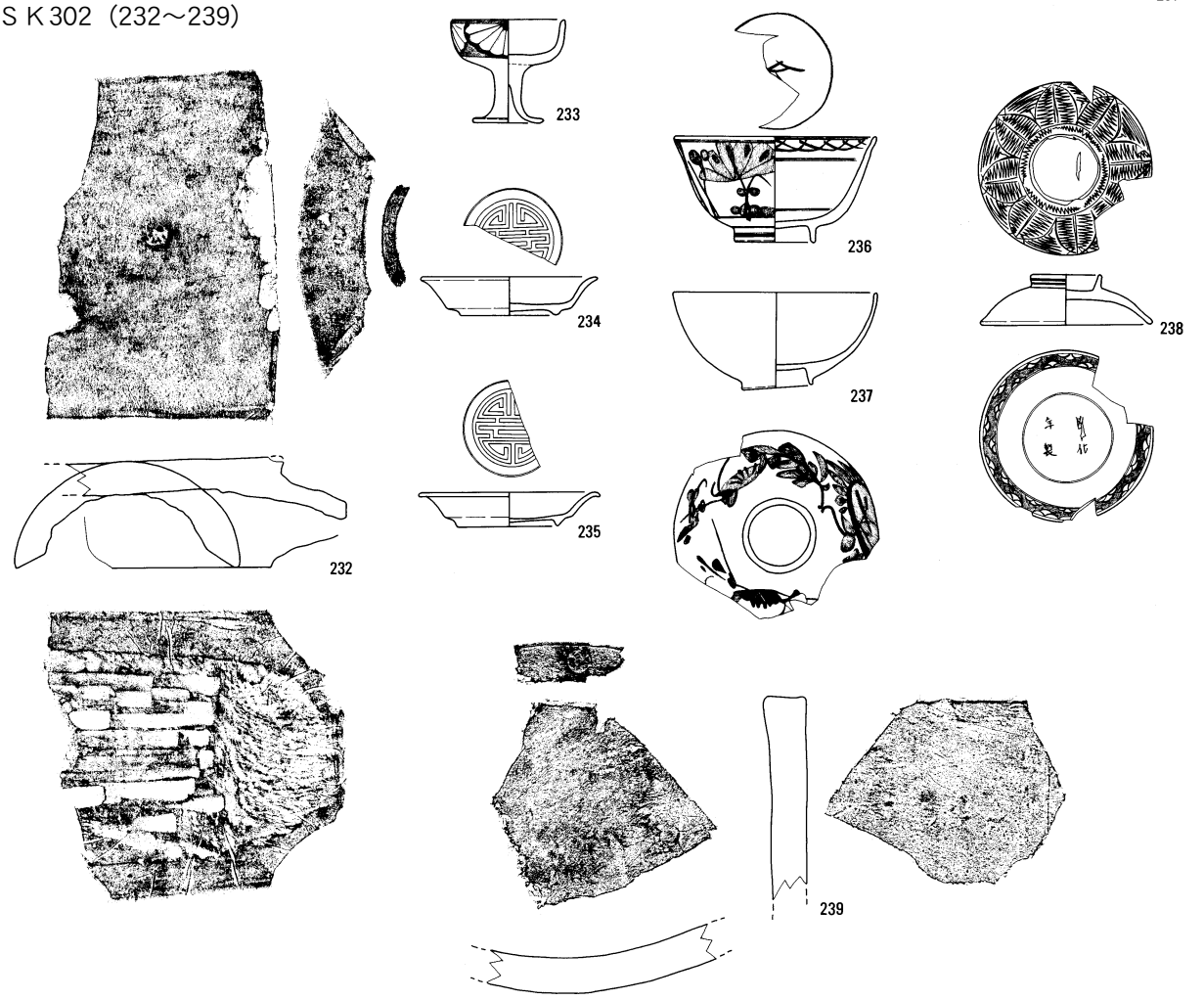


第49図　門前Ⅴ・Ⅶ地区　出土遺物実測図（１：４，207は１：１）

門前Ⅶ地区　ＳＫ295（216～219）ＳＫ298（220～231）



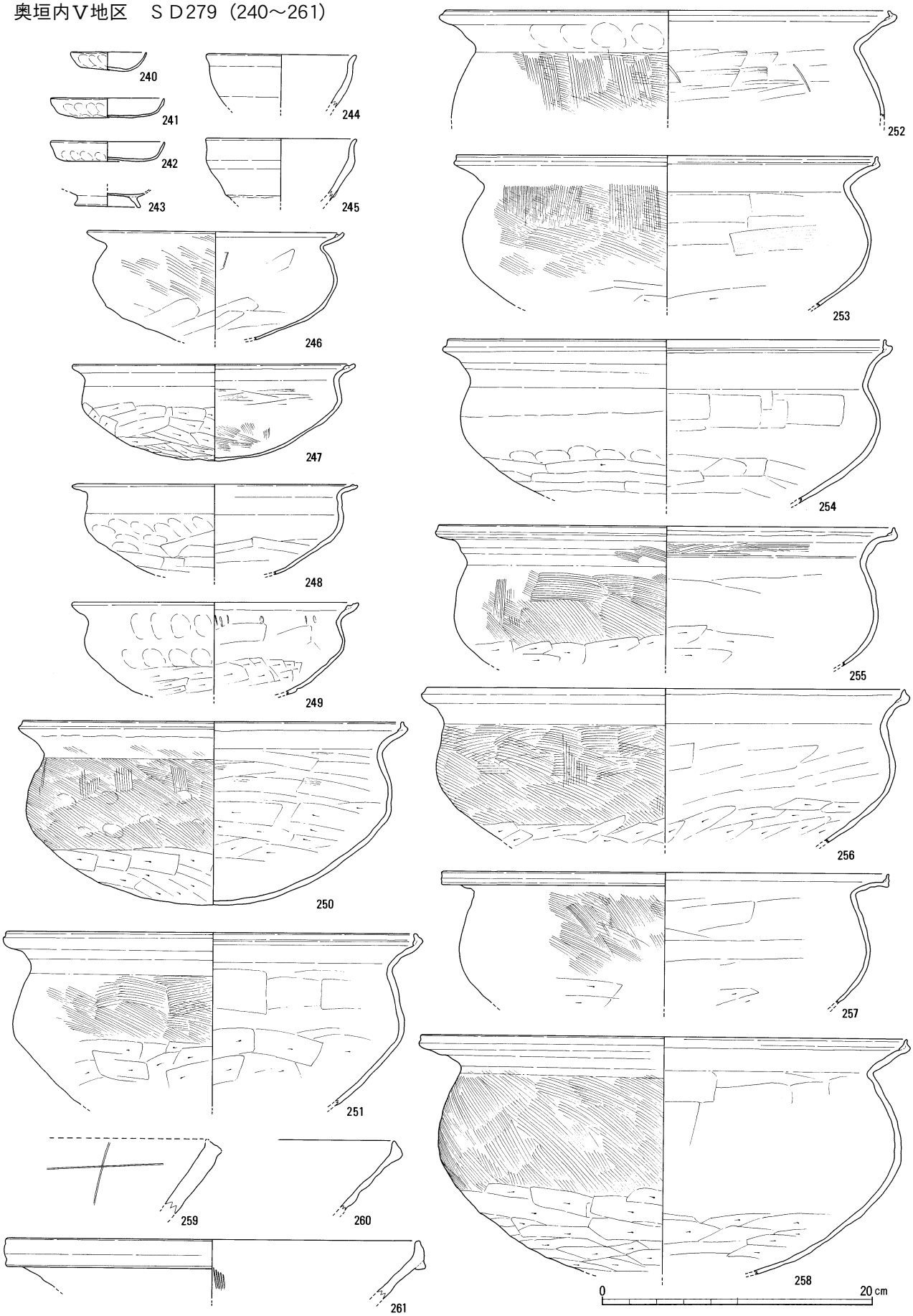
ＳＫ302（232～239）



0　20cm

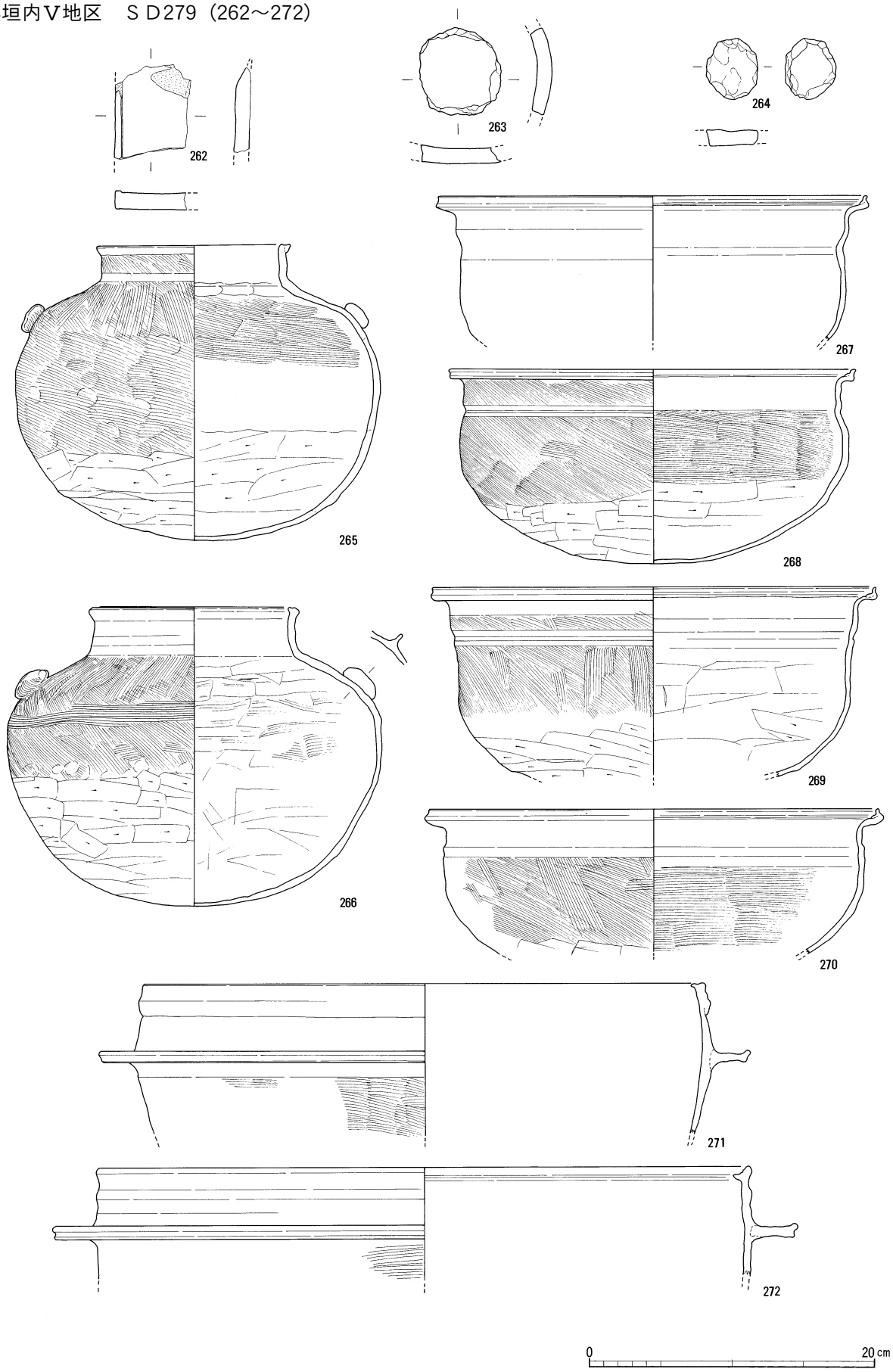
第50図　門前Ⅶ地区　出土遺物実測図（1：4，219は1：1）

奥垣内Ｖ地区　ＳＤ279（240～261）



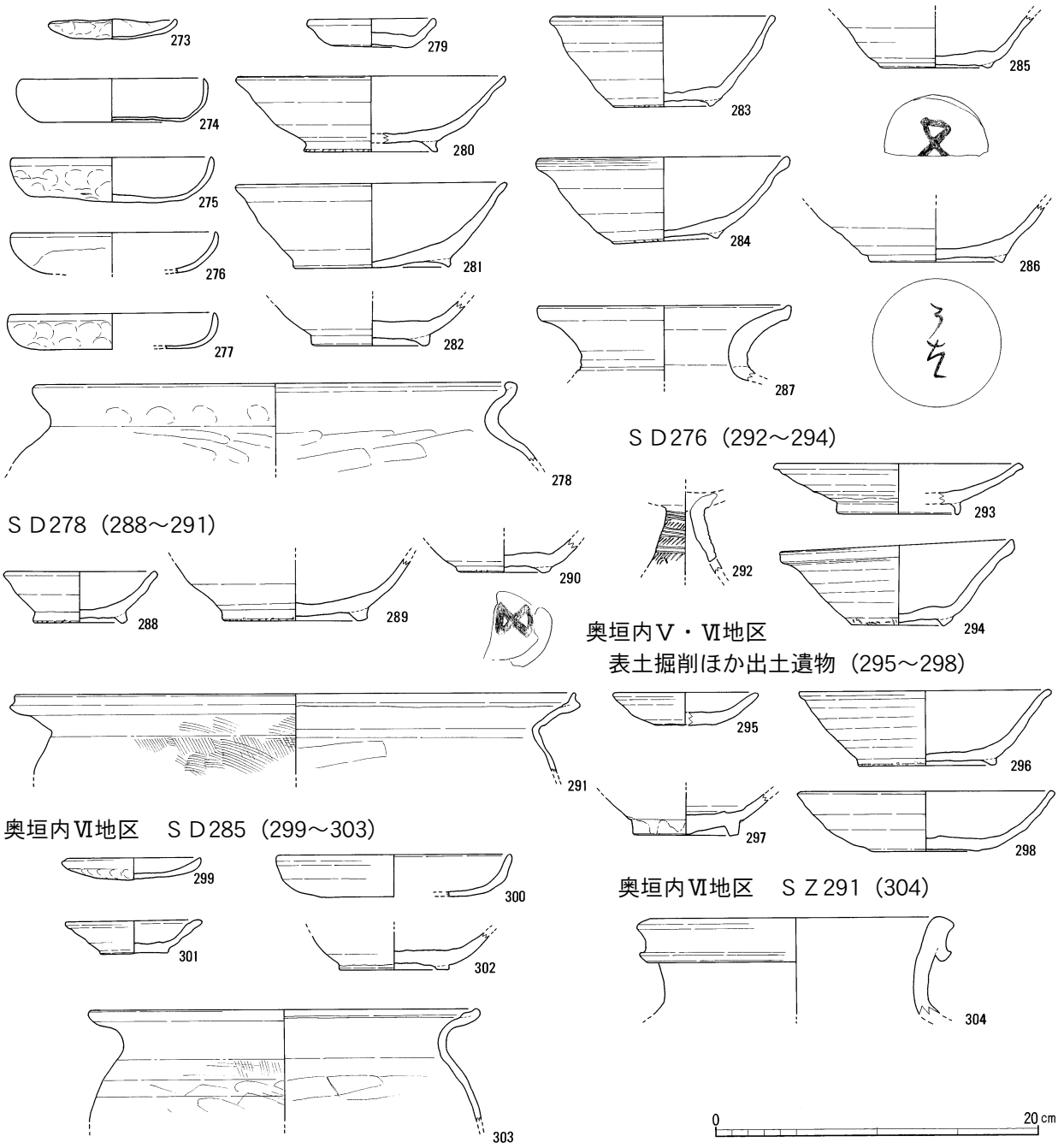
第51図　奥垣内Ｖ地区　出土遺物実測図（１：４）

奥垣内Ｖ地区　ＳＤ279（262～272）

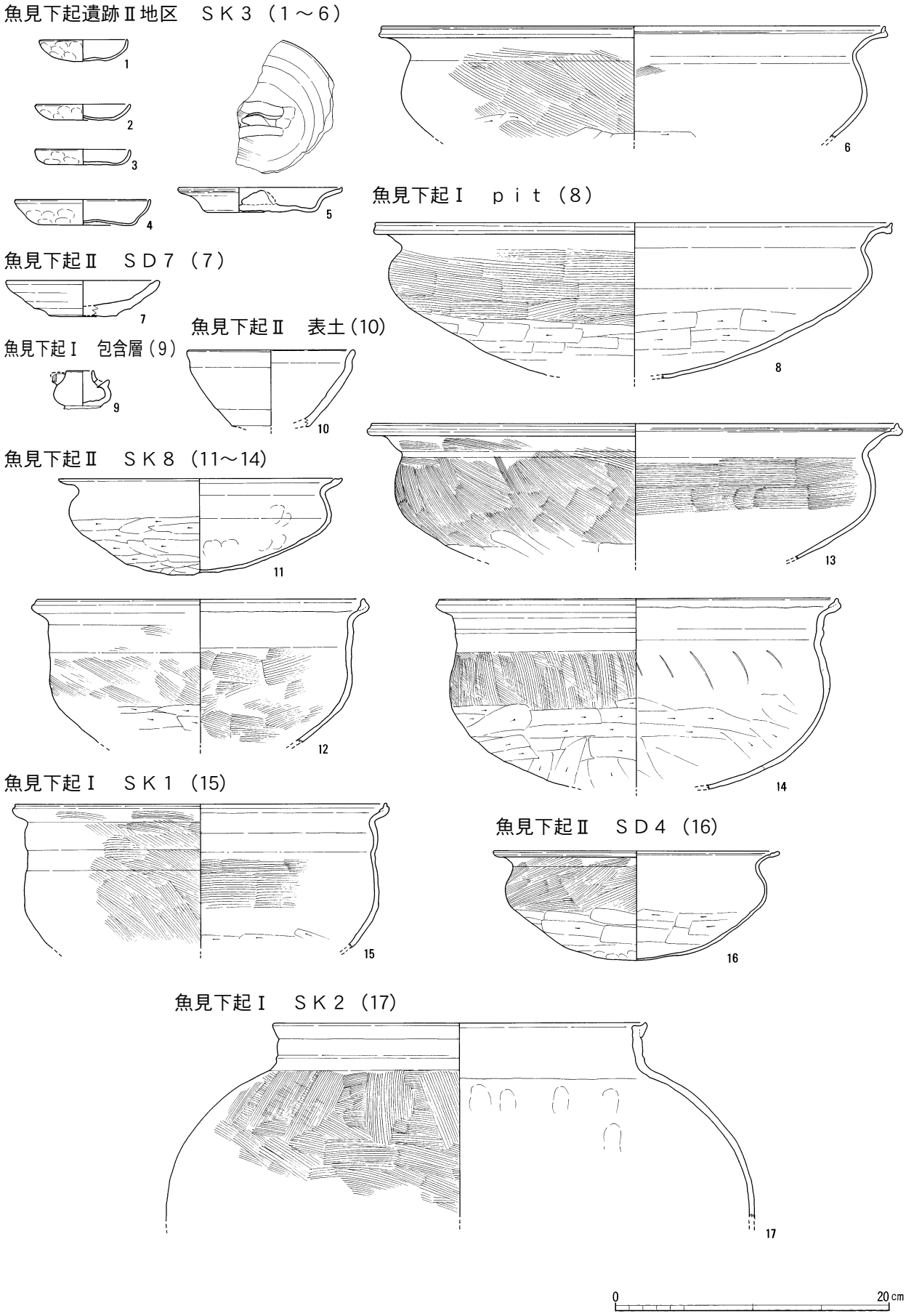


第52図　奥垣内Ｖ地区　出土遺物実測図（１：４）

奥垣内Ⅴ地区　ＳＤ277（273～287）



第53図　奥垣内Ⅴ・Ⅵ地区　出土遺物実測図（１：４）



第54図　魚見下起遺跡Ⅰ・Ⅱ地区　出土遺物実測図（１：４）

番号	登録番号	器種	地区	出土位置 遺 構	計測値（cm）			調整（技法）の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
					口径	器高	その他						
1	039－06	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c9 SD243 ㉙	6.7～7.2	0.9～1.2		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや粗（～2．0mm の砂粒含）	並	淡橙 5YR 8/4 にぶい橙 5YR 7/3	7/8	南伊勢
2	039－08	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c9 SD243	7.5	1.1		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや密	並	にぶい橙 7.5YR 7/4	1/2	南伊勢
3	039－05	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c9 SD243	7.8～8.1	0.9～1.2		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	密	並	浅黄橙 7.5YR 8/3 8/4	完存	南伊勢
4	040－08	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ⑰	7.4～7.8	1.3		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや粗（～2．0mm の砂粒含）	並	灰白 10YR 8/2	完存	内外面油煙付着 南伊勢
5	040－01	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ⑮	6.7～7.5	1.2		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや粗（～2．0mm の砂粒含）	並	浅黄橙 7.5YR 8/4 灰黄褐 10YR 6/2	ほぼ完存	南伊勢
6	040－12	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ①	7.0	1.3		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや粗（～2．0mm の砂粒含）	並	淡橙 5YR 8/4 浅黄橙 10YR 8/3	3/4	南伊勢
7	040－10	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ⑨	7.6～8.1	1.3		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや粗（～1．0mm の砂粒含）	並	浅黄橙 10YR 8/3	ほぼ完存	南伊勢
8	040－09	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ②	7.4～7.7	1.5		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや密	並	橙 5YR 7/6	完存	南伊勢
9	039－04	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c9 SD243 ㉕	8.0～8.2	1.3		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや密	並	浅黄橙 7.5YR 8/4	完存	南伊勢
10	039－07	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c9 SD243 ㉜	7.65	1.4		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや密	並	にぶい橙 5YR 7/4	1/2	南伊勢
11	040－06	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ⑳	7.5	1.0～1.4		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや密（～2．0mm の砂粒含）	並	にぶい橙 5YR 7/4	完存	南伊勢
12	039－03	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c9 SD243 ㉘	7.6～8.0	1.3		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや密	並	橙 5YR 7/6	完存	南伊勢
13	040－05	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ⑤	7.9～8.2	1.3		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや粗（～2．0mm の砂粒含）	並	にぶい橙 5YR 7/4 灰白 10YR 8/1	完存	南伊勢
14	040－07	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ③	7.8～8.2	1.5		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや密	並	にぶい橙 7.5YR 7/4 褐灰 7.5YR 6/1	完存	南伊勢
15	040－02	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ⑱	7.1～7.6	1.6		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや粗（～2．0mm の砂粒含）	並	橙 5YR 7/8 7/6 浅黄橙 7.5YR 8/3	完存	南伊勢
16	040－04	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ④	7.7～7.9	1.6		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや粗（～2．0mm の砂粒含）	並	浅黄橙 7.5YR 8/4 にぶい橙 7.5YR 7/4	ほぼ完存	南伊勢
17	040－03	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ⑲下	7.5～8.0	1.1		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや密	並	にぶい橙 5YR 7/4 にぶい橙 7.5YR 7/4	完存	南伊勢
18	040－11	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ⑧	7.8～8.0	1.2		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや密	並	橙 5YR 7/6	1/2	南伊勢
19	039－09	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c9 SD243	7.4	1.1		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや粗（～2．0mm の砂粒含）	並	浅黄橙 7.5YR 8/4 褐灰 10YR 6/1	5/8	南伊勢
20	041－04	土師器 皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ⑯	12.6	2.1		外面：ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密（～1．5mm の砂粒含）	良	浅黄橙 10YR 8/3	9/10	ゆがみ有り 南伊勢
21	042－01	土師器 皿	門前Ⅰ	b・c9 SD243 ㉜	12.0～13.0	2.4		外面：オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	粗（～3．2mmの砂 粒含）	良	浅黄橙 10YR 8/3 8/4	完存	南伊勢
22	039－02	土師器 皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ㉑	14.8	2.75		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや密（～1．0mm の砂粒含）	並	浅黄橙 7.5YR 8/3 灰褐 7.5YR 6/2	1/4	南伊勢
23	042－04	土師器 皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ⑥	13.0	3.0		外面：オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	密（～1．0mmの砂 粒含）	並	灰白 10YR 8/2 にぶい黄橙 10YR 7/2	1/2	ゆがみ大 南伊勢
24	042－03	土師器 皿	門前Ⅰ	b・c9 SD243 ㉖	14.0	2.8		外面：オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	密（～1．5mmの砂 粒含）	良	淡橙 5YR 8/4 にぶい橙 5YR 7/4	ほぼ完存	南伊勢
25	039－01	土師器 皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ⑬	13.5	2.6		外面：ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密	並	にぶい橙 5YR 7/4 褐灰 10YR 5/1	5/8	南伊勢
26	042－02	土師器 皿	門前Ⅰ	b・c9 SD243 ㉔	13.5～14.0	2.8		外面：オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密（～1．8mm の砂粒含）	良	浅黄橙 10YR 8/4	完存	南伊勢
27	042－05	土師器 皿	門前Ⅰ	b・c9 SD243 ㉒	13.2～13.6	2.5		外面：オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密（～2．3mm の砂粒含）	並	外面：にぶい橙 7.5YR 7/4 内面：浅黄橙 10YR 8/3	ほぼ完存	南伊勢
28	041－03	土師器 皿	門前Ⅰ	b・c9 SD243 ㉛	13.6	2.5		外面：ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	密	良	浅黄橙 10YR 8/3	1/3	南伊勢
29	044－06	陶器 小皿	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ⑦	7.9	1.25	底径 3.7	外面：ロクロナデ・糸切り後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密（～1．0mm の砂粒含）	良	灰白 5Y 7/1	3/4	一部自然釉 底部外面墨書「⋈」 知多産
30	044－05	陶器 小皿	門前Ⅰ	b・c9 SD243	8.0	1.65	底径 4.7	外面：ロクロナデ・糸切り 内面：ロクロナデ	やや密（～1．0mm の砂粒含）	良	灰白 5Y 7/1	ほぼ完存	自然釉 底部外面墨書「⋈」 知多産
31	044－02	陶器 椀	門前Ⅰ	b・c10 SD243 ⑪	15.9～16.4	5.2～6.1	高台径 6.5	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	粗（～2．5mmの砂 粒含）	良	灰白 2.5Y 7/1 黄灰 2.5Y 6/1	完存	モミガラ痕 底部外面墨書「⋈」 知多産
32	044－01	陶器 椀	門前Ⅰ	b・c9 SD243 ㉗	15.6	5.2	高台径 7.0	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや粗（～4．0mm の砂粒含）	並	灰白 7.5Y 7/1	3/4	モミガラ痕 知多産
33	044－03	陶器 片口鉢	門前Ⅰ	b・c9 SD243				外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ	やや粗（～1．5mm の砂粒含）	良	外面：にぶい橙 5YR 6/3 内面：灰褐 5YR 5/2	口縁小片	常滑産
34	041－01	土師器 鍋	門前Ⅰ	b・c9 SD243 ㉚	28.7			外面：オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	粗（～3．5mmの小 石含）	良	にぶい橙 5YR 7/3 灰白 10YR 8/2 にぶい黄褐 10YR 5/3	1/3	外面煤付着 南伊勢

第６表　川島遺跡　出土遺物観察表①

番号	登録番号	器種	地区	出土位置 遺 構	計測値(cm) 口径	器高	その他	調整(技法)の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
35	041－02	土師器 鍋	門前Ⅰ	b・c9 SD243 ㉓	28.2			外面:ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	粗(～1．7mmの砂粒含)	良	外面:にぶい橙 7.5YR 7/3 内面:浅黄橙 7.5YR 8/3 断面:褐灰 10YR 5/1	1/4	南伊勢
36	046－04	陶器 小皿	門前Ⅰ	b・c7 SK237	9.0	2.1	底径 4.3	外面:ロクロナデ・糸切り 内面:ロクロナデ	やや密	並	灰白 2.5Y 8/1	1/4	自然釉 渥美産
37	046－03	陶器 小皿	門前Ⅰ	b・c7 SK237	9.0	2.1	底径 4.5	外面:ロクロナデ・糸切り 内面:ロクロナデ	やや密	良	灰白 2.5Y 8/1	1/2	渥美産
38	046－02	陶器 椀	門前Ⅰ	b・c6 SK237			高台径 7.8	外面:ロクロナデ・糸切り後ナデ・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	やや密	並	灰白 2.5Y 7/1	高台部 完存	使用痕 渥美産
39	045－04	土錘	門前Ⅰ	b・c7 SK237	残存長 2.9	幅 1.3	穴径 0.3		やや密	並	にぶい橙 2.5YR 6/3		重量 3.5g
40	048－05	陶器 小皿	門前Ⅰ	b・c9 SD240			底径 4.7	外面:ロクロナデ・糸切り 内面:ロクロナデ	やや密(～1．5mmの微砂粒含)	良	灰白 7.5Y 8/1	底部 1/3	底部外面墨書 渥美産
41	047－04	陶器 椀	門前Ⅰ	b・c13 SD238	15.8	5.0	高台径 7.0	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ・ナデ	やや粗(～3．5mmの小石含)	良	灰白 N 8/0	1/6	自然釉 モミガラ痕 知多産
42	048－02	陶器 椀	門前Ⅰ	c15 SD242	14.5	5.2	高台径 6.5	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ・ナデ	やや密(～1．5mmの砂粒含)	良	灰白 5Y 7/1	1/2	モミガラ痕 知多産
43	047－03	陶器 椀	門前Ⅰ	c4 SK235			高台径 7.1	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ・ナデ	やや密(～1．8mmの砂粒含)	良	外面:灰白 N 7/0 内面:灰白 N 8/0	高台部 完存	モミガラ痕 知多産
44	047－01	土師器 甕	門前Ⅰ	c5 SK235	25.2			外面:ナデ・ヨコナデ 内面:ハケメ・ナデ・ヨコナデ	やや密(～3．5mmの砂粒含)	良	淡橙 5YR 8/4 明褐灰 7.5YR 7/2	1/6	内外面煤付着
45	046－05	陶器 小皿	門前Ⅰ	b・c11 SE241			底径 4.7	外面:ロクロナデ・糸切り 内面:ロクロナデ	やや密	並	灰白 2.5Y 8/1	底部 ほぼ完存	自然釉　知多産 重ね焼き痕 底部外面墨書「⋈」
46	045－03	土師器 鍋	門前Ⅰ	b・c10 SE241	27.0			外面:ハケメ・ナデ・ヨコナデ 内面:オサエ・ナデ・ヨコナデ	やや密	並	浅黄橙 10YR 8/3 にぶい黄橙 10YR 7/3	1/5	外面煤付着 南伊勢
47	046－01	土師器 鍋	門前Ⅰ	b・c10 SE241	25.0			外面:ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面:ケズリ・工具ナデ・ヨコナデ	やや密	並	にぶい黄橙 10YR 7/3	1/4	外面煤付着 ハケメ7本/2.1cm 南伊勢
48	047－02	陶器 椀	門前Ⅰ	c4 pit5	16.0	5.6～6.0	高台径 5.1	外面:ロクロナデ・糸切り後ナデ・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	やや粗(～3．0mmの小石含)	良	外面:灰白 N 8/0 内面:灰白 2.5Y 8/1	3/4	モミガラ痕 知多産
49	047－05	陶器 皿	門前Ⅰ	b・c4 pit8	7.8	1.8	底径 4.0	外面:ロクロナデ・糸切り後ナデ 内面:ロクロナデ	やや密(～1．2mmの微砂粒含)	良	灰白 N 8/0	1/8	知多産
50	048－03	土師器 皿	門前Ⅰ	c11 pit1	13.0	2.4		外面:オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや密(～5．0mmの砂粒含)	良	浅黄橙 10YR 8/4 にぶい黄橙 10YR 7/4	1/3	南伊勢
51	048－07	土師器 皿	門前Ⅰ	c38 pit1	8.5			外面:ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	密(～1．0mmの砂粒含)	良	淡黄 2.5Y 8/3	3/8	南伊勢
52	048－04	土師器 皿	門前Ⅰ	c38 pit1	9.3	2.4		外面:オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	密(～1．5mmの微砂粒含)	良	淡黄 2.5Y 8/3	完存	南伊勢
53	044－04	土師器 鍋	門前Ⅰ	b・c8 SK239 西壁	20.0		体部径 20.8	外面:ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面:ナデ・ハケメ・ヨコナデ	密(～1．5mmの砂粒含)	並	浅黄橙 10YR 8/3	1/6	ハケメ5本/0.8cm 南伊勢
54	043－03	土師器 鍋	門前Ⅰ	b・c8 SK239 西壁	26.0		体部径 25.0	外面:ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面:工具ナデ・ヨコナデ	やや密(～2．0mmの砂粒含)	並	浅黄橙 10YR 8/3	小片	外面煤付着 南伊勢
55	043－02	土師器 羽釜	門前Ⅰ	b・c8 SK239 西壁	21.8		つば径 27.2	外面:ハケメ・貼付け後ヨコナデ・ヨコナデ 内面:工具ナデ・ヨコナデ	やや密(～1．5mmの砂粒含)	並	浅黄橙 10YR 8/3	1/4	外面煤付着 南伊勢
56	045－02	土師器 羽釜	門前Ⅰ	b・c8 SK239 西壁	26.4		つば径 35.5	外面:ハケメ・貼付け後ナデ・ヨコナデ 内面:板ナデ・ヨコナデ	やや密	並	灰白 2.5Y 8/2	1/4	内外面煤付着 ハケメ6本/1.3cm 南伊勢
57	043－01	土師器 羽釜	門前Ⅰ	b・c8 SK239 西壁	35.0		つば径 46.0	外面:ハケメ・ナデ・貼付け後ヨコナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	粗(～3．0mmの砂粒含)	並	浅黄橙 10YR 8/4	1/6	南伊勢
58	045－01	土師器 羽釜	門前Ⅰ	b・c8 SK239 ②	36.0		つば径 48.0	外面:ハケメ・ナデ・貼付けナデ・ヨコナデ 内面:ヘラケズリ・指押さえ・ヨコナデ	やや粗(～2．0mmの砂粒含)	並	にぶい黄橙 10YR 7/3		ハケメ4本/0.9cm 南伊勢
59	044－07	陶器 鉢	門前Ⅰ	b・c8 SK239 西壁	29.3	11.8	高台径 11.5	外面:ロクロナデ・ヘラケズリ・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	粗(～4．0mmの砂粒含)	良	灰 7.5Y 6/1 灰白 7.5Y 7/1	口縁小片	瀬戸産
60	048－06	土師器 小皿	門前Ⅰ	b・c11 包含層	7.3	1.15		外面:オサエ 内面:ナデ	やや密(～2．8mmの砂粒含)	並	淡黄 2.5Y 8/3	3/8	ゆがみ有り 南伊勢
61	049－07	土師器 小皿	門前Ⅰ	表土掘削	7.7	1.3		外面:ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや密	並	橙 5YR 7/6 灰白 10YR 8/1	3/4	南伊勢
62	049－06	土師器 皿	門前Ⅰ	表土掘削	11.0	2.8		外面:ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや粗(～5．0mmの小石含)	並	灰白 10YR 8/2	2/3	南伊勢
63	049－05	土師器 皿	門前Ⅰ	表土掘削	13.1	2.5		外面:ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや密	並	にぶい橙 7.5YR 7/4	1/2	南伊勢
64	050－04	陶器 小椀	門前Ⅰ	c3 包含層	9.5	3.1～3.3	高台径 4.9	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	やや密	並	灰白 2.5Y 8/1	5/6	自然釉 渥美産
65	048－01	陶器 椀	門前Ⅰ	b・c21 包含層			高台径 6.0	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ・ナデ	密	並	灰白 N 8/0	高台部 完存	砂痕　渥美産 自然釉 底部内面重ね焼痕
66	050－02	陶器 椀	門前Ⅰ	c3 包含層	16.6	6.1	高台径 7.6	外面:ロクロナデ・糸切り後ナデ・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	やや密	並	灰白 N 8/0 灰 N 6/0	口縁部 1/10 高台部 11/12	モミガラ痕 内面油煙付着？ 使用痕　知多産？
67	050－03	陶器 椀	門前Ⅰ	表土掘削	14.4	5.2	高台部 6.1	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	やや粗(～4．0mmの砂粒含)	並	灰白 N 7/0 灰 N 6/0	1/4	モミガラ痕 底部外面墨書「⋈」 知多産
68	050－01	須恵器 壺	門前Ⅰ	表土掘削			体部径 17.5	外面:ロクロナデ・タタキ・ケズリ？・カキメ 内面:ロクロナデ	やや密(～7．0mmの砂粒含)	並	灰白 N 7/0 断面:灰 N 5/0	底部から 頸部 ほぼ完存	自然釉 中に骨片

第７表　川島遺跡　出土遺物観察表②

番号	登録番号	器種	地区	出土位置 遺 構	計測値(cm) 口径	器高	その他	調整(技法)の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
69	049－01	土師器 甕	門前Ⅱ	b15 pit1	22.0			外面:工具ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや粗(～11.0mm の小石含む	並	にぶい橙 7.5YR 7/4 6/4 灰褐 7.5YR 5/2 にぶい黄橙 10YR 7/3	1/6	
70	049－04	土師器 高杯	門前Ⅱ	b43 東壁			脚台径 9.7	外面:ナデ・ヨコナデ 内面:ヨコナデ	やや密	並	橙 5YR 7/6 橙 2.5YR 7/6 浅黄橙 10YR 8/3	脚台部 1/4	外面赤色顔料付着
71	049－03	土師器 椀	門前Ⅱ	a27 西壁	18.0			外面:ハケメ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや密	並	浅黄橙 10YR 8/3 褐灰 10YR 4/1 灰 N 5/0	1/8	口縁部外面剥離 ハケメ10本/cm
72	049－02	土師器 椀	門前Ⅱ	表土掘削	19.8			外面:ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや密	並	にぶい橙 7.5YR 7/4 灰 N 4/0	1/6	
73	063－01	土師器 壺	門前Ⅲ	e8 SD202	14.7			外面:ハケメ・ヨコナデ 内面:ハケメ・オサエ・ヨコナデ	やや粗(～2.0mm の砂粒含)	並	外面:にぶい橙 7.5YR 7/3 内面:にぶい黄橙 10YR 7/3	完存	ハケメ15本/1.5cm (外面)
74	012－01	土師器 皿	門前Ⅲ	d3 pit1	10.0	2.3		外面:オサエ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや粗(～2.0mm の砂粒含)	並	灰白 10YR 8/2	ほぼ完存	南伊勢
75	012－02	土師器 皿	門前Ⅲ	d3 pit1	10.0	2.0		外面:オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや密	並	浅黄橙 10YR 8/3	15/16	南伊勢
76	012－03	土師器 皿	門前Ⅲ	d3 pit1	10.0	2.0		外面:オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや粗(～5.0mm の小石含)	並	灰白 10YR 8/2	1/2	南伊勢
77	013－02	土師器 椀	門前Ⅲ	d3 pit1	16.0			外面:オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面:オサエ・ナデ・ヨコナデ	やや粗(～2.0mm の砂粒含)	並	浅黄橙 7.5YR 8/4	1/8	
78	013－01	土師器 椀	門前Ⅲ	d3 pit1	14.8			外面:オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面:オサエ・ナデ・ヨコナデ	やや粗(～4.0mm の小石含)	並	浅黄橙 7.5YR 8/4 にぶい橙 7.5YR 7/3	3/8	ゆがみ大
79	012－06	陶器 椀	門前Ⅲ	d3 pit1			高台径 7.8	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	密(～2.0mmの砂 粒含)	並	灰白 5Y 7/1	高台部 完存	自然釉 使用痕 渥美産
80	014－06	ロクロ 土師器 小皿	門前Ⅲ	d3 pit2	9.3	2.3	底径 4.3	外面:ロクロナデ・糸切り 内面:ロクロナデ	やや密	並	灰白 10YR 8/2	1/3	
81	014－05	ロクロ 土師器 小皿	門前Ⅲ	d3 pit2	9.2～9.6	1.6	底径 5.4	外面:ロクロナデ・糸切り 内面:ロクロナデ	やや粗(～2.5mm の砂粒含)	並	灰白 10YR 8/2	完存	
82	014－01	陶器 椀	門前Ⅲ	d3 pit2	17.7	6.3	台径 8.0	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	やや粗(～6.0mm の小石・砂粒含)	良	灰白 5Y 7/1	1/2	使用痕 モミガラ痕 知多産
83	014－02	陶器 椀	門前Ⅲ	d3 pit2			高台径 9.7	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	やや密(～2.0mm の砂粒含)	良	灰白 N 8/0	高台部 1/3	使用痕 猿投産？
84	014－04	土師器 椀	門前Ⅲ	d3 pit2			高台径 9.1	外面:ナデ・横方向ナデ 内面:ナデ	やや密(～1.5mm の砂粒含)	並	外面:にぶい橙 7.5YR 6/4 内面:灰黄褐 10YR 5/2	高台部 1/2	煤付着？
85	015－03	土錘	門前Ⅲ	d3 pit2	長さ 4.5	幅 1.9	穴径 0.6		やや密	並	浅黄橙 10YR 8/3 褐灰 10YR 5/1		重量 11.15g
86	015－01	土師器 甕	門前Ⅲ	d3 pit2	20.4			外面:オサエ・工具ナデ・ヨコナデ 内面:工具ナデ・ヨコナデ	やや密(～2.0mm の砂粒含)	並	にぶい黄橙 10YR 7/3 黒褐 10YR 3/2	1/4	
87	012－04	土師器 皿	門前Ⅲ	d4 pit1	11.0	2.3		外面:オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや粗(～3.0mm の砂粒含)	並	灰白 10YR 8/2	3/4	南伊勢
88	013－05	フイゴの 羽口	門前Ⅲ	d4 pit1					粗(～10.0mmの 小石含)	並	浅黄橙 10YR 8/3 浅黄橙 7.5YR 8/4 灰黄褐 10YR 6/2		
89	014－07	陶器 小椀	門前Ⅲ	表土掘削	8.6	3.0	底径 4.0	外面:ロクロナデ・糸切り 内面:ロクロナデ	やや密(～3.0mm の砂粒含)	並	灰白 N 7/0	1/3	底部墨書「○」 知多産
90	014－03	陶器 甕	門前Ⅲ	壁面			底径 16.0	外面:ナデ・平行タタキ 内面:工具ナデ	密	良	外面:灰 N 6/0 内面:灰白 5Y 7/1	底部 1/4	渥美産
91	015－02	土錘	門前Ⅲ	d・e9 包含層	長さ 8.5	幅 3.5	穴径 1.0		やや密	並	灰白 10YR 8/2 浅黄橙 10YR 8/3		重量 125.5g 使用痕あり
92	035－02	ロクロ 土師器 小皿	門前Ⅳ	g7 SK262	8.5	1.5	底径 5.2	外面:ロクロナデ・糸切り 内面:ロクロナデ	やや粗(～1.5mm の砂粒含)	並	にぶい橙 7.5YR 7/4	1/3	
93	015－07	土師器 皿	門前Ⅳ	c・d21 SD204	11.4			外面:ナデ 内面:ナデ	やや粗(～2.0mm の砂粒含)	並	灰白 2.5Y 8/2	1/4	南伊勢
94	035－01	土師器 杯	門前Ⅳ	g11 SD260	16.6	3.5		外面:オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや密(～1.5mm の砂粒含)	並	橙 5YR 6/6	2/5	
95	035－04	陶器 折縁深皿	門前Ⅳ	g3 SD256				外面:ロクロナデ 内面:ロクロナデ	密(～1.0mmの砂 粒含)	良	素地:灰白 7.5Y 8/1 釉色:灰白 7.5Y 7/2	口縁小片	施釉 瀬戸産
96	035－05	陶器 椀形鉢	門前Ⅳ	g3 SD256			高台径 10.2	外面:ロクロ使用 内面:ロクロ使用	密(微砂粒含)	良	素地:浅黄橙 10YR 8/3 釉色:灰白 5Y 8/1 8/2	高台部 1/6	施釉 瀬戸産
97	034－01	土師器 鍋	門前Ⅳ	c・d46 SD206	27.2		体部径 24.1	外面:ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面:ケズリ・ナデ・ヨコナデ	密(～1.0mmの砂 粒含)	並	外面:灰褐 7.5YR 4/2 内面:にぶい褐 7.5YR 5/3 5/4	2/5	外面煤付着 ハケメ8本/cm 南伊勢
98	038－02	陶器 折縁中皿	門前Ⅳ	g18 SD265	18.5			外面:ロクロケズリ 内面:ロクロケズリ	やや密	良	素地:灰白 5Y 8/1 釉色:灰白 5Y 7/2	1/12	施釉 瀬戸産
99	038－01	陶器 練鉢	門前Ⅳ	g18 SD265	30.0			外面:ロクロナデ 内面:ロクロナデ	やや密(～3.0mm の砂粒含)	並	褐灰 5YR 5/1 4/1 にぶい橙 5YR 6/3	口縁小片	常滑産
100	015－04	土師器 羽釜	門前Ⅳ	d40 SD203	22.0		つば径 26.2	外面:ハケメ・貼付け後ナデ・ヨコナデ 内面:工具ナデ	やや密	並	にぶい黄橙 10YR 7/2 6/3	1/6	外面煤付着 内面炭化物付着 南伊勢
101	036－02	土師器 鍋	門前Ⅳ	g4 SK258 ①	21.4	10.8		外面:ハケメ・ケズリ・ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ケズリ・ヨコナデ	やや密(～2.3mm の砂粒含)	良	浅黄橙 10YR 8/3 にぶい橙 5YR 7/4	1/2	南伊勢
102	036－01	土師器 鍋	門前Ⅳ	g4 SK258 ②	21.2	9.8		外面:ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面:ナデ・ケズリ・ヨコナデ	密(～1.0mmの微 砂粒含)	良	淡橙 5YR 8/3	完存	外面煤(五徳痕跡あり) ハケメ6本/cm 南伊勢

第８表　川島遺跡　出土遺物観察表③

番号	登録番号	器種	地区	出土位置 遺 構	計測値(cm) 口径	器高	その他	調整(技法)の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
103	037－03	土師器 甕	門前Ⅳ	g8 SD266	24.0			外面:ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや粗(～2.5mm の砂粒含)	並	外面:にぶい黄橙 10YR 6/3 内面:灰黄 2.5Y 7/2	1/6	南伊勢
104	038－03	陶器 小椀	門前Ⅳ	g7 SD266	8.4	2.5	高台径 3.8	外面:ロクロナデ・糸切り後ナデ・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	やや密	並	灰白 5Y 7/1	口縁小片 高台部 完存	自然釉 砂痕 渥美産
105	037－05	陶器 椀	門前Ⅳ	g8 SD266 ②			高台径 6.6～7.2	外面:ロクロナデ・糸切り後ナデ・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	やや密	並	灰白 10YR 8/2	高台部 7/8	使用痕 渥美産
106	037－06	陶器 椀	門前Ⅳ	g8 SD266 ④			高台径 7.4～7.7	外面:ロクロナデ・糸切り後ナデ・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	やや密	並	灰白 5Y 7/1	高台部 2/3	使用痕 転用硯？ 渥美産
107	037－04	陶器 椀	門前Ⅳ	g8 SD266 ③			高台径 8.2	外面:ロクロナデ・糸切り後ナデ・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	やや密	並	灰黄 2.5Y 7/2	高台部 完存	使用痕 砂粒痕 渥美産
108	037－02	陶器 椀	門前Ⅳ	f・g7 SD266			高台径 7.6～8.1	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	やや密	良	灰白 5Y 7/1	高台部 完存	モミガラ痕 知多産
109	034－02	陶器 椀	門前Ⅳ	g8 SD266 ⑥	16.5	5.8	高台径 7.0	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	やや密(～1.5mm の砂粒含)	良	灰白 2.5Y 7/1 黄灰 2.5Y 6/1	2/3	渥美産
110	038－09	土錘	門前Ⅳ	g7 SD266	残存長 4.7	幅 2.9	穴径 1.1		やや粗	並	灰黄褐 10YR 5/2 にぶい橙 5YR 6/4		重量 25.26g
111	037－01	陶器 壺	門前Ⅳ	g8 SD266 ①			底径 9.2～9.7	外面:ケズリ・ロクロナデ 内面:ロクロナデ	やや密	並	灰白 N 7/0	底部完存	自然釉 渥美産
112	034－03	須恵器 杯蓋	門前Ⅳ	g20 褐灰色土				外面:ロクロナデ・ロクロケズリ 内面:ロクロナデ	やや粗(～3.5mm の砂粒含)	良	灰白 N 7/0 灰 N 6/0		
113	035－03	土師器 把手	門前Ⅳ	g11 包含層					やや密(～2.0mm の砂粒含)	並	浅黄橙 10YR 8/3		
114	034－05	土師器 甕	門前Ⅳ	g14 トレンチ	16.7		頸部径 14.8	外面:ハケメ・ナデ・ヨコナデ 内面:オサエ・工具ナデ・ハケ後ナデ・ヨコナデ	やや粗(～1.5mm の砂粒含)	並	にぶい黄橙 10YR 6/3 灰褐 7.5YR 4/2	1/5	外面煤付着 ハケメ6～7本/cm
115	015－06	青磁 椀	門前Ⅳ	c・d36 包含層			高台径 5.9	外面:ロクロケズリ・削り出し高台	密	良	素地:灰白 10Y 7/1 釉:オリーブ灰 10Y 6/2	高台部 1/2	施釉 鎬蓮弁文
116	035－06	陶器 壺	門前Ⅳ	g17 北壁			高台径 7.1	外面:ロクロナデ 内面:ロクロナデ	密(～1.0mmの砂 粒含)	良	素地:灰白 2.5Y 8/2 釉色:にぶい黄橙 10YR 6/4	高台部 1/6	施釉
117	034－04	陶器 小皿	門前Ⅳ	g8 南壁	8.4	2.05	底径 4.6	外面:ロクロナデ・糸切り 内面:ロクロナデ	やや粗(～2.0mm の砂粒含)	良	灰白 7.5Y 7/1	1/3	自然釉 知多産
118	038－08	土師器 小皿	門前ⅣB	表土掘削	7.4			外面:オサエ・ナデ 内面:ナデ	やや密	良	灰白 10YR 8/2	1/3	ゆがみ有り 南伊勢
119	038－07	土師器 小皿	門前ⅣB	表土掘削	7.4			外面:オサエ・ナデ 内面:ナデ	やや密	良	外面:明褐灰 5YR 7/2 内面:灰白 2.5Y 8/2	1/3	南伊勢
120	038－05	土師器 皿	門前ⅣB	表土掘削	10.1	2.8		外面:オサエ・ナデ 内面:ナデ	やや密	良	外面:灰白 2.5Y 8/2 内面:にぶい黄橙 10YR 7/2	1/3	南伊勢
121	038－06	土師器 皿	門前ⅣB	表土掘削	9.4	2.4		外面:オサエ・ナデ 内面:ナデ	やや密	並	外面:灰白 2.5Y 8/2 内面:にぶい黄橙 10YR 7/2	1/3	南伊勢
122	038－04	土師器 皿	門前ⅣB	表土掘削	10.0	2.7		外面:オサエ・ナデ 内面:ナデ	やや密	良	灰白 2.5Y 8/2	ほぼ完存	南伊勢
123	035－07	土錘	門前Ⅳ	g9 トレンチ	残存長 6.0	幅 1.5	穴径 0.3		やや密(～1.0mm の砂粒含)	並	にぶい黄橙 10YR 7/4 橙 5YR 6/6		重量 10.5g
124	015－05	土師器 椀	門前ⅣA	表土掘削	21.0			外面:ハケメ・ヨコナデ？ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや密	良	外面:灰黄 2.5Y 7/2 内面:灰 5Y 5/1	1/8	口縁部外面剥離 ハケメ8本/cm
125	010－06	陶器 平椀	門前Ⅴ	b17 SD216				外面:ロクロケズリ 内面:ロクロ使用	密(微砂粒含)	良	素地:灰白 7.5Y 7/1 釉色:にぶい橙 5YR 6/4	口縁小片	施釉 瀬戸産
126	009－07	陶器 椀	門前Ⅴ	b5 SD216			高台径 7.4	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	密(～1.5mmの砂 粒含)	良	灰白 7.5Y 8/1	高台部 1/3	自然釉 モミガラ痕 知多産
127	009－06	陶器 椀	門前Ⅴ	b2 SD216			高台径 7.0	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	やや密(～1.5mm の砂粒含)	良	灰白 7.5Y 7/1	高台部 2/3	使用痕 モミガラ痕 知多産
128	009－01	土師器 皿	門前Ⅴ	b5 SD216 ②	9.3	2.7		外面:オサエ・ナデ 内面:ナデ	やや密(～3.5mm の砂粒含)	並	灰白 10YR 8/1	1/2	南伊勢
129	009－02	土師器 皿	門前Ⅴ	b5 SD216 ①	9.3	2.6		外面:オサエ・ナデ 内面:ナデ	やや密(～2.0mm の砂粒含)	並	灰白 10YR 8/2	完存	底部焼成後穿孔 南伊勢
130	009－03	土師器 皿	門前Ⅴ	b5 SD216	9.3	2.4～2.8		外面:オサエ・ナデ 内面:ナデ	やや密(～1.5mm の砂粒含)	並	浅黄橙 10YR 8/3	7/8	南伊勢
131	010－03	土師器 椀	門前Ⅴ	a2 SD216			高台径 9.4	外面:ナデ・貼付け後ナデ 内面:ナデ	密(微砂粒含)	並	外面:にぶい黄橙 10YR 6/3 内面:にぶい黄橙 10YR 7/3	高台部 1/3	使用痕
132	010－04	土師器 椀	門前Ⅴ	a2 SD216			高台径 7.8	外面:ハケメ・貼付け後ナデ 内面:ナデ	密(～1.0mmの砂 粒含)	並	外面:にぶい黄橙 10YR 7/3 内面:灰黄 2.5Y 7/2	高台部 1/4	使用痕 ハケメ10本/cm
133	010－05	陶器 練鉢	門前Ⅴ	b5 SD216				外面:ロクロナデ 内面:ロクロナデ	粗(～4.0mmの砂 粒含)	良	外面:灰 N 5/0 内面:灰白 N 7/0	口縁小片	瀬戸産
134	009－05	土師器 鍋	門前Ⅴ	b3 SD216	20.2		体部径 18.3	外面:ハケメ・ヨコナデ 内面:工具ナデ・ケズリ・ヨコナデ	やや密(～1.5mm の砂粒含)	並	灰白 2.5Y 8/2 7/1 灰黄 2.5Y 7/2 黄灰 2.5Y 6/1	1/4	ハケメ5～6本/cm 南伊勢
135	009－04	土師器 鍋	門前Ⅴ	b6 SD216	21.0		体部径 23.0	外面:ハケメ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや粗(～2.0mm の微砂粒含)	並	にぶい橙 7.5YR 7/4 にぶい黄橙 10YR 7/4	1/10	ハケメ6本/cm 南伊勢
136	001－04	陶器 練鉢	門前Ⅴ	b17 SD217				外面:ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	粗(～3.0mmの砂 粒含)	良	外面:にぶい褐 7.5YR 6/3 内面:灰黄褐 10YR 6/2 5/2	口縁小片	常滑産

第９表　川島遺跡　出土遺物観察表④

番号	登録番号	器種	地区	出土位置 遺　構	計測値（cm）			調整（技法）の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
					口径	器高	その他						
137	007－04	陶器	門前Ⅴ	b21 SD217				外面：工具ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密（～2．0mmの砂粒含）	並	外面：淡橙　5YR　8/4 内面：灰褐　7.5YR　4/2	口縁小片	内面煤付着 一部加工
138	001－05	陶器 無頸壺	門前Ⅴ	SD217 （重機掘削）				外面：ロクロナデ・工具ナデ 内面：ロクロナデ・オサエ・ヨコナデ	やや密（～3．0mmの砂粒含）	良	外面：暗赤褐　5YR　3/3 内面：暗赤褐　2.5YR　3/3	口縁小片	施釉 径歪み大
139	001－01	陶器 甕？	門前Ⅴ	b24 SD217			底径 14.6	外面：ケズリ・ヨコナデ・ロクロナデ 内面：オサエ・ナデ	やや粗（5．0mmの砂粒含）	良	浅黄橙　7.5YR　8/6 にぶい褐　7.5YR　5/3 橙　7.5YR　7/6	底部 2/5	外面煤付着 内面炭化物付着
140	001－06	陶器 甕	門前Ⅴ	SD217 （重機掘削）	22.0			外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	やや密（～1．5mmの砂粒・9mmの小石含）	良	外面：にぶい褐　7.5YR　5/3 5/4 内面：にぶい赤褐　2.5YR　5/3	1/10	常滑産
141	001－03	陶器 甕	門前Ⅴ	b20 SD217				外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密（～1．5mmの砂粒含）	良	外面：灰オリーブ　5Y　4/2 内面：にぶい赤褐　5YR　5/4	口縁小片	外面自然釉 常滑産
142	001－02	陶器 甕	門前Ⅴ	SD217 （重機掘削）	19.2			外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	やや密（～2．0mmの砂粒含）	良	褐灰　10YR　5/1 にぶい褐　7.5YR　5/3	1/6	常滑産
143	005－06	土師器 皿	門前Ⅴ	b17 SD217	6.3	1.3		外面：オサエ 内面：ナデ	密	良	外面：浅黄橙　7.5YR　8/3 内面：浅黄橙　7.5YR　8/4 断面：褐灰　7.5YR　6/1	1/2	南伊勢
144	005－04	土師器 皿	門前Ⅴ	b17 SD217	6.6	1.4		外面：オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	密	良	浅黄橙　7.5YR　8/4 にぶい橙　7.5YR　7/4	2/3	南伊勢
145	005－05	土師器 皿	門前Ⅴ	b17 SD217	6.9	1.2		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	密	良	浅黄橙　7.5YR　8/3	2/3	南伊勢
146	007－06	土師器 皿	門前Ⅴ	b16 SD217	7.8	1.2～1.5		外面：ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	密	並	外面：浅黄橙　10YR　8/3 内面：灰白　2.5Y　8/2	1/3	内外面油煙付着 ゆがみ大 南伊勢
147	007－05	土師器 皿	門前Ⅴ	b20 SD217	8.8	0.8～1.6		外面：ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	密	並	灰白　10YR　8/2	3/8	内外面油煙付着 ゆがみ大 南伊勢
148	005－03	土師器 椀	門前Ⅴ	b17 SD217	8.2	2.2	底径 4.2	外面：オサエ・ナデ・ヨコナデ・貼付け後ナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密（～2．3mmの砂粒含）	並	浅黄橙　7.5YR　8/4	15/16	ゆがみ大 南伊勢
149	008－07	土師器 椀	門前Ⅴ	b19 SD217			高台径 4.6～4.7	外面：ナデ・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	密	並	浅黄橙　10YR　8/3 褐灰　7.5YR　4/1	高台部 完存	南伊勢
150	008－06	土師器 椀	門前Ⅴ	b15 SD217			高台径 4.8	外面：ナデ・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密（～2．0mmの砂粒含）	並	浅黄橙　10YR　8/3	高台部 ほぼ完存	南伊勢
151	008－05	土師器 椀	門前Ⅴ	b15 SD217			高台径 5.0～5.2	外面：糸切り後ナデ・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密	並	淡黄　2.5Y　8/3 灰白　2.5Y　8/2 灰　N　4/0	高台部 完存	南伊勢
152	002－01	陶器 丸椀	門前Ⅴ	SD217 （重機掘削）			高台径 4.7	外面：ロクロケズリ 内面：ロクロ使用	密（～1．5mmの砂粒含）	良	素地：灰白　5Y　8/2 釉色：オリーブ黄　7.5YR　6/3	高台部 完存	内外面施釉
153	002－08	陶器 椀	門前Ⅴ	b18 SD217			高台径 7.2	外面：ロクロナデ・糸切り後ナデ・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密（～1．5mmの砂粒含）	良	灰黄　2.5Y　7/2	高台部 ほぼ完存	重ね焼き痕 自然釉 使用痕　　渥美産
154	002－07	陶器 椀	門前Ⅴ	b18 SD217			高台径 7.6～8.2	外面：ロクロナデ・糸切り後ナデ・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密（～1．5mmの砂粒含）	良	灰黄　2.5Y　7/2	高台部 完存	使用痕 渥美産
155	002－03	陶器 椀	門前Ⅴ	SD217 （重機掘削）			高台径 7.0	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密（～2．5mmの砂粒含）	良	灰白　7.5Y　7/1	高台部 3/4	使用痕 渥美産
156	002－04	陶器 椀	門前Ⅴ	SD217 （重機掘削）			高台径 7.0	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ・ナデ	やや粗（～2．0mmの砂粒含）	良	灰白　5Y　7/1	高台部 完存	モミガラ痕 重ね焼き痕 自然釉　知多産
157	002－06	陶器 椀	門前Ⅴ	b18 SD217			高台径 7.4	外面：ロクロナデ・糸切り後ナデ・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密（～2．5mmの砂粒含）	良	灰白　2.5Y　7/1	高台部 完存	使用痕 渥美産
158	002－05	陶器 椀	門前Ⅴ	b22 SD217			高台径 6.6	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密（～3．0mmの砂粒含）	良	灰白　7.5Y　8/1	高台部 1/3	自然釉 知多産
159	002－02	陶器 椀	門前Ⅴ	SD217 （重機掘削）			高台径 11.4	外面：ロクロケズリ 内面：ロクロ使用	やや密（～1．5mmの砂粒含）	良	素地：灰白　7.5Y　8/1 釉色：灰白　7.5Y　7/2	高台部 1/4	内外面施釉 トチン痕
160	005－02	土師器 蓋	門前Ⅴ	b23 SD217	12.6	2.0	底径 7.0	外面：ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	密	良	外面：にぶい橙　7.5YR　7/4 内面：にぶい橙　7.5YR　7/3	1/4	南伊勢
161	005－01	土師器 蓋	門前Ⅴ	b19 SD217	13.8	1.9	底径 8.4	外面：ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	密	良	にぶい橙　7.5YR　7/4 黒　10YR　2/1	1/4	外面煤付着 南伊勢
162	002－09	加工円盤	門前Ⅴ	b22 SD217				外面：ヨコナデ 内面：オサエ・ナデ	やや粗（～1．5mmの砂粒含）	良	内面：にぶい赤褐　5YR　5/4 外面：灰褐　7.5YR　5/2		常滑産 重量　13.5g
163	008－04	土師器 羽釜	門前Ⅴ	SD217	21.0		つば径 23.2	外面：ハケメ・ヨコナデ・貼付け後ナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密	並	にぶい黄橙　10YR　7/3 浅黄橙　10YR　8/3	口縁小片	ハケメ7～8本/cm 南伊勢
164	007－03	土師器 鍋	門前Ⅴ	b17 SD217	20.0			外面：ナデ・ケズリ・ヨコナデ 内面：ナデ・工具ナデ・ヨコナデ	やや密（～2．0mmの砂粒含）	並	にぶい橙　7.5YR　7/4 断面：暗灰　N　3/0	1/8	南伊勢
165	007－02	土師器 鍋	門前Ⅴ	b20 SD217	23.2			外面：ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ・工具ナデ・ヨコナデ	やや密	並	浅黄橙　7.5YR　8/4 断面：灰　N　4/0	1/9	外面煤付着 南伊勢
166	006－04	土師器 鍋	門前Ⅴ	b20 SD217	25.8			外面：ハケメ・ヨコナデ 内面：工具ナデ？・ヨコナデ	やや密（～2．0mmの砂粒含）	並	にぶい橙　7.5YR　7/4 灰　N　4/0	1/6	外面煤付着 ハケメ6～7本/cm 南伊勢
167	003－04	土師器 鍋	門前Ⅴ	b23 SD217	28.0			外面：ハケメ・ヨコナデ 内面：ナデ・ケズリ・ヨコナデ	密	良	外面：黒　10YR　2/1 内面：にぶい黄橙　10YR　6/3	1/8	外面煤付着 ハケメ5本/cm 南伊勢
168	004－02	土師器 鍋	門前Ⅴ	b22 SD217	28.4			外面：ハケメ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	密	良	外面：暗褐　10YR　3/3 内面：にぶい黄橙　10YR　7/3	1/8	ハケメ8～11本/cm 口縁部内外面煤付着 南伊勢
169	007－01	土師器 鍋	門前Ⅴ	b16 SD217	40.6			外面：ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面：ナデ・ケズリ・ヨコナデ	やや密	並	浅黄橙　7.5YR　8/4 灰褐　7.5YR　4/2 断面：灰　N　4/0	1/11	外面煤付着 ハケメ6本/cm 南伊勢
170	003－01	土師器 鍋	門前Ⅴ	SD217 （重機掘削）	38.8			外面：ハケメ・ヨコナデ 内面：工具ナデ・ヨコナデ	密	並	にぶい褐　7.5YR　6/3 にぶい橙　7.5YR　7/3 黒　10YR　2/1	1/6	外面煤付着 ハケメ8本/cm 南伊勢

第10表　川島遺跡　出土遺物観察表⑤

番号	登録番号	器種	地区	出土位置 遺　構	計測値(cm)			調整(技法)の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
					口径	器高	その他						
171	003－03	土師器 鍋	門前Ⅴ	b22 SD217	38.8			外面:ナデ・ヨコナデ 内面:ハケメ・ナデ・ヨコナデ	密	良	外面:にぶい褐 7.5YR 5/3 内面:にぶい褐 7.5YR 6/3 断面:褐灰 10YR 5/1	1/8	南伊勢
172	003－02	土師器 鍋	門前Ⅴ	b23 SD217	38.6			外面:工具ナデ・ヨコナデ 内面:オサエ・ナデ・ヨコナデ	密	良	外面:黒 2.5Y 2/1 内面:にぶい橙 7.5YR 7/3 断面:灰 N 5/0	1/6	外面煤付着 南伊勢
173	004－01	土師器 鍋	門前Ⅴ	b16 SD217	38.6			外面:ハケメ・ヨコナデ・刺突 内面:工具ナデ・ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙 10YR 7/3 7/4	1/10	ハケメ7本/cm 南伊勢
174	004－03	土師器 鍋	門前Ⅴ	b17 SD217	32.2			外面:ハケメ・工具ナデ・ヨコナデ・キザミ? 内面:ナデ・ハケメ・ヨコナデ	密(～1．6mmの砂粒含)	良	外面:黒 2.5Y 2/1 内面:にぶい黄橙 10YR 7/4	1/10	外面煤付着 ハケメ8本/cm 南伊勢
175	006－01	土師器 鍋	門前Ⅴ	b21 SD217	31.2			外面:ハケメ・ヨコナデ 内面:ナデ・工具ナデ?・ヨコナデ	やや密	並	にぶい黄橙 10YR 6/3 にぶい褐 7.5YR 6/3	1/12	外面煤付着 ハケメ8本/cm 南伊勢
176	006－02	土師器 茶釜	門前Ⅴ	b21 SD217	8.4			外面:ハケメ・ヨコナデ・把手剥離 内面:ナデ・オサエ・ヨコナデ	やや密	並	浅黄橙 7.5YR 8/3 断面:灰 N 5/0	1/8	南伊勢
177	006－05	土師器 茶釜	門前Ⅴ	b14 SD217	13.4			外面:ハケメ・ヨコナデ 内面:工具ナデ・ヨコナデ	やや密	並	浅黄橙 10YR 8/3 断面:灰 N 6/0	1/5	ハケメ6本/cm 南伊勢
178	006－03	土師器 茶釜	門前Ⅴ	b21 SD217	13.8			外面:ハケメ・ヨコナデ 内面:ナデ・オサエ・ヨコナデ	やや密	並	にぶい黄橙 10YR 7/3 褐灰 10YR 5/1 断面:灰 N 5/0	1/4	ハケメ6～7本/cm 南伊勢
179	008－03	土師器 壺	門前Ⅴ	b17 SD217	25.6			外面:ヨコナデ 内面:ヨコナデ	やや密	並	にぶい黄橙 10YR 7/3 断面:暗灰 N 3/0	1/14	南伊勢
180	008－02	土師器 壺	門前Ⅴ	b20 SD217	26.8			外面:ヨコナデ 内面:ヨコナデ	密	並	にぶい黄橙 10YR 7/3 断面:灰 N 4/0	1/9	南伊勢
181	008－01	土師器 壺	門前Ⅴ	b17 SD217	28.8			外面:ハケメ・ヨコナデ 内面:工具ナデ・ヨコナデ	やや密	並	にぶい黄橙 10YR 7/3 断面:灰 N 4/0	1/12	ハケメ6～8本/cm 南伊勢
182	012－07	陶器 平椀	門前Ⅴ	a5 SK218				外面:ロクロ使用 内面:ロクロ使用	密	並	素地:灰黄 2.5Y 7/2 釉色:オリーブ黄 5Y 6/4	口縁小片	施釉 瀬戸産
183	012－05	陶器 椀	門前Ⅴ	a5 SK218			高台径 6.0	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付後ナデ 内面:ロクロナデ・ナデ	やや密	並	灰白 2.5Y 8/1	高台部 約1/2	自然釉 モミガラ痕 知多産
184	011－01	陶器 擂鉢	門前Ⅴ	b7 SR215	28.0			外面:ロクロナデ 内面:ロクロナデ・擂目	やや密(～1．5mmの砂粒含)	良	素地:灰白 2.5Y 8/2 釉色:灰褐 5YR 4/2	1/6	施釉(鉄釉) 瀬戸産
185	010－01	陶器 椀	門前Ⅴ	b7 SR215	15.9	5.4	高台径 7.4	外面:ロクロナデ・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ	密(～1．0mmの砂粒含)	良	灰白 7.5Y 7/1	1/4	使用痕 渥美産
186	010－02	陶器 椀	門前Ⅴ	b7 SR215			高台径 8.4	外面:ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面:ロクロナデ・ナデ	やや密(～3．0mmの砂粒含)	良	灰白 7.5Y 7/1	高台部 完存	使用痕 モミガラ痕 知多産?
187	011－02	土師器 椀	門前Ⅴ	b7 SR215	20.0			外面:ハケメ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや密(～1．0mmの砂粒含)	並	にぶい黄橙 10YR 7/3	1/10	ハケメ8～10本/cm 口縁部外面剥離
188	011－06	磁器 椀	門前Ⅴ	b11 SR215	9.5	4.7	高台径 4.1	外面:ロクロ使用 内面:ロクロ使用	密(微砂粒含)	良	素地:灰白 N 8/0 釉色:明オリーブ灰 2.5GY 7/1	1/2	施釉 肥前・波佐見系
189	011－05	陶器 椀	門前Ⅴ	b10 SR215			高台径 3.3	外面:ロクロケズリ 内面:ロクロ使用	密(微砂粒含)	良	素地:灰白 N 8/0 釉色:灰白 10Y 8/1	高台部 完存	施釉 底部外面墨書 瀬戸美濃産
190	011－04	土師器 小皿	門前Ⅴ	b7 SR215				外面:オサエ 内面:ナデ	密(微砂粒含)	並	浅黄橙 10YR 8/3	小片	内面墨書
191	011－03	土師器 小皿	門前Ⅴ	b10 SR215	4.8	0.95		外面:オサエ 内面:ナデ	密(～1．0mmの砂粒含)	並	にぶい橙 5YR 7/4	完存	
192	013－03	須恵器 壺	門前Ⅴ	b4 包含層	19.0			外面:ロクロナデ・波状文 内面:ロクロナデ	やや粗(～5．0mmの小石含)	並	灰 N 6/0	1/8	12本/1.5cm
193	013－04	平瓦	門前Ⅴ	b8 南壁					やや密(～2．0mmの砂粒含)	良	灰白 5Y 7/1		砥石に転用
194	052－03	土師器 皿	門前Ⅶ	d8 SK297	7.2	1.3		外面:オサエ 内面:ナデ	やや密	並	橙 5YR 6/6	1/2	油煙付着 灯明皿
195	052－02	土師器 皿	門前Ⅶ	d8 SK297	7.4	1.3		外面:オサエ 内面:ナデ	やや密	並	橙 5YR 6/6	完存	油煙付着 灯明皿
196	053－01	陶器 灯明受皿	門前Ⅶ	d8 SK297	10.8	2.1	底径 4.0	外面:ロクロケズリ・ロクロナデ 内面:ロクロナデ	密	良	素地:灰白 2.5Y 8/2 にぶい橙 7.5YR 7/4 釉色:灰黄 2.5Y 7/2	完存	施釉(灰釉) 油煙付着 信楽産
197	053－05	陶器 皿	門前Ⅶ	d8 SK297	10.2	1.6	高台径 5.3	外面:ロクロケズリ・削り出し高台	やや密	良	素地:淡黄 2.5Y 8/3 釉色:浅黄 2.5Y 7/3	高台部 完存	
198	053－04	磁器 椀	門前Ⅶ	d8 SK297	9.0	4.8	高台径 3.2	外面:削り出し高台	やや密	並	断面:灰白 5Y 8/1 釉色:白	1/2	染付け
199	062－02	陶器 天目茶椀	門前Ⅶ	e7 東壁			高台径 4.7	外面:ロクロケズリ・ロクロナデ 内面:ロクロナデ	やや密(～1．0mmの砂粒含)	並	素地:浅黄橙 10YR 8/3 釉色:黒 5YR 1.7/1	底部 ほぼ完存	施釉(鉄釉) 瀬戸産
200	056－06	陶器 鉢	門前Ⅶ	c3 SK305 ①				外面:ロクロナデ 内面:ロクロナデ	やや粗(～1．5mmの砂粒含)	良	素地:灰白 2.5Y 8/2 釉色:浅黄 5Y 7/3	口縁小片	施釉
201	056－04	土師器 小皿	門前Ⅶ	c8 SK304	7.1	1.2		外面:ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	密(～1．5mmの砂粒含)	並	橙 5YR 6/6	2/5	
202	060－06	陶器 天目茶椀	門前Ⅶ	c8 SK304			高台径 4.3	外面:ロクロナデ・ロクロケズリ 内面:ロクロナデ	密(～2．2mmの砂粒含)	良	外面:極暗赤褐 2.5YR 2/2 内面:赤黒 10R 1.7/1 断面:灰白 7.5YR 8/2	高台部 完存	施釉(鉄釉) 瀬戸産
203	060－03	陶器 灯明受皿	門前Ⅶ	c8 SK304	10.8	2.2	底径 4.0	外面:ロクロナデ・ナデ 内面:ロクロナデ	密	良	灰白 7.5Y 7/2 灰白 10YR 8/2 8/1	5/12	施釉(灰釉) 信楽産
204	058－01	磁器 皿	門前Ⅶ	c8 SK304	11.0	2.4	高台径 4.9	外面:ロクロ使用 内面:ロクロ使用	密(微砂粒含)	良	灰白 7.5Y 8/1	1/3	施釉

第11表　川島遺跡　出土遺物観察表⑥

番号	登録番号	器種	地区	出土位置 遺 構	計測値（cm）			調整（技法）の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
					口径	器高	その他						
205	056－01	瓦質土器 焙烙	門前Ⅶ	c8 SK304	34.6		つば径 36.0	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ	やや粗（～1．5mm の砂粒含）	良	灰白 N 8/0 灰 N 5/0	1/8	
206	056－05	陶器	門前Ⅶ	c8 SK304				外面：ロクロナデ・櫛描波状文 内面：ロクロナデ	やや粗（～3．0mm の砂粒含）	良	外面：にぶい黄橙 10YR 6/3 内面：にぶい黄褐 10YR 5/3	口縁小片	櫛描波状文 4本/1.2cm
207	057－05	銭貨	門前Ⅶ	c8 SK304			径 2.5						「寛永通宝」
208	059－02	陶器 擂鉢	門前Ⅶ	c8 SK304			底径 16.8	外面：ロクロケズリ 内面：擂目	やや粗（～4．7mm の小石含）	良	灰赤 2.5YR 4/2 灰白 10YR 8/2 断面：灰白 2.5Y 8/2	底部 1/4	瀬戸産
209	059－01	陶器 鉢	門前Ⅶ	c8 SK304	34.6	8.7	底径 11.0	外面：ナデ・オサエ・ヨコナデ・沈線 内面：ナデ・ヨコナデ	やや粗（～5．8mm の小石含）	良	にぶい橙 5YR 6/3 浅黄橙 7.5YR 8/3	1/10	施釉 常滑産
210	052－05	陶器 椀	門前Ⅶ	c6 SK299	13.2				密	良	断面：灰 7.5Y 6/1 釉色：灰オリーブ 7.5Y 6/2 釉色：灰白 7.5Y 8/2	1/5	施釉（二度掛け） 瀬戸美濃産
211	054－04	磁器 椀	門前Ⅶ	c6 SK299			高台径 5.2	外面：削り出し高台	やや密	良	断面：灰白 5Y 8/1	高台部 完存	施釉 瀬戸美濃産
212	062－03	陶器 大皿	門前Ⅶ	c6 SK299			高台径 11.8	外面：ロクロケズリ 内面：ロクロナデ	やや密（～2．0mm の砂粒含）	並	素地：灰白 5Y 7/1 釉色：灰白 7.5Y 7/2	1/4	施釉 瀬戸産
213	052－04	陶器 土瓶	門前Ⅶ	c6 SK299	7.8		体部径 17.8	外面：ロクロ使用・貼付け 内面：ロクロ使用	密	良	釉色：暗褐 7.5YR 3/3 釉色：灰オリーブ 5Y 6/2	1/3	施釉 信楽産
214	052－01	土師器 焙烙	門前Ⅶ	c6 SK299	40.0			外面：オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・工具ナデ・ヨコナデ	やや密	並	にぶい橙 7.5YR 6/4	1/5	内外面煤付着
215	061－02	陶器	門前Ⅶ	c6 SK299	残存長 9.7	幅 1.9～2.4			やや粗（～3．7mm の小石含）	良	灰 N 4/0 浅黄橙 7.5YR 8/3		
216	057－02	陶器 灯明皿	門前Ⅶ	d8 SK295	10.1	2.0	底径 4.3	外面：ロクロケズリ	密（～1．0mmの砂 粒含）	良	素地：にぶい黄橙 10YR 6/3 釉色：にぶい赤褐 5YR 4/3	ほぼ完存	施釉（鉄釉） 内面環状痕 瀬戸美濃産
217	057－03	陶器 灯明受皿	門前Ⅶ	d8 SK295西	9.8	2.0	底径 4.2	外面：ロクロケズリ	密（～1．0mmの砂 粒含）	良	素地：灰黄 2.5Y 7/2 釉色：にぶい赤褐 5YR 4/3	5/6	施釉（鉄釉） 瀬戸美濃産
218	062－01	陶器 灯明受皿	門前Ⅶ	d8 SK295	9.8	2.1	底径 4.6	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ 内面：ロクロナデ	やや密（～2．0mm の砂粒含）	並	素地：浅黄橙 10YR 8/3 釉色：にぶい赤褐 2.5YR 4/4 4/3	1/4	施釉（鉄釉） 瀬戸美濃産
219	057－06	銭貨	門前Ⅶ	d8 SK295東			径 2.2						「寛永通宝」
220	059－05	土師器 小皿	門前Ⅶ	e10 SK298	6.9	1.1		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや密（～1．8mm の砂粒含む）	良	にぶい橙 5YR 6/4	1/2	
221	059－04	土師器 小皿	門前Ⅶ	e10 SK298	7.8	1.0		外面 オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密（～1．0mm の砂粒含む）	良	橙 5YR 6/6 浅黄橙 7.5YR 8/3	1/3	
222	056－03	土師器 小皿	門前Ⅶ	e10 SK298	6.6～7.1	1.5		外面：ナデ・オサエ 内面：ナデ	やや密（～1．5mm の砂粒含）	並	橙 5YR 6/6	ほぼ完存	灯明皿
223	057－04	陶器 灯明受皿	門前Ⅶ	e10 SK298	9.6	1.8	底径 4.4	外面：ロクロケズリ	密（～1．0mmの砂 粒含）	良	素地：灰白 2.5Y 8/2 釉色：にぶい赤褐 5YR 4/3	2/3	施釉（鉄釉） 瀬戸美濃産
224	057－01	陶器 蓋	門前Ⅶ	e10 SK298	8.4		天井部 径 10.8	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ 内面：ロクロナデ・貼付け後ロクロナデ	やや密（～1．0mm の砂粒含）	並	橙 5YR 6/6	2/3	施釉 煤付着
225	060－04	陶器 椀	門前Ⅶ	e10 SK298	14.0				密	良	灰オリーブ 5Y 6/2 灰白 5Y 7/1	1/6	施釉
226	060－02	陶器 鍋	門前Ⅶ	e10 SK298	13.8			外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	灰白 7.5Y 7/2 灰オリーブ 7.5Y 6/2 浅黄橙 10YR 8/3	1/4	施釉
227	059－03	陶器 擂鉢	門前Ⅶ	e10 SK298			底径 12.8	外面：ロクロケズリ・ナデ 内面：擂目	やや粗（～3．6mm の小石含）	良	黒褐 7.5YR 3/2 灰褐 5YR 4/2 断面：淡黄 2.5Y 8/3	底部 1/8	施釉 瀬戸産
228	058－03	陶器 筒状花器？	門前Ⅶ	e10 SK298			底径 5.8	外面：ロクロケズリ・工具ナデ・ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密（微砂粒含）	良	素地：灰白 5Y 8/1 釉色：褐 7.5YR 4/3 4/4ほか	底部完存	施釉
229	058－04	磁器 壺？	門前Ⅶ	e10 SK298				ロクロ使用後六方に面を作る	密（微砂粒含む）	良	素地：灰白 10Y 8/1 釉：明緑灰 10GY 8/1	完存	施釉 肥前・波佐見系
230	060－01	五輪塔 風輪	門前Ⅶ	e10 SK298	残存高 7.0	上幅 9.1	下幅 6.4						一石五輪 風輪
231	056－02	土師器 壺	門前Ⅶ	e10 SK298	11.1	13.0	体部径 18.6	外面：ナデ・ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面：オサエ・ナデ・工具ナデ・ヨコナデ	やや密（～1．5mm の砂粒含）	並	橙 5YR 7/6 6/6	完存	中に土師器皿片 南伊勢系
232	055－01	丸瓦	門前Ⅶ	c9 SK302	残存長 15.2				やや密（～1．0mm の微砂粒含）	良	灰 N 5/0		スタンプ
233	054－02	磁器 仏飯器	門前Ⅶ	c9 SK302	6.2	5.6	台径 3.8		密	良	素地：灰白 10Y 8/1	3/4	施釉 絵付け 瀬戸美濃産
234	053－02	磁器 皿	門前Ⅶ	c9 SK302	9.6	2.1	高台径 5.2	外面：削り出し高台	密	良	断面：白 9/0	1/2	施釉 底部内面型押文様 瀬戸美濃産
235	053－03	磁器 皿	門前Ⅶ	c9 SK302	9.8	1.8	高台径 5.5	外面：削り出し高台	密	良	断面：白 9/0	1/2	施釉 底部内面型押文様 瀬戸美濃産
236	054－01	磁器 椀	門前Ⅶ	c9 SK302	11.0	5.7	高台径 4.4	外面：削り出し高台	密	良	断面：白 釉色：白	2/3	施釉 瀬戸美濃産
237	060－05	磁器 椀	門前Ⅶ	c9 SK302	10.9	5.1	高台径 3.7		密	良	明緑灰 10GY 8/1	1/2	施釉 肥前・波佐見系
238	054－03	磁器 蓋	門前Ⅶ	c9 SK302	9.2	2.7	高台径 3.8	外面：削り出し高台	密	良	素地：白 釉色：白	3/4	施釉 内面「成化年製」 瀬戸美濃産

第12表　川島遺跡　出土遺物観察表⑦

番号	登録番号	器種	地区	出土位置 遺 構	計測値(cm) 口径	器高	その他	調整(技法)の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
239	061－01	平瓦	門前Ⅶ	c9 SK302	残存長 10.0	残存幅 1.9～2.3			やや粗(～6．7mm の小石含)	良	にぶい黄橙 10YR 7/3 7/2 灰白 10YR 7/1		スタンプ
240	016－04	土師器 小皿	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ⑧	5.6	1.3		外面:オサエ 内面:ナデ	やや密(～1．0mm の微砂粒含)	良	外面:浅黄橙 7.5YR 8/4 内面:浅黄橙 10YR 8/3	1/2	南伊勢
241	017－04	土師器 皿	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ⑤	8.4	1.4		外面:オサエ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	密(～1．0mmの微 砂粒含)	良	浅黄橙 7.5YR 8/4 浅黄橙 10YR 8/3	1/4	南伊勢
242	016－05	土師器 皿	奥垣内Ⅴ	b25 SD279	8.4	1.5		外面:オサエ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	密	良	浅黄橙 7.5YR 8/3 にぶい橙 7.5YR 7/3	完存	南伊勢
243	017－05	土師器 椀	奥垣内Ⅴ	b25 SD279			高台径 4.9	外面:ナデ・貼付け後ナデ 内面:ナデ	密(～1．3mmの微 砂粒含)	良	浅黄橙 7.5YR 8/3	高台部 3/4	南伊勢
244	028－06	陶器 天目茶椀	奥垣内Ⅴ	b25 SD279	10.8			外面:ロクロナデ 内面:ロクロナデ	密	良	極暗赤褐 2.5YR 2/2 灰褐 5YR 5/2 断面:灰白 5Y 8/1	1/8	施釉 瀬戸産
245	028－07	陶器 天目茶椀	奥垣内Ⅴ	b25 SD279	10.9			外面:ロクロナデ 内面:ロクロナデ	やや密(～1．6mm の砂粒含)	良	釉色:黒 5YR 1.7/1 断面:灰白 10YR 8/2	口縁小片	施釉 瀬戸産
246	017－01	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279	18.8			外面:ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面:ケズリ・工具ナデ・ヨコナデ	密	並	外面:にぶい橙 5YR 6/4 内面:にぶい褐 7.5YR 6/3 5/3	1/3	外面煤付着 ハケメ6本/cm 南伊勢
247	020－01	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279	20.9	7.2	体部径 19.2	外面:ケズリ・ナデ・ヨコナデ 内面:タタキ後ハケメ・ハケメ・ヨコナデ	やや密(～2．0mm の砂粒含)	並	にぶい橙 7.5YR 7/3 7/4	5/6	南伊勢
248	026－03	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ②	21.0			外面:オサエ・ナデ・ケズリ・ヨコナデ 内面:ケズリ・ナデ・ヨコナデ	やや密	並	浅黄橙 7.5YR 8/4 8/3	1/3	外面煤付着 南伊勢
249	016－06	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ⑦	21.0			外面:ケズリ・オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面:ケズリ・工具ナデ・ヨコナデ	密(～6．3mmの小 石含)	良	浅黄橙 10YR 8/3	1/4	南伊勢
250	019－01	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ⑫	28.8	13.5	体部径 27.0	外面:ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヘラケズリ・工具ナデ・ヨコナデ	やや密(微砂粒含)	並	外面:褐灰 10YR 6/1 5/1 内面:浅黄橙 10YR 8/3	1/3	外面煤付着 ハケメ7本/cm 南伊勢
251	021－01	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ⑬下	28.2			外面:ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面:ケズリ・工具ナデ・ヨコナデ	やや密(～3．3mm の砂粒含)	良	外面:褐灰 10YR 4/1 内面:灰白 2.5Y 8/2 断面:灰 N 5/0	5/6	外面煤付着 ハケメ5～6本/cm 南伊勢
252	016－02	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ⑫下	32.8			外面:ハケメ・オサエ後ヨコナデ? 内面:工具ナデ・ヨコナデ	密(～1．0mmの微 砂粒含)	良	外面:褐灰 5YR 5/1 6/1 内面:灰白 7.5YR 8/2 断面:灰 N 5/0	1/4	ハケメ6本/cm 南伊勢
253	025－02	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ⑬	31.4			外面:ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面:ケズリ・工具ナデ・ヨコナデ	やや密(～2．0mm の砂粒含)	並	褐灰 10YR 4/1 にぶい橙 7.5YR 6/4	1/6	外面煤付着 ハケメ6～7本/cm 南伊勢
254	025－01	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ④	33.2			外面:ケズリ・ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面:工具ナデ・ナデ・ヨコナデ	やや密	並	外面:にぶい黄橙 10YR 7/3 内面:黒褐 10YR 3/2 断面:暗灰 N 3/0	5/6	口縁部内面油煙? 南伊勢
255	021－02	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ⑬下	33.6			外面:ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面:ケズリ・工具ナデ・ハケメ・ヨコナデ	やや密	良	外面:灰褐 7.5YR 5/2 内面:灰黄褐 10YR 6/2	1/6	外面煤付着 南伊勢
256	051－01	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279	36.0		体部径 33.8	外面:ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面:ケズリ・工具ナデ・ヨコナデ	やや密	並	灰黄褐 10YR 6/2 褐灰 10YR 5/1 4/1	1/4	外面煤付着 ハケメ12本/2cm 南伊勢
257	016－03	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ⑪	33.0			外面:ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面:ケズリ・工具ナデ・ヨコナデ	密(～1．0mmの微 砂粒含)	良	浅黄橙 10YR 8/3	1/4	南伊勢
258	024－01	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b26 SD279 ⑪下	35.8		体部径 34.0	外面:ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面:ケズリ・工具ナデ・ヨコナデ	やや密(～1．5mm の砂粒含)	並	外面:にぶい黄橙 10YR 6/3 内面:にぶい黄橙 10YR 7/3	2/3	外面煤付着 ハケメ5～6本/cm 南伊勢
259	017－02	陶器 練鉢	奥垣内Ⅴ	b25 SD279				外面:ナデ・ロクロナデ 内面:ロクロナデ	粗(～5．3mmの小 石含)	良	外面:にぶい赤褐 5YR 5/3 内面:にぶい赤褐 5YR 4/3 断面:橙 5YR 7/6	口縁小片	常滑産 ヘラ記号?
260	017－03	陶器 擂鉢	奥垣内Ⅴ	b25 SD279				外面:ロクロ水引ナデ 内面:ロクロ水引ナデ	やや密(～2．5mm の砂粒含む)	良	赤灰 2.5YR 4/1 断面:灰白 10YR 8/2	口縁小片	内外面に鉄泥 瀬戸産
261	027－02	陶器 擂鉢	奥垣内Ⅴ	b25 SD279	28.6			外面:ロクロナデ 内面:ロクロナデ・擂目	密(～2．5mmの砂 粒含)	良	暗赤灰 10R 4/1 灰赤 10R 4/2 断面:灰白 10YR 8/2	1/10	施釉(鉄釉) 瀬戸産
262	029－03	石製硯	奥垣内Ⅴ	b25 SD279	残存長 5.9	残存幅 4.6	残存厚 1.1						
263	017－06	加工円盤	奥垣内Ⅴ	b24 SD279				外面:ナデ 内面:ナデ	やや粗(～2．5mm の砂粒含)	良	灰褐 7.5YR 5/2		重量 51.695g 常滑産
264	029－04	加工円盤	奥垣内Ⅴ	b25 SD279				外面:ナデ 内面:ナデ	やや密(～1．0mm の微砂粒含)	良	橙 5YR 6/6 浅黄橙 7.5YR 8/3		重量 18.465g 常滑産
265	018－01	土師器 茶釜	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ⑧	13.5	20.5	体部径 25.5	外面:ケズリ・ハケメ・貼付け後ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ケズリ・ハケメ・ヨコナデ	やや密	並	外面:にぶい黄褐 10YR 5/3 内面:浅黄橙 10YR 8/3	7/8	底部黒変　南伊勢 外面煤付着 ハケメ5～9本/cm
266	020－02	土師器 茶釜	奥垣内Ⅴ	b26 SD279 ⑪下	13.5	20.8	体部径 26.1	外面:オサエ後ナデ・ケズリ・ハケメ・貼付けオサエ・ヨコナデ 内面:オサエ・工具ナデ・板ナデ・ヨコナデ	やや密(～1．5mm の砂粒含)	並	外面:灰褐 7.5YR 5/2 内面:にぶい橙 7.5YR 6/4	3/4	外面煤付着 ハケメ6～7本/cm 南伊勢
267	026－02	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279	30.2			外面:ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや密	並	にぶい橙 7.5YR 7/4	1/4	外面煤付着 南伊勢
268	022－01	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ⑦	28.4	13.5		外面:ハケメ・ケズリ・沈線?・ヨコナデ 内面:ナデ・ケズリ・ハケメ・ヨコナデ	やや密(～2．0mm の砂粒含)	並	浅黄橙 10YR 8/3 断面:灰 N 4/0	3/4	外面煤付着 ハケメ8～9本/cm 南伊勢
269	023－01	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ⑫	31.1		体部径 27.4	外面:ケズリ・ナデ・ハケメ・ヨコナデ 内面:ケズリ・ナデ・ヨコナデ	密(～1．5mmの砂 粒含)	並	外面:にぶい褐 7.5Y 6/3 5/3 内面:にぶい黄橙 10YR 7/4 6/4	1/5	外面煤付着 ハケメ7～8本/cm 南伊勢
270	026－01	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b25 SD279 ⑩	32.0			外面:ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面:ハケメ・ヨコナデ	やや密	並	にぶい橙 7.5YR 7/4 灰褐 7.5YR 5/2	1/6	外面煤付着 ハケメ7本/cm 南伊勢
271	027－01	土師器 羽釜	奥垣内Ⅴ	b25 SD279	39.0			外面:ハケメ・貼付け後ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	粗(～3．5mmの小 石含)	良	浅黄橙 10YR 8/3	1/10	ハケメ4～5本/cm 南伊勢
272	016－01	土師器 羽釜	奥垣内Ⅴ	b25 SD279	45.4		つば径 52.0	外面:ハケメ・貼付け後ナデ・ヨコナデ 内面:ナデ・ヨコナデ	やや粗(～2．0mm の砂粒含)	良	外面:にぶい橙 7.5YR 7/3 内面:灰白 10YR 8/2	小片	ハケメ5～6本/cm 南伊勢

第13表　川島遺跡　出土遺物観察表⑧

番号	登録番号	器種	地区	出土位置 遺 構	計測値（cm）			調整（技法）の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
					口径	器高	その他						
273	031－06	土師器 小皿	奥垣内Ⅴ	b14 SD277	7.6～8.1	1.2		外面：オサエ・ナデ 内面：ナデ	やや密	並	浅黄橙 7.5YR 8/3	ほぼ完存	南伊勢
274	028－05	土師器 皿	奥垣内Ⅴ	b14 SD277 ⑤	11.4	2.2	底径 9.2	外面：ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	密（～1．3mmの微砂粒含）	良	灰白 10YR 8/2	1/2	南伊勢
275	030－05	土師器 皿	奥垣内Ⅴ	b14 SD277	12.5	2.7		外面：オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面：オサエ・ナデ・ヨコナデ	やや密	並	橙 5YR 7/6	1/3	南伊勢
276	030－06	土師器 皿	奥垣内Ⅴ	b14 SD277	12.6			外面：ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密（微砂粒含）	並	にぶい黄橙 10YR 7/4	1/6	南伊勢
277	030－07	土師器 皿	奥垣内Ⅴ	b14 SD277	13.0			外面：オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密	並	外面：浅黄橙 10YR 8/4 内面：にぶい黄橙 10YR 7/4	1/6	南伊勢 ゆがみ有り
278	030－02	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b8 SD277	30.0			外面：オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面：工具ナデ・ヨコナデ	やや粗（～2．0mmの砂粒含む）	並	浅黄橙 10YR 8/3	1/8	南伊勢
279	031－05	陶器 小皿	奥垣内Ⅴ	b8 SD277	7.9	1.7	底径 4.5	外面：ロクロナデ・糸切り 内面：ロクロナデ	やや密	良	灰白 5Y 7/1	7/8	使用痕 渥美産？
280	031－01	陶器 椀	奥垣内Ⅴ	b11 SD277	16.8	4.7	高台径 8.3	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密	良	灰白	口縁小片	使用痕 モミガラ痕　知多産 ゆがみ有り
281	028－03	陶器 椀	奥垣内Ⅴ	b8 SD277	16.6	5.2	高台径 9.4	外面：ロクロナデ・ナデ・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密（～2．3mmの砂粒含）	良	灰白 N 8/0 灰白 7.5Y 8/1	1/8	使用痕 内面煤付着 渥美産
282	028－04	陶器 椀	奥垣内Ⅴ	b10 SD277			高台径 7.0	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	密（～1．0mmの微砂粒含）	良	外面：灰白 5Y 8/1 内面：灰白 N 8/0 7/0	高台部 完存	砂粒痕 渥美産
283	028－02	陶器 椀	奥垣内Ⅴ	b13 SD277 ②	13.5～15.2	5.6	高台径 6.0	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや粗（～3．0mmの砂粒含）	良	灰白 N 8/0	1/3	モミガラ痕　使用痕 自然釉　知多産 ひずみ大
284	028－01	陶器 椀	奥垣内Ⅴ	b14 SD277 ⑥	15.4	5.1	高台径 6.3	外面：ナデ・ロクロナデ・貼付け後ナデ 内面：ナデ・ロクロナデ	粗（～2．7mmの砂粒含）	良	灰白 N 8/0	完存	モミガラ痕 使用痕 知多産
285	029－02	陶器 椀	奥垣内Ⅴ	b14 SD277			高台径 6.4	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや粗（～2．7mmの砂粒含）	良	灰白 7.5Y 7/1	高台部 1/2	モミガラ痕 底部外面墨書「⋈」 知多産
286	029－01	陶器 椀	奥垣内Ⅴ	b10 SD277			高台径 8.0	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや粗（～5．0mmの小石含）	良	灰白 5Y 8/1	高台部 完存	使用痕 底部外面墨書 砂粒痕　渥美産
287	030－03	土師器 壺	奥垣内Ⅴ	b12 SD277 ①	15.8			外面：ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや粗（～3．0mmの砂粒含）	並	浅黄橙 10YR 8/3 灰白 10YR 8/2	1/4	
288	031－03	陶器 小椀	奥垣内Ⅴ	b17 SD278	9.5	3.2	高台径 5.8	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密	並	灰白 N 8/0	1/5	自然釉 モミガラ痕 知多産
289	031－02	陶器 椀	奥垣内Ⅴ	b17 SD278			高台径 8.5～9.0	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密	並	灰白 N 8/0	高台部 完存	自然釉　使用痕 内面重ね焼き痕 モミガラ痕　知多産
290	031－04	陶器 椀	奥垣内Ⅴ	b17 SD278			高台径 5.6	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ・ナデ	やや密	並	灰白 N 8/0	高台部 小片	モミガラ痕 底部外面墨書「⋈」 知多産
291	030－01	土師器 鍋	奥垣内Ⅴ	b17 SD278	34.9			外面：ハケメ・ヨコナデ 内面：工具ナデ・ヨコナデ	やや密	並	外面：にぶい黄橙 10YR 6/3 内面：にぶい橙 7.5YR 7/4	1/8	外面煤付着 ハケメ15本/2.2cm 南伊勢
292	032－04	土師器 高杯	奥垣内Ⅴ	b7 SD276				外面：櫛描横線・櫛による刺突 内面：ナデ	やや粗（～2．0mmの砂粒含）	並	灰褐 7.5YR 5/2 浅黄橙 7.5YR 8/3 灰白 10YR 8/2		三方スカシ
293	033－04	灰釉陶器 皿	奥垣内Ⅴ	a8 SD276	15.4	3.1	高台径 7.6	外面：ロクロナデ・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	密	並	灰白 5Y 8/1	1/9	
294	033－03	陶器 椀	奥垣内Ⅴ	b8 SD276	13.8～14.5	4.5～5.3	高台径 5.8～6.4	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密	並	灰白 N 8/0 7/0	完存	モミガラ痕 内面炭化物付着 知多産
295	032－05	陶器 小皿	奥垣内Ⅵ	表土掘削	9.0	2.0	底径 4.0	外面：ロクロナデ・糸切り 内面：ロクロナデ	密	並	灰白 5Y 8/1	1/4	知多産
296	033－02	陶器 椀	奥垣内Ⅴ	下層確認	15.6	4.6	高台径 8.6	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密	並	灰白 2.5Y 8/1	5/8	自然釉 砂粒痕　渥美産 内面炭化物付着
297	033－06	白磁 椀	奥垣内Ⅵ	表土掘削			高台径 6.5	外面：ロクロナデ・削り出し高台 内面：ロクロナデ	密	並	素地：灰白 2.5Y 8/2 釉色：灰白 5GY 8/1	高台部 完存	施釉 重ね焼痕
298	030－04	ロクロ 土師器 皿	奥垣内Ⅴ	表土掘削	16.0			外面：ロクロナデ・糸切り 内面：ロクロナデ	やや密（～4．0mmの砂粒含）	並	外面：浅黄橙 7.5YR 8/4 内面：にぶい橙 7.5YR 7/4	1/5	
299	032－03	土師器 小皿	奥垣内Ⅵ	e2・3 SD285	8.2～8.6	1.35		外面：ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密	並	浅黄橙 7.5YR 8/3	完存	南伊勢
300	032－02	土師器 皿	奥垣内Ⅵ	e2・3 SD285	14.6	3.6		外面：ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密（～2．0mmの砂粒含）	並	浅黄橙 7.5YR 8/4 浅黄橙 10YR 8/3	3/8	南伊勢
301	032－06	陶器 小皿	奥垣内Ⅵ	e2・3 SD285	8.4	2.0	底径 4.2	外面：ロクロナデ・糸切り 内面：ロクロナデ	密	並	灰白 N 8/0	1/4	自然釉 知多産
302	033－05	陶器 椀	奥垣内Ⅵ	e2・3 SD285			高台径 6.8	外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け後ナデ 内面：ロクロナデ	やや密	並	灰白 N 8/0	高台部 完存	自然釉 台の圧痕？ 知多産
303	032－01	土師器 鍋	奥垣内Ⅵ	e2・3 SD285	24.2			外面：板ナデ・ハケメ・ヨコナデ 内面：ナデ・オサエ・ヨコナデ	やや粗（～3．0mmの砂粒含）	並	灰白 10YR 8/2 にぶい褐 7.5YR 5/3	1/8	外面煤付着 南伊勢
304	033－01	陶器 甕	奥垣内Ⅵ	n12 SZ291	19.6			外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	やや粗（～3．0mmの砂粒含）	並	外面：暗紫灰 5P 3/1 内面：にぶい赤褐 5YR 5/3 断面：暗灰 N 3/0	1/12	常滑産

第14表　川島遺跡　出土遺物観察表⑨

番号	登録番号	器種	地区	出土位置 遺　構	計測値（cm）			調整（技法）の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考
					口径	器高	その他						
1	005－03	土師器 皿	Ⅱ	b60 SK3 ③	6.3～6.6	1.55		外面：ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密	並	浅黄橙　7.5YR　8/3 褐灰　5YR　6/1	7/8	南伊勢
2	005－02	土師器 皿	Ⅱ	b60 SK3	6.6～6.7	1.15		外面：ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密（～1．0mm の砂粒含）	並	にぶい橙　5YR　7/3 浅黄橙　7.5YR　8/3	7/8	南伊勢
3	005－04	土師器 皿	Ⅱ	b60 SK3	6.8	1.1		外面：ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	密	並	浅黄橙　7.5YR　8/4	1/3	南伊勢
4	004－03	土師器 皿	Ⅱ	b60 SK3 ②	9.8	1.9		外面：ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	やや密	並	浅黄橙　7.5YR　8/4	5/8	南伊勢
5	004－04	土師器 蓋	Ⅱ	b60 SK3	11.9	1.8		外面：ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ貼付け後ナデ・ヨコナデ	やや密	良	にぶい橙　5YR　7/4 浅黄橙　7.5YR　8/3 灰褐　5YR　5/2	1/8	外面煤付着 底部外面工具圧痕？ 南伊勢
6	005－01	土師器 鍋	Ⅱ	b59 SK3 ①	36.8			外面：ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面：ナデ・ケズリ・ヨコナデ	やや密	並	浅黄橙　7.5YR　8/3 明褐灰　7.5YR　7/1 にぶい橙　10YR　7/2	1/10	外面煤付着 ハケメ5本/cm 南伊勢
7	005－05	陶器 皿	Ⅱ	b57 SD7	11.0	2.6		外面：ロクロナデ・糸切り 内面：ロクロナデ	やや密	並	素地：灰白　2.5Y　8/2 釉色：灰白　7.5Y　7/2	3/8	施釉 トチン痕 瀬戸産
8	001－01	土師器 鍋	Ⅰ	b9 pit1 ①	37.6			外面：ハケメ・ケズリ・ナデ・ヨコナデ 内面：ナデ・ケズリ・ヨコナデ	やや密	並	橙　5YR　6/6 にぶい橙　7.5YR　7/4	1/3	外面煤付着 ハケメ8本/cm 南伊勢
9	001－02	陶器 水滴	Ⅰ	b3 包含層	1.9～2.4			外面：ロクロナデ・糸切り・貼付け 内面：ロクロナデ	密	並	素地：灰白　N　8/0 釉色：黒　N　2/0	口縁小片	施釉（鉄釉） 底部剥離 瀬戸産
10	005－06	陶器 天目茶椀	Ⅱ	表土掘削	12.0			外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	やや粗	並	素地：灰白　N　8/0 釉色：黒　N　2/0	1/6	施釉（鉄釉） 瀬戸産
11	002－01	土師器 鍋	Ⅱ	b49 SK8	20.6	7.0		外面：ケズリ・ナデ・オサエ・ヨコナデ 内面：ナデ・オサエ・ヨコナデ	やや密（～2．0mm の砂粒含）	並	外面：にぶい橙　7.5YR　7/4 内面：浅黄橙　7.5YR　8/4	5/8	外面煤付着 南伊勢
12	006－02	土師器 鍋	Ⅱ	b49 SK8	23.8		体部径 22.0	外面：ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面：ハケメ・ヨコナデ	やや密（～2．0mm の砂粒含）	並	外面：にぶい褐　7.5YR　6/3 内面：浅黄橙　10YR　8/3	3/4	外面煤付着 ハケメ6～7本/cm 南伊勢
13	004－01	土師器 鍋	Ⅱ	b49 SK8	38.2			外面：ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面：ハケメ・ケズリ・ヨコナデ	やや密	並	灰白　10YR　8/2 褐灰　10YR　5/1 にぶい橙　7.5YR　7/4	1/7	外面煤付着 ハケメ7～8本/cm 南伊勢
14	006－01	土師器 鍋	Ⅱ	b50 SK8	29.0		体部径 27.8	外面：ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面：ケズリ・ナデ・工具ナデ・ヨコナデ	やや密（～1．5mm の砂粒含）	並	にぶい黄橙　10YR　7/3　6/3 灰黄褐　10YR　6/2	3/4	外面煤付着 ハケメ7～8本/cm 南伊勢
15	002－02	土師器 鍋	Ⅰ	b10 SK1 ①	27.0			外面：ハケメ・ケズリ・ヨコナデ 内面：ハケメ・ケズリ・ヨコナデ	密	並	外面：にぶい褐　7.5YR　5/3 内面：にぶい黄橙　10YR　7/3	3/16	外面煤付着 ハケメ7本/cm 南伊勢
16	004－02	土師器 鍋	Ⅱ	b56 SD4	20.6	7.9		外面：ハケメ・ケズリ・ナデ・ヨコナデ 内面：ケズリ・ナデ・ヨコナデ	やや密	並	にぶい橙　5YR　6/3 浅黄橙　7.5YR　8/3 断面：暗灰　N　3/0	1/3	外面煤付着 ハケメ8～9本/cm 南伊勢
17	003－01	土師器 壺	Ⅰ	b3 SK2	27.2			外面：ハケメ・ヨコナデ 内面：オサエ・板ナデ・ヨコナデ	やや密（～3．0mm の砂粒含）	並	外面：にぶい橙　7.5YR　7/3 内面：にぶい黄橙　10YR　7/3	1/8	南伊勢

第15表　魚見下起遺跡　出土遺物観察表

【遺物観察表凡例】

遺物観察表については、以下のような方法で表記した。

番　号：図版に対応する番号である。

登録番号：実測図対応番号である。

器　種：土師器・陶器などの別と、器種（甕・壺・皿など）を記した。

出土位置　遺構：その遺物が出土した小地区、遺構名などを記した。

計測値：計測できる範囲で表記した。

調整（技法）の特徴：おおよそを表記した。

胎　土：密・やや密・やや粗・粗の４段階で表記した。

焼　成：良・並・不良の３段階で表記した。

色　調：『新版　標準土色帖』（小山正忠・竹原秀雄編　９版　1989）を基準にしている。

残存度：特に示していないものについては、口縁部の残存状況を示す。数値で表せないものは「小片」とした。石器などは言葉で記した。

V　自然科学分析

三重県川島遺跡出土須恵器中の火葬骨

パリノ・サーヴェイ株式会社
金子　浩昌

はじめに

川島遺跡（三重県松阪市川島町に所在）は、櫛田川下流域に広がる沖積低地（標高約２～３ｍ）に立地する。今回発掘調査が行われた門前Ｉ地区では、表土の機械掘削時に焼骨が詰まった須恵器の壺が検出された。

今回の分析調査では、検出された須恵器に納められていた焼骨について骨同定を実施し、種類と部位、およびそれらから推定される性別、年齢、体躯などに関する情報を得る。なお、同定および解析には、金子浩昌先生に協力をお願いし、署名原稿として結果を頂いた。

１．試料

試料は、古墳時代後期の須恵器内に充填していた焼けた人骨である。土塊中に細かな焼骨片が多数認められる状態で確認された。表土掘削中の出土であり、時期は古墳時代後期以降としか断定できない。

２．分析方法

試料に付着した土壌を除去するため、水洗選別を行い、自然乾燥させる。試料を肉眼およびルーペで観察し、その形態的特徴から、種類および部位の特定を行う。

３．結果

結果を、表16に示す。全て火葬された人骨である。以下、部位ごとに結果を示す。

＜頭骨＞

破損が著しく、頭骨部位を確認できたのは、ごく一部の標本に限られる。縫合を残す骨片も少なく、僅かに頭頂骨と思われる破片があった。それにみられた縫合は、若干不完全な状態であった。この縫合線の癒合状態からみて、年齢は30歳代の可能性が考えられる。また、下顎骨骨体破片が１点ほど認められる。

＜椎骨＞

第２頸椎（軸椎）の歯突起部が確認される。この他、椎体片が検出される。これら椎体片は、細かな破片となっているため、部位を特定できないものが多い。

＜肋骨＞

いずれも破片となっているが、やや形状のわかる破片６点ほど認められる。

＜寛骨＞

いずれも破片である。

＜大腿骨＞

後面に、顕著でないにしろ、付柱の形質が確認される。長骨の場合、年齢や個体差による変異が大きいが、男性では筋の付着部が粗雑であり、隆起や溝がより明瞭で全体としてゴツゴツした感を与えることが多いとされている（例えば、馬場編著，1998）。このことから、本人骨は男性の可能性が考えられる。

＜四肢骨＞

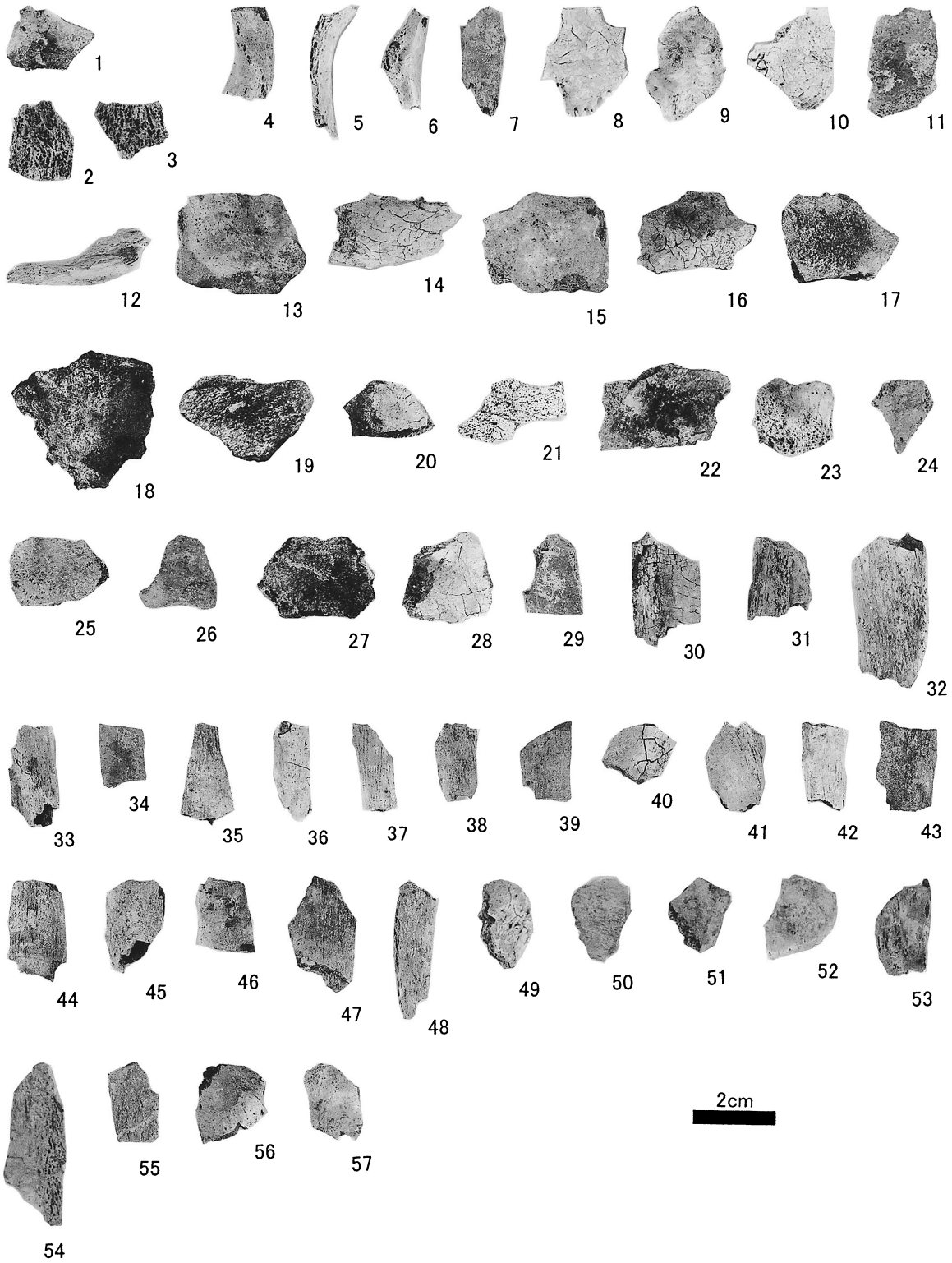
上腕骨、橈骨、尺骨、大腿骨、脛骨などの大形骨の骨片はみとめられたが、指骨などは検出できなかった。おそらく、緻密骨質が薄く破損したと考えられる。

４．考察

本遺跡で検出された人骨は、須恵器の壺中に入れられたために、ごく一部の骨が採取され、しかも小さい骨片が選ばれたようである。このため、人骨についての情報は限られていた。ただし、僅かに得られる情報を整理すると、30歳代の成人と考えられ、おそらく男性遺体の可能性がある。

なお、馬場ほか（1986）を参考にすると、人骨を焼いた際、600℃以下ではほとんど変化がなく、800℃付近では灰白色になり、収縮・硬化が見られ、歯のエナメル質が崩壊し歯冠が失われる等、最も激

出土人骨



1．第2頸椎(軸椎)歯突起部　　2,3．椎骨椎体片　　4-7．肋骨片
8-11．頭骨縫合部　　12．下顎骨片　　13-29．頭骨片
30,31．大腿骨骨体付柱部　　32-57．四肢骨片

しく変化するとされている。今回検出された人骨は、いずれも細片となっているが、灰白色から黒色を呈し、表面に細かなひび割れが生じ、変形、収縮していることから、800℃以上で火葬されたと考えられる。他の場所で火葬された人骨が須恵器壺内に納められ、埋葬されたのであろう。

引用文献

馬場　悠男編著,1998,考古学と自然科学①　考古学と人類学.同成社,191p.

馬場悠男・茂原信生・阿部修二・江藤盛治,1986,根古屋遺跡出土の人骨・動物骨.霊山根古屋遺跡の研究　－福島県霊山町根古屋における再葬墓群－,福島県霊山町教育委員会,93-113.

種類	部位	部分	数量	備考
ヒト	頭骨	縫合部	4	
	頭骨	破片	61+	
	下顎骨	破片	1	
	第2頸椎(軸椎)	歯突起部	1	
	椎骨	破片	14+	椎体・椎弓部等
	肋骨	破片	6	
	寛骨	破片	23+	
	大腿骨	骨体付柱部	2	
	四肢骨	破片	85+	
	不明	細片	多	頭骨・四肢骨等

第16表　門前Ⅰ地区の出土人骨同定結果

凡例）数量において、数字の後ろの“＋”表記は、他に微細片が含まれることを示す。

Ⅵ　結　語

今回の川島遺跡および魚見下起遺跡の調査では、主に中世の井戸や溝・土坑、近世の遺構などを確認した。また、出土遺物においては古墳時代～近世までのものが見られる。ここでは川島遺跡第１次調査[①]や周辺遺跡の調査結果などをふまえて今回の調査を検証し、まとめとしたい。

１　遺構のまとめ

(1) 古墳･古代

古墳時代、川島遺跡（１次調査も含む）では今のところ遺構は確認されておらず、出土遺物のみである。門前Ⅰ～Ⅴ地区や奥垣内Ⅴ地区の包含層などから土師器高杯や壺、須恵器の杯や人骨の入った壺（中の人骨は時期不明）などが見つかっている。そのほとんどが、ローリングを受けて土器の外面が劣化しているのに対し、門前Ⅲ地区で出土した古墳時代前期頃の土師器壺(73)は、外面調整などもわかるようなきれいな状態であった。当遺跡周辺が櫛田川の乱流地帯であり、また古墳時代当時の海岸線が当地付近まで湾入していた可能性もある[②]ことから、73以外の当該遺物の状態も首肯できる。ただし73については、水運で運ばれてきたと考えるにはきれいな状態であることから、門前Ⅲ地区以西（現集落下）に古墳時代の集落が存在する可能性が考えられる。

古代においては、１次調査で奈良時代（Ⅰ期[③]）の竪穴住居１棟と平安時代（Ⅱ期）の土坑や溝が検出されている。遺構は奥垣内Ⅱ地区を中心に見られるが、それらは集落の中心というのではなく、散見されているにとどまる。それにしても、今回の調査における当該時期の遺物出土量に比べて、１次調査での出土量が多いことや、当遺跡の東方約１kmのところに所在する服部遺跡[④]から奈良・平安時代の掘立柱建物や多量の遺物が確認されていること、加えて東方900mのところに神服織機殿神社が鎮座していることからもこの時代の集落が川島遺跡の東側に拡がっていることが予想される。

（２）中世

中世においては、今回の調査で検出した遺構の大半がこの時期のものである。広い範囲での線掘りの調査であったため遺跡の詳細は不明であるが、遺構密度の高いところとそうでないところがはっきりと出る結果となった。特に奥垣内Ⅴ地区の東部から門前Ⅰ地区の北部、加えて１次調査における奥垣内Ⅱ地区のほぼ全域（特に南部で密度が高い）にかけて、

南北に細長い微高地が存在し、そこに遺構が集中している状況が確認できた。この微高地は、奥垣内Ⅲ地区で検出されたＳＤ95に伴う自然堤防である可能性が考えられる。

また、１次調査の塩角Ⅰ・Ⅱ地区、道場Ⅰ地区などにも遺構の集中する箇所が確認できるが、その間にある塩角Ⅳ地区では明確な遺構は検出できていない。この辺りにもおそらく櫛田川に伴う自然堤防が存在するものと考えられるが、これらの遺構の検出状況から、集落が営まれていた微高地が細かく点在し、その間を何本もの流路が走っていた状況が想像できる。

遺構を詳細に見ていくと、１次調査で検出されたＳＤ58の続きであると考えられるＳＤ279からは、遺構の底付近から大量の南伊勢系鍋や羽釜・茶釜が出土しており、いずれも外面に煤が付着した使用済みのものであった。破片のみのものは少なく、ほとんどがほぼ完形に復元できるような状況で何個体も折り重なって出土している。このことから、集落が近くに存在し、何らかの理由で煮炊用土器を一括廃棄したものと考えられる。

また、今回井戸を２基検出している。鎌倉期のＳＥ237と室町期のＳＥ241がそれである。ＳＥ241が不確定ではあるが、いずれも石組井戸であると考えている。１次調査では、道場Ⅰ地区で室町期の井戸を４基検出しており、そのうち３基は底に曲物が確認され、もう１基は素掘りの井戸として報告されている。松阪市では中世の井戸の検出例は多いが、遺跡によって石組が主体となるところと、木組あるいは素掘りが主体となるところがある[5]。例えば櫛田川中流域の古川遺跡[6]や横地高畑遺跡[7]、山添遺跡[8]では石組井戸が主体であるが、それに対して下流域に属する堀町遺跡[9]では石組の井戸は見られない。そのような中で、川島遺跡ではいずれの形態の井戸も出てきており非常に興味深い事例であるといえる。

２　中世の遺物について

（１）墨書土器について

今回の調査では、墨書が施されている陶器の皿や椀が数点見つかっている。その中でリボンのような形をした墨書が何点かあったため、この「⋈」の記号が施されているものについて、何らかの特徴が見出せないか整理をしてみた。それが第17表である。この表での数量は当報告書内で図示できたものに限られる。なお、整理段階で墨書を確認した土器については全点を抽出し報告している。

「⋈」が記された土器は、「⋈」や「⋈」も含めると全部で７点ある。総墨書土器数は少ないがその中の７割を占める。また、いずれも藤澤編年[10]の６型式に相当し、産地も知多産のものに限られる。出土地区を詳細に見ていくと、門前Ⅰ地区の遺構が集中していた北側で５点、奥垣内Ⅴ地区から２点出土している。これは先述した一つの遺構密集地に当たる。川島遺跡周辺にこのような小さな遺構密集地が点在しており、それぞれ小部落を形成していると考えれば、今回の「⋈」の墨書は、一旦どこかに集積された知多産の陶器供膳具を、ある一定の地域に配分するために目印として記した可能性が考えられる。

奥垣内Ⅲ地区（１次調査）で出土した２つの尾張産の陶器椀には、いずれも「#」の墨書が見られるが、今回の調査では同様のものは見つかっていない。「⋈」が出土している調査区と、距離的に200m弱しか離れていないにもかかわらずこのような違いが見

種類	器種	産地	数量	墨書なし	墨書あり	備考
陶器	小皿	渥美	4	3	1	
		尾張	7	4	3	「⋈」:２「⋈」:１
	小椀	渥美	2	2	0	
		尾張	2	1	1	「○」
	椀	渥美	16	15	1	
		尾張	25	21	4	「⋈」:３「⋈」:１

第17表　陶器供膳具産地別集計表

られることから、「#」の記号も地域色的な意味合いを持つ可能性が考えられる。

それでは、これらの墨書がどの時点で記されたのか、集積地とはどこなのかという問題が残る。もし、墨書が当地に運ばれてきた以後に記されたとすると、産地によって違いが出るとは考えにくい。第17表でも明らかなように、「⋈」の記号は知多産のものだけに施されていることから、少なくとも当地に運ばれてくる以前に墨書がなされたと考えるのが自然であろう。集積地に関しては、津市に所在する安濃津の調査報告の中で、生産地から送られてきた商品を安濃津などの港町に一度集積し、それを選別して拡散するという流れが示されている[11]。その第一次集積地と消費地の間に二次的な集積地の存在も考えられ、同じく津市に所在する里前遺跡などがそれに当たる可能性があると考えられている[12]。今回調査した川島遺跡は、里前遺跡と同様川岸の荷揚げの便の良い場所に立地しており、そういう意味では二次的な集積地と考えることもできよう。ただし、今回出土した陶器供膳具の絶対量が圧倒的に少ないため、可能性を提示するに留めざるをえない。今後の調査と資料の充実を待ちたい。

（２）土師器鍋に残る煤の痕跡から

門前Ⅳ地区のＳＫ258から出土した南伊勢系の小形の鍋（102）には、五徳の使用を想像させるような形で煤が付着している（図版20）。詳細に煤の付着状況を観察すると、底部外面の３点を除いたほぼ全域が真っ黒になっており、この部分に直接火が当たっていたことが窺える。また体部下半から体部最大径部付近にかけては、先述の３点から延長する部分を除いてやや褐色系の煤が付着しているが、底部に比べると弱い。頸部から肩部にかけては煤の付着が見られず、口縁部外面になるとまた黒い煤が確認できる。この煤の付着状況から、おそらく囲炉裏などの火所に五徳を逆さまに設置し、そこに鍋を置いて煮炊きを行ったものと考えられる。このときの火の当たり具合から、図版20に見られるような特徴的な煤の模様が描き出されたものであろう。

今回の調査で出土した他の鍋にはこのような痕跡は無く、煤が付着しているものについては、真っ黒な煤がほぼ外面全域に付いている。また五徳の出土も確認されておらず、何故102だけにこのような痕跡が見られるのかなど、実際には不明な点が多い。しかし、このような例が今回の調査で確認されたことは、今後鍋の使用方法を考えていく上での貴重な資料となることは言うまでも無く、このような資料の増加が期待される。

〔註・参考文献〕

① 小濵　学・小林俊之　『川島遺跡群（第1次）発掘調査報告』　（三重県埋蔵文化財センター　2002年）

② 穂積裕昌　「伊勢湾西岸域における古墳時代港津の成立」　（『同志社大学考古学シリーズⅧ　考古学に学ぶ（Ⅱ）』　同志社大学考古学シリーズ刊行会　2003年）

③ 小濵　学　「２　遺構の変遷について」　（『川島遺跡群（第1次）発掘調査報告』　三重県埋蔵文化財センター　2002年）

④ 福村直人　「服部遺跡」　（『昭和57年度農業基盤整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告』　三重県教育委員会　1983年）

⑤ 水谷　豊　「石組井戸と木組井戸―三重県内の資料から見たその使い分け－」　（『研究紀要』第８号　三重県埋蔵文化財センター　1999年）

⑥ 伊藤裕之　『古川遺跡・山口遺跡発掘調査報告』（三重県埋蔵文化財センター　1996年）

⑦ 中川　明　『横地高畑遺跡発掘調査報告』　（三重県埋蔵文化財センター　1998年）

⑧ 新田　洋　『山添遺跡発掘調査報告』　（三重県教育委員会　1979年）

⑨ 小濵　学　『堀町遺跡発掘調査報告』　（三重県埋蔵文化財センター　2000年）

⑩ 藤澤良祐　「山茶碗研究の現状と課題」　（『研究紀要』第３号　三重県埋蔵文化財センター　1994年）

⑪ 伊藤裕偉　「２　陶器類から見た安濃津の物資集積と拡散」　（『安濃津』　三重県埋蔵文化財センター　1997年）

伊藤裕偉　「中世における集散地遺跡の分析」（『月刊考古学ジャーナル』　№478　2001年）

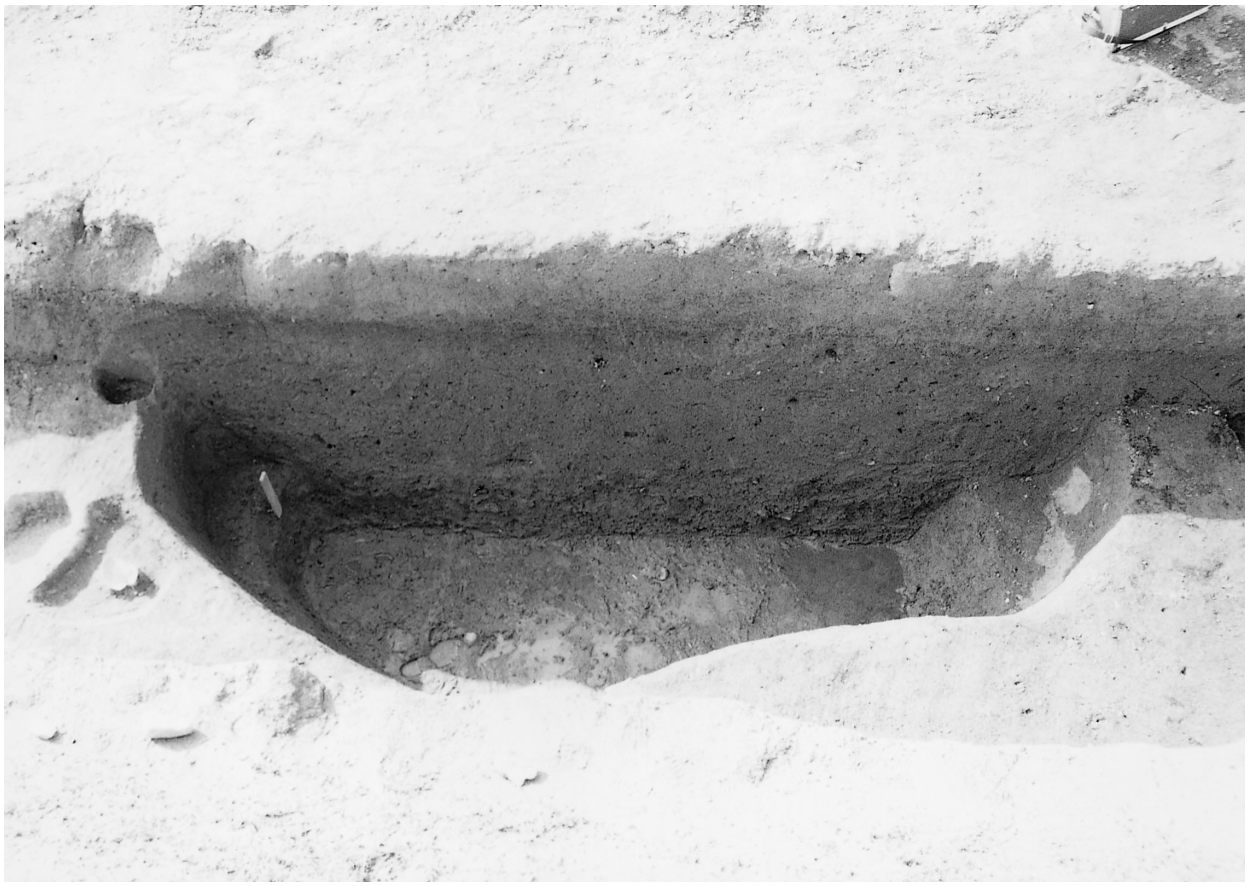
⑫ 川崎志乃　『一般国道23号中勢道路（10工区）建設事業に伴う里前遺跡発掘調査報告』　（三重県埋蔵文化財センター　2002年）

写　真　図　版

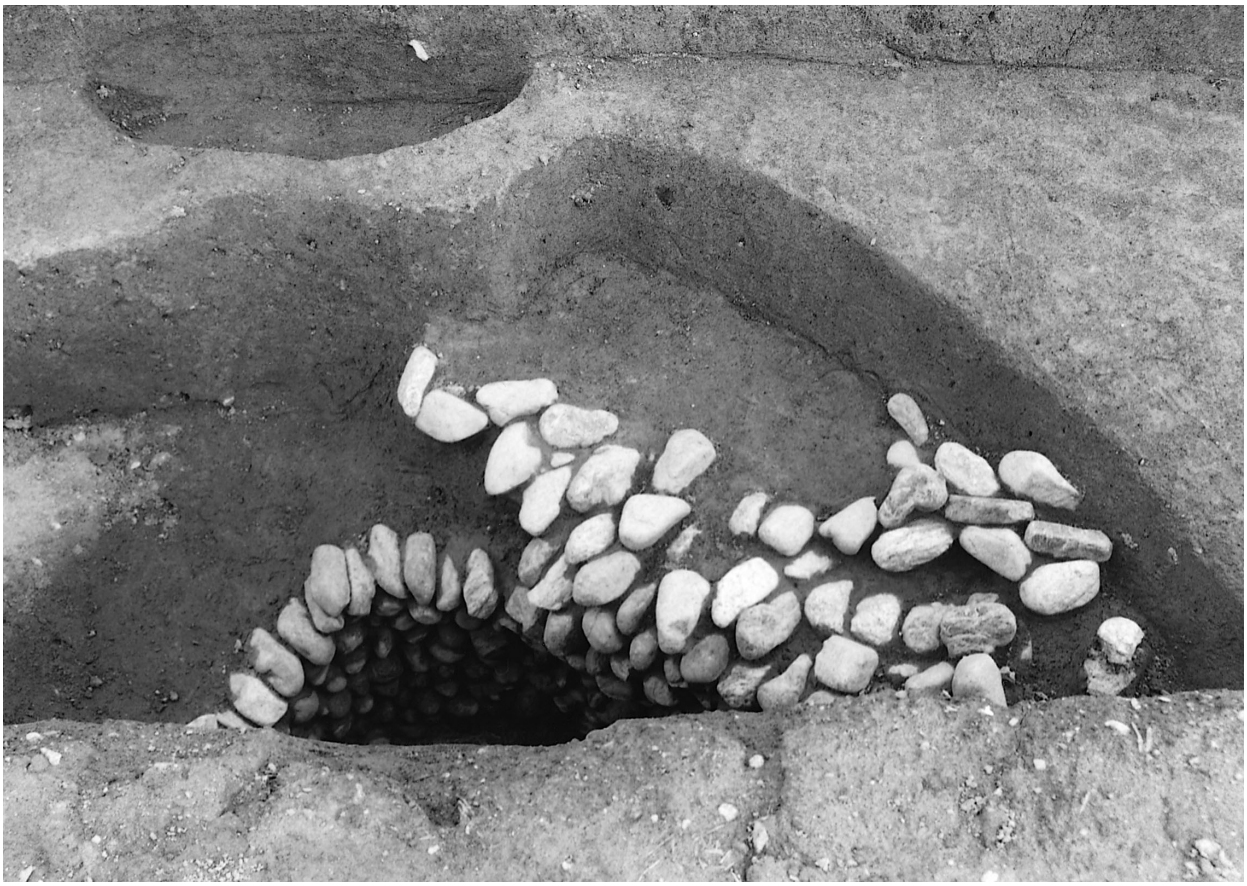
門前Ⅰ地区　調査前風景（南から）

門前Ⅰ地区　調査区全景（北から）

門前Ⅰ地区　南側調査区全景（南から）



門前Ⅰ地区　ＳＥ241（東から）



門前Ⅰ地区　ＳＥ237（西から）

門前Ⅰ地区　ＳＥ237近景（西から）

門前Ⅱ地区　調査前風景（北から）

門前Ⅱ地区　調査区全景（北から）

門前Ⅲ地区　調査前風景（北から）

門前Ⅲ地区　調査区全景（北から）

門前Ⅲ地区　ｄ３　ｐｉｔ１　出土状況（西から）

門前ⅣＡ地区　調査区全景（西から）

門前ⅣＢ地区　調査区全景（西から）

門前Ⅴ地区　調査前風景（東から）

図版８
川島遺跡

門前Ⅴ地区　調査区全景（東から）

門前Ⅶ地区　調査前風景（南から）

門前Ⅶ地区　調査区全景（東から）

門前Ⅶ地区　北側調査区全景（西から）

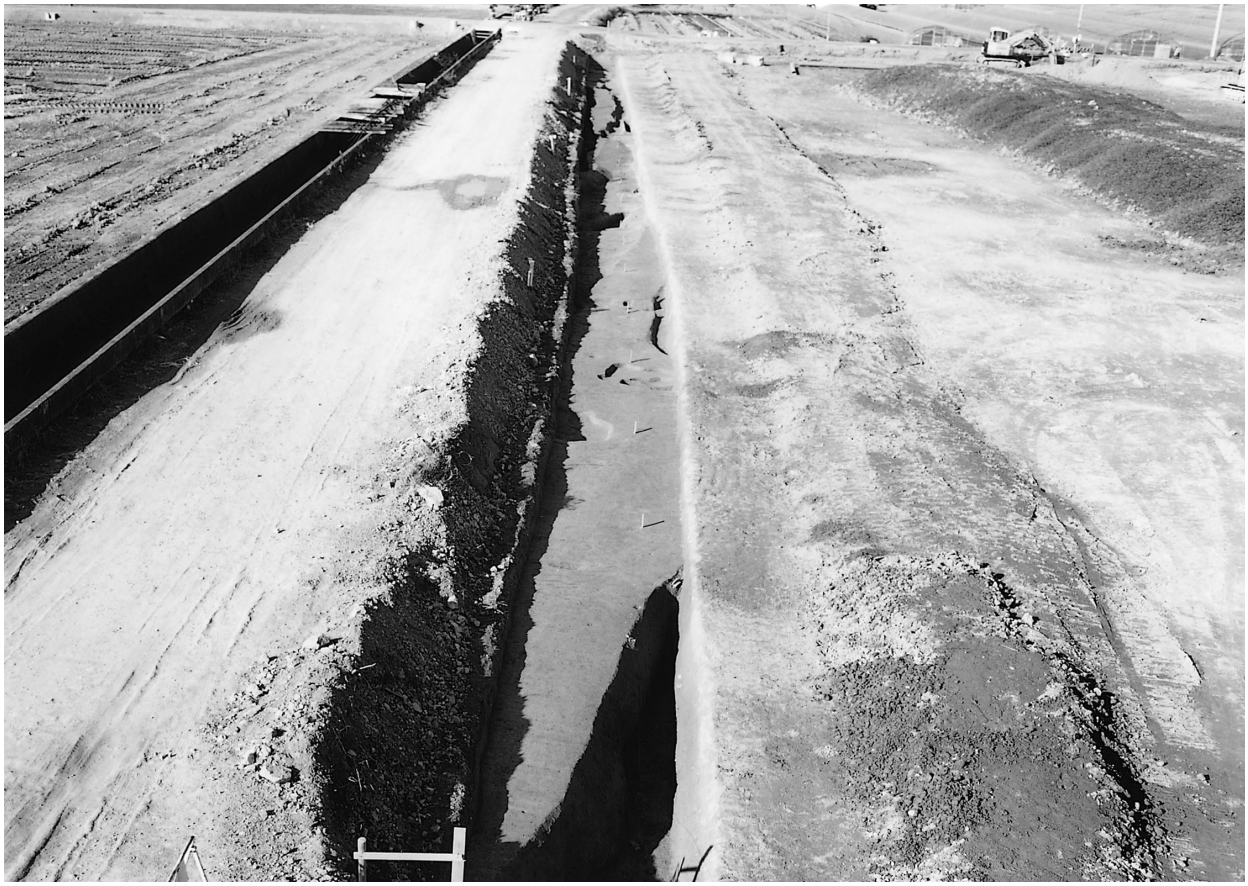
塩角Ⅳ地区　調査前風景（南から）

塩角Ⅳ地区　調査区全景（北から）

塩角Ⅳ地区　南側調査区全景（南から）

塩角Ⅳ地区　西側調査区全景（東から）

奥垣内Ⅴ地区　調査前風景（東から）



奥垣内Ⅴ地区　調査区全景（東から）

奥垣内Ⅴ地区　ＳＤ279　出土状況（東から）

奥垣内Ⅵ地区　調査前風景（南から）

奥垣内Ⅵ地区　調査区全景（西から）

奥垣内Ⅵ地区　調査区全景（南から）

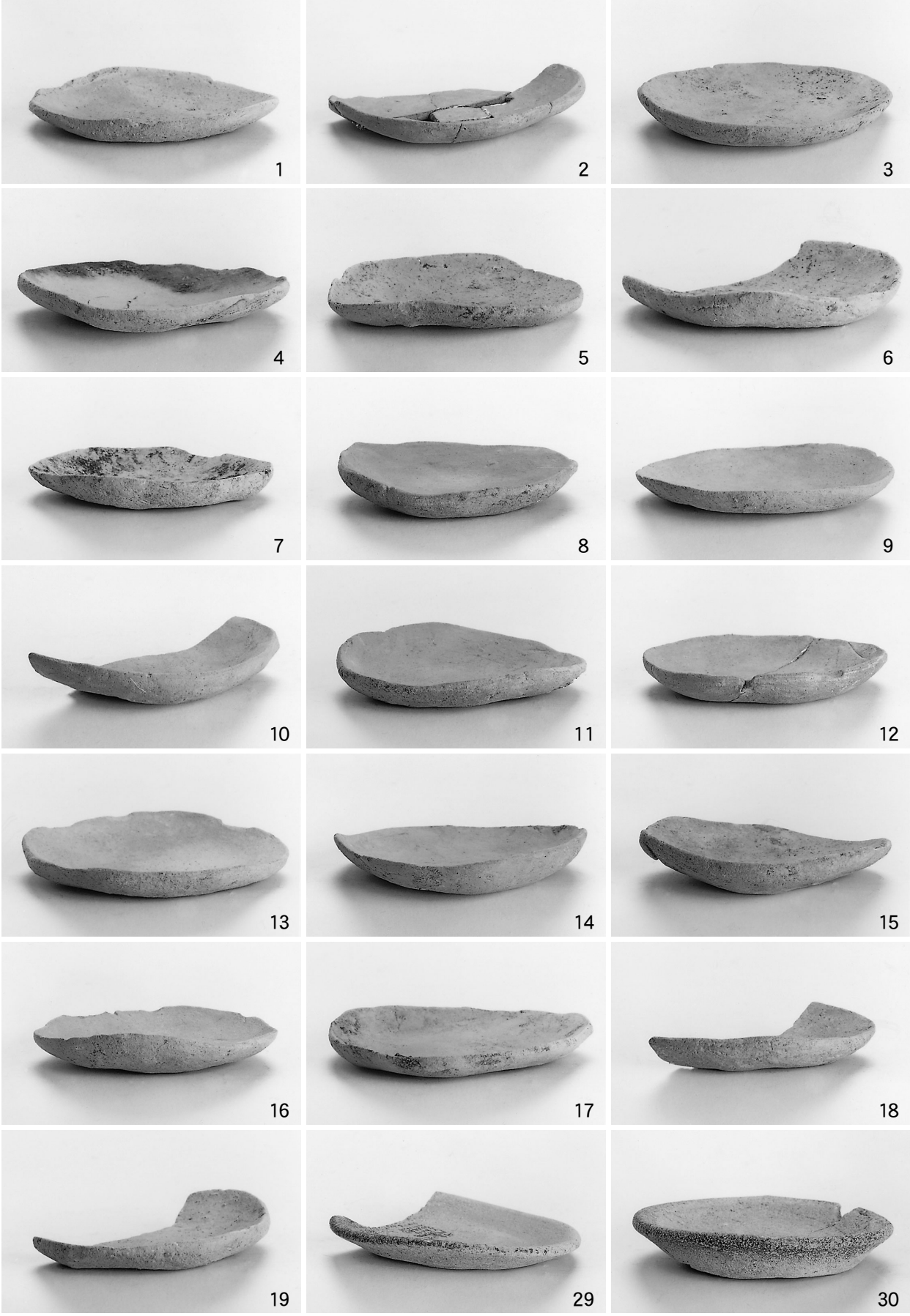
Ⅰ地区　調査前風景（北から）

Ⅰ地区　調査区全景（北から）

図版16
魚見下起遺跡

Ⅱ地区　調査前風景（北から）

Ⅱ地区　調査区全景（南から）



出土遺物①

出土遺物②

61

64

52

63

48

67

68

67

47

73

出土遺物③

出土遺物④

出土遺物⑤

191

195

216

188

212

208

213

196

217

222

223

出土遺物⑥

231

236

232

232

239

240

242

273

出土遺物⑦

247

248

251

254

256

258

265

266

出土遺物⑧

268

270

275

281

284

296

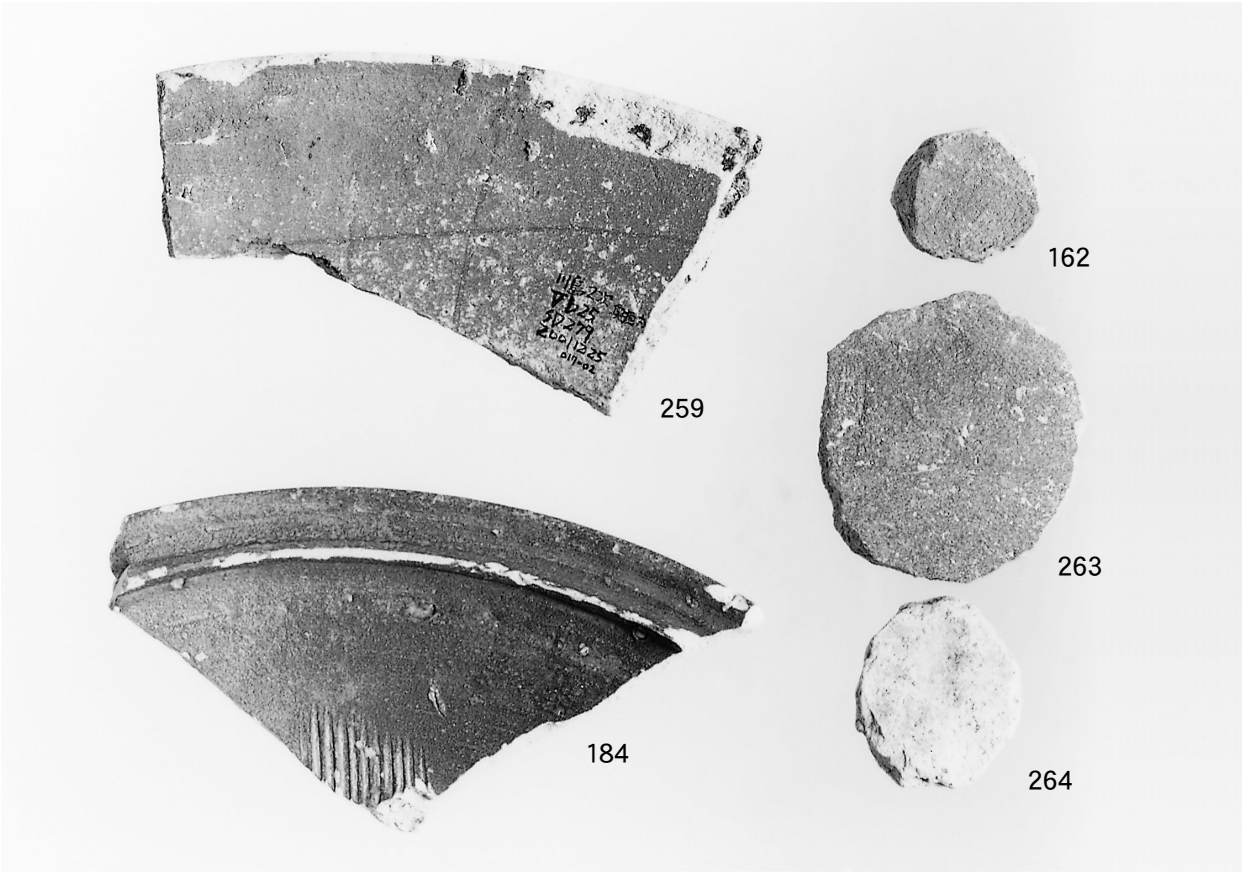
279

294

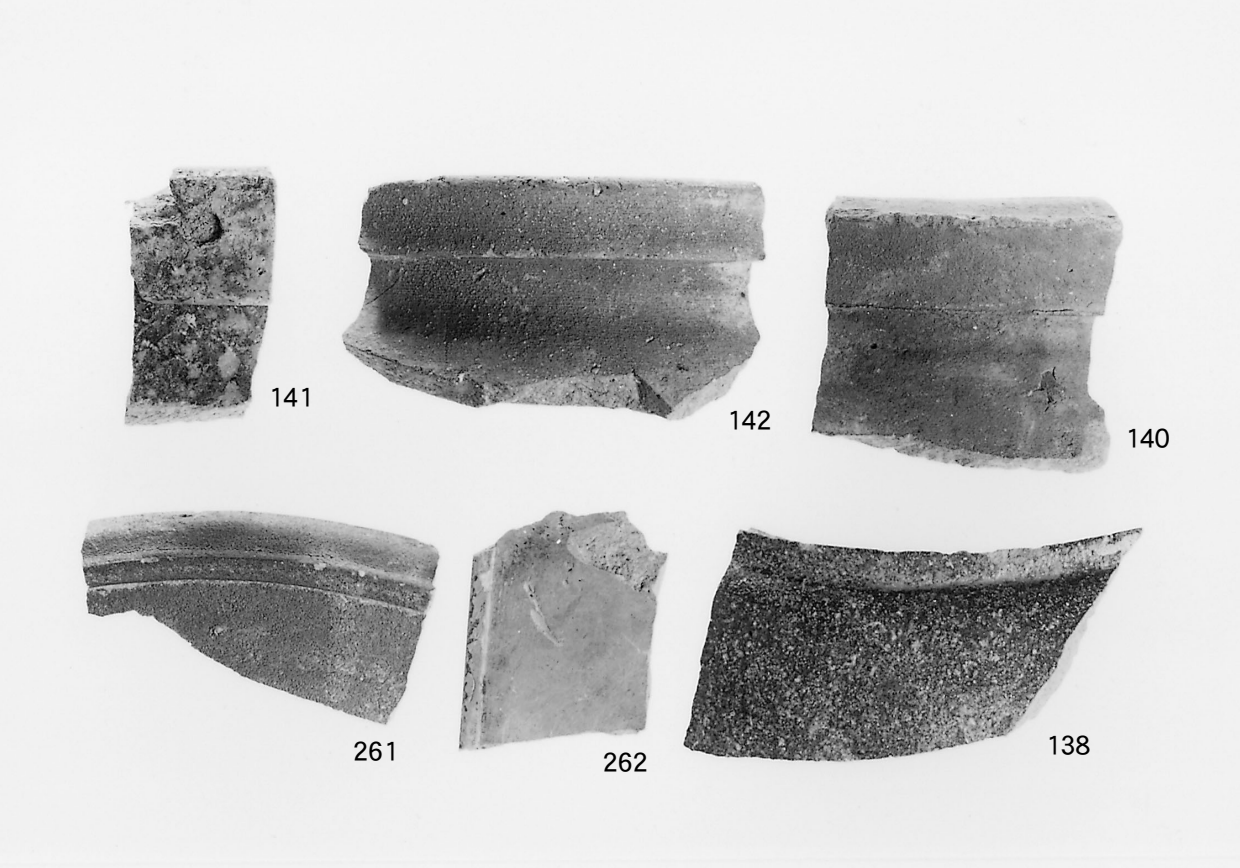
299

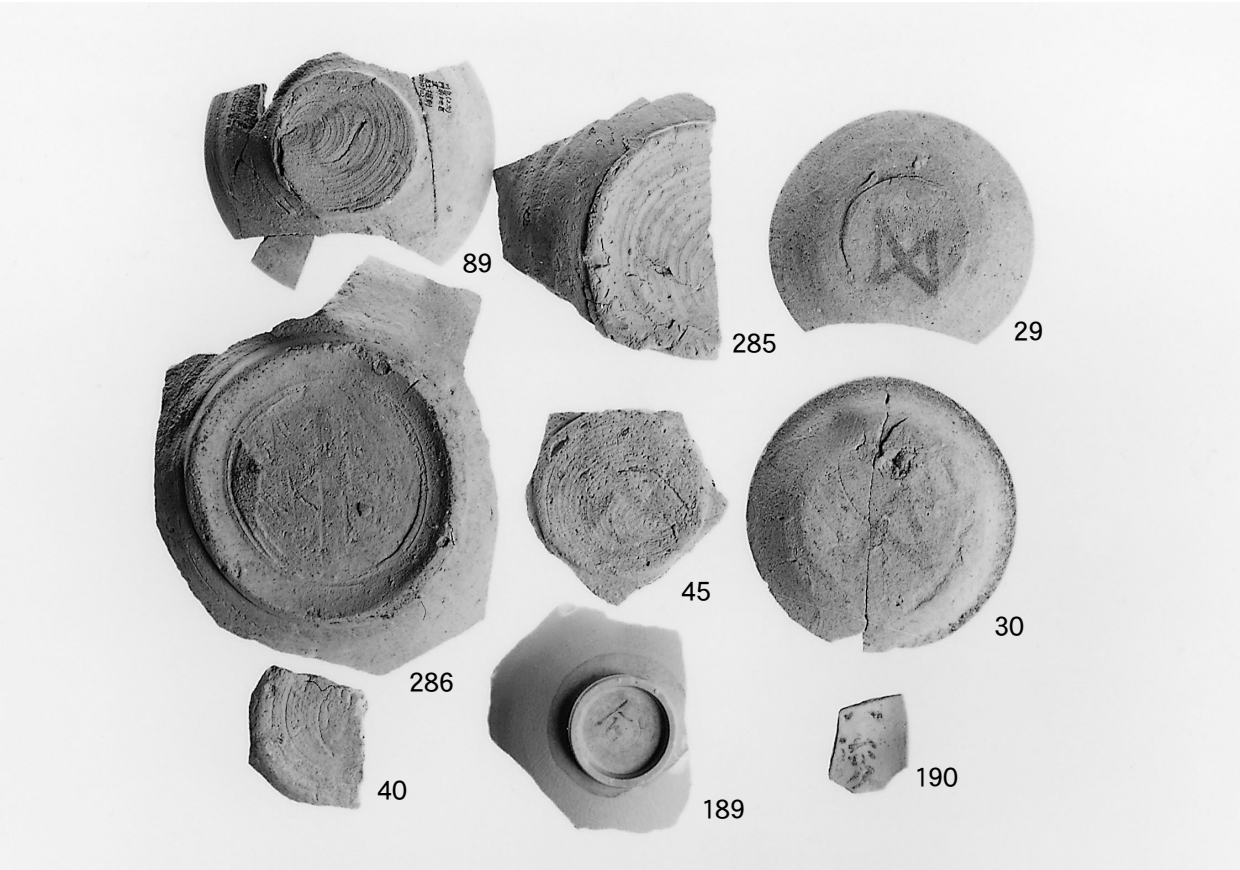
298

出土遺物⑨



出土遺物⑩





出土遺物⑪

図版28
魚見下起遺跡

出土遺物⑫

報　告　書　抄　録

ふ　り　が　な	かわしまいせき（だい２じ）ほかはっくつちょうさほうこく
書　　名	川島遺跡（第２次）ほか発掘調査報告
副　書　名	川島遺跡　　東久保北浦遺跡　　魚見下起遺跡
巻　　次	
シ　リ　ー　ズ　名	三重県埋蔵文化財調査報告
シ　リ　ー　ズ　番　号	２５０
編　著　者　名	柴山圭子
編　集　機　関	三重県埋蔵文化財センター
所　在　地	〒515-0325　三重県多気郡明和町竹川５０３　　TEL 0596-52-1732
発　行　年　月　日	2004（平成16）年３月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積㎡	調査原因
川島遺跡 東久保北浦遺跡 魚見下起遺跡	松阪市 川島町・ 東久保町・ 魚見町	２０４	８３４ ８３５ ８３７	３４° ３４′ ４０″ 付近	１３６° ３５′ ５５″ 付近	20010702 ～ 20020304	４，１００	平成13年度県営ほ場整備事業（機殿下地区） 平成13年度東黒部早馬瀬線道路整備事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
川島遺跡	集落跡	中世	土坑・溝など	土師器 陶器 須恵器など	
魚見下起遺跡	集落跡	中世	土坑・溝など		
東久保北浦遺跡					

三重県埋蔵文化財調査報告２５０

川島遺跡（第２次）ほか発掘調査報告

川島遺跡　東久保北浦遺跡　魚見下起遺跡

～三重県松阪市川島町ほか所在～

２００４（平成16）年３月

編集・発行　三重県埋蔵文化財センター

印　　刷　㈲　山　文　印　刷